

水吉VI遺跡発掘調査報告書

世増ダム関連遺跡発掘調査

序

本県には縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、8,700箇所に及ぶ遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えてゆくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策であります。特に幹線道路網の整備は、産業経済開発の大動脈として、多方面から期待されるところであります。

このような埋蔵文化財の保護、保存と開発との調和も今日的課題であり、当岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告の水吉VI遺跡は、雷谷川左岸の河岸段丘に立地し、平成3年・4年・5年の発掘調査によって、縄文時代・奈良時代及び中世の集落跡が発見され、当地方の歴史を解明するうえで、貴重な資料を得ることができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず埋蔵文化財に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、これまで発掘調査及び報告書作成にご協力、ご援助を賜りました農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所・軽米町教育委員会をはじめ関係各位に衷心より謝意を表します。

平成7年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 高橋 令則

例 言

1. 本報告書は、岩手県九戸郡軽米町大字軽米第24地割字水吉24ほかにある水吉VI遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
2. 本遺跡の発掘調査は、世増ダム建設に伴う緊急発掘調査である。調査は農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所と岩手県教育委員会との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
3. 岩手県遺跡台帳に登録されている遺跡番号は I F 63—0361、調査略号は MY VI—91・92・93である。
4. 発掘調査は、平成3年度から5年度にわたって実施した。各年度の調査期間・調査面積は、次のとおりである。

平成3年度	7月16日～11月21日	5,000㎡	
4年度	4月14日～10月28日	16,900㎡	
5年度	4月12日～10月29日	26,660㎡	計48,560㎡
5. 発掘調査は、＜平成3年度＞濱田 宏・鈴木貞行・川村 聡 ＜4年度＞濱田 宏・佐々木信一・田中元明・柳田 磨 ＜5年度＞濱田 宏・高橋一浩が担当し、報告書の作成は、濱田 宏・高橋一浩・田中元明が分担して行った。執筆分担はそれぞれ本文中に示している。
6. 分析・鑑定は、次の方々及び機関に依頼した。（敬称略）

(1) 火山灰分析	三辻利一（奈良教育大学）
(2) 炭化穀類種子同定	パリノ・サーヴェイ株式会社
(3) 炭化樹種の同定	早坂松次郎（社団法人岩手県木炭協会）
(4) 石質鑑定	佐藤二郎（長内水源工業）
7. 遺跡の基準点測量は、株式会社ハイマーテックに委託した。
8. 野外調査・室内整理に際しては、次の方々から御指導、御協力をいただいた。（敬称略）
鈴木克彦・木村鉄二郎・相沢 治・成田滋彦・畠山 昇（以上青森県埋蔵文化財調査センター）、市川金丸・成田誠治（以上青森県立郷土館）、田村俊之・豊田宏良（以上千歳市埋蔵文化財センター）、高橋信雄（岩手県立博物館）、農水省東北農政局八戸平原開拓建設事業所、軽米町教育委員会
9. 野外調査にあたっては、軽米町及び九戸村の方々に御協力をいただいた。
10. 調査に関わる記録、遺物等の資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

本文目次

序	
例 言	
I. 調査に至る経過	1
II. 位置と環境	2
1. 遺跡の位置	2
2. 周辺の地形	2
3. 遺跡の立地	2
4. 地質と基本土層	2
5. 周辺の遺跡	5
III. 野外調査と室内整理の方法	9
1. 野外調査	9
2. 室内整理	10
IV. 検出された遺構と遺物	15
1. 縄文時代の竪穴住居跡と出土遺物	15
2. 縄文時代の竪穴状遺構と出土遺物	47
3. 古代の竪穴住居跡と出土遺物	61
4. 中世の竪穴住居跡と出土遺物	77
5. 獨立柱建物跡	83
6. 土坑と出土遺物	87
7. 陥し穴状遺構	87
8. 炉跡と出土遺物	171
9. 焼土遺構	174
V. 遺構外の出土遺物	175
1. 石器類	175
2. 縄文・弥生時代の土器類	199
3. 古代の土器	201
4. その他	201
VI. ま と め	214
1. 竪穴住居跡	214
2. 土 坑	216

3. 陥し穴状遺構	218
4. 出土遺物	219
5. 水吉VI遺跡の集落の変遷	220
付篇1 水吉VI遺跡出土火山灰の蛍光X線分析	223
2 大渡II遺跡他の古環境と植物利用	225

表 目 次

表1 経米町内の発掘調査遺跡	5	表7 陥し穴状遺構観察表	162~164
表2 周辺の遺跡一覧表	6	表8 炉跡出土遺物一覧表	173
表3 縄文竪穴住居跡・竪穴状遺構 出土石器一覧表	59・60	表9 焼土遺構観察表	174
表4 古代竪穴住居跡出土遺物一覧表	76	表10 遺構外出土石器類一覧表	195~198
表5 土坑観察表	88~113	表11 遺構外出土土器類一覧表	211~213
表6 土坑内出土遺物一覧表	159~161	表12 竪穴住居跡一覧表	215
		表13 土坑分類表	217

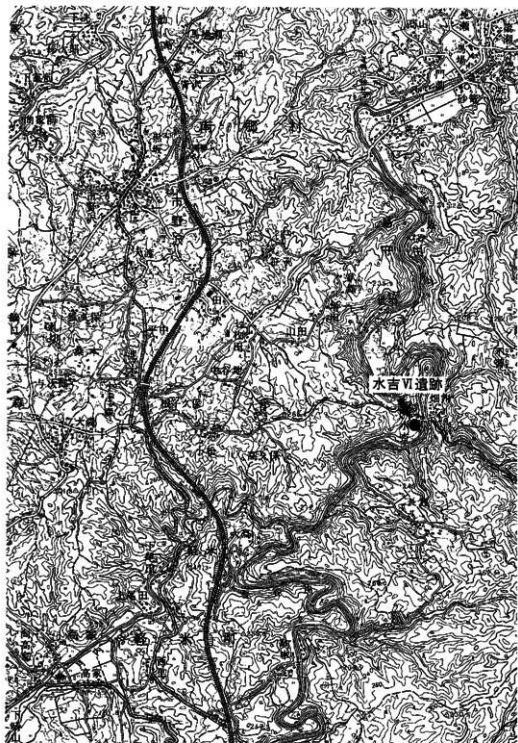
挿 図 目 次

図1 遺跡位置図		図31 縄文第1号竪穴状遺構	48
図2 地形分類図	3	図32~33 縄文第2号竪穴状遺構(1)・(2)	49・51
図3 基本土層	4	図34~38 縄文第3号竪穴状遺構(1)~(5)	52・54~57
図4 周辺の遺跡	7	図39 縄文第4号竪穴状遺構	58
図5 地形図とグリッド配置	11	図40 古代第1号住居跡	62
図6 遺構配置図	13	図41 古代第2号住居跡	64
図7・8 縄文第1号住居跡(1)・(2)	16・17	図42 古代第3号住居跡	66
図9~13 縄文第2号住居跡(1)~(5)	19~23	図43 古代第4号住居跡	68
図14~16 縄文第3号住居跡(1)~(3)	25~27	図44 古代第5号住居跡	70
図17~21 縄文第4号住居跡(1)~(5)	29~33	図45 古代第6号住居跡	71
図22~24 縄文第5号住居跡(1)~(3)	36~38	図46~47 古代第7号住居跡(1)・(2)	74・75
図25~26 縄文第6号住居跡(1)・(2)	39・40	図48 中世第1号住居跡	77
図27 縄文第7号住居跡	42	図49 中世第2号住居跡	78
図28~30 縄文第8号住居跡(1)~(3)	44~46		

図50 中世第3住居跡……………80	図107 炉跡出土遺物……………173
図51 中世第4号住居跡……………81	図108 焼土遺構……………174
図52 第1号掘立柱建物遺跡……………84	図109~127 遺構外出土石器類(1)~(4)
図53 第2号・3号・4号掘立柱建物跡……………85	……………177~195
図54 第5号掘立柱建物跡……………86	図128~136 遺構外出土土器類(1)~(9)
図55~93 土坑(1)~(40)……………114~152	……………202~210
図94~99 土坑内出土遺物(1)~(6)……………153~158	図137 円形陥し穴状遺構配列図……………218
図100~105 陥し穴状遺構(1)~(6)……………165~170	図138 円盤状石製品規模別柱状図……………219
図106 炉跡……………172	図139 水吉VI遺跡の集落変遷図……………221

写真図版目次

写真1 遺跡全景……………228	写真97 縄文第5号住居跡出土遺物……………324
写真2 遺跡遠景・立地状況……………229	写真98 縄文第6号・7号住居跡出土遺物……………325
写真3 基本土層……………230	写真99 縄文第8号住居跡出土遺物……………326
写真4~11 縄文第1号~8号住居跡……………231~238	写真100 縄文第1号・2号竪穴状遺構
写真12~15 縄文第1号~4号竪穴状遺構	出土遺物……………327
……………239~242	写真101 縄文第3号竪穴状遺構
写真16~22 古代第1号~7号住居跡……………243~249	出土遺物(1)……………328
写真23~26 中世第1号~4号住居跡……………250~253	写真102 縄文第3号(2)・4号竪穴状遺構
写真27~77 土坑(1)~(50)……………254~304	出土遺物……………329
写真78~83 陥し穴状遺構(1)~(6)……………305~310	写真103~109 古代第1号~7号住居跡
写真84 掘立柱建物跡・炉跡(1)……………311	出土遺物……………330~336
写真85 炉跡(2)……………312	写真110 中世住居跡・縄文時代炉跡
写真86~88 焼土遺構(1)~(3)……………313~315	出土遺物……………337
写真89 縄文第1号住居跡出土遺物……………316	写真111~116 土坑内出土遺物(1)~(6)……………338~343
写真90~92 縄文第2号住居跡	写真117~133 遺構外出土石器類(1)~(4)……………344~360
出土遺物(1)~(3)……………317~319	写真134~139 遺構外出土土器類(1)~(6)……………361~366
写真93~94 縄文第3号住居跡	写真140 遺構外出土古銭……………367
出土遺物(1)~(2)……………320~321	
写真95~96 縄文第4号住居跡	
出土遺物(1)~(2)……………322~323	



1:50,000 三戸



図1 遺跡位置図

I 調査に至る経過

水吉VI遺跡は「八戸平原開拓建設事業」に関連して、農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所の委託を受けて緊急発掘調査された。この事業は、豊かな農村社会の建設と地域農業の発展および生産性の高い経営を図ることを目的として昭和51年に事業化されたものである。

この事業に関連する遺跡群は岩手県と青森県にわたって分布しており、岩手県に所在する遺跡の扱いについては八戸平原開拓建設事業所と岩手県教育委員会文化課との間で協議がなされた。発掘調査は3ヵ年にわたったが、初年度の調査に至るまでの経過は次のとおりである。

平成3年1月10日付「3八戸第20号」により、八戸平原開拓建設事業所長から東北農政局長にあてて、事業にともなう水没地内の埋蔵文化財発掘調査について文化庁長官に通知をするよう依頼した。

平成3年1月28日付「3北建第65号(開)」により、東北農政局長から岩手県教育委員会を経由して文化庁長官に発掘の通知をした。

平成3年2月16日付「教文第7-94号」により、岩手県教育委員会教育長から東北農政局長あてに、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成3年2月28日付「教文第943号」により、岩手県教育委員会教育長から八戸平原開拓建設事業所長あてに、平成3年度の財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査事業として遺跡全体の内5,000㎡とした旨を通知した。

平成3年3月7日付「3八戸第20号」により、八戸平原開拓建設事業所長から岩手県文化振興事業団理事長あてに埋蔵文化財発掘調査承諾書を提出した。

以上のような経過をへて平成3年7月10日付で東北農政局長と財団法人岩手県文化振興事業団理事長との間で、発掘調査について委託契約を締結し、7月16日から調査に着手した。

(鈴木恵治)

II 位置と環境

1. 遺跡の位置

本遺跡の所在する軽米町は岩手県の北端に位置し、東は岩手県種市町と大野村、南は山形村、九戸村、西は二戸市に接する。北は青森県の名川町、南郷村、階上町と接し、遺跡はその県境付近にある。八戸自動車道軽米インターチェンジからは、北北東に約5.5kmの距離があり、その地点は北緯40度22分13秒、東経141度28分57秒付近である。

2. 周辺の地形

軽米町は、北端を青森県八戸市、南端を宮城県牡鹿半島に持つ北上山地の北部にある。この山地は岩手県の東側にあり、県全体のおよそ3分の2の面積を占める。山地の中央部が最も高く、南北に向かうに従って低くなる。

軽米町周辺には、北東に階上山(740m)、久慈平岳(706m)、南西に折爪岳(852m)、南に罫岳(567m)の山々があり、軽米はこれらの山によって囲まれた標高200m～400mの丘陵地である。

軽米町の西部を瀬月内川が、東部を雪谷川が流れるが、この2つの河川は軽米町北部の大鳥付近で合流し、新井田川と名を代えて八戸市で太平洋に注ぐ。前述の丘陵はこれらの河川によって開析されたものである。

3. 遺跡の立地

本遺跡は、軽米町最北端部を流れる新井田川によって開析された河岸段丘上にある。標高は98m～110mで北西から南東方向に緩やかに傾斜している。この段丘は高位面と低位面の2面からなるが、遺構の集中する地区は、高位面の上位と下位である。低位面については、水田を造成した際にかかなりの深さで削平されている。

4. 地質と基本土層

軽米町周辺の地質は、主にチャート、粘板岩、硬砂岩、輝緑凝灰岩などから構成される古生層が基盤として分布している。軽米町の西側の二戸市付近では、砂岩、安山岩、凝灰岩、礫岩などを主体とする新世代第三紀層に変わる。これらの地域は、いずれも表層を十和田系と推定される火山碎屑物によって被われている。それらは古期のものから、更新世では天狗平火山灰層、高館火山灰層、八戸火山灰層、完新世では二ノ倉火山灰層、南部浮石層、中興浮石層、十和田b降下火山灰、十和田a降下火山灰である。

本遺跡でも、山際の高いほうは十和田系碎屑物が、段丘の先端に向かって粘土混じりの円礫

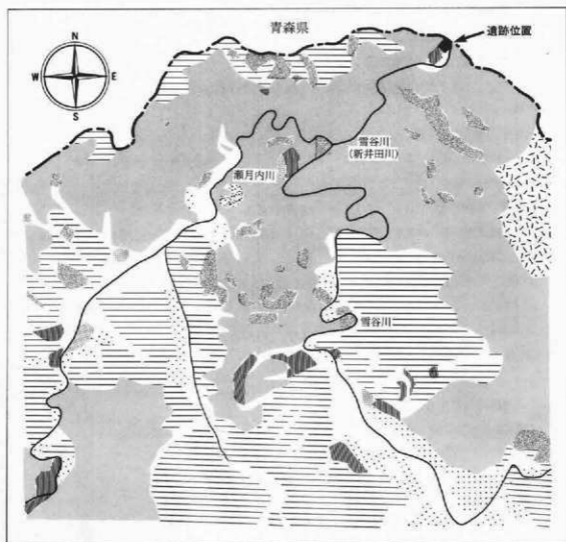


圖 2 地形分類圖

～シルト質土の高位段丘堆積物が堆積する。その境界は遺跡のほぼ中央部を横断している。

調査区では基本的には図3のような層序が観察される。山際の斜面部では、崖錘による角礫が厚く堆積している。また削平が著しく、表土を除去するとすぐに南部浮石層や八戸火山灰層がみられるところがある。

第I層 黒褐色土 (10Y R2/2) シルト

耕作土。径3cm～10cm大の小角礫を含み、下位にいくほど締まり、また粘性も増す。層厚は40cm前後。

第II層 暗褐色土～黒色土 (10Y R2/1～3/3) シルト

灰白色火山灰の小ブロックおよび径3cm～10cm大の小角礫を含み、やや粘性がある。層厚は10cm前後。

第III層 黒色土 (10Y R1.7～2/1) シルト～砂質シルト

上位に十和田b降下火山灰を含み、下位には南部浮石粒がわずかに混入する。硬く締まる。層厚は20cm前後。

第IV層 黒褐色土 (10Y R2/2) 中脈浮石相当層

中脈浮石粒および南部浮石粒を全体に含む。硬く締まり、やや粘性がある。層厚は10cm～40cm。

第V層 黒色土 (10Y R2/1)

粘土質シルト

南部浮石粒を10%～20%含む黒色土。粘性があり硬く締まる。層厚は35cm～45cm。

第VI層 褐色土 (10Y R4/6)

南部浮石層

層厚は30cm前後であるが、場所によっては最大50cmに及ぶところがある。

第VII層 黒褐色土～褐色土

(10Y R3/2～4/4)

八戸火山灰層

最上部には粘性のある層厚10cmほどの黒褐色土の層がみられ、その下にクリーム色の浮石を含む褐色土が堆積している。層厚は1m以上。

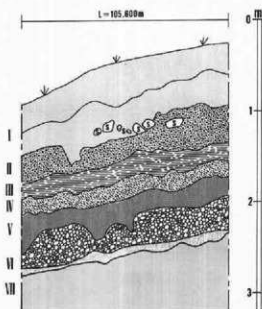


図3 基本土層

5. 周辺の遺跡

軽米町内および青森県南郷村に分布する遺跡について、図4に示した。軽米町の資料は駒板遺跡報告書（鈴木恵治ほか、1986）から抜粋し、南郷村分は、全国遺跡図〈青森県〉（文化庁、1981）から一部を取り上げたものである。なお、軽米町内の発掘調査された遺跡の内容については、表1にまとめているので参照されたい。（濱田）

表1 軽米町内の発掘調査遺跡

遺跡名	遺跡番号	種別	報告書	内 容	
				遺 構	遺 物
土弓Ⅰ遺跡	293	集落跡	岩埋文 報告書50	土坑	縄文（早・晩）
靴口Ⅰ遺跡	335	散布地	175	住居…縄文（早）、古代（奈） 土坑、陥し穴	縄文（早）、土師器
馬場野Ⅰ遺跡	305	集落跡	68	住居…縄文（中・後・晩） 土坑、陥し穴など	縄文（前～晩）
馬場野Ⅱ遺跡	310	集落跡	99	住居…縄文（中～晩）、弥生	縄文（中～晩） 弥生
臥屋敷Ⅰa遺跡	308	集落跡	61	住居…縄文（前～晩）、古代（奈） 土坑、陥し穴	縄文（前～晩） 弥生、青竜刀形石器
臥屋敷Ⅰb遺跡		集落跡	63	住居…縄文（前～後）、古代（平）、 土坑、陥し穴	縄文（前～晩） 赤色顔料塊など
臥屋敷Ⅱ遺跡		集落跡	47	住居…縄文（中・後）、古代（平） 土坑	縄文（中・後） 土師器
臥屋敷Ⅲ遺跡		集落跡	48	住居…縄文（中・後） 土坑、焼土遺構	縄文（前～晩）
大日向Ⅱ遺跡	309	散布地	100	住居…縄文（早～晩）、古代（奈・平） 土器埋没、土坑など	縄文（早～晩） 土師器など
駒板遺跡	428	集落跡	98	住居…縄文（後・晩）、古代（奈） 中世、土坑、陥し穴、密鉄鑄造跡	縄文（後・晩） 土師器など
長倉№14遺跡	—	散布地	10	土坑	縄文（前～後）
長倉Ⅰ遺跡	114	散布地	25	土坑	縄文（前～後）
大塚Ⅱ遺跡	334	散布地	119	住居…古代（平） 畑地跡、土坑、陥し穴	縄文（後・晩） 土師器など
君成田Ⅳ遺跡	402	集落跡	62	住居…縄文（中～晩）、古代（奈） 陥し穴、土坑	縄文（中・後）
沼Ⅰ遺跡	167	散布地	135	なし	縄文
苞角子久保遺跡	345	散布地	129	土坑、陥し穴	縄文、土師器、木簡 など
玉川鉄山跡	—	製鉄跡	軽米町教育委員会	製鉄炉、製鋼炉、物原など	陶磁器、鉄滓、炉壁
水宮Ⅴ遺跡	106	集落跡	本報告書	住居…縄文（早・中・晩） 古代（奈）、土坑、陥し穴	縄文（早～晩）、 土師器、鉄滓、古銭

表2 周辺の遺跡一覧表

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名		
1	屋場	49	外長堤	96	小松田	144	高前水口	192	真家中山	240	外川目	288	駒木田	336	鏡口	384	上平田
2	千石遺跡	50	畑内	97	高久保	145	#	193	#	241	#	289	尾田	337	新田	385	谷地渡
3	引	51	森清水	98	#	146	#	194	#	242	#	290	駒木田	338	#	386	上平田
4	上野平	52	#	99	#	147	#	195	西尾	243	釜ノ皮田	291	土弓	339	山門	387	#
5	青渡沢	53	#	100	水吉	148	#	196	#	244	外川目	292	#	340	新田	388	中村
6	#	54	砂子崎	101	#	149	#	197	#	245	釜ノ皮田	293	#	341	佐角久保	389	上平田
7	古宮	55	大森山	102	#	150	古屋敷	198	#	246	釜ノ皮田	294	大日向	342	?	390	中村
8	白山	56	馬場	103	#	151	#	199	中津	247	釜ノ皮田	295	土弓	343	小沼	391	山内新水
9	#	57	#	104	#	152	#	200	内城	248	大崎山	296	坂ノ上	344	佐角久保	392	#
10	南越新田	58	石ノ宮	105	長倉	153	#	201	中津	249	#	297	駒木田	345	#	393	#
11	#	59	石ノ宮	106	水吉	154	高前水口	202	内城	250	#	298	#	346	小沼	394	#
12	黒久保	60	#	107	#	155	高前水口	203	#	251	#	299	大日向	347	貝喰	395	千本松
13	榎	61	上野場	108	大島	156	#	204	#	252	田の原	300	津内	348	#	396	当地
14	窪の沢	62	#	109	#	157	足場	205	#	253	釜ノ皮田	301	#	349	#	397	#
15	田面水	63	#	110	下尾田	158	内場	206	#	254	早波	302	土弓	350	#	398	#
16	#	64	#	111	大島	159	釜ノ皮田	207	#	255	内	303	#	351	#	399	#
17	高山	65	#	112	#	160	高久保	208	#	256	早波	304	?	352	山口	400	中山
18	#	66	小手	113	赤中	161	#	209	鹿ヶ沢	257	西山	305	高橋	353	#	401	#
19	#	67	ぬかり	114	長倉	162	#	210	鹿ヶ沢	258	#	306	中山	354	#	402	若成田
20	江花	68	小手	115	大島	163	#	211	中崎	259	外川目	307	八幡宮	355	#	403	#
21	東山	69	#	116	ふん	164	#	212	上野山	260	#	308	八幡宮	356	#	404	#
22	下横沢	70	尾田	117	尾田	165	#	213	#	261	#	309	大日向	357	#	405	若成田
23	#	71	下野場	118	大島	166	#	214	中崎	262	京	310	高橋	358	#	406	若成田
24	尾工門	72	下野場	119	#	167	沼	215	西ノ角	263	外川目	311	#	359	宮	407	#
25	千石	73	下野場	120	柳久保	168	#	216	上野山	264	#	312	早波	360	#	408	#
26	八地	74	#	121	長倉	169	長久保	217	西ノ角	265	御木	313	榎木	361	#	409	中山
27	中野	75	笹目	122	#	170	大島	218	#	266	外川目	314	中山	362	太田	410	#
28	下長	76	下野場	123	柳久保	171	#	219	上野山	267	#	315	早波	363	#	411	柳の平
29	洞屋	77	笹目	124	#	172	加賀	220	西ノ角	268	#	316	沼	364	貝喰	412	洞屋
30	三合山	78	#	125	鹿	173	釜ノ皮田	221	高	269	京	317	#	365	太田	413	千本松
31	田ノ沢	79	#	126	郡	174	#	222	崎山	270	外川目	318	内川	366	#	414	大島
32	市野	80	茨山	127	上野場	175	#	223	下野山	271	御前	319	沼	367	山内	415	平中
33	伏	81	#	128	上野場	176	#	224	柏木	272	上尾	320	早	368	柳	416	上野
34	#	82	湯	129	上野山	177	中崎	225	#	273	#	321	飯子	369	大久保	417	松島
35	増	83	河	130	#	178	#	226	#	274	#	322	#	370	#	418	谷地
36	#	84	#	131	上野場	179	加賀	227	#	275	#	323	#	371	山内	419	百目
37	#	85	#	132	上野場	180	中崎	228	#	276	大島	324	大仙	372	荒田	420	小野
38	十文字	86	湯	133	上野山	181	上野山	229	市子	277	新	325	#	373	#	421	高屋
39	島守	87	#	134	上野場	182	#	230	#	278	#	326	龍	374	新	422	まつこ
40	下瓦	88	#	135	上野山	183	中崎	231	#	279	#	327	佐角	375	#	423	山内
41	鹿	89	下尾	136	#	184	上野山	232	釜ノ皮田	280	#	328	#	376	上平	424	秋
42	向山	90	#	137	?	185	内	233	長	281	#	329	龍	377	#	425	#
43	松石	91	尾田	138	上野山	186	#	234	#	282	新	330	#	378	大久保	426	#
44	下山	92	#	139	上野場	187	向	235	向	283	駒	331	#	379	大久保	427	#
45	持金	93	#	140	上野山	188	内	236	高	284	駒	332	佐角	380	谷地	428	柳
46	田ノ	94	小	141	上野場	189	足	237	取	285	駒	333	大	381	#	429	山内
47	田ノ	95	#	142	上野山	190	尾	238	#	286	駒	334	#	382	#	430	飯
48	下	96	#	143	高	191	真	239	釜ノ皮田	287	尾	335	鏡	383	#	431	#

※ 青森県 (1~59)
岩手県 (60~430)

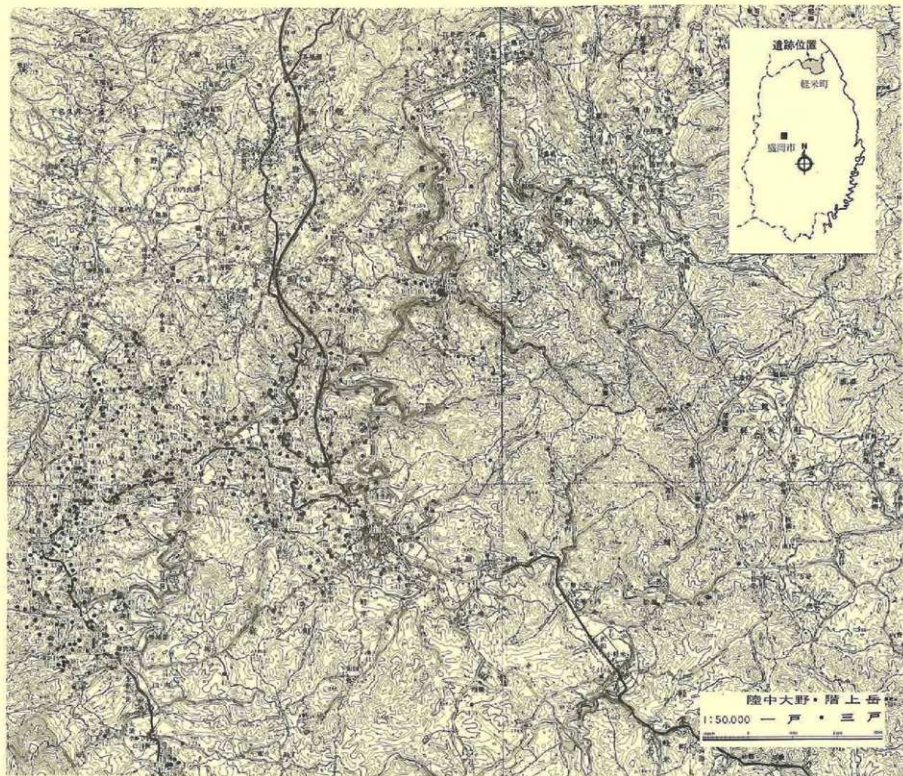


図4 周辺の遺跡

III 野外調査と室内整理の方法

1. 野外調査

[グリッドの設定]

調査の開始年度である平成3年度の調査の際に、平面直角座標第X系の公共座標軸を使用し、遺跡全体にグリッドを設定した。平成3年度の調査区は遺跡の南西端にあたり、その区域内に基準点1と基準点2を設置した。その座標値は、

基準点1 X=41302.206m、Y=55050.851m H=103.390m

基準点2 X=41300.767m、Y=55100.708m H=100.016m

である。この2点を利用して調査区全域にメッシュを組み、基準点1から西へ50m、北へ350mの地点に座標の原点を定めた。原点から東と南に50mの大グリッドを設け、東へはI、II、III……のローマ数字、南へはA、B、C……の大文字のアルファベットを付した。また、小グリッドは更に大グリッドを東と南に10等分し、東へは1、2、3……の算用数字、南へはa、b、c、……の小文字アルファベットを付した。グリッド名はそれらの組み合わせにより、IA1a、IIB2b、IIIC3c、のように表した。

[粗掘]

かつては、遺跡内に民家や畑地があったが、調査開始時には立ち退き後数年が経過しており、ほとんどが荒地の状態であった。各年度とも草木の刈払いから調査を開始し、その後斜面の傾斜に沿って1.5m幅のトレンチを入れ、遺物の出土状況や土層の確認などを行った。その結果、遺物の出土をみた付近や表土の薄い部分は手掘りによる粗掘を行い、その他の部分については重機を使用した。特に畑地造成やビニールハウス建設の際に削平されていないところは、検出面までの深さが1m以上あったため、全域にわたり重機を稼働した。

[遺構検出と遺構名]

遺構が検出された層位は、古代では第II層下部～第III層上部の黒色土、縄文時代では第V層黒色土下部から第VII層の八戸火山灰層にかけてである。

遺構名は、野外調査の際にはその遺構が属するグリッド名をあてた。複数のグリッドに遺構がまたがる場合には、占める割合の大きいほうのものをつけた。室内整理の際には、遺構毎に連番を付し、第1号住居跡、第2号土坑のように呼称した。

[精査と実測]

原則として整穴住居跡は4分法で、土坑、陥し穴状遺構等は2分法で精査した。住居跡内の遺物の取り上げ方は、大きく埋土と床面の2つに分け、埋土の遺物は4分割したものをQ1～Q4の区画名にして取り上げた。床面の遺物は番号を付し、平面図に図化した後に取り上げた。

図面の縮尺は20分の1とし、簡易造り方実測を行った。

[写真撮影]

野外での写真撮影は35mm判2台（モノクロ、カラーリバーサル）と6×7cm判のモノクロ1台を使用した。6×7版については省略している場合がある。

2. 室内整理

[遺構図面]

実測した図面の座標、基準高、セクションポイントの位置などを確認し、必要な際には第2原図を作成した。その後トレース、図版作成を行った。

本報告書の図版の縮尺は、下表に示したとおりである。

[遺物の処理]

遺物の水洗は野外調査の雨天時に処理し、室内では注記、接合、復元の順に作業を進めた。各年度ごとに、遺物の個体数が確定した時点で仮番号をつけ、登録作業を行った。最終年度の平成5年度には、3カ年分の再登録をして必要に応じて報告書に掲載した。

[遺物実測図と拓本]

遺物の実測は可能なかぎり原寸で行い、実測の不可能な土器の小破片は拓本を採った。石器類は実測と同時に計測も行った。

[遺物図版]

トレース後に遺物の図版を作成した。報告書に掲載した実測図の縮尺は、次に示したとおりである。遺構外の出土遺物については、図版内に示している。

	縄文住居跡	古代住居跡	中世住居跡	竪立柱建物跡	土 坑	陥し穴	炉跡	焼土
遺構	$\frac{1}{40} \cdot \frac{1}{60}$ (第4号住)	$\frac{1}{60}$ (30V ¹) $(\frac{1}{30})$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{120}$	$\frac{1}{40}$	$\frac{1}{40}$	$\frac{1}{20}$	$\frac{1}{30}$
遺物	礫石器 剥片石器	土石器 瓦 石	$\frac{1}{3}$	—	礫石器 剥片石器	—	$\frac{1}{3} \cdot \frac{1}{6}$	—
	$\frac{1}{8} \cdot \frac{1}{4}$ $\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$ $\frac{1}{6}$			$\frac{2}{9}$ $\frac{1}{8}$			
	大型土器 その他	土製品 鉄製品			土 器 拓 本			
	$\frac{1}{4}$ $\frac{3}{8} \cdot \frac{1}{8}$	$\frac{1}{8}$ $\frac{1}{8}$			$\frac{1}{4} \cdot \frac{1}{6}$ $\frac{1}{3}$			

[遺物撮影]

遺物の撮影は年度毎に当センターで行った。35mmのモノクロ撮影である。

[写真図版]

遺物、遺構とも縮尺は不定である。また、遺物の実測図版と写真図版の番号は一致している。
(濱田)



図5 地形図とグリッド配置

IV 検出された遺構と遺物

1. 縄文時代の竪穴住居跡と出土遺物

住居跡の遺構名は、年度毎にグリット名の若い順に連番を付し、第1号住居跡、第2号住居跡……と呼称した。

縄文第1号住居跡

本遺構は、ビニールハウス建設の際に一部が削平されており、斜面下方の壁は数cmしかたたない。表土を15cmほど除去した段階で、南部浮石層に暗褐色の円形の輪郭が検出された。

遺構（図7、写真図版4）

（位置）調査区南西端の傾斜が緩やかになりはじめる変換点に位置する。（重複）なし

（埋土）黒褐色土と暗褐色土を基調とし、部分的に黒色土、褐色土のブロックを含む。攪乱が見られるが、人為的なものではない。

（平面形）隅丸長方形状（規模）4.0m×4.8m

（壁）北壁が外反する以外は外傾ぎみに立ち上がる。壁高は8～58cmである。

（床面）斜面下方の壁際は南部浮石層を床面とし、その他は八戸火山灰層を床面とする。全体に平坦で、硬く締まる。

（柱穴）PP1～PP19の19個が検出された。この住居跡は壁のかなり内側に周溝を持ち、建て替拡張されていると考えられるが、PP1～PP7は拡張前の住居跡に伴い、PP8～PP14は拡張後のものに伴う。PP1～PP4は拡張後も主柱穴として使用されていたと思われる。PP15～PP18はどちらの住居跡に伴うか不明であるが、PP18からは土器片が出土している。PP19は新期の枕跡である。

（炉）地床炉が2基確認された。1基は住居跡のほぼ中央に、もう1基は西壁寄りの周溝の内側にあり、厚さはそれぞれ最大で10cmと5cmである。検出状況から同時使用と考えられる。

（炭化材）床面直上に10片の炭化材が検出された。焼失に伴うものと考えられるが、焼土は確認されていない。樹種については図7の付表に示している。

（その他）周溝の東側が50cmほど切れているが、出入口であろう。

（時期）縄文時代中期初頭

遺物（図8、写真図版89）

（石器）1は使用痕を有する剥片、2は凹石で、両側面に敲打の痕跡も持つ。3は磨製石斧で、ほぼ中央付近で折れており、欠損した基部は出土しなかった。両刃で全体によく研磨されている。4は半円状の磨石で、分類では半円状偏平石器とした。半円の部分と反対側の面に擦痕が認められる。

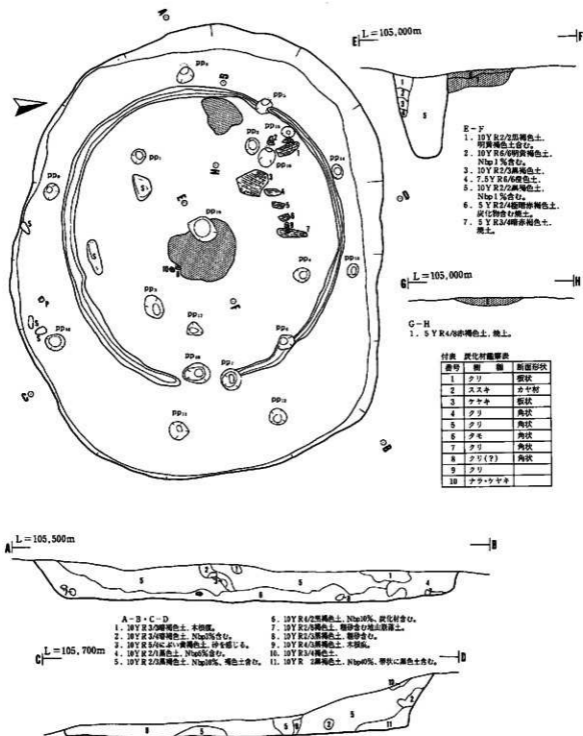


図7 縄文第1号住居跡(1)

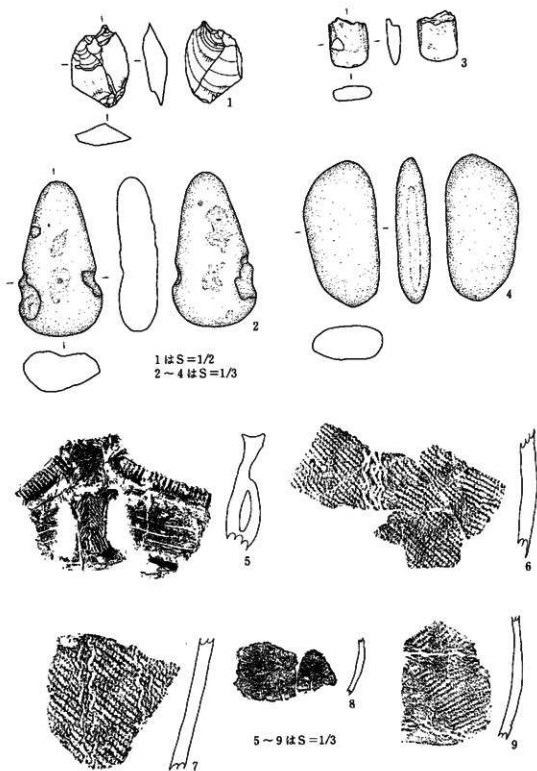


図8 縄文第1号住居跡(2)

(土器) いずれも埋土からの出土で量は少ない。深鉢4点、小型鉢1点を掲載した。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	断面	写真
5	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	介状突起、弦線付浅袋帯、雲形直線、柄状把子(3羽状縄文付)	ミダキ	8	89
6	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	体部	複線斜行縄文、縦位線縄文	ミダキ	8	89
7	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	体部	複線斜行縄文、縦位線縄文	ミダキ	8	89
8	縄文第1号住居跡	埋土	小型鉢	体部	単線斜行縄文	ナダ	8	89
9	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	体部	単線斜行縄文、縦位線縄文	ナダ	8	89

縄文第2号住居跡

本遺構も削平を受けているが、掘り込みが深く遺物の残存状況は良好である。第1号住居跡と同様に、南部浮石層上位面で検出されたが、斜面の下方面では輪郭が不明瞭であった。

遺構(図9、写真図版5)

(位置) 第1号住居跡と同じ傾斜変換点にあり、住居間の距離は北西方向に約80cmである。

(重複) 住居内に第2号土坑が検出された。本遺構のほうが新しい。

(埋土) 上位は暗褐色土、下位は黒褐色土を主体とし、黒色土を壁際を含む。一部杭跡などによる擾乱が認められる。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.7m×4.5m

(壁) すべて外反ぎみに立ち上がる。壁高は10~44mである。

(床面) 第1号住居跡と同じ状況であるが、一部に貼り床を持つ。

(柱穴) P P1~P P25の25個が検出された。住居跡の主柱穴と思われるものはP P1とP P2、副柱穴はP P3~P P13で、すべて壁際に配置されている。P P20~P P25は周溝内にある柱穴である。P P16は新期の杭跡で、P P14、P P15、P P17、P P18は住居跡に伴うか不明である。

(炉) 住居跡の中央部に地床炉が2基確認された。同時使用されていたと考えられる。厚さは4~7cmである。

(炭化材) P P2付近に5片の炭化材が検出された。いずれも床面直上からの出土である。焼土は伴わず、検出状況は第1号住居跡と同じである。樹種は図9の付表に示した。

(その他) P 1は完形の深鉢形土器が埋設されていた土坑である。住居跡に伴うもので、直径46cmの隅丸方形を呈する。深さは68cmを測り、土器は底面から46cmの高さまで正立した状態で出土した。土坑の壁と土器外面との隙間は4cmほどである。

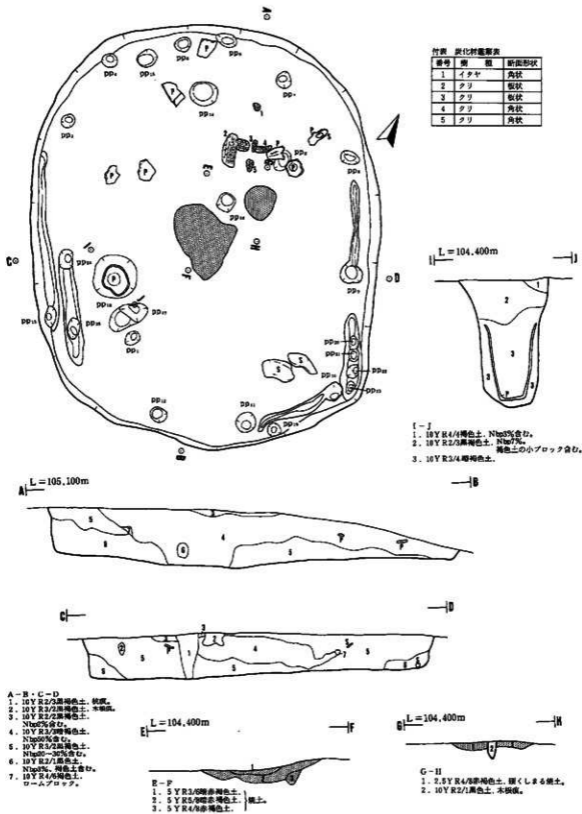
(時期) 縄文時代中期初頭

遺物(図10~13、写真図版90~92)

(石器) 10、11は石鏃で、10は無茎凹基、11は有茎凹基で基部の一部を欠く。12は石槍の先端部と思われるもの、13、14は側縁の一部に使用痕のみられる剝片、15、16は細部加工を有する剝片である。17、18は敲石で、17は長いほうの側縁に、細かくたたきつぶすために使用したと思われる痕跡が認められる。18は鏃の先端部の敲打の痕跡とともに擦痕がみられる。19は凹石、20、21は擦面を一面に持つ磨石である。

竹筒 炭化材鑑別表

番号	形	径	断面形状
1	イタヤ		角状
2	クリ		板状
3	クリ		板状
4	クリ		角状
5	クリ		角状



- [-]
 1. 10Y R4/4褐色土、Nig3%含む。
 2. 10Y R2/3黒褐色土、Nig7%、褐色土の小ブロック含む。
 3. 10Y R3/4暗褐色土。

- A - B - C - D
 1. 10Y R2/2黒褐色土、枕状。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、木炭状。
 3. 10Y R2/2黒褐色土、Nig6%含む。
 4. 10Y R3/3暗褐色土、Nig20%含む。
 5. 10Y R3/2黒褐色土、Nig20-30%含む。
 6. 10Y R2/1黒褐色土、Nig9%、褐色土を含む。
 7. 10Y R4/6褐色土、ロームブロック。

- E - F
 1. 5Y R3/0暗赤褐色土、
 2. 5Y R2/0暗赤褐色土、
 3. 5Y R4/0赤褐色土、
 横土。

- G - H
 1. 2.5Y R4/3赤褐色土、厚くしる黒土。
 2. 10Y R2/1黒褐色土、木炭状。

図9 縄文第2号住居跡(1)

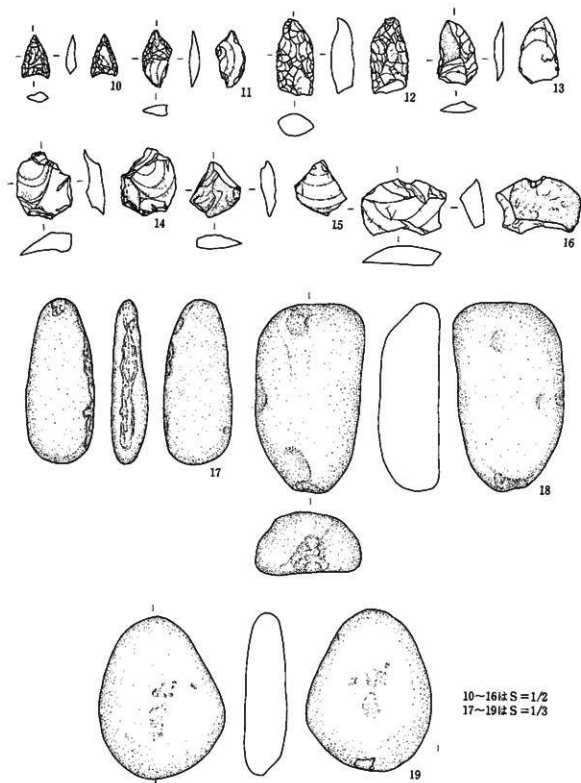


图10 繩文第2号住居跡(2)

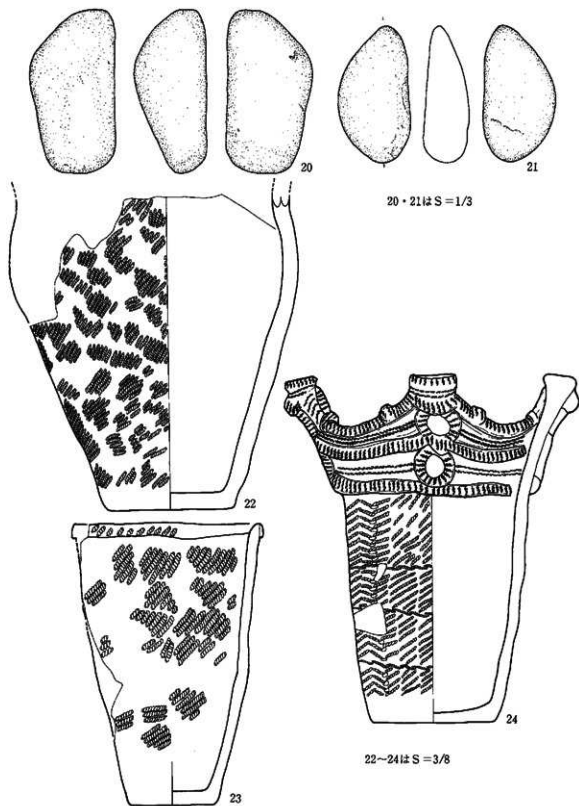


図11 縄文第2号住居跡(3)

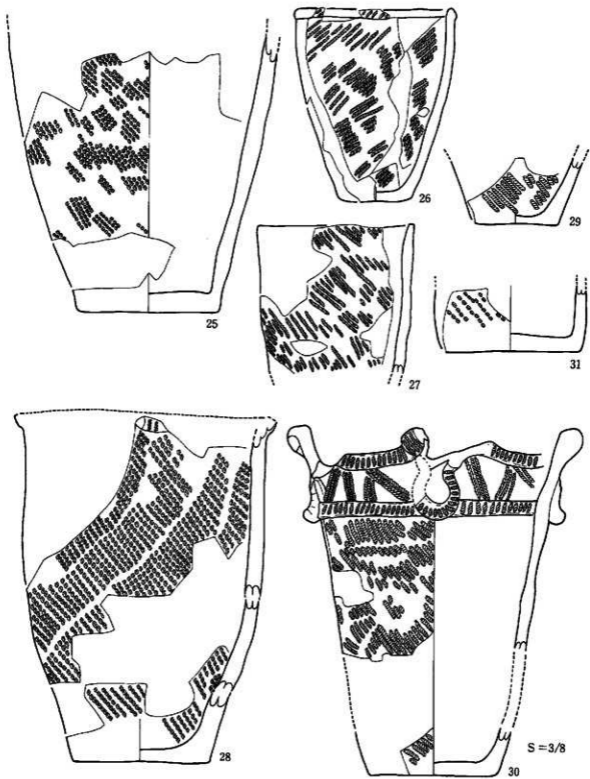
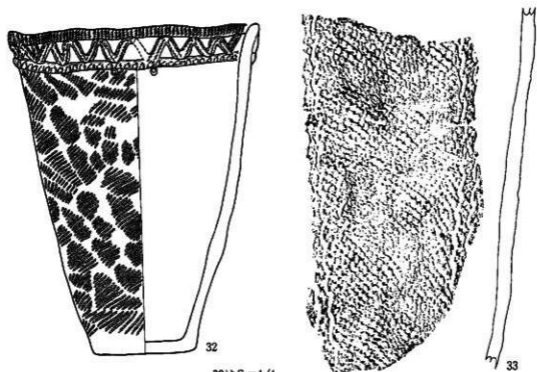


圖12 繩文第2号住居跡(4)



32は $S = 1/4$
 33~40は $S = 1/3$

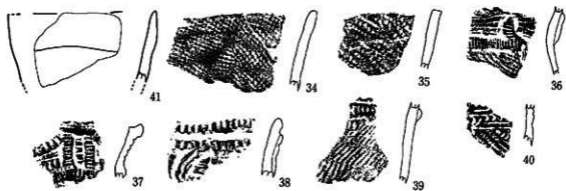


图13 縄文第2号住居跡(5)

(土器) 埋土を中心に床面からも出土している。深鉢19点、鉢1点を載せた。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文 様 ほか	内面	図番	専攻
22	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	体～底部	早期斜行縄文、アスファルト補修痕	ミガキ	11	91
23	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	口～底部	早期斜行縄文、折り返し目線	ナデ	11	91
24	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	口～底部	弁状突起、総紐正倉隆帯、平行縞縞正倉、横位縞縄文、羽状縄文	ミガキ	11	91
25	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	体～底部	複斜斜行縄文、折り返しミガキ	ミガキ	12	91
26	縄文第2号住居跡	床面	小形深鉢	口～底部	早期斜行縄文	ミガキ	12	91
27	縄文第2号住居跡	床面・埋土	深鉢	口～底部	早期斜行縄文、山形縞正倉文、早期斜行縄文	ナデ	12	91
28	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	体～底部	複斜斜行縄文、総紐正倉隆帯	ミガキ	12	91
29	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	体～底部	早期斜行縄文、底部ミガキ	ナデ	12	91
30	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	口～底部	総紐正倉隆帯	ナデ	12	92
31	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	底部	複斜斜行縄文、底部ミガキ	ナデ	12	92
32	縄文第2号住居跡	P1内埋土層	深鉢	突形	山形縞正倉隆帯、早期斜行縄文、横縞イ、アスファルト痕	ミガキ	13	92
33	縄文第2号住居跡	床面直上	深鉢	体部	複斜斜行縄文、横位縞縄文	ミガキ	13	92
34	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	複斜斜行縄文	ミガキ	13	92
35	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	複斜斜行縄文	ミガキ	13	92
36	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	総紐正倉、総紐正倉隆帯、複斜斜行縄文	ミガキ	13	92
37	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	弁状突起、総紐正倉、総紐正倉隆帯、爪形刺文	ミガキ	13	92
38	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	総紐正倉、総紐正倉隆帯	ミガキ	13	92
39	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	体部	竹管平行状縞、爪形刺文、早期斜行縄文	ナデ	13	92
40	縄文第2号住居跡	床面直上	深鉢	体部	総紐正倉隆帯、早期斜行縄文	ナデ	13	92
41	縄文第2号住居跡	埋土	鉢	口縁部	縄文	ナデ	13	92

縄文第3号住居跡

本遺構は段丘の先端部にあり、斜面下方の南側はわずかに流失している。畑地造成の際に削平されたためか、表土を20cmほど除去したところ八戸火山灰層があらわれ、そこに円形の輪郭で検出された。

遺構 (図14、写真図版6)

(位置) 調査区南側の段丘の先端に位置する。この付近は河川による侵食作用が激しく、本来の段丘面はもっと川寄りに延びていたと思われる。

(重複) 第70号土坑に載られ、第72号土坑を載る。また、第4号住居跡と重複しており、本遺構はそれよりも古い。

(埋土) 全体に黒褐色土を主体とし、中に層状の褐色土、ブロック状の暗褐色土、部分的に炭化物粒を含む。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 4.6m×4.8m

(壁) 東壁が直立する以外は外傾して立ち上がる。壁高は30～38cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とする。ほぼ平坦で全体に硬く締まる。

(柱穴) PP1～PP4の4個が検出された。PP1、PP2のどちらかとPP3、PP4は主柱穴と思われる。

(炉) 複式炉1基が住居跡の南寄りに検出された。残存状況は良好で、前庭部に直径約40cmの掘り込みを持つ。焼土は最大で8cmの厚さを測り、焼成も良好である。

(炭化材) 中央部からわずかに北寄りに2片検出された。

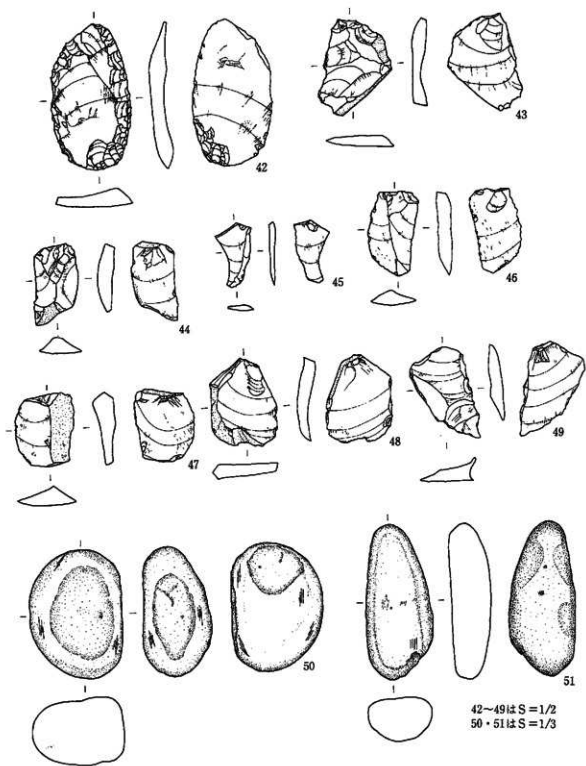


図15 縄文第3号住居跡(2)

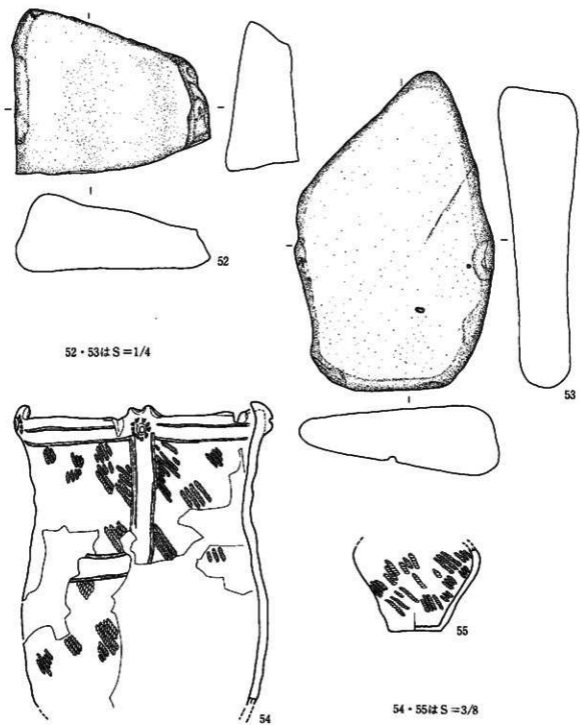


图16 縄文第3号住居跡(3)

(その他) P1は北東壁際にある小ピットで、直径33cm、深さ12cmである。

(時期) 縄文時代中期末葉

遺物 (図15・16、写真図版93・94)

(石器) 42は楕円形の素材に急角度の刃部をつけた凸刃の削器、43、44、45は縁辺部に使用痕のある剥片、46、47、48、49は細部加工剥片である。50、51は擦痕のみられる礫、52、53はともに両面使用の粗製石皿である。

(土器) 2点掲載したが、いずれも床面から出土した。54は中期大木10式土器である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
54	縄文第3号住居跡	床面	椀鉢	口～体部	突起、ボタン状突起、平行波線、J字状横文等、樹状突起、単線斜行横文	ナデ	16	94
55	縄文第3号住居跡	床面	小皿	体～底部	単線斜行横文	ナデ	16	94

縄文第4号住居跡

本遺構も第3号住居跡と同様に、南側は流失しており、全体を調査できなかった。八戸火山灰層に黒色土の広がりで見出されたが、当初は大きな落ち込みと考えていたものである。トレンチを入れたところ多量の土器片が出土したため、住居跡を予想して精査した。

遺構 (図17、写真図版7)

(位置) 第3号住居跡と同じ。

(重複) 第73、74、75号土坑をすべて載る。第1号竪穴状遺構とも載りあうが、本遺構のほうが新しい。

(埋土) 上位は十和田B火山灰を含む黒色土、中位はわずかに南部浮石粒を含む黒褐色土、下位はまばらに炭化物粒を含むにぶい黄褐色土である。

(平面形) 楕円形 (規模) 6.0m×7.0m前後

(壁) 南壁を除き外反ぎみに立ち上がる。壁高は90cm～100cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、平坦で硬く締まっている。

(柱穴) P P1からP P10の10個が見出された。主柱穴はP P2、P P10などが考えられる。詳しくは後述するが、本遺構は建て替え縮小されている可能性があり、上記以外の柱穴の中には、建て替え後に伴う柱穴と考えられるものが含まれている。

(炉) 住居跡中央部からわずかに南寄りに、石囲炉が見出された。楕円形状を呈し、規模は82cm×88cmである。焼土は直径50cmの円形を呈し、厚さは最大で9cmを測る。焼成は良好である。

(炭化材) 焼失に伴う炭化材等は見つからなかった。

(その他) 精査の段階で、本遺構の床面から30cmほど上位に炉跡が2基重なって見出された。ともに石囲炉で、それぞれの炉内には焼土がみられる。そのレベル差は数cmである。1棟の住居跡しか想定していなかったため、これらの炉跡の住居全体のプランはつかめないうえであった。よって、炉跡として処理したが、炉の検出状況や住居跡の埋土の状況から、本遺構が建て替え

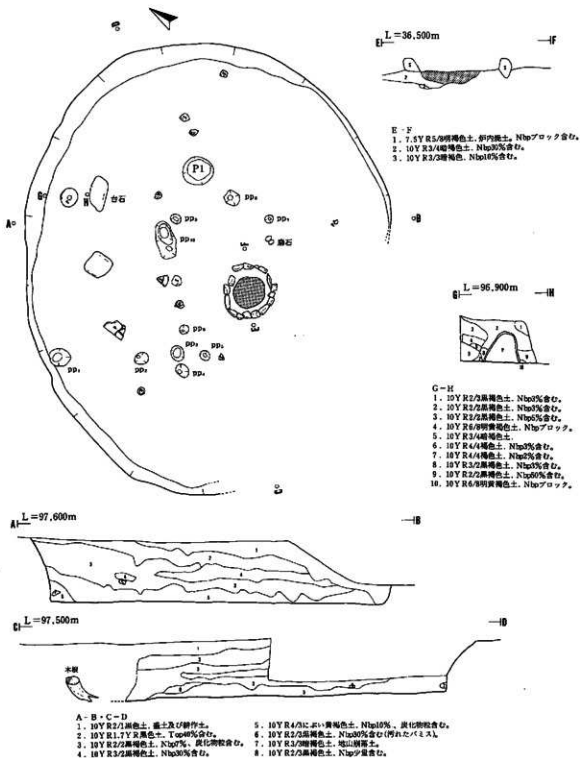


図17 縄文第4号住居跡(1)

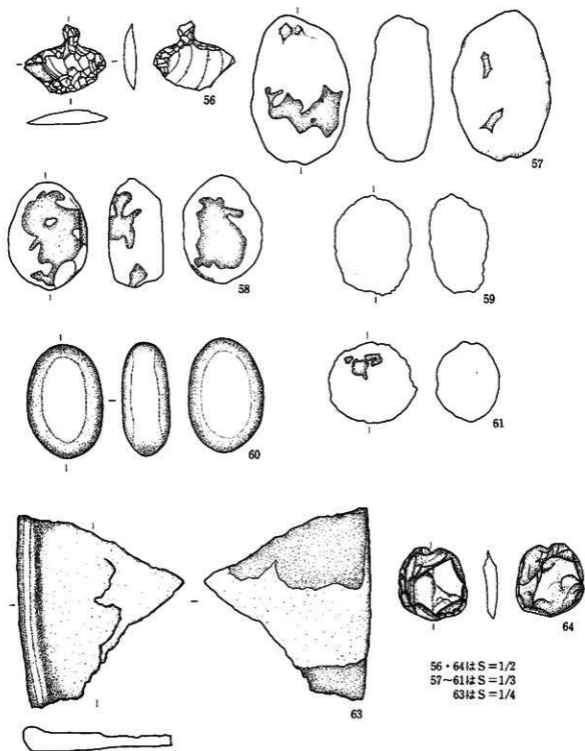
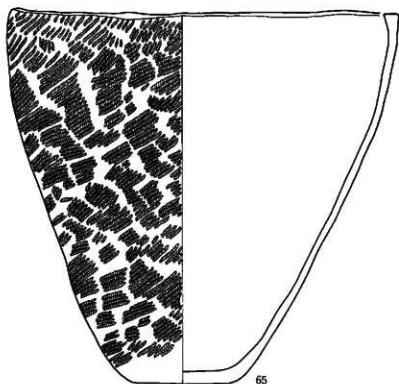
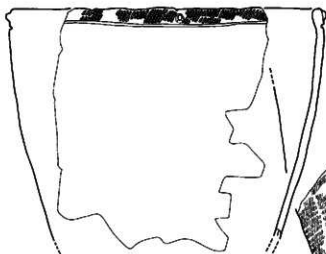


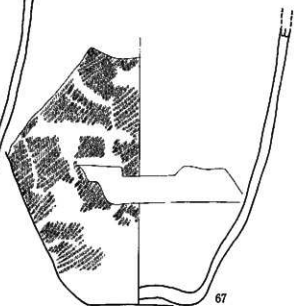
図18 縄文第4号住居跡(2)



65



66



67

65は $S = 1/4$
66・67は $S = 3/8$

図19 縄文第4号住居跡(3)

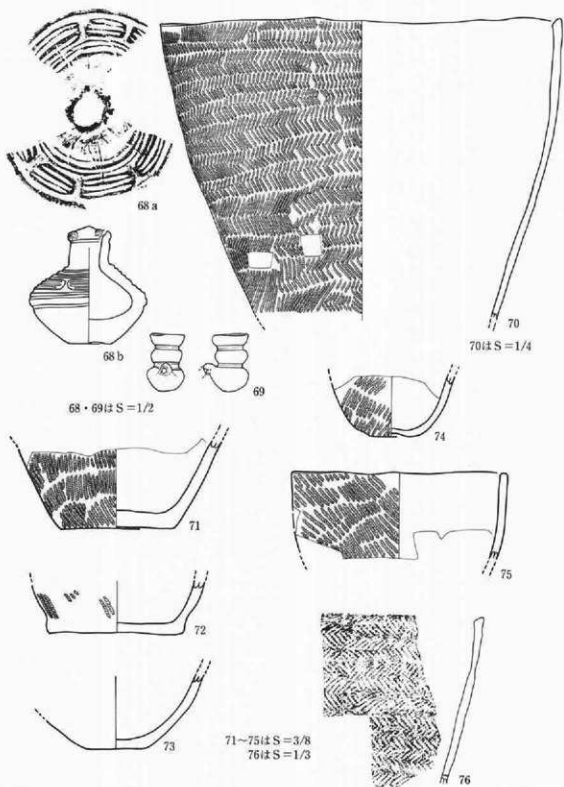


図20 縄文第4号住居跡(4)

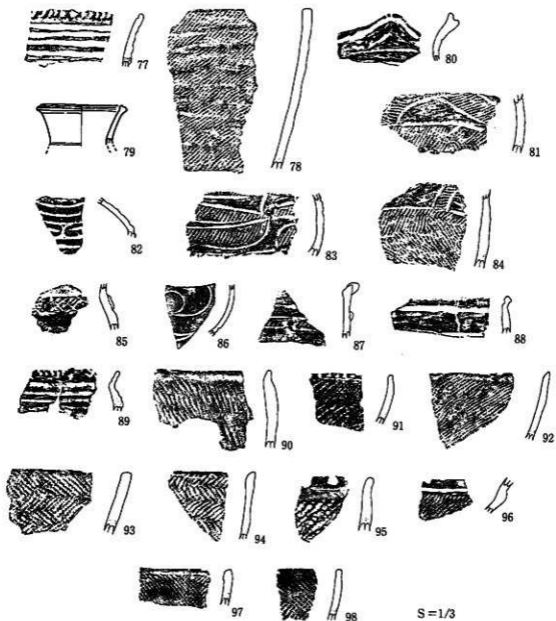


図21 縄文第4号住居跡(5)

縮小された際の炉となる可能性がある。柱穴PP3～PP7、PP9などはこれらの炉跡に伴うものかもしれない。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図18～21、写真図版95・96)

(石器) 56は横長の石匙で、緩い凸状の縁辺に片面からの刃部加工が施される。57、58、59、60、61は磨石であるが、60以外は花崗岩質のため風化が激しく、使用痕跡は明瞭でない。62(図、写真略)は53×60cmを測る台石で床面出土、63は縁辺がつくり出されている石皿の欠損品である。64は円盤状石製品である。

(土器) 大量の土器が出土しているが、そのうち34点掲載した。器種は粗製深鉢・浅鉢・鉢・壺・注口土器のミニチュアなどで、65は床面に倒立していた完形の粗製深鉢である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文 様 ほか	内面	図版	写真
65	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	完形	早期斜行縄文	ミギキ?	19	95
66	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	口～体部	折り返し口縁、口縁部斜行縄文、コブ、体部ミギキ	ミギキ	19	95
67	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	深鉢	体～底部	無彫、早期斜行縄文	ナゲ	19	95
68	縄文第4号住居跡	床面	小磨石	完形	尖形文字文、ミギキ、突起	—	20	95
69	縄文第4号住居跡	住居付近	ミニチュア	完形	注口土器のミニチュア、彫刻付帯	—	20	95
70	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	口～体部	羽状縄文	ナゲ	20	95
71	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	底部	早期斜行縄文	ナゲ	20	96
72	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	底部	早期斜行縄文	ナゲ	20	96
73	縄文第4号住居跡	床面	鉢	体～底部	あげ底	ナゲ	20	96
74	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	小磨石	体～底部	早期斜行縄文、あげ底	ミギキ	20	96
75	縄文第4号住居跡	埋土中位	鉢	口～底部	早期斜行縄文	ミギキ	20	96
76	縄文第4号住居跡	Q2埋土	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミギキ	20	96
77	縄文第4号住居跡	埋土上位	鉢	口縁部	刻目、平行沈線、口唇部内面に沈線	ナゲ	21	96
78	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	口～体部	早期斜行縄文	ミギキ	21	96
79	縄文第4号住居跡	Q3埋土	豆	口縁部	口唇部沈線、(内外溝)	ミギキ	21	96
80	縄文第4号住居跡	埋土中位	鉢	口縁部	山形突起	ナゲ	21	96
81	縄文第4号住居跡	伊付近	鉢	体部	磨製縄文	ナゲ	21	96
82	縄文第4号住居跡	埋土上位	豆	胴部	尖形文字文	ミギキ	21	96
83	縄文第4号住居跡	埋土中位	壺	胴部	環形文	ナゲ	21	96
84	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	鉢	体部	磨製縄文	ナゲ	21	96
85	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	深鉢	体部	網目状沈線、コブ	ミギキ	21	96
86	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	体部	磨製縄文	ミギキ	21	96
87	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	口縁部	コブ、平行沈線、斜行縄文	ミギキ	21	96
88	縄文第4号住居跡	埋土上位	浅鉢	口縁部	沈線(内外溝)	ミギキ	21	96
89	縄文第4号住居跡	埋土上位	浅鉢	口～体部	刻目、突起、平行沈線	ナゲ	21	96
90	縄文第4号住居跡	Q3埋土	深鉢	口～体部	早期斜行縄文	ナゲ	21	96
91	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	鉢	口縁部	刻目、無彫	ナゲ	21	96
92	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口～体部	早期斜行縄文	ナゲ	21	96
93	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミギキ	21	96
94	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミギキ	21	96
95	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	口唇部ミギキ、早期斜行縄文	ナゲ	21	96
96	縄文第4号住居跡	埋土上位	浅鉢	体部	早期斜行縄文、ミギキ	ミギキ	21	96
97	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	内面への折り返し口縁、早期斜行縄文	ナゲ	21	96
98	縄文第4号住居跡	埋土上位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ナゲ	21	96

縄文第5号住居跡

現在の段丘面の最先端部にあり、八戸火山灰層で黒褐色土の円形の輪郭を確認した。削平を受けており、掘り込みは浅い。斜面下方は輪郭が不明瞭であった。

遺構 (図22、写真図版8)

(位置) 調査区最南端に位置し、すぐ南側は段丘崖である。

(重複) 第83号土坑と載りあうが、本遺構のほうが古い。

(埋土) 黒褐色土の単層に、褐色の崩落土や黄褐色土の小ブロックを含む。

(平面形) 円形 (規模) 3.12m×3.18m

(壁) すべて直立ぎみに立ち上がる。壁高は10cm～20cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、中央部がやや高くなる。炉のまわりは硬く締まっている。

(柱穴) P P1～P P9の9個が検出されたが、すべて10cm以下と浅い。

(炉) 通常の石囲炉の外側に?記号状に礫を巡らせる特異な形態を持つ。石囲炉内には深鉢形土器の体部が埋設されている。規模は、石囲炉部分が46cm×51cmで、全体では長さ140cm、幅96cmを測る。内側の炉の構成礫と外側の礫の間には20cmほどの隙間があり、その北側の隙間部分には10cm×16cmの焼土が形成されている。

(炭化材) 検出されなかった。

(その他) 住居跡南側に出入口の痕跡と思われる礫と柱穴 (P P3、P P5) が見られる。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図23・24、写真図版97)

(石器) 99は縦長の石匙で、ノッチ以外は片面からの刃部割削が全周する。100、101、102は磨石であるが、100と102は風化が著しい。

(土器) 出土量は少ないが、その中から5点掲載した。104は炉内に埋設された深鉢で口縁部と底部を欠く。その他は埋土からの出土である。

番号	出土地点	別位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
103	縄文第5号住居跡	床面	鉢	口～底部	口唇部斜行縄文、突起(中空)、黒色	ミガキ	23	97
104	縄文第5号住居跡	炉内埋設	深鉢	体部	単節斜行縄文	ミガキ?	23	97
105	縄文第5号住居跡	Q1埋土	深鉢	口～体部	斜目、入組三文文、単節斜行縄文	ナデ	24	97
106	縄文第5号住居跡	Q3埋土	皿	口縁部	突起、平行波線、雲形文	ミガキ	24	97
107	縄文第5号住居跡	Q3埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	24	97

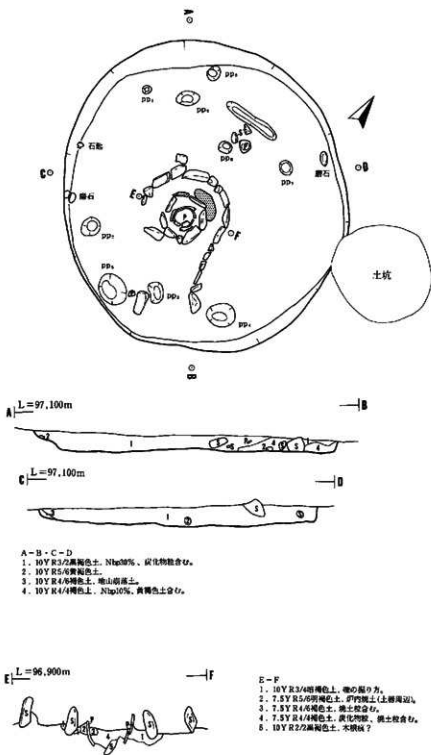
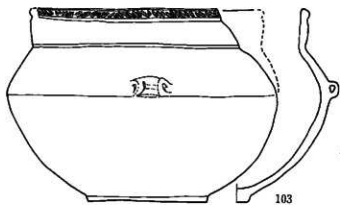
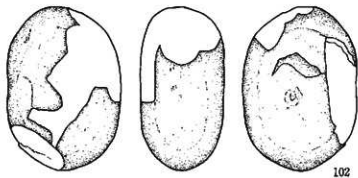
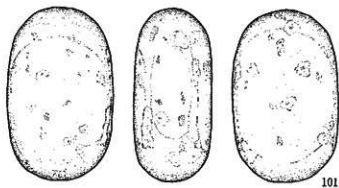
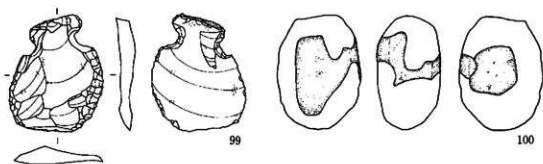


図22 縄文第5号住居跡(1)



99は S = 1/2
 100~102は S = 1/3
 103は S = 3/8

图23 縄文第5号住居跡(2)

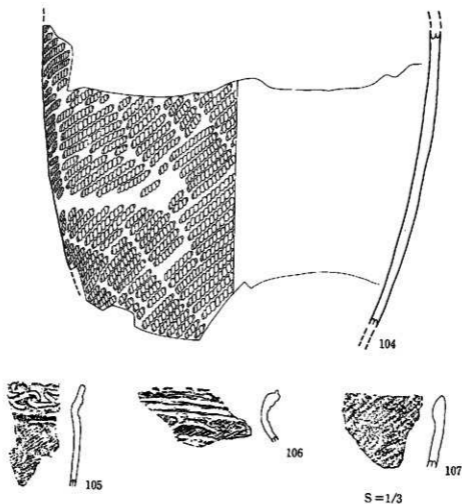


図24 縄文第5号住居跡(3)

縄文第6号住居跡

第5号住居跡と同様に段丘のへりで検出された。住居跡の南側1/2程度が流出しており、全体は調査できなかった。また、遺構の上部は削平されている。

遺構(図25、写真図版9)

(位置) 調査区最南端部にあり、第5号住居跡とは北東方向に約2mの距離がある。

(重複) 第86、87、88号土坑が床面で検出された。本遺構が新しい。

(埋土) 南部浮石をわずかに含む暗褐色土の単層である。

(平面形) 隅丸長方形か? (規模) 短軸3.26cmで長軸は不明。

(壁) 南壁は不明で、その他はすべて外傾する。壁高は18cm~22cmである。

(床面) 凹凸があり、わずかに南側に傾斜している。

(柱穴) PP1~PP4の4個が検出された。PP3は新期の柱穴で、それ以外は本遺構に伴う。

(炉) 住居跡のほぼ中央と思われる部分に、土器埋設炉が1基検出された。焼土は土器の周辺に形成され、規模は35cm×43cm、厚さは最大で14cmを測る。炉の付近に隙があるが、検出状況から石皿炉の構成隙とは考えにくい。

(炭化材) 数片検出されたが、焼失に伴うものかは不明である。

(その他) なし

(時期) 縄文時代晩期?

遺物 (図26、写真図版98)

(石器) 108、109は偏平な自然石の両面を使用した石皿で、ともに焼成を受けている。

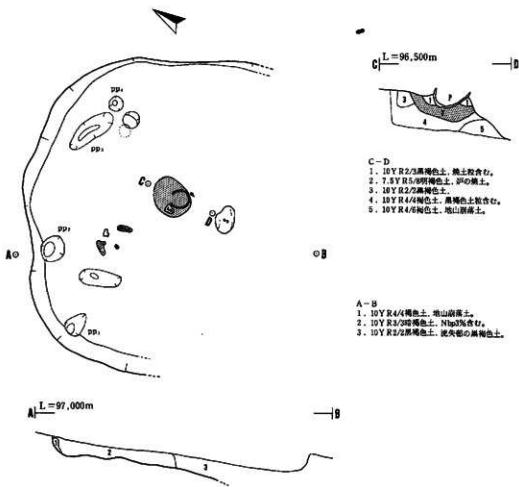


図25 縄文第6号住居跡(1)

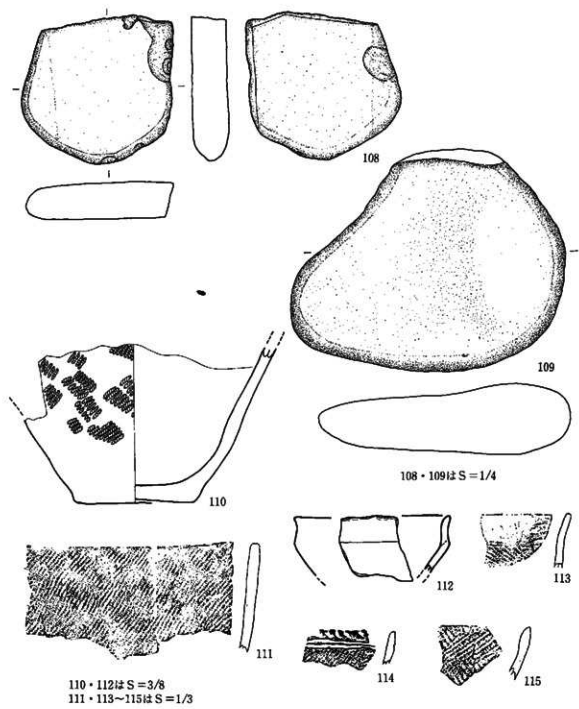


图26 縄文第6号住居跡(2)

(土器)流出しているため出土量は少ない。掲載した6点のうち炉の埋設土器である110以外は埋土から出土している。鉢・壺・深鉢がみられる。

番号	出土地点	附 位	器 種	部 位	文 様 ほ か	内面	図版	写真
110	縄文第6号住居跡	床面	深鉢	口～底部	単線縄文、幾何線格文、各部ミガキ	ナデ	26	98
111	縄文第6号住居跡	Q1埋土	深鉢	口～底部	単線斜行縄文	ミガキ	26	98
112	縄文第6号住居跡	Q2埋土	浅鉢	口～底部	何目?	ナデ	26	98
113	縄文第6号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	単線斜行縄文	ミガキ	26	98
114	縄文第6号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	何目、矢形、下行沈線、単線斜行縄文	ミガキ	26	98
115	縄文第6号住居跡	Q2埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	26	98

縄文第7号住居跡

第5、6号住居跡と同様の検出状況であるが、南側の流出が少なくほとんど全体が調査できた。この付近は削平が八戸火山灰層にまでおよんでおり、上部はかなり削り取られている。

遺構 (図27、写真図版10)

(位置) 第6号住居跡の北東、約4mに位置する。

(重複) 第99号土坑が炉の下に検出された。

(埋土) 黒褐色土を主体とし、暗褐色土、南部浮石粒のブロックを壁際を含む。

(平面形) 楕円形状 (規模) 3.2m×3.0m前後

(壁) すべて外反して立ち上がる。壁高は南壁を除き13cm～15cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、南側に緩く傾斜している。硬く締まっている。

(柱穴) 検出されなかった。

(炉) 住居跡中央部からわずかに南寄りに石囲炉が検出された。規模は57cm×62cmほどで一部礫が抜けた痕跡がみられる。焼土は34cm×45cmの楕円形状で、厚さは最大で8cmである。

(炭化材) 見られなかった。 (その他) なし

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図27、写真図版98)

(石器) 116は刃部調整は明瞭でないが、石筥の欠損品で両面加工が施される。

(土器) 10点掲載した。深鉢・鉢・注口土器などがみられるが、117は床面から、125は炉内から出土している。

番号	出土地点	附 位	器 種	部 位	文 様 ほ か	内面	図版	写真
117	縄文第7号住居跡	床面	深鉢	口～底部	単線斜行縄文、ナデ	ナデ	27	98
118	縄文第7号住居跡	Q1埋土	注口土器	注口部	—	—	27	98
119	縄文第7号住居跡	Q2埋土	深鉢	口縁部	折り返し口縁、斜行縄文	ミガキ	27	98
120	縄文第7号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	平行沈線	ナデ	27	98
121	縄文第7号住居跡	Q2埋土	鉢	口縁部	幾何的縄文、コブ	ミガキ	27	98
122	縄文第7号住居跡	Q2埋土	鉢	口縁部	単線斜行縄文、コブ	ミガキ	27	98
123	縄文第7号住居跡	Q2埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文	ナデ	27	98
124	縄文第7号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	単線斜行縄文	ナデ	27	98
125	縄文第7号住居跡	炉内	深鉢	底部	単線斜行縄文	ナデ	27	98
126	縄文第7号住居跡	Q1埋土	鉢	底部	沈線区画、コブ	ナデ	27	98

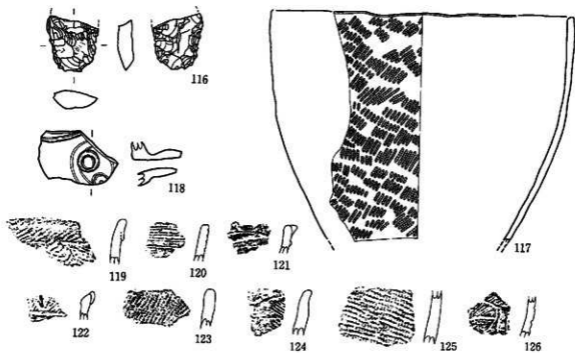
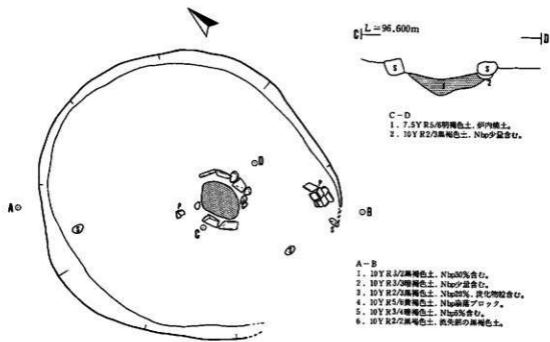


図27 縄文第7号住居跡

縄文第8号住居跡

本遺構のあるVID区は、調査区南東部では最も地山標高が高く、トレンチャーによる擾乱が著しい。耕作土を除去するとすぐに八戸火山灰層が見られ、その面で黒褐色土の長方形の広がり確認された。その検出状況から、本来は南部浮石層下に見られる縄文時代早期の住居跡を予測して精査したものである。なお、検出プラン内には炭化物粒が散在していた。

遺構（図28、写真図版11）

（位置）中世の第4号住居跡と隣合う。間隔は2mほどである。（重複）なし

（埋土）上位は黒褐色土、壁際から下位にかけては黄褐色土や明褐色土が主体となる。全体に、炭化物粒、焼土粒をまばらに含む。

（平面形）長楕円形（規模）3.7m×2.8m

（壁）すべて直立ぎみに外傾する。壁高は42cm～56cmである。

（床面）八戸火山灰層を床面とし、細かな凹凸はあるが、全体に平坦である。

（柱穴）壁柱穴51個、中央付近に1個が検出された。壁柱穴の間隔は6cm～16cmほどで、個々の規模は、直径10cm前後、深さは10cm～50cmである。また、住居跡の中央部側に傾けられていたと考えられる柱穴も認められた。

（炉）焼成は良くないが、南隅付近に地床炉が検出された。33cm×50cmの不整形を呈し、最大厚は20cmである。さらにその下部にもわずかに焼成を受けている様子が観察された。

（炭化材）木材は検出されなかったが、炭化した堅果類（クルミ）が出土した。

（その他）なし

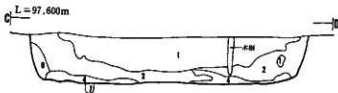
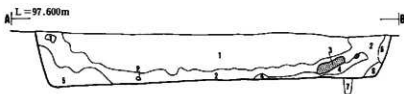
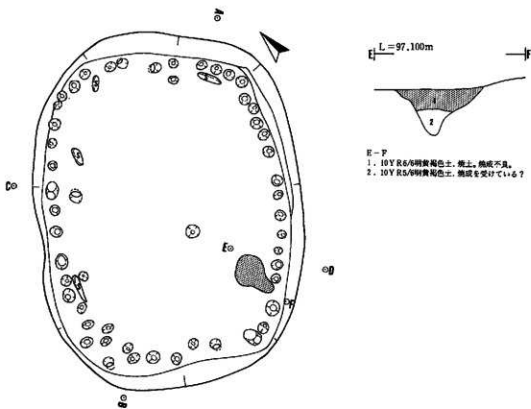
（時期）縄文時代早期前半

遺物（図29・30、写真図版99）

（石器）127は無茎平基の石剣で、先端部を欠く。128は側縁に細部加工のみられる剣片、129～132、133、134は加工の認められない剣片で、他に10点ほどあるが割愛した。これらはすべて埋土からの出土である。135は棒状の自然石の側縁に敲打の痕跡を持つもので、握りと思われる部分は使用による擦痕の光沢がみられる。136は磨石、137はチャートの石核である。

（土器）同一固体と思われるものもあるが9点載せた。いずれも破片で口縁部破片が2点、その他は体部のものであるが、138は尖底の底部に近い部分である。（濱田）

番号	出土地点	器名	器種	部位	文種ほか	内面	図版	写真
136	縄文第8号住居跡	埋土	深鉢	体～口縁	黒文、全蓋ミダキ、砂粒含む	ミダキ	30	99
139	縄文第8号住居跡	Q4埋土下位	深鉢	口縁部	黒文、黒線?	ナゲ	30	99
140	縄文第8号住居跡	Q4埋土	深鉢	口縁部	黒文、黒線?	ナゲ	30	99
141	縄文第8号住居跡	ベルト内	深鉢	体部	0段多量、小粒含む	ナゲ	30	99



- A - B
1. 10Y R2/2黄褐色土、炭化物粒、焼土散含む。
 2. 10Y R6/6黄褐色土、炭化物粒、浮石散含む。
 3. 7.5Y R5/6明褐色土、焼土散ブロック。
 4. 10Y R4/4褐色土、炭化材、焼土散多量に含む。
 5. 10Y R4/4褐色土、炭化物散含む。
 6. 10Y R6/6明黄褐色土、浮石粒わずかに含む。
 7. 10Y R5/6黄褐色土、竪柱穴の環土。

図28 縄文第8号住居跡(1)

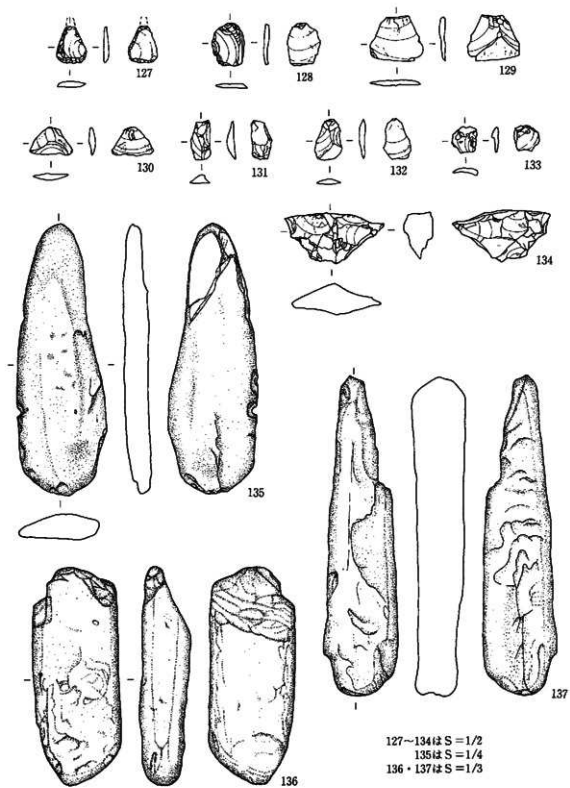
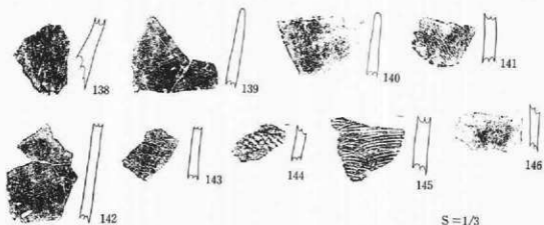


图29 縄文第8号住居跡(2)

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
142	縄文第8号住居跡	掘土下位	深鉢	底部	貝殻類散文	ナデ	30	99
143	縄文第8号住居跡	ペルト内	深鉢	底部	貝殻類散文、砂粒含む	ナデ	30	99
144	縄文第8号住居跡	Q1埋土上位	深鉢	底部	半面(?)斜行縄文、小礫含む	ナデ	30	99
145	縄文第8号住居跡	Q4埋土下位	深鉢	底部	散文、小礫、砂粒含む	ナデ	30	99
146	縄文第8号住居跡	掘土上位	深鉢	底部	散文、小礫含む、編織?	ナデ	30	99



S=1/3

図30 縄文第8号住居跡(3)

2. 縄文時代の竪穴状遺構と出土遺物

形状や規模からは住居跡と考えられるが、炉を持たないものについて竪穴状遺構と呼称した。大形の土坑との差異は、規模や付属する施設（ピットなど）の有無によった。

縄文第1号竪穴状遺構

調査区南端部の住居跡群とともに検出された。八戸火山灰層に黒色の輪郭が見え、精査したところ炉がなかったため、竪穴状遺構とした。

遺構（図31、写真図版12）

（位置）第3号住居跡の北東約3mに位置する。

（重複）第4号住居跡と載りあうが、新旧関係は不明である。

（埋土）黒色土を主体とし、壁際に黒褐色土を含む。全体に炭化材物粒が混じる。

（平面形）円形（規模）2.9m×3.0m前後

（壁）南東壁以外は外傾して立ち上がる。壁高は20cm～22cmである。

（床面）一部北側に南部浮土層を床面とするところがあるが、それ以外は八戸火山灰層である。

（時期）縄文時代晩期

遺物（図31、写真図版100）

（土器）掲載した7点のうち152は柱穴から、それ以外は埋土から出土した。鉢と深鉢が主体である。

番号	出土地点	材質	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
147	縄文第1号竪穴状	Q3埋土	鉢	ほぼ光形	突起と肩の口縁、平行沈線、単筋斜行縄文	ナデ	31	100
148	縄文第1号竪穴状	Q4埋土	深鉢	体部	単筋斜行縄文	ナデ	31	100
149	縄文第1号竪穴状	埋土	鉢	口～体部	平行沈線、単筋斜行縄文	ナデ	31	100
150	縄文第1号竪穴状	埋土	鉢	1.縁部	平行沈線、小波状口縁	ナデ	31	100
151	縄文第1号竪穴状	Q2埋土	鉢	体部	平行沈線、突起	ミガキ	31	100
152	縄文第1号竪穴状	柱穴1	鉢	口～体部	単筋斜行縄文	ナデ	31	100
153	縄文第1号竪穴状		深鉢	1.縁部	コブ、平行沈線	ミガキ	31	100

第2号竪穴状遺構

調査区南端部の段丘が張り出す部分で検出された。すぐ南側は段丘崖である。

遺構（図32、写真図版13）

（位置）VF区の住居跡群からは北西方向に10m以上の距離がある。

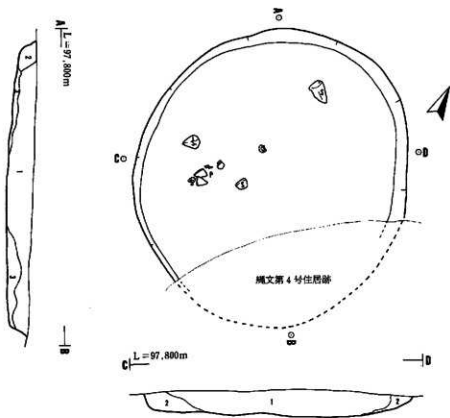
（重複）北西壁が第100号土坑に載られる。

（埋土）上位は暗褐色土と黒褐色土、中位から下位にかけては黒色土と黒褐色土が主体である。壁際は褐色土が厚く堆積する。

（平面形）隅丸方形（規模）3.15m×3.56m

（壁）緩く段を持ちながら立ち上がる。壁高は最大で88cmを測る。

（床面）最下部には浅いピットがあり、その周辺は平坦であるが、フカフカとやわらかい。



A-B-C-D

1. 10Y R2/1黒色土, Ntp0%, 炭化物含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土, Ntp5~10%含む。
3. 10Y R2/3黒褐色土, Ntp10%, 炭化物散在。



147はS=3/8



149



150



151



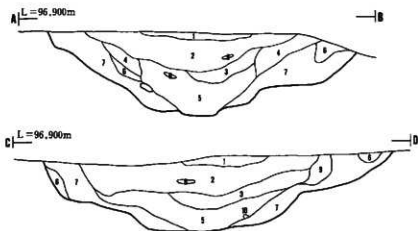
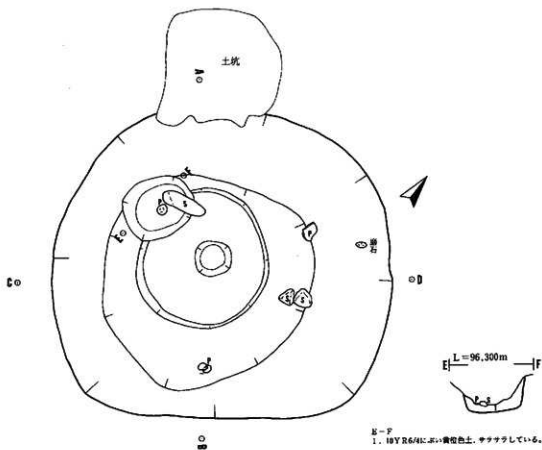
152



153

148~153はS=1/3

図31 縄文第1号竪穴状遺構



A-B - C-D

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 10Y R3/2暗褐色土。Nhp少量含む。 | 6. 10Y R4/3に多い黄褐色土。Nhpと浮石含む。 |
| 2. 10Y R2/1黒色土。Nhp7%。炭化材を含む。 | 7. 10Y R4/4褐色土。炭化物の含む。 |
| 3. 10Y R2/2黒褐色土。Nhp5%含む。 | 8. 7.5Y R4/6褐色土。黄土ブロック。 |
| 4. 10Y R2/2黒褐色土。Nhp7%。炭化物粒を含む。 | 9. 10Y R3/3暗褐色土。Nhp2%含む。 |
| 5. 10Y R2/ 黒色土。黄土。炭化物粒を含む。 | 10. 10Y R5/4に多い黄褐色土。ブロック状。 |

図32 縄文第2号壑穴状遺構(1)

(その他) 西隅に P 1 がある。63cm×75cmの隅丸長方形形状を呈し、ほぼ中央部に深さ10cm余りの小ピットを伴う。埋土からほぼ同じ大きさの黒色と白色の礫 1 個ずつと浮石数個が出土した。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図33、写真図版100)

(石器) 154は使用痕のある剥片、155は細部加工剥片で削器的に用いたものか。156は花崗岩質の磨石で風化が進んでいる。157と158は自然石で、ともに P 1 から並んで出土したものである。157は白色を、158は黒みを帯びた色を呈し、大きさや形状もほぼ同じことから、通常の道具とは違った用途を持つと考えられる。

(土器) 18点掲載した。埋土を中心に、深鉢・浅鉢・鉢・ミニチュア・注口土器が出土している。

番号	出土地点	附 位	器 種	型 位	文 様 等 号	内 図	頁 数	写 真
159	縄文第2号竪穴状	Q 1 埋土	鉢	浅～底部	留形文(磨削編文)、平行波線			ミダキ 33 100
160	縄文第2号竪穴状	Q 4 埋土	深鉢	底型	単線斜行編文、網代文			ナダ 33 100
161	縄文第2号竪穴状	Q 2～4	深鉢	体部	単線斜行編文			ナダ 33 100
162	縄文第2号竪穴状	土層 2	鉢	口～体部	全面ミダキ			ミダキ 33 100
163	縄文第2号竪穴状	土層 2	浅鉢	底型	羽状編文			ナダ 33 100
164	縄文第2号竪穴状	Pin 1 埋土	注口土器	注口部				— 33 100
165	縄文第2号竪穴状	Q 1 埋土	注口土器	注口部				— 33 100
166	縄文第2号竪穴状		深鉢	口～体部	単線斜行編文			ミダキ 33 100
167	縄文第2号竪穴状	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	単線斜行編文			ナダ 33 100
168	縄文第2号竪穴状	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	単線斜行編文			ナダ 33 100
169	縄文第2号竪穴状	Q 2 埋土	鉢	口縁部	縁帯、ミダキ、丹塗り?			ミダキ 33 100
170	縄文第2号竪穴状	Q 2 埋土	深鉢	口縁部	突起、ミダキ			ミダキ 33 100
171	縄文第2号竪穴状	Q 4 埋土	深鉢	口～体部	単線斜行編文			ミダキ 33 100
172	縄文第2号竪穴状	Q 2 埋土	鉢	体部	三叉文			ミダキ 33 100
173	縄文第2号竪穴状		小型鉢	口縁部	羽状編文、折り返し口縁			ナダ 33 100
174	縄文第2号竪穴状	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	単線斜行編文			ナダ 33 100
175	縄文第2号竪穴状		ミニチュア					— 100
176	縄文第2号竪穴状		ミニチュア	突起?				— 100

第 3 号竪穴状遺構

調査区南東端の段丘先端部に、5 基の土坑と重複して検出された。当初、大型のフラスコ状土坑として精査していたが、プランが広がり、炉がないため最終的には竪穴状遺構とした。

遺構 (図34、写真図版14)

(位置) 第 2 号竪穴状遺構とは南に28mの距離がある。

(重複) 第137号、138号、139号、140号、141号土坑と載り合う。すべて本遺構より古いと考えられるが、確実に言えるものは137号、138号、141号土坑である。

(埋土) 上位から中位は黒色土を、壁際から下位にかけては黒褐色土を主体とする。全体に南部浮石粒、まばらに中乗浮石粒を含む。炭化物粒や焼土粒は、下位を中心に混入する。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.10m×4.30m

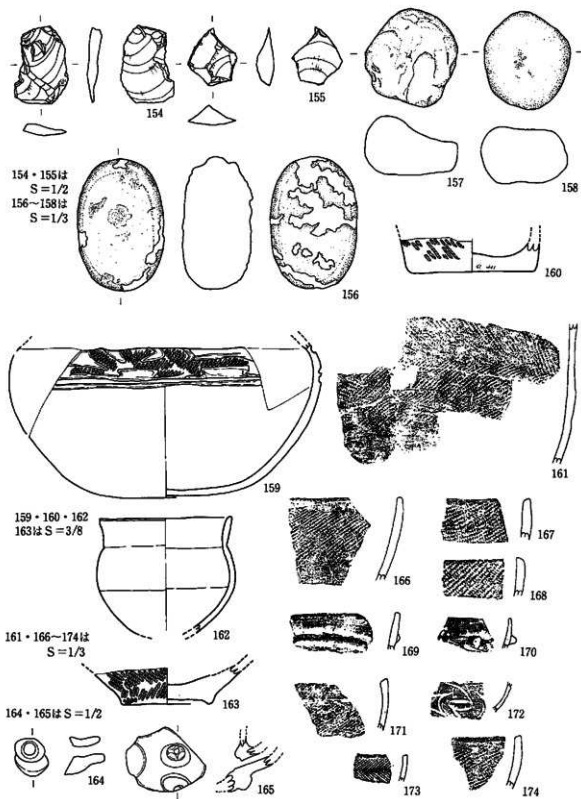


図33 縄文第2号壺穴状遺構(2)

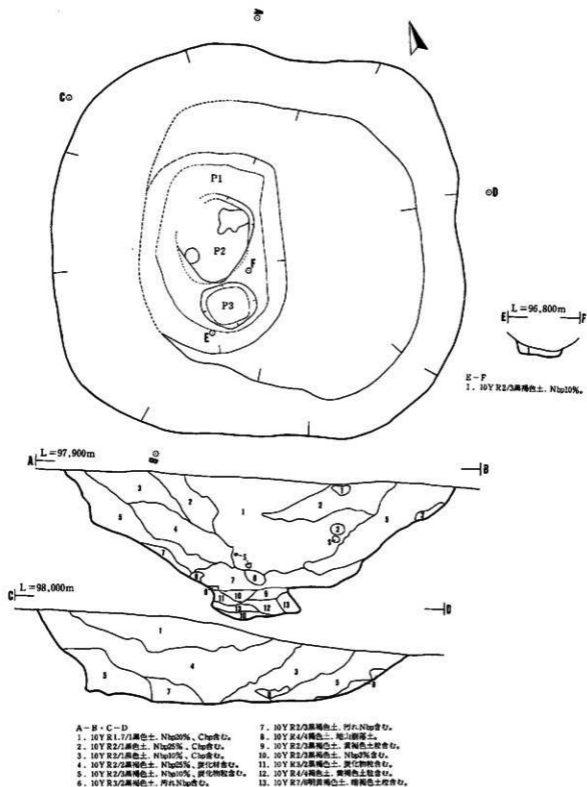


図34 縄文第3号壘穴状遺構(1)

(壁) 第2号竪穴状遺構と同様に、緩く外反ぎみに立ち上がる。壁高は105cm~120cmを測る。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、硬く締まる。わずかに波打つ感じである。

(その他) P1~P3の3基確認された。P1は本遺構の中央からわずかに西側にある長方形状のものである。規模は2.1m×1.5m、深さは23cmである。P2、P3はP1の底面に検出されたものである。P2は80cm×?の不整形で、深さは30cm。P3は50cm×60cmの円形で、深さは10cmを測る。P2は埋め戻されたものと考えられる。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図35~38、写真図版101・102)

(石器) 177は横長石匙で、片面から調整された刃部は直状を呈する。178も横長の石匙であるが、ほぼ半分を欠損している。凸状の急角度の刃部を持ち、つまみは作製途中で欠いたのか一部しかない。178は凹刃の刃部を持つ搔器、179、180は使用痕のみられる刮片、181、182は細部加工刮片とした。183は搔器と思われるもの。184は凹刃の磨製石斧で基部は欠損している。185は素材にあまり手を加えていない打製石斧で、自然面を多く残す。186は凹石、187と188は石製品であるが、187は石剣の欠損品と思われる。いずれも整形の際の摩擦痕が観察される。188は未製品で装飾品と思われる。偏平な楕円形の自然石の周囲を菱型になるように整形した痕跡がみられる。中心部には直径1.6mmの凹みを持つが、その裏面には加工調整はみられない。

(土器) 大量の土器が出土したが、口縁部破片を中心に36点掲載した。深鉢・鉢・台付浅鉢・甕がみられるが、いずれも埋土からの出土である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
189	縄文第3号竪穴状	埋土上位	台付浅鉢	ほぼ完全形	三叉文、平行沈線、単筋斜行縄文	ミガキ	36	101
190	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	小埋鉢	ほぼ完全形	突起、無筋斜行縄文	ナゲ	36	101
191	縄文第3号竪穴状	Q1埋土	深鉢	口~底部	羽状縄文、高台風	ミガキ	36	101
192	縄文第3号竪穴状	埋土上位	深鉢	体部	単筋斜行縄文	ナゲ	36	101
193	縄文第3号竪穴状	埋土上位	深鉢	口~体部	小波状?1線、沈線、無筋斜行縄文	ミガキ	36	102
194	縄文第3号竪穴状	Q2埋土中~下位	浅鉢	口~体部	突起突起、三叉文、平行沈線、単筋斜行縄文	ミガキ	36	102
195	縄文第3号竪穴状	埋土	浅鉢	口~体部	短足、突起、三叉文、平行沈線、羽点文、無筋斜行縄文	ミガキ	36	102
196	縄文第3号竪穴状	Q1埋土中~下位	深鉢	口~体部	単筋斜行縄文	ナゲ	37	102
197	縄文第3号竪穴状	埋土	深鉢	口~体部	三叉文、平行沈線、単筋斜行縄文	ナゲ	37	102
198	縄文第3号竪穴状	Q1埋土上位	深鉢	口~底部	小波状口縁、口縁部の一部に突起	ミガキ	37	102
199	縄文第3号竪穴状	埋土	深鉢	口~体部	波状口縁、二叉突起、平行沈線、単筋斜行縄文	ミガキ	37	102
200	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	甕	口~唇部	口唇部単筋斜行縄文、唇部単筋斜行縄文	ミガキ	37	102
201	縄文第3号竪穴状	Q2埋土中~下位	甕	口~唇部	三叉文、平行沈線、単筋斜行縄文	ナゲ	37	102
202	縄文第3号竪穴状	埋土中~下位	深鉢	口~体部	突起によるコブ	ナゲ	37	102
203	縄文第3号竪穴状	ベルト内	深鉢	口縁部	半円状突起沈線、平行沈線、二単位突起	ミガキ	37	102
204	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	38	102
205	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	深鉢	口~体部	短足、単筋斜行縄文	ナゲ	38	102
206	縄文第3号竪穴状	Q1埋土中~下位	深鉢	口縁部	短口、上部突起の口縁、無筋斜行縄文、沈線	ミガキ	38	102
207	縄文第3号竪穴状	ベルト内	深鉢	口~体部	単筋斜行縄文	ミガキ	38	102
208	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	深鉢	口~体部	無筋斜行縄文	ナゲ	38	102

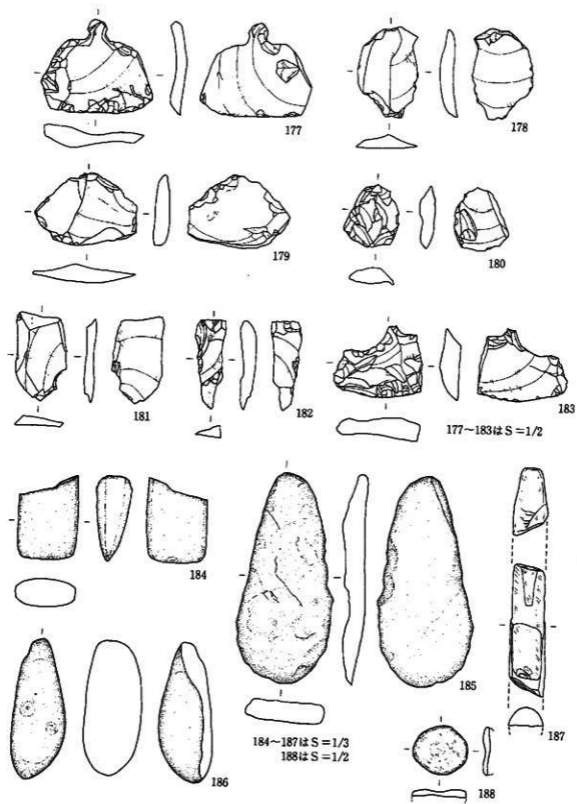


図35 縄文第3号壺穴状遺構(2)

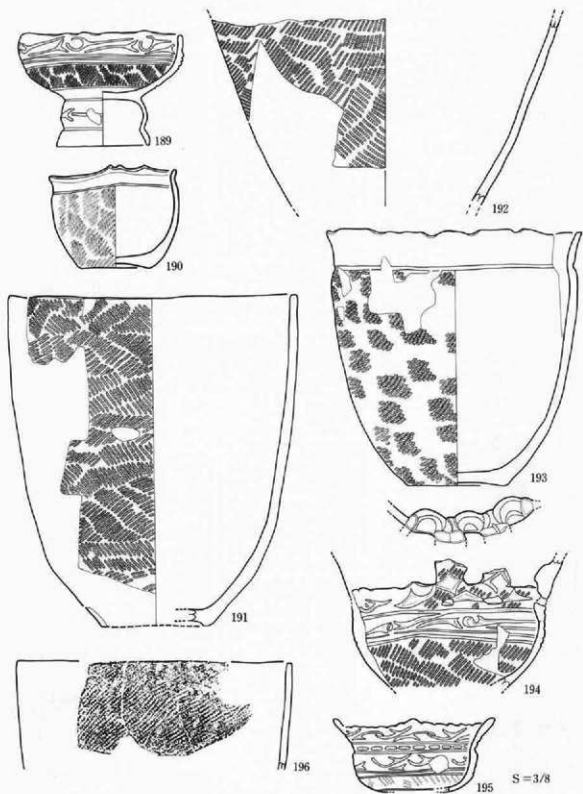
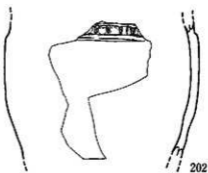
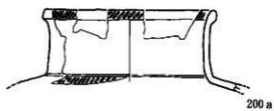
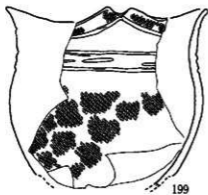
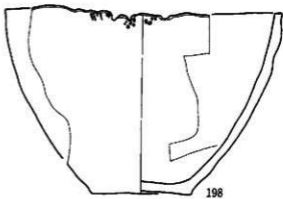
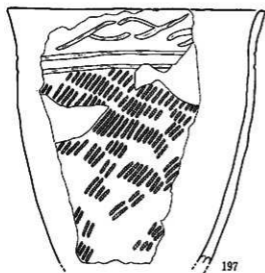


图36 绳文第3号竖穴状遺構(3)



S=3/8

图37 绳文第3号竖穴状遗構(4)

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
209	縄文第3号壺穴状	Q2 埋土上位	小笠壺	体部	平行沈線, 単節斜行縄文		ナデ	38 102
210	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土上位	钵	口縁部	半円状突起沈線, 平行沈線, 朝霞文		ミダキ	38 102
211	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土中～下位	深鉢	口～体部	単節斜行縄文		ミダキ	38 102
212	縄文第3号壺穴状	Q2 埋土中～下位	深鉢	口～体部	縹引?		ナデ	38 102
213	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土中～下位	深鉢	口～体部	小笠状口縁, 単節斜行縄文		ミダキ	38 102
214	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土上位	钵	口～体部	ミダキ, 単節斜行縄文		ナデ	38 102
215	縄文第3号壺穴状	埋土	深鉢	口～体部	小笠状口縁, 三叉文, 平行沈線		ナデ	38 102
216	縄文第3号壺穴状	Q2 埋土上位	深鉢	口縁部	朝霞によるコブ状突起, 単節斜行縄文		ミダキ	38 102
217	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土上位	钵	口～体部	平行沈線, 朝霞		ナデ	38 102
218	縄文第3号壺穴状	Q2 埋土上位	钵	口～体部	沈線文, コブ, 単節斜行縄文		ナデ	38 102
219	縄文第3号壺穴状	Q3 埋土上位	钵	口～体部	平行沈線, ミダキ		ナデ	38 102
220	縄文第3号壺穴状	埋土	深鉢	口縁部	三叉文		ナデ	38 102
221	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土中～下位	钵	口縁部	半圓状文?		ナデ	38 102
222	縄文第3号壺穴状	埋土	甕	体部	沈線文		ナデ	38 102
223	縄文第3号壺穴状	Q1 埋土上位	深鉢	体部	平行沈線, 沈線文, 斜行縄文		ミダキ	38 102
224	縄文第3号壺穴状	埋土	深鉢	体部	沈線文, 単節斜行縄文		ミダキ	38 102

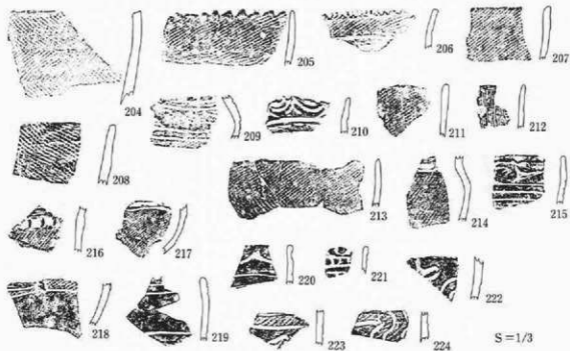
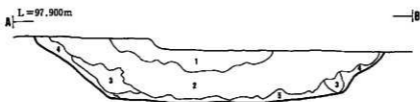
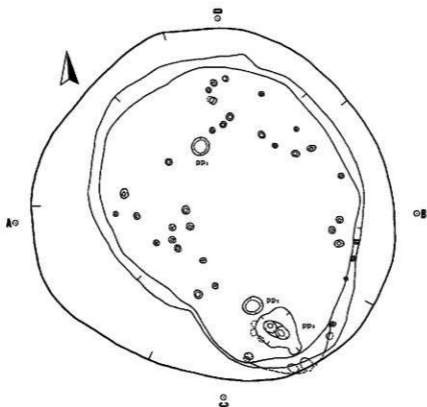


図38 縄文第3号壺穴状遺構(5)



- A-B・C-D
1. 10Y R2/1 黒色土、Ntp6%、Chp含む。
 2. 10Y R3/2 暗褐色土、Ntp、Chp、褐色土を含む。
 3. 10Y R3/3 暗褐色土、Ntp、地山崩落土含む。
 4. 10Y R4/4 褐色土、Ntp少量含む。
 5. 10Y R5/3 暗褐色土、黄褐色土含む。
 6. 10Y R6/6 暗黄褐色土、地山崩落土。
 7. 10Y R7/4c 赤・黄褐色土、崩落土？
 8. 10Y R2/2 黒褐色土、Ntp15%~20%含む。
 9. 10Y R3/4 暗褐色土、Ntp、褐色土含む。



S=1/3

図39 縄文第4号壘穴状遺構

第4号竪穴状遺構

V D区からV E区にかけてみられる埋没谷の西側の落ち際付近に確認された。検出プランから住居跡を予想したが、炉がみられず、出土遺物も土器片が1片だけである。

遺構 (図39、写真図版15)

(位置) V D区のほぼ中央に位置する。(重複) なし

(埋土) 上位は黒色土、中位は褐色土、下位は暗褐色土からなり、壁際に地山崩落土を含む。南部浮石粒、中振浮石粒は、上位から中位にかけて混入する。

(平面形) 円形 (規模) 3.60m×3.80m

(壁) 南壁は外反ぎみで、他は緩やかに外傾する。壁高は37cm~64cmである。

(床面) 硬く締まっている。南側に半円状の張りだしがみられる。

(柱穴) PP1~PP3の3個確認された。PP1とPP2は主柱穴と考えられるが、PP3は不明である。

(時期) 縄文時代

遺物 (図39、写真図版102)

(土器) 遺物は深鉢の体部破片1点のみ出土している。

(濱田)

番号	出土地点	層位	層種	部位	文 様 注 記	内面	図版	写真
225	縄文第4号竪穴状	Q 2埋土	深鉢	体部	卑部斜行縄文		ナゲ	39 102

表3 縄文竪穴住居跡・竪穴状遺構出土土器一覧表

番号	分類	器 種	出土地点	層 位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石 質	図版	写真	備 考
1		使用痕のある削片	縄文第1号住	埋土Q 2	4.3	3.0	1.0	13.9	赤色凝灰岩	8	89	
2	h	凹石、巖石	縄文第1号住	床面	12.0	6.7	3.2	310	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	8	89	
3	h	石岸	縄文第1号住	床面	3.9	3.0	1.0	27.1	チャート質粘板岩	8	89	
4	h	半円状燧石	縄文第1号住	床面	11.5	5.9	2.6	300	砂質粘板岩、北上山地、古生界	8	89	
10	a	石旗	縄文第2号住	埋土Q 1	2.2	1.5	0.5	1.4	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
11	a	石旗	縄文第2号住	埋土Q 1	3.0	1.5	0.6	2.5	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
12	a	石旗	縄文第2号住	床面(中層内)	4.0	2.0	1.2	10.5	チャート質粘板岩	10	90	
13		使用痕のある削片	縄文第2号住	埋土Q 1	3.5	2.1	0.6	3.3	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
14		使用痕のある削片	縄文第2号住	埋土Q 2	3.5	2.9	0.9	11.0	赤色凝灰岩	10	90	
15	f	網縷加工削片	縄文第2号住	埋土Q 3	2.9	2.7	0.7	5.4	赤色凝灰岩	10	90	
16	f	網縷加工削片	縄文第2号住	掘り方埋土	3.0	4.5	1.0	14.2	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
17	h	巖石	縄文第2号住	床面	13.0	5.4	2.8	280	砂質粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
18	h	磨石、巖石	縄文第2号住	床面	14.7	8.3	4.8	880	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	10	90	
19	h	凹石	縄文第2号住	床面	12.8	9.9	3.4	570	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	10	90	
20	h	磨石	縄文第2号住	床面	12.3	6.9	5.6	670	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	11	91	
21	h	磨石	縄文第2号住	床面	10.6	5.6	3.7	290	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	11	91	
42	d	柄杓	縄文第3号住	床面	7.6	4.2	0.9	33.7	硬質粘岩、奥羽山地、中新統	15	93	
43		使用痕のある削片	縄文第3号住	Q 4埋土	5.1	3.9	0.7	12.2	硬質粘岩、奥羽山地、中新統	15	93	
44		使用痕のある削片	縄文第3号住	Q 4埋土	4.1	2.4	0.9	0.8	硬質粘岩、奥羽山地、中新統	15	93	
45		使用痕のある削片	縄文第3号住	Q 4埋土	3.4	2.0	0.3	1.5	硬質粘岩、奥羽山地、中新統	15	93	
46	f	網縷加工削片	縄文第3号住	Q 4埋土	4.5	2.7	0.7	9.0	硬質粘岩、奥羽山地、中新統	15	93	
47	f	網縷加工削片	縄文第3号住	Q 4埋土	3.9	3.1	1.2	11.9	硬質粘岩、奥羽山地、中新統	15	93	

番号	分類	部 類	出土地点	層 位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石 質	図版	写真	備 考
48	f	細部加工・削片	縄文第3号住	Q4埋土	4.8	3.5	1.1	14.8	瑠璃岩、奥羽山地、中新統	15	93	
49	f	細部加工・削片	縄文第3号住	Q4埋土	4.9	3.6	0.8	11.0	瑠璃岩、奥羽山地、中新統	15	93	
50	h	磨石	縄文第3号住	床面	10.2	7.4	5.6	900	石英岩、北上山地、中生界	15	93	
51	h	磨石	縄文第3号住	Q4埋土	12.2	5.2	3.2	30.0	凝灰岩、北上山地、中生界	15	93	
52	l	石皿(磨製)	縄文第3号住	床面	17.2	20.8	7.8	3870	凝灰岩、北上山地、中生界	16	94	
53	f	石皿(磨製)	縄文第3号住	床面	33.2	21.4	8.4	7300	凝灰岩、北上山地、中生界	16	94	
56	b	石匙	縄文第4号住	床面	3.6	4.3	0.7	8.4	粘板岩、北上山地、中生界	18	95	
57	h	磨石	縄文第4号住	埋土下位	11.3	7.7	5.1	630	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
58	h	磨石	縄文第4号住	床面土層内	8.5	6.3	4.2	290	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
59	h	磨石	縄文第4号住	床面土層内	7.8	6.1	4.6	300	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
60	h	磨石	縄文第4号住	埋土下位	8.9	5.9	3.7	300	安山岩、北上山地、中生界	18	95	
61	h	磨石	縄文第4号住	埋土中~下位	6.9	6.4	6.3	290	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
62	f	台石	縄文第4号住	床面	53.4	27.7	6.3	1700	凝灰岩、北上山地、中生界	-	-	
63	l	石皿	縄文第4号住	床面直上	20.3	17.8	2.7	780	花崗閃緑岩、奥羽山地(?)新石器	18	95	
64	e	円筒状石製品	縄文第4号住	埋土下位	3.9	3.6	0.7	12.7	粘板岩、北上山地、中生界	18	95	
99	b	石匙	縄文第5号住	床面直上	5.1	5.0	1.0	26.9	瑠璃岩、奥羽山地、中新統	23	97	
100	h	磨石	縄文第5号住	床面土層内	8.9	6.7	5.0	430	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	23	97	
101	h	磨石	縄文第5号住	床面	13.6	8.5	6.2	1230	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	23	97	
102	h	磨石	縄文第5号住	床面	12.7	9.0	8.8	1170	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	23	97	
108	l	石皿	縄文第6号住	床面	15.3	16.2	3.9	1700	凝灰岩、北上山地、中生界	26	98	
109	l	石皿	縄文第6号住	床面	23.2	29.0	7.3	6500	凝灰岩、北上山地、中生界	26	98	
116	c	石鏃	縄文第7号住	Q2埋土	2.8	2.7	0.9	6.7	凝灰岩、奥羽山地、中新統	27	98	
127	a	石鏃	縄文第8号住	埋土	1.9	1.6	0.3	1.2	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
128	f	細部加工・削片	縄文第8号住	ベルト内	2.2	1.8	0.3	1.4	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
129	削片	縄文第8号住	埋土	2.4	2.8	0.3	2.4	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99		
130	削片	縄文第8号住	埋土	1.5	2.2	0.3	0.9	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99		
131	削片	縄文第8号住	埋土	2.0	1.0	0.4	0.9	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99		
132	削片	縄文第8号住	ベルト内	2.1	1.9	0.3	0.8	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99		
133	削片	縄文第8号住	Q3埋土	1.3	1.3	0.3	0.6	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	29	99		
134	削片	縄文第8号住	Q4埋土	2.6	5.0	1.6	17.4	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99		
135	h	磨石	縄文第8号住	床面直上	28.5	9.3	2.7	960	凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
136	h	磨石	縄文第8号住	床面直上	17.4	6.9	3.6	700	粘板岩、北上山地、中生界	29	99	
137	l	石核	縄文第8号住	床面直上	25.3	3.8	4.2	340	チャート、北上山地、中生界	29	99	
154	使用済のある削片	縄文2号埋土	Q4埋土	4.0	2.8	0.7	7.1	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	33	100		
155	f	細部加工・削片	縄文2号埋土	Q2埋土	3.0	2.6	0.9	5.7	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	33	100	
156	h	磨石	縄文2号埋土	床面	10.3	6.8	5.6	580	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	33	100	
157	l	自然石	縄文2号埋土	Ph1埋土	7.6	7.3	3.5	300	石英、北上山地、中生界	33	100	
158	自然石	縄文2号埋土	Ph1埋土	7.7	7.9	4.1	380	安山岩、北上山地、中生界	33	100		
177	b	石匙	縄文3号埋土	埋土上位	4.9	5.7	1.0	27.2	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	
178	b	石匙	縄文3号埋土	埋土	4.8	3.2	0.7	11.2	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	
179	使用済のある削片	縄文3号埋土	埋土中~下位	3.8	5.3	0.9	28.6	粘板岩、北上山地、中生界	35	101		
180	使用済のある削片	縄文3号埋土	ベルト内	3.3	2.9	0.8	8.2	チャート、北上山地、中生界	35	101		
181	f	細部加工・削片	縄文3号埋土	埋土上位	4.4	2.7	0.5	7.1	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	
182	f	細部加工・削片	縄文3号埋土	埋土中~下位	4.7	1.9	0.6	3.6	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	35	101	
183	d	錐錐	縄文3号埋土	埋土	4.7	3.8	1.3	20.0	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	
184	石片	縄文3号埋土	埋土上~中位	6.2	4.3	2.2	120	赤褐色凝灰岩、奥羽山地、中新統	35	101		
185	石片	縄文3号埋土	Q2埋土	8.5	7.6	1.9	280	砂質粘板岩、北上山地、中生界	35	101		
186	h	磨石	縄文3号埋土	Q2埋土上位	11.0	4.3	4.5	240	凝灰質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	
187	m	石刺	縄文3号埋土	埋土	-	2.8	-	84.4	粘板岩、北上山地、古生界	35	101	
188	m	石製品(磨製品?)	縄文3号埋土	Q1埋土上位	3.9	4.3	0.5	16.7	玄武岩質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	未製品

3. 古代の竪穴住居跡と出土遺物

古代の住居跡は7棟検出されているが、すべて8世紀の奈良時代の遺構である。すべて平成4年度の調査で検出された。遺構名の付け方は縄文時代のもと同様である。

先述のように、縄文時代の遺構は調査区南側に延びる段丘の先端部に集中したが、古代の住居跡はその北西方向約20m～35mの範囲に、ほぼ一定の間隔をもって検出されている。地形的には、緩やかな斜面が終わり段丘崖まで続く平坦面にあり、検出面はⅡ層下部～Ⅲ層上部の黒色土である。

検出状況は、削平の著しい1棟を除き、十和田a降下火山灰と白頭山-苦小牧降下火山灰が、住居跡の方形の輪郭に円形に入り込んだ状態である。埋土に火山灰が混入しているため、地山よりも白っぽい黒色土が輪郭として見えた。また、検出の手がかりとして、煙出部と思われる部分に黄褐色の土粒がすべてに混入していた。

古代第1号住居跡

遺構 (図40、写真図版16)

(位置) 古代の住居跡群のなかでは北西側に位置し、古代第2号住居跡とは北東方向に6mほどの距離がある。

(埋土) 黒色土と黒褐色土を主体とし、中位の黒色土に両火山灰が含まれる。上位には、粒径3～30mmほどの角礫を多量に含む褐色土が厚さ約20cm堆積している。この褐色土が見られるのは本遺構だけであり、この土は人為的に埋め戻された可能性がある。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.30m×3.60m (主軸方向) N-63°-W

(壁) すべて緩やかに外反して立ち上がる。壁高は50cm～68cmである。

(床面) 南部浮石層を床面とし、わずかに波打つ。あまり締まりはない。

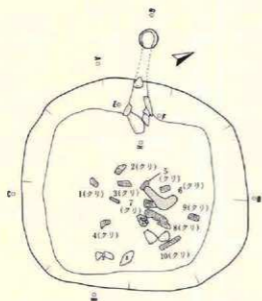
(柱穴) (土坑) とともに検出されなかった。

(炭化材) 住居跡中央部に、焼失に伴う炭化材10片と焼土が検出された。材は板材と思われるものがほとんどである。

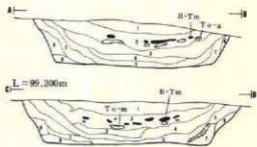
(カマド) (位置) 北西壁中央 (主軸方向) N-63°-W

(本体) 袖部および天井部の構成礫のみ残存する。芯材の礫はいずれも偏平なもので、それを垂直に立てて袖部を構築している。天井の礫は19cm×40cmを測り、本体中央部にずり落ちている。燃焼部の焼土は認められなかった。

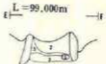
(煙道部、煙出部) くり貫き式の煙道を持ち、底面は約10度の角度で緩やかに下がり煙出部に至る。煙出部の底面には12cmほど掘り込まれた小ピットを伴い、そこから検出面までの深さは77cmである。各部の埋土には焼土粒を含み、煙出口付近の埋土には黄褐色土粒が多量に含まれ



L = 99,400m



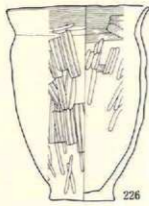
- A - B - C - D
1. 10Y R 4/6 褐色土、角礫を多数に含む。
 2. 10Y R 2/1 黒色土、火山灰を含む。
 3. 10Y R 1.7/1 黒色土、炭化材を含む。
 4. 10Y R 2/2 黒褐色土、火山灰少量を含む。
 5. 10Y R 3/1 黒褐色土。
 6. 10Y R 2/1 黒褐色土、地山崩落土。
 7. 10Y R 2/1 黒色土。
 8. 10Y R 2/1 黒色土。



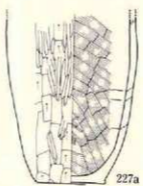
- E - F - G - H
1. 10Y R 2/1 黒色土、黄褐色土粒を含む。
 2. 10Y R 6/9 明黄褐色土、天井部崩落土。
 3. 7.5Y R 3/4 暗褐色土、深い色部の堆土。
 4. 7.5Y R 4/3 褐色土、焼成を受けていないNhp。
 5. 7.5Y R 2/2 黒褐色土、堆土粒を含む。
 6. 10Y R 2/1 黒色土。
 7. 10Y R 2/2 黒褐色土、黄褐色土の小アブロックを含む。

タマフ (cm)

本	道	94	標	高	115	埋	深	34
体	幅	92	幅	16-28	埋	深	74	



226



227a



227b



228



229

図40 古代第1号住居跡

ている。

(遺物の出土状況) 埋土、床面の遺物とも壺のみである。床面からは完形品も出土している。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図40、写真図版103)

(土器) 226、227は床面から出土した壺で、227は口縁部を欠く。ともに底部外面は外側に張り出すが、226のほうが強い。228は無底式の甔で、内面下部に二個一対のくぼみを有する。木片等の支えに使用したものか。229は壺の口縁部で埋土から出土している。坏は出ていない。

古代第2号住居跡

遺構 (図41、写真図版17)

(位置) 古代の住居跡群の最も北側に位置する。古代第3号、古代第5号住居跡とはともに13mほど離れている。

(埋土) 上位と下位は黒色土を主体とし、中位に黒褐色土が入る。壁際に崩落土である黒褐色土と暗褐色土を含む。火山灰は中位の黒色土に含まれている。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 3.14m×3.30m (主軸方向) N-46°-W

(壁) 下部は直立して立ち上がり、上部は丸みを持って外傾する。壁高は最大で126cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とする。平坦で硬く締まる。

(柱穴) 東隅付近の壁際に1個検出された。その壁は柱が据えられていたためか、半月形に挟れている。柱穴は直径26cm、深さは13cmである。(土坑) 検出されていない。

(炭化材) 1片のみ出土したが焼失に伴うか不明である。

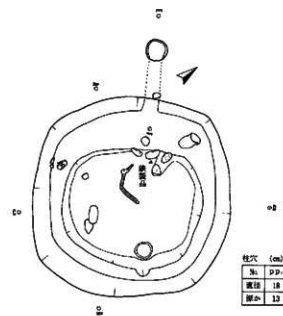
(その他) 当初は掘り込みの深さから、本遺構の下に他の遺構があることを予想していたが、精査していく段階で1棟の住居と判明した。通常の住居跡の床面をカマド部分を残し、長方形に掘り込んで、作業場などの施設として利用していたと考えられる。規模は188cm×220cmを測り、カマドからの深さはおよそ70cmである。その床面には、小規模な焼土と台石と思われる礫が見られ、何らかの作業をした痕跡と考えられる。

(カマド) <位置> 北西壁のやや北寄り <主軸方向> N-46°-W

<本体> 袖部芯材の礫3個が崩れ落ちて残り、支脚の礫は原位置のまま検出された。右袖部には張り付けたシルト質土が見られる。燃焼部の焼土は検出されなかった。

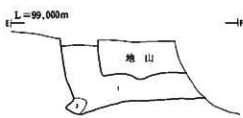
<煙道部、煙出部> くり貫き式の煙道を持つ。全長は短めで、底面は煙出部に向かって約10度の角度で緩やかに下がる。煙出部の底面には、小ビット状の掘り込みが見られる。検出面までの深さはおよそ60cmである。各埋土への焼土粒などの混入は少ない。

(遺物の出土状況) カマドの脇に完形の壺1点、埋土上部に坏、壺の破片が出ている。その他

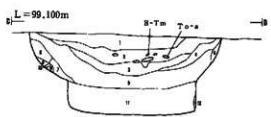
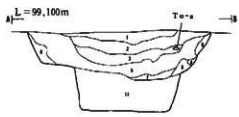


柱穴 (cm)

No.	PP.
直径	18
深さ	13



- E-F
1. 10Y R2/2黒色土。黄褐色土を含む。
 2. 10Y 2/2黒褐色土。炭化物を含む。



- A-B-C-D
1. 10Y R2/2黒色土。火山灰少量含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土。火山灰含む。
 3. 10Y R1.7/1黒色土。Ntp6%含む。
 4. 10Y R2/2黒褐色土。Ntp3%含む。
 5. 10Y R2/2黒褐色土。Ntp8-10%。炭化物を含む。
 6. 10Y R3/3黒褐色土。粘土層底土。
 7. 10Y R3/3黒褐色土。Ntp少量含む。
 8. 10Y R3/4暗褐色土。粘土層底土。
 9. 10Y R5/5黄褐色土。
 10. 10Y R1.7/1黒色土。
 11. 10Y R1.7/1黒色土。Ntp6%含む。
 12. 10Y R5/5黄褐色土。Ntp顕著ブロック。

カマフ (cm)

本	長さ	不明	長さ	幅	60	60	埋込	深さ	24
本	幅	不明	埋込	幅	24	60	埋込	深さ	60

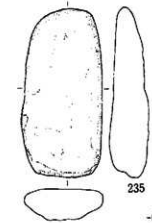
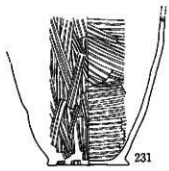
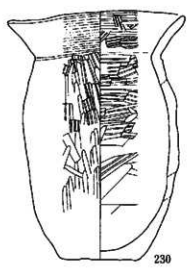


図41 古代第2号住居跡

には、角釘と思われる鉄製品がカマド付近から出土している。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図41、写真図版104)

(土器) 230～233は甕で、坏は出土していない。230は完形品でカマド付近から出土した。底部外面の張り出しはない。231は底部外面に張り出しを持ち、器面は内外面ともハケメ調整が卓越する。232は口唇部に凹状の沈線が巡り、頸部に緩い段を持つ。233は底部破片で、内外面ともヘラミガキで器面調整される。

(石器) 235は床面から出土した台石で、片面だけを使っている。その中央部には、使用による変色(焼成を受けている?)が認められる。小鍛冶に関する遺物か。

(その他) 234はカマドから出土した角釘の欠損品で、現存長3.3cmを測る。

古代第3号住居跡

遺構 (図42、写真図版18)

(位置) 古代第1号、古代第4号、古代第7号住居跡に三方向を囲まれた形で存在する。それぞれ、北西に9m、南東に7m、南西に6mほど離れている。

(埋土) 上位は黒色土、下位は黒褐色土で、壁際に崩落土を含む。火山灰は2層の黒色土内にレンズ状に堆積している。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 2.60m×3.12m (主軸方向) N-67°-W

(壁) すべて外傾する。壁高は47cm～51cmである。

(床面) 南部浮石層の上面を床面とする。あまり締まりはなく軟らかい。

(柱穴) 南隅と東隅に1個ずつ検出された。柱穴間の距離は165cmである。

(土坑) 検出されなかった。

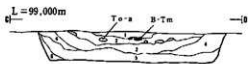
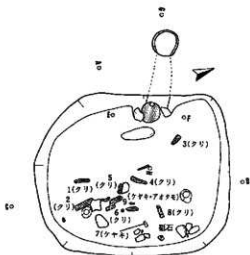
(炭化材) 住居跡中央部より東側半分、焼失に伴う炭化材と焼土が認められる。焼土は3カ所あり、炭化材の上に形成されている。材は板状のものが多く。

(カマド) <位置> 北西壁からわずかに北寄り <主軸方向> N-67°-W

<本体> 袖部と天井部の礫、燃焼部焼土、支脚の礫が残存する。両袖には1個ずつ礫が据えられ、シルト質土が張り付けられている。焼土は直径30cmの円形に発達し、厚さは最大で10cmを測る。天井部の構成礫は、20cm×53cmの偏平なもので、焚き口部分にずり落ちている。

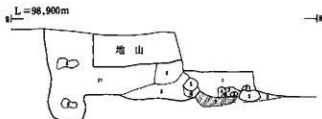
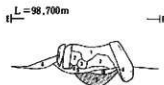
<煙道部、煙出部> くり貫き式の煙道で、底面は一端緩く下がった後再び上がり、煙出部の小ピットに至る。その小ピットは煙道の底面から23cmほど掘り込まれ、検出面からの深さは74cmである。煙道部入り口付近の埋土には、焼土粒や炭化物粒が含まれる。

(遺物の出土状況) 坏、甕の破片の他、カマド付近から土玉が、床面直上から砥石が出土して



A - B - C - D

1. 10Y R2/1黒色土、火山灰少量含む。
2. 10Y R2/1黒色土、火山灰含む。
3. 10Y R1.7/1黒色土、火山灰少量含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土、Ybp1%含む。
5. 10Y R2/1黒褐色土。
6. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質土。



柱穴 (cm)

No	PPa	PPb
1	15	18
2	20	20

カマド (cm)

本	長さ	50	厚	長さ	60	厚	長さ	41
体	幅	62	厚	幅	34-38	厚	幅	77



E - F - G - H

1. 10Y R2/1黒色土、黄褐色土粒を含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、黄褐色土粒を少量含む。
3. 10Y R5/8黄褐色土。
4. 10Y R3/2黒褐色土。
5. 10Y R3/4黄褐色土、淡い色調の粘土。
6. 10Y R3/2黒褐色土、粘質土の一部。
7. 5Y R4/6黄褐色土、粘質土。
8. 10Y R5/4に多い黄褐色土、黒色土小ブロック、黒土粒を含む。
9. 10Y R2/3黒褐色土、粘土粒、炭化材を含む。
10. 7.5Y R3/6黄褐色土、黄土。
11. 10Y R1.7/1黒色土、埋れている。

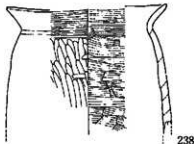
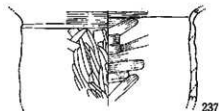


図42 古代第3号住居跡

いる。土器は埋土からの出土がほとんどである。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図42、写真図版105)

(土器) 236はロクロ不使用の丸底の坏で、体部外面の中央に段を持つ。口縁部は内湾ぎみに立ち上がる。237と238は甕の体部上半で、器面調整は同じだが237は口縁に、238は体部中央に最大径を持つ。

(石器) 241は大型の砥石で、4面を使用している。各使用面は凹状にくぼんでいる。242は三角形の断面を持つ自然礫の一面に擦面がみられる。砥石の可能性もある。

(その他) 239はカマドから出土した土鍾で長さ2.6cmを測る。240は円形の土玉で、直径1cmほどである。

古代第4号住居跡

遺構 (図43、写真図版19)

(位置) 古代の住居跡群のほぼ中心部に位置し、古代第3号住居跡とは西方向に7m離れている。

(埋土) 全体に黒色土が卓越し、下位や壁際に黒褐色土を含む。上位から中尉にかけて火山灰のブロックが点在する。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 3.80m×4.08m (主軸方向) N-72°-W

(壁) 外傾して立ち上がる。壁高は19cm～31cmである。

(床面) 南部浮石層を床面とする。平坦であり締まりはない。

(柱穴) (土坑) ともに検出されていない。

(炭化材) 焼失に伴う大量の炭化材と焼土が確認された。材は住居の中心部を除き、壁際に概ね放射状に検出された。板材と思われるものがほとんどである。焼土は3ヶ所にあり、いずれも焼成は良くない。

(カマド) <位置> 北西壁中央 <主軸方向> N-72°-W

<本体> 残存状況は良好である。袖部は両側で10個あまりの礫を芯材とし、黒色のシルト質土で被覆してつくられている。それらの礫の上には、天井部のものと思われる板状の扁平な礫が渡されている。焚き口付近にも同様の礫が1個崩落している。燃焼部の焼土は31cm×46cmの規模で、厚さは最大で8cmを測る。焼成は良好である。

<煙道部、煙出部> くり貫き式で全長130cmと長い煙道を持つ。底面はほぼ水平に煙出部に延びて立ち上がる。その底面には他で見られた小ピットはない。検出面からの深さは52cmである。埋土には全体に焼土粒を含み、煤けて青味を帯びている。

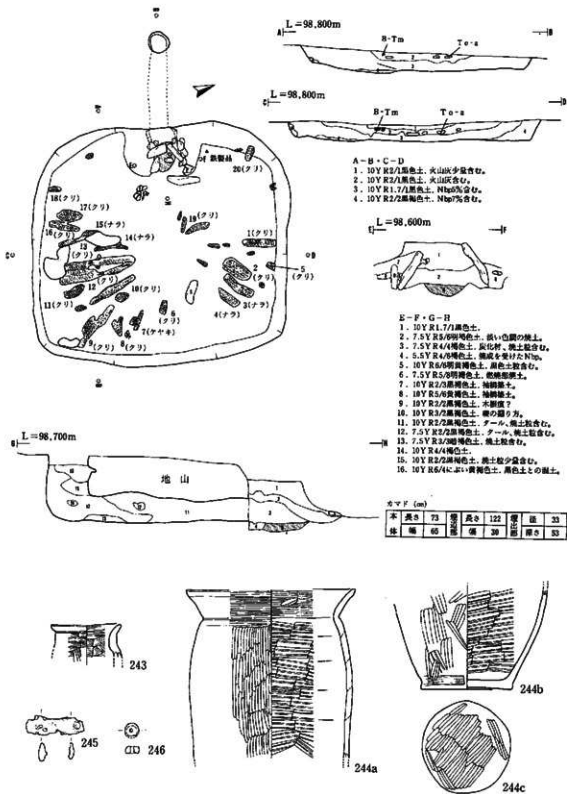


図43 古代第4号住居跡

(遺物の出土状況) 主に坏、甕が出ているが破片が多い。カマド付近に甕が多く出土した。その他には、カマド袖部で刀子と思われる鉄製品が、埋土上位から土玉1点が出土した。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図43、写真図版106)

(土器) 243は埋土上位から出土した小型甕の体部上半と思われる。特異な器形である。244は体部の一部を欠く甕で、口縁は外反して立ち上がり、口唇部でわずかに内湾する。また、頸部に篋による一条の沈線を持つ。底部外面はわずかに張り出す。

(その他) 245はカマドの袖上から出土した刀子の一部、246は直径1.1cmの偏平な黒色の土玉である。

古代第5号住居跡

遺構 (図44、写真図版20)

(位置) 古代の住居跡群のなかで最も東側に位置する。古代第2号、古代第4号住居跡とはともに12mほどの距離がある。

(埋土) 上位と中位は黒色土、下位は黒褐色土で、火山灰は上位の黒色土中に含まれている。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 2.88cm×3.50cm (主軸方向) N-63°-W

(壁) すべて外傾する。壁高は25cm～32cmである。

(床面) 南部浮土層を床面とし、全体に硬く締まる。凹凸がなく平坦である。

(柱穴) PP1からPP4の4個が検出された。それらは長方形に配置され、各柱穴間の距離はPP1とPP2が2.0m、PP3とPP4が2.1m、PP1とPP4が1.3m、PP2とPP3が1.2mである。

(土坑) 検出されていない。

(炭化材) カマド付近に1片だけ認められたが、焼矢の際のものであるかは不明である。

(カマド) <位置> 北西壁からわずかに北寄り <主軸方向> N-63°-W

<本体> 袖部、天井部の構成員、支脚、燃焼部焼土が残存する。袖部の礎は5個あり、うち2個は偏平なもので、地山を掘り込み埋め込まれている。天井部の礎は20cm×50cmの長方形で、焚き口手前に落ち込んでいる。焼土は24cm×30cmの楕円形を呈し、厚さは9cmほどである。

<煙道部、煙出部> 古代第4号住居跡と同様に、全長の長いくり貫き式の煙道を持つ。底面はほぼ水平に延び、煙出部の手前で深さ5cmほどのくぼみを有する。煙出部は煙道の底面から約10cm掘り込まれている。埋土には焼土粒等の混入は少ない。

(遺物の出土状況) 住居跡中央部付近の床面に甕の破片が散乱していた。坏は見られない。埋土から土玉1点が出ている。

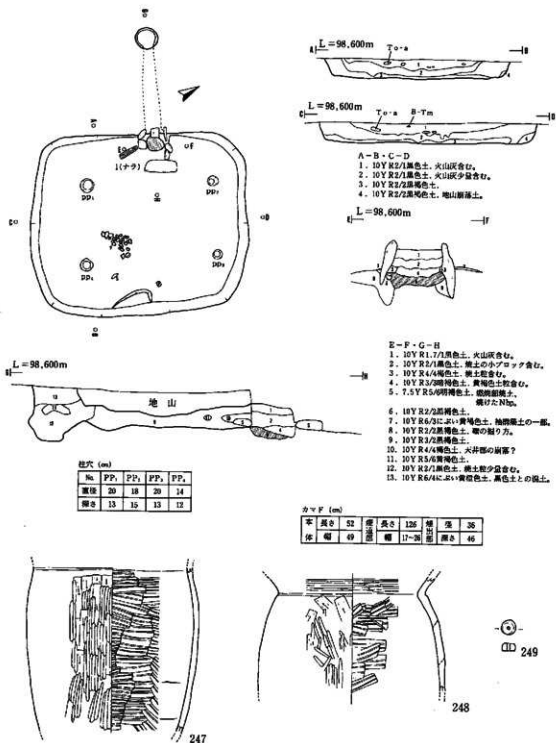


図44 古代第5号住居跡

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図44、写真図版106)

(土器) 247、248は甕の体部でともに頸部にわずかな括れが認められる。

(その他) 249は土玉で埋土から出土した。直径1.1cm。

古代第6号住居跡

遺構 (図45、写真図版21)

(検出状況) 畑地造成の際に削平を受けている段丘先端部で、縄文時代の遺構とともに検出された。表土を10cmほど除去した段階でうっすらとした輪郭が見えたが、すでにかなり削平されている状況であった。本遺構は第3号炉跡を載ってつくられている。

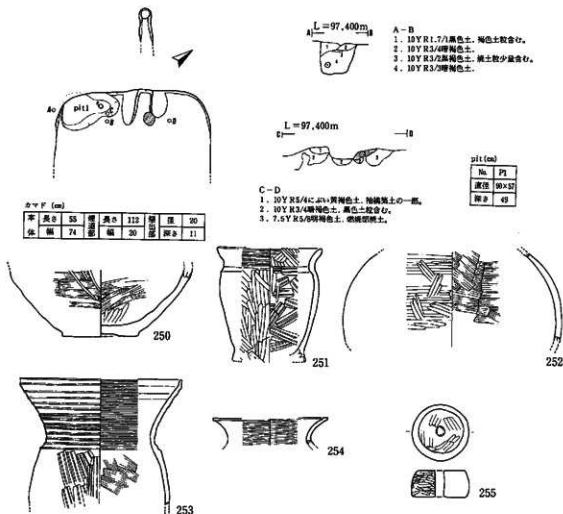


図45 古代第6号住居跡

(位置) 最寄りの古代の住居跡は第4号住居跡で、北西方向に12m離れている。

(平面計) 隅丸方形と思われる。(規模) 2.44m×? (主軸方向) N-53°-W

(埋土) (壁) ほとんど壁が立たず不明である。

(床面) 八戸火山灰層を床面とする。

(柱穴) 検出されなかった。

(土坑) カマドの左側に貯蔵穴1基が検出された。規模は55cm×90cmの楕円形状を呈し、深さは最大で59cmを測る。(炭化材) 認められない。

(カマド) <位置> 北西壁からわずかに北寄り <主軸方向> N-53°-W

<本体> 袖の一部と燃焼部の焼土のみ残存する。袖部はシルト質の黄褐色土で構築されているが、上部は削平されている。芯材の隙は見られない。焼土は直径19cm円形に形成され、厚さは5cm程度である。

<煙道部、煙出部> これも削平が著しく、そのため煙道の間が途切れている。くり貫き式か掘り込み式かは不明である。煙出部には小ピットを有していた痕跡が見られる。

(遺物の出土状況) 表土を剥いだ段階で北海道系の甕の破片が出ていたが、同一個体の破片が貯蔵穴内からも出土している。その他には、同じ貯蔵穴から土製紡錘車と海水産の二枚貝の貝殻が1点出土した。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図45、写真図版107)

(土器) 250～254はカマド脇のP1から出土した甕類である。251は最大径を体部中央に持つ球胴甕と思われる。底部は高台風のつくりがなされる。252は250と同様の甕の肩部である。253は外反する長い口縁部に数条の沈線を持つもので、口唇部は細く上方に引き出される。肩部は張らず緩く体部に至り、体部は縦位にハケメ調整が卓越する。焼成は非常に良好である。いわゆる擦文系と言われる土器と考えられる。251は小型甕で、底部外面は緩く張り出す。胎土には小礫を多く含む。254は口縁部破片で、口唇部上面にわずかに凹状のくぼみ(調整痕)を持つ。

(その他) 255は土製の紡錘車で全面がヘラミガキされる。これもP1の埋土から出土した。また、貝殻も同じ貯蔵穴から出ている。

古代第7号住居跡

遺構 (図46、写真図版22)

(位置) 古代の住居跡群の最西部に位置する。古代第3号住居跡が北東方向約6mにある。

(埋土) 上位と中位は黒色土、下位は黒褐色土で、火山灰は中位の黒色土に点在する。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.26m×4.42m (主軸方向) N-61°-W

(壁) 直立ぎみに外傾する。壁高は34cm~38cmである。

(床面) 平坦で締まっている。

(柱穴) 東隅と北東壁中央付近に1個ずつ検出された。本遺構に伴うか不明である。

(土坑) 検出されなかった。

(炭化材) 住居の中心部を除き、壁際に沿う形で散在している。焼失の際の炭化材と思われる。

材は板材が主で、中には角材も見られる。

(カマド) <位置> 北西壁中央 <主軸方向> N-61°-W

<本体> 残存状況は良好である。袖部の芯材の隙は偏平な長方形のもので、地山に半分ほど埋め込まれている。右袖は2個の隙が並べられている。天井部の隙2個も同様の形状を呈し、1個は原位置を保ったまま検出されたが、もう1個は床面に崩れ落ちている。燃焼部の焼土は、43cm×53cmの不整形で、厚さは最大で8cmである。焼成は良い。

<煙道部、煙出部> くり貫き式の長い煙道で、底面はほぼ水平に延びるが、煙出部手前から緩く上がる。煙出部の底面は2段になっており、深い掘り込みのほうは検出面から55cmの深さを測る。埋土は焼土粒や炭化物粒を含む黒褐色である。

(遺物の出土状況) カマド付近からの甕の破片の出土が多い。坏は1点のみでこれもカマド近くから出ている。また、縄文時代後期の土偶と思われるものが床面から出土した。

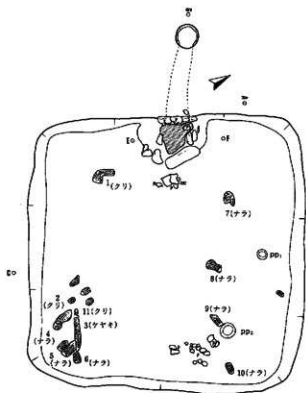
(時期) 8世紀中~後半

遺物 (図47、写真図版108・109)

(土器) 256はロクロ不使用の平底の坏である。内湾ぎみに立ち上がる口縁部は、ヨコナデ調整される。257~262は甕で、いずれも器面調整はヘラミガキが主体である。257は完形品で、口縁部は外反し、底部との境に軽い段を持つ。底部外面はわずかに張り出す。258は外傾する開きぎみの口縁と体部の間に沈線を持つ。260は内湾する長い口縁を持つが、頸部に明瞭な段はない。261は短めの口縁部は外反し、口唇部が横に張り出す。259、262は底部外面の張り出しを持たない。256、257、261、262などは胎土に小礫を多く含む。

(その他) 263は土偶の脚部と思われるもので埋土から、264は床面から出土した縄文時代後期のものと思われる土偶の頸部である。

(濱田)

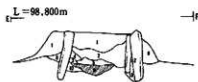
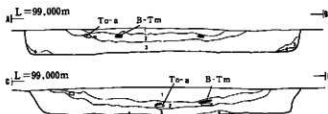


カメラ (m)

本	高さ	90	幅	長さ	110	階	数	36
体	幅	68	深	22-27	部	深さ	55	

柱穴 (m)

No.	99a	99b
直径	18	22
深さ	18	14



A-B・C-D

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp%含む。
2. 10Y R2/1黒色土。火山灰含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。火山灰少量含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp少量含む。
5. 10Y R1.7/1褐色土。

E-F・G-H

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp%含む。
2. 10Y R4/4褐色土。Nbp少量含む。
3. 10Y R4/4褐色土。黄い色調の壤土。
4. 10Y R2/1黒色土。
5. 7.5Y R5/6明褐色土。黄い色調の壤土。
6. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土粒含む。
7. 10Y R4/2にぶい黄褐色土。黄土粒含む。
8. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。粘状壤土。
9. 7.5Y R5/6明褐色土。粘状壤土。
10. 10Y R4/4褐色土。粘状壤土。
11. 7.5Y R5/6明褐色土。壤土ブロック。
12. 10Y R3/6暗褐色土。炭化粉粒。壤土粒含む。
13. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土粒。壤土粒含む。
14. 10Y R3/1黒褐色土。壤土粒含む。
15. 7.5Y R3/2黒褐色土。黄褐色土。壤土粒含む。
16. 7.5Y R5/6明褐色土。炭化粉粒。壤土ブロック含む。
17. 10Y R2/1黒色土。ダール。炭化材を多量に含む。



図46 古代第7号住居跡(1)

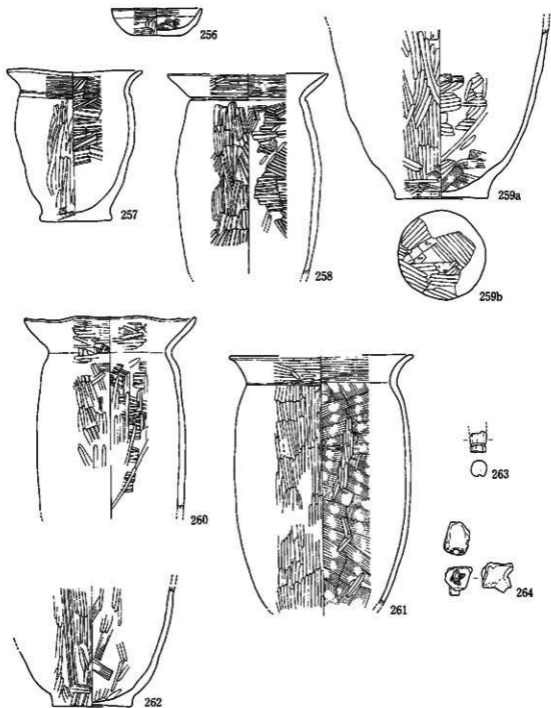


图47 古代第7号住居跡(2)

表4 古代腰穴住居跡出土遺物一覧表

〈 〉は推定口径、()は現存高・現存長

番号	種類	出土地点	層位	器種	部位	内面調整				外面調整				法量 (cm)		備考
						口縁部	体部	口縁部	体部	口径	底径	高さ				
226	土師器	古代第1号住	床面(土器1)	甕	ほぼ完形	ヘラナデ・ヨコナデ	ハクメ→ミガキ	ヘラナデ・ヨコナデ	ハクメ→ミガキ	15.3	7.0	20.7				
227	土師器	〃	床面(土器3)	甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ケズリ→ミガキ	—	—	7.4	(18.0)		底部ケズリ→ミガキ	
228	土師器	〃	床面(土器2)	甕	ほぼ完形	ヨコナデ	ハクメ→ミガキ	ヨコナデ	ミガキ	13.8	—	—	15.9		無底式(径5.9cm)	
229	土師器	〃	Q3埋土	甕	口縁部	ヨコナデ	—	ヘラナデ	—	(16.0)	—	—	(1.8)			
230	土師器	古代第2号住	床面(土器1)	甕	完形	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ→ミガキ	ヨコナデ	ハクメ→ミガキ	19.0	8.7	16.4				
231	土師器	〃	床面(土器3)	甕	体~底部	—	ハクメ	—	ハクメ	—	—	8.5	(15.0)		底部薄い	
232	土師器	〃	Q3埋土	甕	口縁部	ヨコナデ	—	ヨコナデ	—	(16.9)	—	—	(4.5)			
233	土師器	〃	G3埋土	甕	底部	—	ミガキ	—	ミガキ	—	—	< 8.7?	(3.0)		底部ミガキ	
234	鉄製品	〃	カマド付近	角釘	—	長さ(3.3)cm	幅 0.8cm	—	厚さ 0.4cm	—	—	—	—		一部欠損	
235	白石?	〃	床面	石質	梨状岩	長さ 26.9	幅 12.5	—	厚さ 6.4	—	—	—	—		重さ 3.42kg	
236	土師器	古代第3号住	床面(土器1)	坏	口~底部	ミガキ	ミガキ	ヨコナデ	ミガキ	(13.5)	—	—	5.8		非口クロ、内黒、丸底	
237	土師器	〃	床面(土器2)	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	—	—	—	—		(10.0)	
238	土師器	〃	床面(土器2)	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ミガキ	17.0	—	—	(13.8)			
239	土製品	〃	カマド	土鏡	—	長さ(2.6)	幅 1.7	—	直径 1.7cm	—	—	—	—			
240	土製品	〃	Q2埋土	土玉	—	直径 0.9~1.0	—	—	—	—	—	—	—			
241	磁石	〃	礫土	石質	板状岩	長さ 18.8	幅 15.0	—	厚さ 7.5	—	—	—	—		重さ 2.08kg	
242	礫石(磁石)	〃	礫土	石質	玢岩	長さ 19.5	幅 4.7	—	厚さ 8.2	—	—	—	—		重さ 0.9kg	
243	土師器	古代第4号住	床面(土器1)	小型甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	7.4	—	—	(4.4)			
244	土師器	〃	床面(土器2)	甕	口~底部	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ	ヨコナデ	ミガキ	(18.1)	9.9	—	(28.7)		底部ミガキ	
245	鉄製品	〃	カマド石袖	刀子?	—	長さ(4.6)	幅 1.3	—	厚さ 0.5	—	—	—	—		欠損品	
246	土製品	〃	Q2埋土上位	土玉	—	直径 1.1	—	—	—	—	—	—	—			
247	土師器	古代第5号住	床面(土器1)	甕	体部	—	ハクメ	—	ケズリ→ミガキ	—	—	—	—		(17.6)	
248	土師器	〃	床面(土器1)	甕	口~体部	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	—	—	—	—		(12.0)	
249	土製品	〃	Q2埋土	土玉	—	直径 1.1	—	—	—	—	—	—	—			
250	土師器	古代第6号住	Pit1埋土	球状甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ヘラナデ→ミガキ	—	—	8.3	(7.0)		底部外面高台風	
251	土師器	〃	Pit1埋土	小型甕	口~底部	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ→ミガキ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	(11.0)	< 7.8?	—	12.3			
252	土師器	〃	Pit1埋土	球状甕	胴部	—	ヘラナデ	—	ミガキ	—	—	—	—		(9.3)	
253	土師器	〃	検出面 Pit1内	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	段状のナデ	ハクメ	(17.3)	—	—	(13.5)		北海道系	
254	土師器	〃	Pit1埋土	甕	口縁部	ヨコナデ	—	ヨコナデ	—	(12.2)	—	—	—		(2.7)	
255	土製品	〃	Pit1埋土	紡錘車	—	上面径 4.7	下面径 5.8	—	厚さ 2.9	—	—	—	—		土製、全面にミガキ	
256	土師器	古代第7号住	床面(土器1)	坏	ほぼ完形	ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	ヨコナデ	ミガキ	9.7	5.4	2.9	(2.9)		非口クロ、平底、底部ミガキ	
257	土師器	〃	床面(土器2)	甕	ほぼ完形	ヨコナデ→ハクメ	ハクメ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	14.4	7.0	—	16.5			
258	土師器	〃	床面(土器3)	甕	口~体部	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ→ミガキ	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ→ミガキ	(17.0)	—	—	(21.5)			
259	土師器	〃	床面(土器4)	甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ケズリ→ミガキ	—	—	9.4	(18.0)		底部 ケズリ→ミガキ	
260	土師器	〃	床面(土器4)	甕	口~体部	ヨコナデ→ミガキ	ハクメ→ミガキ	ヘラナデ→ミガキ	ハクメ→ミガキ	18.4	—	—	(20.8)			
261	土師器	〃	カマド内	甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ハクメ→ミガキ	—	—	8.5	(13.0)		底部 ハクメが叫喚	
262	土師器	〃	床面(土器4)	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	ミガキ	ケズリ→ミガキ	(19.5)	—	—	(27.0)			
263	土製品	〃	Q2埋土	土偶	脚部	長さ(1.5)	幅 1.3	—	直径 1.3	—	—	—	—			
264	土製品	〃	Q1床面	土偶	胴部	長さ(2.3)	幅 2.0	—	奥行 2.6	—	—	—	—			

4. 中世の竪穴住居跡と出土遺物

中世の住居跡は4棟検出された。山際の斜面上方の高位面に2棟、段丘崖に続く平坦面に2棟である。

中世第1号住居跡

調査区北東部の段丘面に位置し、中礫浮石層において1基の土坑と重複して検出された。

遺構 (図48、写真図版23)

(位置) IV C区北部に位置し、中世第2号住居跡とは23mの距離にある。

(重複) 第104号土坑に載られており、本遺構より新しいと考えられる。

(埋土) 黒色土を主体とし、多くの中礫浮石粒と角礫が含まれる。張り出し部〈出入口部〉には中礫浮石粒の流れ込みがみられる。

(平面形) 北東にやや長い長方形。北東部に幅115cm、長さ120cm張り出し部〈出入口部〉を有する。

(出入口方向) N-62°-E (規模) 3.50m×4.23m

(壁) 外傾して立ち上がる。壁高は12cm~46cmである。

(床面) 床面は崖壁層上にあるため凹凸がある。また、大小の角礫が直上に散在している。出

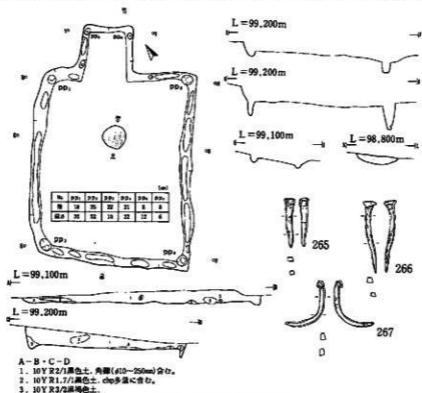


図48 中世第1号住居跡

入口部を除き壁際に周溝を持つ。

(柱穴) P P1~P P6の6個が確認された。P P1~P P4は壁際の周溝内から検出され、径は18cm~25cmを測り主柱穴と考えられる。P P5、P P6は径8cmで出入口部に伴うものと推定される。柱痕跡は確認できなかった。

(その他) 鉄滓3点は床面から、角釘は埋土から出土したものである。床面中央よりやや北東部に直径50cm、厚さ10cmの円形状の炭化物粒を含む焼土が確認された。

(時期) 中世後半

遺物 (図48、写真図版110)

265、266、267は埋土から出土した角釘である。いずれも頭部が折り曲げられている。265と266の長さは、それぞれ5.3cm、7.8cmである。267cmは先端が欠損し、中央部で屈曲しているが、延ばした残存長は7.6cmである。268、269、270は鉄滓であり、いずれも床面から出土した。

中世第2号住居跡

本遺構は調査区中央やや北寄りに位置している。八戸火山灰層に黒褐色土の方形の広がりをもって検出されたものである。

遺構 (図49、写真図版24)

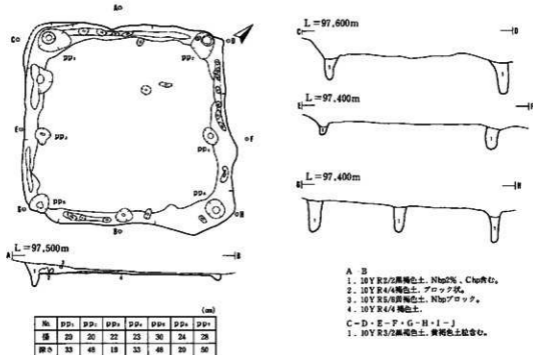


図49 中世第2号住居跡

(位置) IVC区からVC区にまたがって、そのほぼ中央に位置する。(重複) なし
(埋土) 削平が著しく残存状態はよくないが、黒褐色土を主体とし、褐色土および南部浮石粒の小ブロックが含まれる。

(平面形) ほぼ正方形を呈する。張り出し部(出入口部)に伴うと思われる柱穴を捜したが検出できなかった。(規模) 3.20m×3.30m

(壁) 削平された南東の壁は不明だが、その他は外傾して立ち上がる。壁高は残存するもので最大16cmを測る。

(床面) 硬く締まっている。八戸火山灰層に形成されているが、耕作痕と考えられる小ピットが多数みられる。周溝は出入口と考えられる南東部を除く壁際に検出された。周溝内に柱穴状の小ピットを有する。

(柱穴) PP1~PP7の7個が検出された。径は20cm~30cm、深さは19cm~50cmで、いずれも主柱穴と考えられる。柱痕跡は確認できなかった。

(時期) 中世後半

中世第3号住居跡

本遺構は調査区中央やや東寄りのVC区からVD区にかけてみられる埋没谷の東側の落ち際に位置している。八戸火山灰層に黄褐色土の方形の広がりをもって検出されたものである。

遺構(図50、写真図版25)

(位置) VD区東部に位置し、中世第4号住居跡とは3mの距離がある。(重複) なし

(埋土) におい黄褐色土、暗褐色土を主体として構成されている。出入口は黒色土が基調となる。土層はモザイク状に他の土が混入していることから、埋め戻されたものと考えられる。

(平面形) 北西にやや長い隅丸長方形を呈し、北西側に幅130cm、長さ120cm以上の張り出し部〈出入口部〉をもつ。

(出入口方向) N-70°-W (規模) 3.84m×4.72m

(壁) すべて外傾して立ち上がる。壁高は28cm~44cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、ほぼ平坦である。周溝は張り出し部を除く壁際に15cmほどの幅をもって検出された。この周溝内には柱穴状のピットを数個有する。

(柱穴) 壁際の周溝内および中央付近からPP1~PP10の10個が検出された。PP1~PP6、PP9、PP10は径18cm~21cm、深さ48cm以上あり、主柱穴と考えられる。PP7、PP8は径16cm~18cm、深さ30cm前後で出入口部に伴うものと推定される。PP1からは径10cmの柱痕跡が確認されたが、他は不明である。

(その他) 数点の鉄滓が埋土から出土した。

(時期) 中世後半

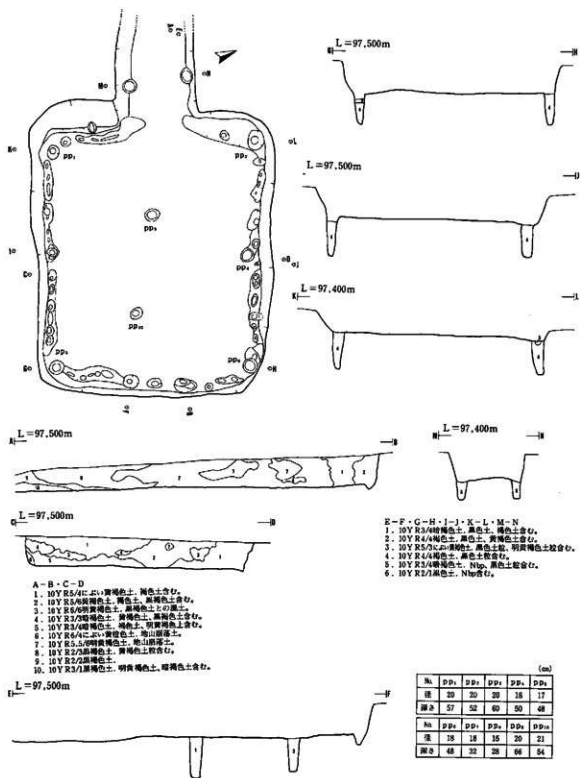


图50 中世第3号住居跡

中世第4号住居跡

本遺構は調査区中央から東寄りに位置している。八戸火山灰層に暗褐色土の不整形の広がりをもって検出されたものである。

遺構（図51、写真図版26）

（位置）VD区からIVD区にまたがって、そのほぼ中央に位置する。（重複）なし

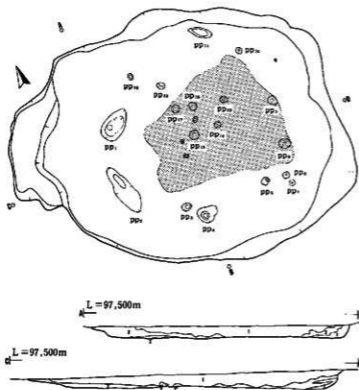
（埋土）中央部は暗褐色土、壁際と最下部は黄褐色土を主体とする。壁際に八戸浮石粒および炭化物粒をわずかに含む。

（平面形）東西にやや長い不整の長方形である。北西部に幅150cm、長さ43cmの張り出し部〈出入口部〉を持つが明瞭とは言えない。

（出入口方向）N-70°-W（規模）4.00m×4.92m

（壁）西壁と北壁が緩やかに外傾し、その他は急傾斜で立ち上がっている。壁高は12cm～30cmである。

（床面）八戸火山灰層を床面とする。中央部の2.42m×1.98mの範囲に、貼り床と思われる硬くしまった部分が検出された。



								(m)	
No.	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9
径	32	60	8	11	26	11	10	10	
深さ	17	30	9	16	10	7	6		
No.	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16	PP17	PP18
径	18	14	10	15	37	12	16	10	
深さ	17	52	28	22	40	8	31		
No.	DD10	DD11	DD12	DD13					
径	15	12	13	10					
深さ	32	33	36	9					

A-B-C-D

1. 10Y R 3/4 暗褐色土、黄褐色土を含む。
2. 10Y R 5/8 黄褐色土、暗褐色土、明黄褐色土を含む。
3. 10Y R 6/9 黄褐色土、黄褐色土を含む。

図51 中世第4号住居跡

(柱穴) P P1～P P18の18個が検出された。径8 cm～60cmで、深さ10cm以下のものがP P3、P P5、P P6、P P7、P P13、P P18の6個、11cm～20cmのものがP P1、P P8の2個、21cm～30cmのものがP P2、P P10、P P11の3個、31cm以上のものがP P9、P P12、P P14、P P15、P P16、P P17の6個である。配置、深さともに不定のため支柱穴および柱痕跡は確認できなかった。

(その他) 陶器片1片が埋土から出土している。

(時期) 陶器片が近世のものとも考えられることから、本遺構は近世の可能性もある。

遺物 (写真図版110)

271は、床面から出土した陶器の皿の破片である。詳細は不明である。 (高橋)

5. 掘立柱建物跡

第1号掘立柱建物跡

遺構 (図52、写真図版84)

(位置) 調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居跡の北東8mに位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。(規模) 桁行4間 (14.38m~14.7m)、梁行3間 (7.95m~8.04m)。

(棟方向) N-73'-W

(柱間寸法) 桁行北側間尺は西から370cm、372cm、350cm、346cm、南側間尺は西から370cm、364cm、374cm、363cm、梁行B-B'は北から275cm、260cm、265cm。G-G'F北から268cm、264cm、272cm。F-F'は北から260cm、278cm、260cm。E-E'は北から268cm、267cm、268cm。D-D'は北から274cm、259cm、262cmである。

(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 不明 (時期) 出土遺物はなく時期不明である。

第2号掘立柱建物跡

遺構 (図53、写真図版84)

(位置) 調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居の北東8mに位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。(規模) 桁行6間 (10.76m~10.56m)、梁行1間 (3.62m~3.44m)。

(棟方向) N-19'-E

(柱間寸法) 桁行西側間尺は北から196cm、166cm、179cm、180cm、170cm、188cm。東側間尺は北から178cm、161cm、189cm、186、178cm、165cm。梁行北側間尺は362cm、南側間尺は344cmである。

(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 不明 (時期) 出土遺物はなく時期不明である。

第3号掘立柱建物跡

遺構 (図53、写真図版84)

(位置) 調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居跡の北東8mに位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。(規模) 桁行5間 (8.42m~8.32m)、梁行1間 (3.23m~3.18m)。

(棟方向) N-19'-E

(柱間寸法) 桁行西側間尺は北から142cm、180cm、180cm、155cm。東側間尺は北から146cm、179cm、182cm、178cm、146。梁行北側間尺は323cm、南側間尺は318cmである。

(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 不明 (時期) 埋土にビニール片が混入していることから新期の遺構と思われる。

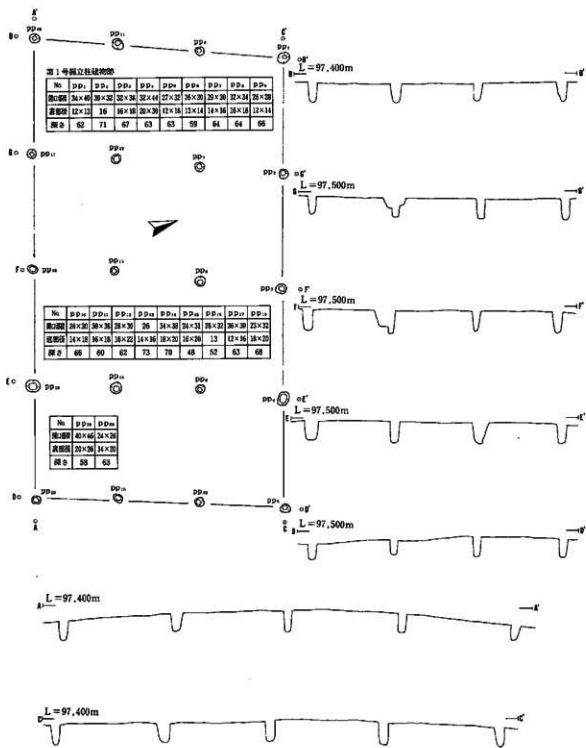


图52 第1号独立柱建筑物

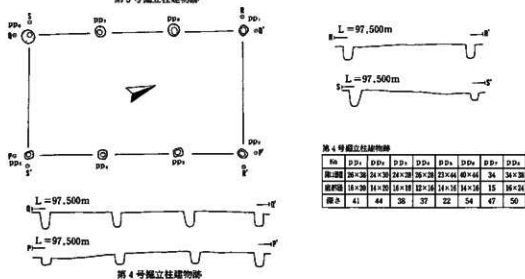
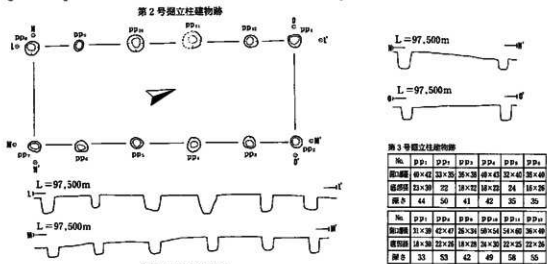
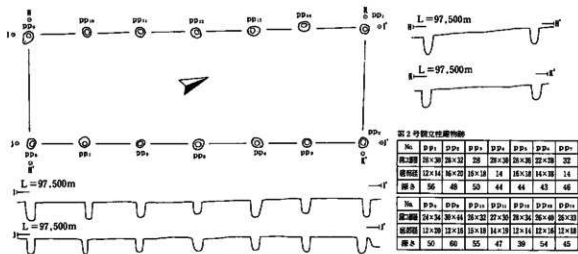


图53 第2·3·4号独立柱结构

第4号掘立柱建物跡

遺構 (図53、写真図版84)

(位置) 調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居跡の北東8mに位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。(規模) 桁行3間 (6.88m~6.84m)、梁行1間 (3.93m~3.82m)。

(棟方向) N-19°-E

(柱間寸法) 桁行西側間尺は北から216cm、239cm、224cm。東側間尺は北から256cm、238cm、240cm。梁行北側間尺は259cm、南側間尺は278cmである。

(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 不明 (時期) 出土遺物はなく時期不明である。

第5号掘立柱建物跡

遺構 (図54、写真図版84)

(位置) 調査区南東部のVF区に位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、本来の検出面はII層と思われる。PP4の北東側とPP8の南西側に柱穴の存在が考えられたが検出されなかった。

(規模) 桁行4間、梁行1間。(棟方向) N-51°-E

(柱間寸法) 桁行北西側間尺は北東から276cm、275cm、257cm。南東側間尺は北東から257cm、278cm、267cm。(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 暗褐色土が主体で南部浮石粒をわずかに含む。締まり、粘性ともにない。(時期) 出土遺物はなく時期不明である。 (高橋)

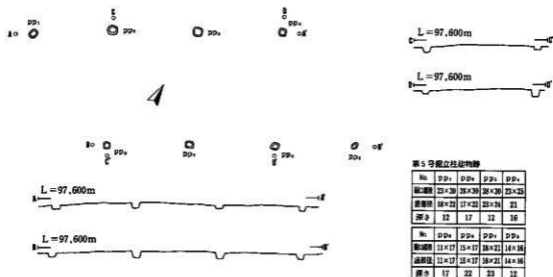


図54 第5号掘立柱建物跡

6. 土坑と出土遺物

土坑は203基検出されたが、原則として年度毎に、遺構名の若い順番に連番を付して、第1号土坑、第2号土坑... のように呼称した。形状や用途での分類は、「VI まとめ」に示している。

7. 陥し穴状遺構

検出された22基の陥し穴状遺構のうち、溝状のタイプは1基だけで、その他はすべて円形を呈するものである。後者には、数基が弧状に配列されているものもみられる。遺構名の付け方は土坑に準じている。

なお、土坑と陥し穴状遺構の規模等については、次表5（P88～113）・表7（P162～164）に観察表として示した。また、土坑内の出土遺物については、表6にまとめて掲載している。表の体裁は、下の通りである。

<土坑観察表>

遺構名			
図版	遺構		遺構
写真図版	遺物		遺物
位置			
検出状況・重複関係			
形状	平面形		
	断面形		
規模	開口径		
	底部径		
	深さ		
埋土			
底面			
壁			
副穴			
出土遺物			
時期			

<陥し穴状遺構観察表>

遺構名			
図版	遺構		遺構
写真図版	遺物		遺物
位置			
検出状況・重複関係			
形状	平面形		
	断面形		
規模	開口径		
	底部径		
	深さ		
埋土			
底面			
壁			
遊茂木痕			
出土遺物			
時期			

表5 土坑観察表

遺構名	第1号土坑		第2号土坑		第3号土坑		第4号土坑	
図版	55	94	55		55		56	
写真図版	27	111	27		27		28	
位置	I F区		I F区		I F区		II F区	
検出状況 重複関係			第2号住居跡の床面で検出。					
形状	平面形	円形	円形		不整形		円形	
	断面形	フラスコ状	フラスコ状		ビーカー状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	170×178	200×208		144×160		176×180	
	底部径	226×240	248×200		98×114		156×166	
	深さ	180	75		52		14	
埋土	黒色土、黒褐色土を主体とし、上位に炭化物粒を含む。Nb-p含む。		第1号土坑と同じ		黒褐色土、暗褐色土が主体。Nb-p含む。		黒色土の単層でNb-pを少量含む。	
底面	平坦だがやわらかい		平坦		傾斜あり		ほぼ平坦	
壁	崩落部分あり		Nb-pの崩落あり		緩く外傾		外傾	
竈穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	上位から数個体の土器		なし		なし		なし	
時期	縄文		縄文		不明		縄文	

遺構名	第5号土坑		第6号土坑		第7号土坑		第8号土坑	
図版	56	94	56	95	56		57	
写真図版	28	111	28	112	28		29	
位置	II G区		II C区		II C区		III F区	
検出状況 重複関係	第6号・7号土坑を載る。		第5号土坑に載られる。		第5号土坑に載られる。第6号土坑との関係は不明。			
形状	平面形	円形	不整形円形		不整形円形		円形	
	断面形	フラスコ状	皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	203×216	? × 280		189 × ?		81 × 83	
	底部径	220 × 227	? × 290		176 × ?		62 × 64	
	深さ	54	14		24		28	
埋土	黒色土、黒褐色土を主体とし、褐色土、黄褐色土などを含む。		暗褐色土を主体とし、黒色土の小ブロックを含む。		暗褐色土が主体で、黒色土、黒褐色土が混じる。		黒色土に黒褐色土の小ブロック含む	
底面	平坦でやわらかい		平坦		わずかに傾斜する。		平坦	
壁	外反ぎみに立ち上がる		直立ぎみ		緩く立ち上がる。		外傾	
竈穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	土器数片		土器数片		なし		なし	
時期	縄文		縄文		縄文		不明	

遺 構 名	第9号土坑		第10号土坑		第11号土坑		第12号土坑	
図 版	57		57		57		57	
写 真 図 版	29		29		29		30	
位 置	ⅢF区		ⅢF区		ⅢF区		ⅢF区	
検 出 状 況 重 複 関 係			(木根の可能性あり)					
形 状	平面形	円形	楕円形状		円形		円形	
	断面形	皿状	皿状		フラスコ状		ピーカー状	
規 模 (cm)	開口部径	116×120	131×147		167×187		134×136	
	底 部 径	47×52	36×48		161×169		102×104	
	深 さ	28	50		86		43	
埋 土	黒色上の早層。黒褐色土が混入する。		黒褐色土、暗褐色土、褐色土からなる。		黒色土主体で、下部はNb-pの崩落が著しい。		黒色土、黒褐色土、褐色土、黄褐色土からなる整め戻されたもの。	
底 面	平坦		ほぼ平坦		平坦		平坦	
壁	緩く外傾する		直立しながら外傾				外反ぎみに立ち上がる	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明		縄文		縄文	

遺 構 名	第13号土坑		第14号土坑		第15号土坑		第16号土坑	
図 版	58		58		58	95	59	95
写 真 図 版	30		31		31	112	31	112
位 置	ⅢG区		ⅠF区		ⅠF区		ⅠF区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平面形	円形	楕円形		円形		円形	
	断面形	皿状	フラスコ状		フラスコ状		皿状	
規 模 (cm)	開口部径	82×84	123×160		231×251		274×327	
	底 部 径	56×63	158×177		200×217		223×234	
	深 さ	12	84		127		94	
埋 土	黒色土の早層で、黒褐色土が混じる。		黒色土、黒褐色土主体、Nb-p含む。		上部は黒褐色土、中部は褐色土、下部は黒色土が主体、Nb-pを含む。		黒色土、黒褐色土主体、Nb-p含む。焼土ブロック、Ca-p含む。主に砂質シルトで構成。	
底 面	やや丸味をもつ		平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦	
壁	外傾						外反と外傾	
副 穴	なし		なし		なし		有 8.4cm	
出 土 遺 物	なし		なし		完形の漆鉢、半円状扁平打製石器		土器破片、石鏃	
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第17号土坑		第18号土坑		第19号土坑		第20号土坑	
図版	59	59	60	60	60	60	60	95
写真図版	31	31	32	32	32	32	32	112
位置	I F区		I F区		II E区		II E区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	フラスコ状	ビーカー状	皿状	皿状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状
規模 (cm)	開口部径	135×138	110×122	159×164	159×164	147×167	147×167	147×167
	底部径	153×170	74×89	145×147	145×147	131×143	131×143	131×143
	深さ	101	55	40	40	101	101	101
堆土	黒色土と黒褐色土が主体。 Ch-p、Nb-p含む。		褐色土主体。Nb-p含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土主体。Nb-p含む。最下部にNb-pを含まない粘土質シルト有り。	
底面	平坦		やや傾斜		ほぼ平面		平坦	
壁	なし		外傾		外傾		外傾	
副穴			なし		なし		なし	
出土遺物	なし		なし		なし		土器片	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第21号土坑		第22号土坑		第23号土坑		第24号土坑	
図版	60	60	61	95	61	61	61	
写真図版	32	32	33	112	33	33	33	
位置	II E区		II E区		II F区		II F区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形	逆台形状	円形	円形	円形	円形
	断面形	ビーカー状	逆台形状	逆台形状	フラスコ状	フラスコ状	四状	四状
規模 (cm)	開口部径	156×158	125×143	125×143	186×192	186×192	117×120	117×120
	底部径	157×165	107×116	107×116	177×178	177×178	110×114	110×114
	深さ	80	48	48	51	51	20	20
堆土	黒色土主体。Nb-p含む。ほとんどが粘土質シルトで最下部はNb-pを含まない粘土質シルト。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。Nb-p、褐色土粒、ロームブロック含む。		黒色土の単層。Nb-p含む。	
底面	平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		平坦	
壁	直立きみ		外傾				ほぼ直立	
副穴	有	22.2cm	なし		なし		なし	
出土遺物	なし		土器片		なし		なし	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺 蹟 名	第25号土坑	第26号土坑	第27号土坑	第28号土坑
図 版	61	62	62, 95	62
写 真 図 版	33	34	34, 112	34
位 置	ⅢD区	ⅢD区	ⅢE区	ⅢF区
検 出 状 況 重 複 関 係				
形 状	平面形	円形	円形	楕円形状
	断面形	皿状	ビーカー状	皿状
規 模 (cm)	開口部径	106×108	153×155	176×184
	底部径	97×103	148×152	189×174
	深 さ	21	38	20
埋 土	黒色土主体。Nb-p含む。	黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p含む。	褐色土の単層。	黒色土のみからなる。 Nb-p, 炭化物粒ともに微量 含む。
底 面	やや傾斜	平坦	平坦	傾斜
壁	外傾	直立	直立	外傾
副 穴	なし	なし	なし	なし
出土遺物	なし	なし	土器片	なし
時 期	縄文	縄文	縄文	縄文

遺 蹟 名	第29号土坑	第30号土坑	第31号土坑	第32号土坑
図 版	62	63	63	63
写 真 図 版	34	35	35	35
位 置	ⅣE区	ⅣE区	ⅣE区	ⅣE区
検 出 状 況 重 複 関 係				
形 状	平面形	円形	円形	円形
	断面形	皿状	逆台形状	逆台形状
規 模 (cm)	開口部径	115×126	130×135	136×142
	底部径	104×110	112×115	120×127
	深 さ	28	51	58
埋 土	黒褐色土主体。 Nb-p含む。	黒色土主体。中央部に粘土 質シルト混じる。 Nb-p, oh-p含む。	黒色土主体。 Nb-pの小アロック、粘土質 シルト含む。	黒褐色土主体。 Nb-p, oh-p含む。褐色土小 アロック含む。
底 面	平坦	平坦	ほぼ平面	ほぼ平坦
壁	外傾	外傾	外傾	ほぼ直立
副 穴	なし	なし	なし	なし
出土遺物	なし	なし	なし	なし
時 期	縄文	縄文	縄文	縄文

遺構名	第33号土坑		第34号土坑		第35号土坑		第36号土坑	
図版	第63	第63	第63	第95	第63	第63	第64	第95
写真図版	第35	第35	第36	第112	第36	第36	第36	第112
位置	IVF区		IVF区		IVF区		IVF区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形		円形		円形	
断面形	皿状		フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	64×71	176×192		160×?		132×135	
	底部径	39×49	149×160		116×?		156×176	
	深さ	16	95		62		40	
埋土	黒色土の厚層。		黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p、褐色土粒、炭化材含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土と褐色土が主体。 Nb-p、Ch-p、微量の炭化物粒、褐色土粒を含む。	
底面	平坦		ほぼ平坦		やや傾斜		平坦	
壁	外傾				やや外傾			
副穴	なし		有 深さ 33.7cm		なし		なし	
出土遺物	なし		土器数片		なし		礫石製種子、完形の鏃、土器数片	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第37号土坑		第38号土坑		第39号土坑		第40号土坑	
図版	第64	第64	第64	第64	第64	第64	第64	第95
写真図版	第37	第37	第37	第37	第37	第37	第37	第112
位置	IVF区		IVF		IVF区		IVF区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形		円形		円形	
断面形	フラスコ		皿状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	107×114	92×96		97×105		159×162	
	底部径	138×138	74×84		85×88		164×171	
	深さ	50	16		38		20	
埋土	黒色土主体。少量のch-pとNb-p含む。		黒色褐色土の厚層。Nb-p、ch-p含む。		黒色土が主体。Nb-p、褐色土の小ブロック含む。		黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p、Ch-p、微量の炭化物粒、褐色土粒を含む。	
底面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁			外傾		外傾			
副穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	なし		なし		なし		完形の鏃	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺 標 名	第41号土坑		第42号土坑		第43号土坑		第44号土坑	
図 版	55	遺物	55	遺物	55	遺物	55	遺物
写 真 図 版	38	遺物	38	遺物	38	遺物	38	遺物
位 置	IV F区		IV F区		IV F区		V F区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	ビーカー状	ビーカー状	皿状	皿状	フラスコ	フラスコ	フラスコ
規 模 (cm)	開口部径	177×180	167×168	135×140	135×140	123×126	123×126	123×126
	底部径	164×166	152×153	124×137	124×137	131×142	131×142	131×142
	深 さ	85	74	34	34	38	38	38
埋 土	中央部に黒色土、下部に砂質シルト含む。側面に黒褐色の砂質シルト、Ch-p含む。Nb-p含む。		黒色土が主体、砂質シルト、Nb-p含む。		黒褐色土が主体。Nb-p、炭化物、黄褐色土の小ブロック含む。		黒褐色土と褐色土が主体。Nb-p、炭化物、地山崩落土含む。	
底 面	ほぼ平皿		傾斜	平皿	平皿	波打つ	波打つ	波打つ
壁	外反して外傾		直立	直立	直立			
副 穴	なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし
出 土 遺 物	なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし
時 期	縄文		縄文	縄文	縄文	縄文	縄文	縄文

遺 標 名	第45号土坑		第46号土坑		第47号土坑		第48号土坑	
図 版	55	遺物	56	遺物	56	遺物	56	遺物
写 真 図 版	39	遺物	39	遺物	39	遺物	39	遺物
位 置	V F区		V F区		V E区		V D区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	皿状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状
規 模 (cm)	開口部径	114×118	139×145	139×145	136×198	136×198	136×141	136×141
	底部径	22×68	136×136	136×136	176×183	176×183	106×115	106×115
	深 さ	52	83	83	96	96	80	80
埋 土	黒色土単層。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。Nb-p含む。	
底 面	丸みのある凹型		平皿	平皿	ほぼ平皿	平皿	平皿	平皿
壁	外傾		直立	直立	直立きみ	直立きみ	外傾	外傾
副 穴	なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし
出 土 遺 物	なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし
時 期	縄文		縄文	縄文	縄文	縄文	縄文	縄文

遺構名	第49号土坑		第50号土坑		第51号土坑		第52号土坑	
図版	56	96	57	96	57	96	57	96
写真図版	40	113	40	113	40	113	40	113
位置	VE区		VE区		VE区		VE区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	逆台形状	逆台形状	逆台形状	皿状	皿状	皿状	皿状
規模 (cm)	開口部径	163×169	138×153	138×153	257×?	257×?	228×?	228×?
	底部径	146×160	121×126	121×126	131×?	131×?	106×122	106×122
	深さ	60	65	65	106	106	113	113
埋土	黒褐色土主体。 Nb-p含む。		黒褐色土単層。 Nb-p、礫、炭化物粒含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p、褐色土、黒色土の各 ブロック、Ch-p含む	
底面	傾斜		ほぼ平面だが丸みがある		傾斜		やや波打つ	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
罅	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	土器片		土器数片		土器数片		土器数片	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第53号土坑		第54号土坑		第55号土坑		第56号土坑	
図版	57		58		58	96	58	96
写真図版	41		41	113	41	113	41	113
位置	VE区		VE区		VE区		VE区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	皿状	皿状	皿状	皿状
規模 (cm)	開口部径	138×156	148×157	148×157	144×162	144×162	162×195	162×195
	底部径	113×121	133×144	133×144	118×124	118×124	96×109	96×109
	深さ	85	57	57	58	58	44	44
埋土	黒色土主体。砂質シルトが多い。 Nb-p含む。		黒色土主体。 Nb-p、黄褐色土粒含む。		黒褐色土主体。 炭化材、Nb-p含む。		黒褐色土の単層。 Nb-p、Ch-p含む。	
底面	平坦		やや傾斜		傾斜有り		ほぼ平面だが丸みを帯びている	
壁	ほぼ直立		やや外傾		外傾		外傾	
罅	なし		有 深さ 21.2cm		なし		なし	
出土遺物	なし		石鏃		土器数片、凹石		土器片 石鏃	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名		第57号土坑		第58号土坑		第59号土坑		第60号土坑	
図版	68	96	69		69	96	69	96	
写真図版	42	113	42		42	113	42	113	
位置	VE区		VE区		VE区		VE区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		長方形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	124×129		114×237		124×165		153×156	
	底部径	106×110		83×183		106×122		136×144	
	深さ	35		86		54		48	
埋土	黒色土主体。 Nb-p、炭化物粒含む。		黒褐色土主体。 褐色土、黒色土の極小プロ ックを全体に含む。		黒色土、黒褐色土主体。 炭化材、土器片、Ch-p、黄 褐色土粒含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		
底面	ほぼ平坦		平坦		平坦		ほぼ平坦		
壁	直立して外傾		直立		外傾		ほぼ直立		
前穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	土器片		なし		土器数片		土器数片		
時期	縄文		不明		縄文		縄文		

遺構名		第61号土坑		第62号土坑		第63号土坑		第64号土坑	
図版	69		70		70	96	70		
写真図版	43		43		43	113	43		
位置	VE区		VE区		VE区		VE区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		皿状		フラスコ状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	115×136		142×144		162×166		?×108	
	底部径	104×106		116×120		174×179		?×83	
	深さ	79		44		28		12	
埋土	黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p含む。		黒褐色土主体。 Nb-p、Ch-p、黄褐色粒含 む。		黒色土が主体。Nb-p含む。		黒褐色土、暗褐色土主体で Nb-p含む。		
底面	平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		
壁	直立		外傾				外傾		
前穴	有	径	41.8cm	なし		なし		なし	
出土遺物	なし		なし		土器数片		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名	第65号土坑		第66号土坑		第67号土坑		第68号土坑	
図版	70	96	70	96	71		71	
写真図版	44	113	44	114	44		44	
位置	V E区		V E区		V F区		V D区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形		円形		長方形	
	断面形	ビーカー状	皿状		皿状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	120×129	182×184		134×140		86×141	
	底部径	124×133	130×138		109×110		68×121	
	深さ	25	62		20		32	
埋土	上部は黄褐色土、下部は黒褐色土。Nb-p含む。		黒色土が主体。Nb-p含む。		黒褐色土の単層。Nb-p含む。		黒褐色土のみ。Nb-p含む。	
底面	傾斜		平坦		やや傾斜		ほぼ平面	
壁	直立		外反		なし		外傾	
副穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	土器片		土器破片、石片		縄文		なし	
時期	縄文		縄文					

遺構名	第69号坑		第70号土坑		第71号土坑		第72号土坑	
図版	71		71	96	72		72	
写真図版	45		45	114	45		45	
位置	V F区		V F区		V F区		V F区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	円形	円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状	ビーカー状		皿状		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	116×128	142×154		70×82		58×?	
	底部径	111×115	139×145		46×47		52×?	
	深さ	46	77		18		41	
埋土	黒色土と黒褐色土で構成される。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。砂質シルト多くNb-p含む。		黒褐色土の単層。		黒褐色土と暗褐色土で構成される。Nb-p微量含む。	
底面	ほぼ平坦		円型		平坦		円型	
壁	ほぼ直立		外反		外傾		やや外傾	
副穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	なし		土器片		なし		なし	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第73号土坑		第74号土坑		第75号土坑		第76号土坑	
図 版	72	97	72	97	72	97	73	97
写 真 図 版	46	114	46	114	46	114	46	114
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区	
検出状況 重複関係								
形 状	平面形	円形	円形		楕円形状		円形	
	断面形	フラスコ状	フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規 模 (cm)	開口部径	75×79	139×153		66×?		123×126	
	底 部 径	106×120	178×184		80×61		150×154	
	深 さ	68	126		43		58	
埋 土	黄褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土、にふい黄褐色、 にふい黄褐色土が主体。 Nb-p、炭化物粒含む。		にふい黄褐色土主体。ロー ムシルト、炭化材含む。		黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p含む。	
底 面	平坦		平坦		凹型		平坦	
壁					外傾			
副 穴	なし		なし		有 径28cm		なし	
出土遺物	なし		土器断片		なし		土器片、磨石	
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第77号土坑		第78号土坑		第79号土坑		第80号土坑	
図 版	73	97	73	97	73	97	74	97
写 真 図 版	47	114	47	114	47	114	47	114
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区	
検出状況 重複関係								
形 状	平面形	円形	円形		円形		円形	
	断面形	皿状	皿状		フラスコ状		ビーカー状	
規 模 (cm)	開口部径	145×163	130×151		162×164		164×173	
	底 部 径	143×158	121×133		169×173		162×164	
	深 さ	16	30		82		44	
埋 土	黒褐色土が主体。Nb-p含 む。		黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p含む。		上部は黒褐色土、下部は褐 色土が主体。Nb-p含む。		黒色土が主体。全体的に Nb-p含む。	
底 面	平坦		平坦		ほぼ平坦		平坦	
壁	外傾		直立				直立	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	土器片		土器片		なし		土器片	
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺 構 名		第81号土坑		第82号土坑		第83号土坑		第84号土坑	
図 版	74		74	97	74	97	74		
写 真 図 版	48		48	114	48	114	48		
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検 出 状 況 重 複 関 係									
形 状	平 面 形	円形		円形		円形		円形	
	断 面 形	フラスコ状		皿状		ビーカー状		皿状	
規 模 (cm)	開 口 部 径	117×123		100×105		103×110		110×110	
	底 部 径	125×138		88×96		87×97		102×104	
	深 さ	61		15		40		6	
埋 土	上部黒褐色土、下部褐色土 主體。 Nb-p含む。		黒褐色土主體。Nb-p含む。		黒褐色土主體。Nb-p含む。		暗褐色土の単層。Nb-p含む。		
底 面	やや傾斜		平坦		やや傾斜		ほぼ平坦		
壁			外傾		やや外傾		外傾		
副 穴	なし		なし		なし		なし		
出 土 遺 物	なし		土器片		土器片		なし		
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺 構 名		第85号土坑		第86号土坑		第87号土坑		第88号土坑	
図 版	74		75	97	75	97	75		
写 真 図 版	49		49	114	49	114	49		
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検 出 状 況 重 複 関 係									
形 状	平 面 形	円形		円形		円形		円形	
	断 面 形	フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状	
規 模 (cm)	開 口 部 径	128×138		161×183					
	底 部 径	173×176		? ×194		110×118		114×121	
	深 さ	44		67		76		7	
埋 土	黒褐色土主體。Nb-p含む。		黒褐色土、暗褐色土主體。 Nb-p、炭化物粒含む。		黄褐色土主體。Nb-p含む。		不明		
底 面	やや傾斜		傾斜		ほぼ平坦				
壁					崩落して敲打つ		ほぼ平坦		
副 穴	なし		なし		なし				
出 土 遺 物			小型鉢、土器断片		小型鉢、土器断片		なし		
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺 構 名	第89号土坑		第90号土坑		第91号土坑		第92号土坑	
図 版	遺 75	遺 97	遺 75	遺 97	遺 75	遺 97	遺 76	遺 97
写 真 図 版	遺 49	遺 114	遺 50	遺 114	遺 50	遺 114	遺 50	遺 114
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断 面 形	フラスコ状	皿状	皿状	フラスコ状	フラスコ状	フラスコ状	フラスコ状
規 模 (cm)	開口部径	107×118	118×133	118×133	124×125	124×125	104×111	104×111
	底部径	115×123	116×118	116×118	139×151	139×151	116×123	116×123
	深 さ	32	26	26	48	48	32	32
埋 土	黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p含む。		上部は黒色土主体、下部は Nb-pと黒褐色土の混土。全 体的にNb-p含む。		上部は黒褐色土、下部は黄 褐色土が主体。全体的に Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。 副穴内には明黄褐色土が堆 積。	
底 面	ほぼ平面		ほぼ平皿		平皿		やや波打つ	
壁			ほぼ直立					
副 穴	なし		なし		なし		有 内径 30cm	
出 土 遺 物	完形の壺、土器数片		土器数片		土器片		なし	
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺 構 名	第93号土坑		第94号土坑		第95号土坑		第96号土坑	
図 版	遺 76	遺 97	遺 76	遺 97	遺 76	遺 97	遺 76	遺 97
写 真 図 版	遺 50	遺 114	遺 51	遺 114	遺 51	遺 115	遺 51	遺 114
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断 面 形	フラスコ状	皿状	皿状	フラスコ状	フラスコ状	皿状	皿状
規 模 (cm)	開口部径	100×102	92×105	92×105	116×126	116×126	141×146	141×146
	底部径	124×131	86×94	86×94	138×140	138×140	142×143	142×143
	深 さ	25	10	10	28	28	13	13
埋 土	黒色土が主体。Nb-p含む		黒褐色土主体。 Nb-p微量含む。		黒褐色土、暗褐色土が主体。 白っぽいNb-p含む。		黒褐色土主体。 下部に黒褐色土とNb-pの 混土含む。	
底 面	ほぼ平皿		平皿		やや波打つ		ほぼ平皿	
壁			外傾				ほぼ直立	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		土器片		土器数片、磨石		なし	
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺 構 名		第97号土坑		第98号土坑		第99号土坑		第100号土坑	
図 版	76	77	98	77	98	77	98	77	98
写 真 図 版	51	52	115	52	115	52	115	52	115
位 置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検 出 状 況 重 複 関 係									
形 状	平面形	円形		円形		円形		不整形	
	断面形	皿状		フラスコ状		フラスコ状		ビーカー状	
規 模 (cm)	開口部径	110×?		137×152		150×150		142×151	
	底部径	91×?		146×164		158×173		108×138	
	深 さ	12		96		128		39	
埋 土	Nb-pと黒褐色土の混土。		黒褐色土主体。 炭化物粒、Nb-p、土器片含む。		黒褐色と明黄褐色土が主体。 最下部にはよい黄褐色土。 Nb-p、炭化物粒含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		
底 面	ほぼ平坦		平坦		やや傾斜		ほぼ平坦		
壁	外傾						やや直立		
副 穴	なし		なし		なし		有 <small>深さ</small> 23.9cm、32.5cm		
出 土 遺 物	なし		土器数片		土器数片、石鏃		土器数片、石匙		
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺 構 名		第101号土坑		第102号土坑		第103号土坑		第104号土坑	
図 版	77	78	53	78	53	78	53	78	53
写 真 図 版	52	53		53		53		53	
位 置	IVC区		IVC区		IVC区		IVC区		
検 出 状 況 重 複 関 係					第104号土坑と重複しているが新旧は不明。		第103号土坑、中世第1号住居跡と重複。新旧不明。		
形 状	平面形	楕円形		円形		長方形		長方形	
	断面形	皿状		皿状		皿状		逆台形状	
規 模 (cm)	開口部径	83×112		φ84		73×116		110×?	
	底部径	40×60		φ38		49×90		87×?	
	深 さ	64		24		29		24	
埋 土	黒色土主体。米粒大の角礫含む。		黒色土主体。米粒大の角礫含む。		黒色土主体。 Ch-p及びφ5~25mmほどの角礫を含む。		黒色土主体。 Ch-p及びφ5~25mmほどの角礫を含む。		
底 面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副 穴	なし				なし		なし		
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし		
時 期	中世以降		中世以降		中世以降		中世以降		

遺 構 名	第105号土坑		第106号土坑		第107号土坑		第108号土坑	
図 版	78		78		78		78	
写 真 図 版	53		54		54		54	
位 置	IVC区		IVC区		IVC区		IVC区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	円形状	円形状	楕円形状	楕円形状	楕円形状	楕円形状	楕円形状
	断 面 形	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状
規 模 (cm)	開口部径	φ105	φ93	91×114	φ96		φ96	
	底部径	φ86	φ59	73×87	φ62		φ62	
	深 さ	14	16	8	6		6	
埋 土	黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。	
底 面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
脚 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明		不明		不明	

遺 構 名	第109号土坑		第110号土坑		第111号土坑		第112号土坑	
図 版	78		78		78		79	
写 真 図 版	54		55		55		55	
位 置	IVC区		IVC区		IVC区		IVC区	
検 出 状 況 重 複 関 係			新期土坑に覆られる。検出 図に焼土あり。					
形 状	平 面 形	長方形状	長方形状	長方形状	長方形状	円形状	円形状	円形状
	断 面 形	皿状	遺台形状	遺台形状	遺台形状	皿形状	皿形状	皿形状
規 模 (cm)	開口部径	93×164	82×141	82×216	φ82		φ82	
	底部径	81×143	64×101	68×180	φ62		φ62	
	深 さ	6	19	30	20		20	
埋 土	黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-pを多く 含む。		Nb-pをわずかに含む黒色 土主体。Nb-pの崩落土有 り。		黒褐色土主体。	
底 面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
脚 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明		不明		不明	

遺 構 名	第113号土坑		第114号土坑		第115号土坑		第116号土坑	
図 版	遺構 79	図物	遺構 79	図物	遺構 79	図物	遺構 79	図物
写 真 図 版	遺構 55	遺物	遺構 56	遺物	遺構 56	遺物	遺構 56	遺物
位 置	IV D区		IV D区		IV D区		V B区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	円形状	円形状	円形	円形	円形	長方形状	
	断 面 形	ビーカー状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	
規 模 (cm)	開 口 部 径	φ116	φ114	φ141	φ141	φ141	87×182	
	底 部 径	φ100	φ98	φ98	φ98	φ98	69×160	
	深 さ	54	24	24	56	56	13	
埋 土	黒色土主体。 Nb-p及びCh-p含む。		黒色土主体。 Nb-p及びCh-pを全体に含 む。		黒色土主体とし、下部に黒 褐色土を含む。		角礫(φ5~20mm)、Ch-pをわ ずかに含む黒色土の単層。	
底 面	平坦		平坦		平坦		凹凸をもつ	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	縄文		縄文		縄文		不明	

遺 構 名	第117号土坑		第118号土坑		第119号土坑		第120号土坑	
図 版	遺構 79	図物	遺構 79	図物	遺構 79	図物	遺構 79	図物
写 真 図 版	遺構 56	遺物	遺構 57	遺物	遺構 57	遺物	遺構 57	遺物
位 置	V B区		V B区		V B区		V B区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	長方形状	長方形状	長方形	長方形	長方形	長方形状	
	断 面 形	透台形状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	
規 模 (cm)	開 口 部 径	80×169	118×181	118×181	82×144	82×144	78×189	
	底 部 径	62×152	107×167	107×167	77×135	77×135	70×184	
	深 さ	29	22	22	12	12	5	
埋 土	角礫(φ5~20mm)、Ch-pを わずかに含む黒色土単層。		褐色土ブロックを多量に、 Nb-pをまばらに含む黒褐 色土主体。(埋め戻し)		Nb-p及び角礫(φ5~10 mm)をまばらに含む黒色土 単層。		黒褐色土を主体とし、黄褐色 ・褐色土の小ブロック、 Nb-pが混じる。炭化材片含 む。	
底 面	平坦		平坦		凹凸のある傾斜		平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明		不明		不明	

遺 構 名	第121号土坑		第122号土坑		第123号土坑		第124号土坑	
図 版	80	図	80	図	80	図	80	図
写 真 図 版	57	図	58	図	58	図	58	図
位 置	V B区		V C区		V C区		V C区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平面形	円形	長方形		長方形		長方形	
	断面形	ビーカー状	皿形状		皿形状		逆台形状	
規 模 (cm)	開口部径	φ125	78×129		102×149		94×132	
	底部径	φ94	65×81		88×142		72×100	
	深 さ	159	11		11		21	
埋 土	上位は褐色土、下部はにじり黄褐色土、Nb-p Ha-pを含む。		黒褐色土主体、Nb-p及び褐色土小ブロック含む。		黒褐色土主体、Nb-p及び褐色土小ブロック含む。		黒褐色土主体、Nb-p及び大きな礫を含む。	
底 面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	直立		外傾		外傾		外傾	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明		不明		不明	

遺 構 名	第125号土坑		第126号土坑		第127号土坑		第128号土坑	
図 版	80	図	80	図	80	図	81	図
写 真 図 版	58	図	59	図	59	図	59	図
位 置	V C区		V C区		V C区		V C区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平面形	長方形	長方形		長方形		長方形	
	断面形	皿状	逆台形状		逆台形状		ビーカー状	
規 模 (cm)	開口部径	88×155	110×256		91×182		88×152	
	底部径	72×139	82×221		66×162		73×140	
	深 さ	7	40		33		35	
埋 土	黒褐色土を主体とし、黄褐色土、褐色土小ブロック、Nb-pが混じる。炭化材片を含む。		黒褐色土主体、Nb-p含む。		黒褐色土主体、Nb-p及び褐色土小ブロック含む。		黒褐色土を主体とし、黄褐色土・褐色土小ブロック、Nb-pが混じる。炭化材片を含む。(埋め戻し)	
底 面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		直立	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明		不明		不明	

遺構名	第129号土坑		第130号土坑		第131号土坑		第132号土坑	
図版	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物
写真図版	遺構 59	遺物	遺構 60	遺物	遺構 60	遺物	遺構 60	遺物
位置	V C区		V C区		V C区		V C区	
検出状況 重複関係			第132号土坑と重複しているか新旧は不明。		第130号土坑と重複しているか新旧は不明。		Nb-p層で検出。	
形状	平面形	長方形		長方形	長方形		長形状	
	断面形	皿状		皿状	皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	84×102		81×?	80×?		78×110	
	底部径	58×82		72×?	66×?		60×91	
	深さ	21		23	15		12	
埋土	黒褐色土主体。 褐色土の小ブロック、Nb-p含む。		黒褐色土主体。 褐色土の小ブロック含む。		黒褐色土主体。 褐色土の小ブロック含む。		黒色土主体。 Nb-p及びびCh-pを全体に含む。	
底面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
副穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	なし		なし		なし		なし	
時期	不明		不明		不明		不明	

遺構名	第133号土坑		第134号土坑		第135号土坑		第136号土坑	
図版	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物
写真図版	遺構 60	遺物	遺構 60	遺物	遺構 61	遺物	遺構 61	遺物
位置	V C区		V C区		V C区		V C区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	長方形		不整形	長方形		楕円形	
	断面形	皿状		皿状	逆台形状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	76×125		φ134	94×128		112×126	
	底部径	67×99		φ112	78×111		90×118	
	深さ	18		34	20		40	
埋土	黒色土、褐色土、黒褐色土主体。明黄褐色土を含み、上位に炭化物粒が混じる。		黒褐色土主体 Ha-P、黒色土粒をまばらに含む。		黒色土を主体とし、褐色土粒小ブロック、黒色土粒、Nb-pをまばらに含む。		黒褐色土を主体とし、下部に褐色土がブロック状に混じる。Nb-p、Ch-pを含む。	
底面	平坦		平坦		ゆるやかな傾斜		平坦	
壁	ほぼ直立		外傾		外傾		強く外傾	
副穴								
出土遺物	なし		なし		なし		なし	
時期	不明		不明		不明		不明	

遺構名	第137号土坑	第138号土坑	第139号土坑	第140号土坑
図版	82	82	82	82
写真図版	61	61	62	62
位置	V D区	V D区	V D区	V D区
検出状況 重複関係	第3号型穴状遺構に載られる。	第3号型穴状遺構に載られる。	第3号型穴状遺構に載られる。	第138号土坑に載られる。
形状	平面形	円形	円形	楕円形
	断面形	フラスコ状	フラスコ状	フラスコ状
規模 (cm)	開口部径	φ123	127×182	φ95
	底部径	φ95	195×241	φ111
	深さ	63	100	(39) ()は残存高
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-p、Ch-pを含む。	黒色土、黒褐色土を主体とし、上位に炭化物粒をまばらに含む。	下部は黒褐色土主体で、Nb-p、褐色土粒を含む。人為的に埋め戻されている。	不明
底面	平坦	平坦	平坦	平坦
壁	外反	外反	内傾	内傾
副穴		有り 24cm		
出土遺物	なし	土器片、凹石(敲石)	なし	なし
時期	縄文	縄文	縄文	縄文

遺構名	第141号土坑	第142号土坑	第143号土坑	第144号土坑
図版	82	83	83	83
写真図版	62	62	62	63
位置	V D区	V D区	V D区	V D区
検出状況 重複関係	第3号型穴状遺構に載られる。			Nb-p層で検出。
形状	平面形	円形	楕円形状	長方形
	断面形	フラスコ状	皿状	皿状
規模 (cm)	開口部径	φ82	116×120	φ103
	底部径	φ117	67×80	78×86
	深さ	(58) ()は残存高	16	37
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-p、Ch-pを全体に含み、褐色土粒が混じる。	黒色土主体、Nb-p含む。	黒色土主体。モザイク状に汚れたNb-pが入る。	Nb-p及びCh-pをまばらに含む黒色土主体。
底面	平坦	平坦	平坦	平坦
壁	内傾	外傾	外傾	外傾
副穴			なし	なし
出土遺物	土器数片	なし	なし	なし
時期	縄文	不明	不明	不明

遺構名	第145号上坑	第146号上坑	第147号上坑	第148号上坑
図版	83	83	83	83
写真図版	63	63	63	64
位置	V D区	V D区	v D区	V D区
検出状況 重複関係				
形状	平面形	円形	円形	長方形状
	断面形	皿状	フラスコ状	ビーカー状
規模 (cm)	開口部径	φ144	φ153	φ146
	底部径	φ125	φ185	φ143
	深さ	27	60	70
埋土	黒色土主体。 Nb-p、Ch-p含む。	黒色土、黒褐色土、暗褐色土が主体。Nb-p含む。	黒褐色土、黄褐色土、褐色土が主体。 Nb-p、Ch-pを含む。	Nb-pを含む黒褐色土の単層。
底面	平坦	平坦	ゆるやかに傾斜	ほぼ直立
壁	外傾	内傾	ほぼ直立	なし
竈穴		なし	なし	なし
出土遺物	なし	なし	なし	不明
時期	縄文	縄文	縄文	

遺構名	第149号上坑	第150号上坑	第151号上坑	第152号上坑
図版	84	84	84	84
写真図版	64	64	64	65
位置	V D区	V D区	V D区	V D区
検出状況 重複関係				
形状	平面形	不整形円形	円形	長方形状
	断面形	ビーカー状	フラスコ状	皿状
規模 (cm)	開口部径	φ191	φ148	59×68
	底部径	φ180	φ160	47×52
	深さ	47	51	8
埋土	にんげい黄褐色土、黒褐色土、黒色土主体。Nb-p、Ch-p含む。	黒褐色土主体。Nb-pを含む。暗褐色土中に炭化材粒が混じる。	Nb-pを含む黒色土の単層。	黒褐色土を主体としてNb-pを含む。上位に炭化物粒が混じる。
底面	ほぼ平坦	平坦	平坦	ほぼ平坦
壁	内傾	外反	外傾	外反
竈穴		なし		なし
出土遺物	なし	なし	なし	なし
時期	縄文	縄文	不明	縄文

遺 構 名	第153号土坑		第154号土坑		第155号土坑		第156号土坑	
図 版	84	98	85		85		85	
写 真 図 版	65	115	65		65		66	
位 置	VD区		VD区		VD区		VD区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平面形	円形		円形		円形		長方形
	断面形	深ビーカー状		逆台形状		深ビーカー状		逆台形状
規 模 (cm)	開口部径	φ187		φ142		φ156		78×130
	底部径	φ76		φ79		φ92		64×110
	深 さ	271		290		314		16
埋 土	上位から中位にかけて黒色土主体で、中位には炭化材が含まれる。下位にはよい黄褐色土。		黒色土を主体とし、Nb-p、Ch-p、褐色土小ブロックを含む。		黒色土を主体とし上位にNb-p、中位から下位にかけて褐色土粒を含む。		暗褐色土を主体とし褐色土ブロック及び炭化物、焼土粒を含む。	
底 面	ほぼ平坦		平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
副 穴	有り	深さ 10cm			なし			
出 土 遺 物	土器片、鉄押、ファイブの羽目など		なし		なし		鉄押、鉄製品破片?	
時 期	中世以降		中世以降		中世以降		不明	

遺 構 名	第157号土坑		第158号土坑		第159号土坑		第160号土坑	
図 版	85	98	85		86	98	86	
写 真 図 版	66	115	66		66	116	67	
位 置	VE区		VE区		VE区		VE区	
検 出 状 況 重 複 関 係			Nb-p層直上					
形 状	平面形	円形		楕円形状		円形		円形
	断面形	ビーカー状		皿状		皿状		皿状
規 模 (cm)	開口部径	134×150		108×128		116×126		134×138
	底部径	126×128		82×104		110×111		117×124
	深 さ	67		22		26		36
埋 土	黒褐色土を主体とし、Nb-pの崩落ブロックを下部を含む。		黒色土の単層でNb-p、Ch-pをまばらに含む。		黒色土の単層でNb-p、Ch-pをまばらに含む。		黒褐色土を主体とし、下部に暗褐色土を含む。Nb-pを全体にまばらに含む。	
底 面	平坦で焼土塊4カ所あり		平坦		平坦		平坦	
壁	直立ぎみに外傾		外傾		外傾		直立ぎみに外傾	
副 穴	有 (10個)	深さ 5~19cm					なし	
出 土 遺 物	土器破片		なし		土器片		なし	
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第161号土坑	第162号土坑	第163号土坑	第164号土坑
図版	86	98	86	87
写真図版	87	116	87	88
位置	VE区	VF区	VE区	VE区
検出状況 重複関係				
形状	平面形	円形	円形	円形
	断面形	ビーカー状	フラスコ状	皿状
規模 (cm)	開口部径	φ170	170×188	φ75
	底部径	φ153	168×174	φ57
	深さ	66	92	80
埋土	黒色土～黒褐色土を主体とし、壁際にNb-pの崩落を含む。	Nb-p 5～30%含む黒色土・黒褐色土が主体。Nb-pの崩落ブロック含む。	Nb-p 3～10%含む黒色土を主体とし、下部は崩落したNb-pと暗褐色土となる。	Nb-p 5%含む黒色土、崩落したNb-pからなる。
底面	平坦	平坦	ほぼ平坦	平坦
壁	わずかに外反	外反。崩落あり。	外反	直立ぎみに外傾
開口		有(3個) 径 5～7cm		
出土遺物	土器片、細部加工刺片	土器片	なし	なし
時期	縄文	縄文	縄文	縄文

遺構名	第165号土坑	第166号土坑	第167号土坑	第168号土坑
図版	87	98	87	87
写真図版	88	116	88	89
位置	VE区	VF区	VIC区	VID区
検出状況 重複関係	第3号壑穴状遺構に截られる。	南部浮石層上面以上で検出されるべき遺構である。検出面を下げ過ぎている。		
形状	平面形	円形	円形	長方形
	断面形	フラスコ状	フラスコ状	皿状
規模 (cm)	開口部径	173×?	73×78	φ122
	底部径	186×?	144×146	φ144
	深さ	108	(60) ()は残存高	(24) ()は残存高
埋土	Nb-pを含む黒色土主体で、壁際はNb-pの崩落ブロック。下部は黒褐色土、褐色土を含む。	Nb-p 15～30%含む黒褐色土と明黄褐色の崩落土からなる。	Nb-p、Ch-pを含む黒色土堆積層。	黄褐色土を主体として黒色土粒、明黄褐色土小ブロック、Nb-pを含む。
底面	わずかに傾斜する	緩やかに傾斜する。	内傾	平坦
壁	内傾	内傾	ゆるやかな傾斜	外傾
開口	有(7個) 径 4～15cm		なし	なし
出土遺物	土器片	土器片	晩期の土器	なし
時期	縄文	縄文	縄文	不明

遺 構 名	第169号土坑		第170号土坑		第171号土坑		第172号土坑	
図 版	遺構 87	遺物	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物
写 真 図 版	遺構 69	遺物	遺構 69	遺物	遺構 69	遺物	遺構 70	遺物
位 置	VID区		VID区		VID区		VID区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	長方形	長方形	長方形	長方形	長方形	長方形	長方形
	断 面 形	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状
規 模 (cm)	開口部径	89×148	85×151	106×144	110×184			
	底 部 径	82×136	73×140	92×137	92×158			
	深 さ	26	16	12	12			
環 土	黒褐色土を主体とし、Nb-pが混じる。炭化物粒わずかに含む。		上位は黒色土、下位は黒褐色土が主体で、褐色土粒及びNb-pを含む。		黒褐色土を主体とし、Nb-p及び黒色土ブロックを含む。		Nb-p、暗褐色の土粒をわずかに含む黒褐色土の単層。	
底 面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	外傾		外傾		外傾		外傾	
副 穴	なし		なし		なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし	
時 期	不明		不明				不明	

遺 構 名	第173号土坑		第174号土坑		第175号土坑		第176号土坑	
図 版	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物 89
写 真 図 版	遺構 70	遺物	遺構 70	遺物	遺構 70	遺物	遺構 71	遺物 716
位 置	VID区		VID区		VID区		VID区	
検 出 状 況 重 複 関 係								
形 状	平 面 形	円形	長方形	円形	円形	円形	円形	円形
	断 面 形	皿状	皿状	皿状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状
規 模 (cm)	開口部径	φ114	78×101	φ133	φ140			
	底 部 径	φ100	62×94	φ142	φ155			
	深 さ	28	9	44	46			
環 土	黒褐色土を主体とし、Nb-p、Ch-pをまばらに含む。		黒褐色土を主体としてNb-p、褐色土粒及び炭化材を含む。		上位は暗褐色土、中位は褐色土、下位は黒色土が主体で、Nb-pを含む。		黒褐色土及び黒色土を主体としNb-p、Ch-pを含む。	
底 面	平坦		ほぼ平坦		ゆるやかに傾斜		平坦	
壁	外傾		外傾		ほぼ直立		ほぼ直立	
副 穴	なし				なし		なし	
出 土 遺 物	なし		なし		なし		土器片	
時 期	縄文		不明		縄文		縄文	

遺構名	第177号土坑		第178号土坑		第179号土坑		第180号土坑	
図版	遺構89	遺物	遺構89	遺物99	遺構89	遺物	遺構89	遺物
写真図版	遺構71	遺物	遺構71	遺物116	遺構71	遺物	遺構72	遺物
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区	
検出状況 重複関係					第182号土坑と載り合うが 新旧は不明。		第179号土坑と載り合うが 新旧は不明。	
形状	平面形	円形	不整形		楕円形状		楕円形?	
	断面形	ビーカー状	皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	φ158	φ198		121×177		?×82	
	底部径	φ140	φ212		91×162		?×55	
	深さ	50	18		37		13	
埋土	黒褐色土を主体として Nb-p、Ch-pを含む。		黒色土を主体としCh-p及 びNb-pを含む。		Nb-p 5~30%含む黒褐色 土、暗褐色土、黒色土の混 土。人為的に埋め戻されて いる。		Nb-p 5%含む黒褐色土で、 土器片含む	
底面	平坦		ゆるやかに傾斜		波打つ		丸みをもつ	
壁	外傾		外傾		外傾		緩やかに外傾	
竈穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	なし		土器数片		なし		なし	
時期	縄文		縄文		縄文?		縄文	

遺構名	第181号土坑		第182号土坑		第183号土坑		第184号土坑	
図版	遺構89	遺物	遺構90	遺物99	遺構90	遺物	遺構90	遺物
写真図版	遺構72	遺物	遺構72	遺物116	遺構72	遺物	遺構73	遺物
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区	
検出状況 重複関係					八戸火山灰層上面で検出さ れたが、もっと上位で見え た可能性が高い。		八戸火山灰層上面	
形状	平面形	ほぼ長方形	円形		円形		円形	
	断面形	皿状	ビーカー状		フラスコ状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	77×110	φ176		φ100		φ100	
	底部径	69×99	φ170		φ125		φ126	
	深さ	29	44		44		38	
埋土	Nb-p、Ch-p及び炭化物粒を 含む黒褐色土の単層。		黒色土を主体として、Nb-p、 Ch-pを含む。		Nb-p25%~30%含む褐色 土、明黄褐色土を主体とし、 黒褐色土を下部に含む。硬 く締まる。		Nb-p30%含む褐色土に崩 落したNb-pのブロックを 含む。	
底面	平坦		平坦		平坦		平坦	
壁	外傾		外傾		内傾		内傾	
竈穴	なし		なし		なし		なし	
出土遺物	なし		土器片		なし		なし	
時期	不明		縄文		縄文		縄文	

遺構名		第185号土坑	第186号土坑	第187号土坑	第188号土坑
図版	図版 90	図版 91	図版 91	図版 91	図版 91
写真図版	写真図版 73	写真図版 73	写真図版 73	写真図版 74	写真図版 74
位置	VIE区		IVE区	VIE区	VIE区
検出状況 重複関係	八戸火山灰層上面		八戸火山灰層上面	八戸火山灰層上面	八戸火山灰層上面
形状	平面形	円形	円形	楕円形状	円形
	断面形	フラスコ状	フラスコ状	皿状	フラスコ状
規模 (cm)	開口部径	φ108	72×84	100×111	φ95
	底部径	145×160	88×92	82×102	112×120
	深さ	65	32	28	36
埋土	Nb-p15~20%含む、暗褐色～褐色土が主体で、下部に黄褐色土のブロックを含む。		Nb-p20~30%含む暗褐色土と黄褐色土が主体で、下部は褐色土となる。	Nb-p30%含む暗褐色土の厚層で、Nb-p崩落ブロック含む。	Nb-p30%含む暗褐色土の厚層。
底面	ほぼ平坦		平坦	傾斜わずかにあり	波打つ
壁	内側して外傾		内側	外傾	内傾し外反
副穴	なし		なし	なし	なし
出土遺物	なし		なし	なし	なし
時期	縄文		縄文	縄文	縄文

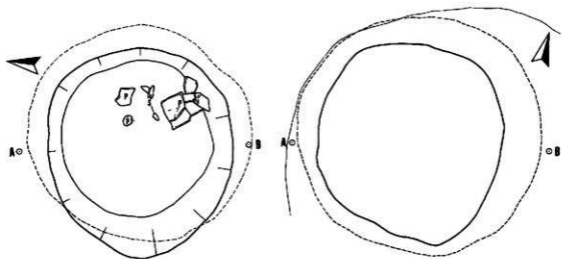
遺構名		第189号土坑	第190号土坑	第191号土坑	第192号土坑
図版	図版 91	図版 91	図版 91	図版 91	図版 99
写真図版	写真図版 74	写真図版 74	写真図版 74	写真図版 75	写真図版 116
位置	VIE区		VIE区	VIE区	VIE区
検出状況 重複関係					
形状	平面形	円形	円形	円形	円形
	断面形	皿状	ビーカー状	フラスコ状	フラスコ状
規模 (cm)	開口部径	114×122	104×108	φ105	136×144
	底部径	φ100	86×92	112×120	160×164
	深さ	22	68	45	75
埋土	Nb-p15~30%含む暗褐色土、褐色土からなり、Nb-pの崩落ブロック含む。		まばらにNb-pを含む黒褐色土。多量に含む黒褐色土主体。暗褐色土、崩落したNb-p含む。	黒褐色土と黒色土を主体とし、Nb-p、Ch-pをともに含む。	上部はNb-p10~50%含む黒褐色土、中～下部はNb-p、Ch-pを含む黒色土、暗褐色土が主体。
底面	平坦だがわずかに傾斜あり		わずかに円凸あり	平坦	平坦
壁	外傾		外反ぎみ	直立ぎみに外反	直立ぎみに外反
副穴	なし		なし	なし	なし
出土遺物	なし		なし	なし	土器片
時期	縄文		縄文	縄文	縄文

遺構名	第193号土坑		第194号土坑		第195号土坑		第196号土坑		
図版	92	遺物	92	遺物	92	遺物	92	99	
写真図版	75	遺物	75	遺物	75	遺物	76	116	
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区		
検出状況 重複関係							新期土坑に載られる。		
形状	平面形	楕円形状		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ状		フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	123×140		90×96		104×110		194×200	
	底部径	144×158		126×132		83×86		205×214	
	深さ	74		61		35		119	
埋土	上部は褐色土、中～下部はNb-pを20～50%含む黒褐色土、褐色土。崩落したNb-pを含む。		Nb-p 7～20%含む黒褐色土と暗褐色土が主体。		Nb-p 3～10%含む黒色土、黒褐色土、暗褐色土からなる。		Nb-p 7～20%、Ch-pを全体に含む黒色土と黒褐色土を主体とする。崩落したNb-pを含む。		
底面	わずかに凹凸あり		ほぼ平坦		平坦		平坦		
壁	内凹して外反		内傾		外傾		外反		
副穴	有 (2個)	径	10cm						
出土遺物	なし		なし		なし		土器数片、円石		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

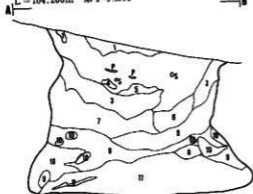
遺構名	第197号土坑		第198号土坑		第199号土坑		第200号土坑		
図版	92	遺物 99	93	遺物 99	93	遺物	93	遺物	
写真図版	76	遺物	76	遺物 116	76	遺物	77	遺物	
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区		
検出状況 重複関係					(木版の可能性あり)				
形状	平面形	不整形円形		円形		円形		不整形円形	
	断面形	フラスコ状と思われるが、崩落が著しい。		皿状		ビーカー状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	174×238		163×185		φ93		74×96	
	底部径	130×182		φ143		46×58		53×55	
	深さ	100		40		57		20	
埋土	上部はNb-pを含む黒褐色土、中～下部はNb-p、Ch-pを含む黒色土と黒褐色土からなる。		Nb-pを含む黒褐色土、暗褐色土からなる。		Nb-p 5～20%含む黒褐色土、暗褐色土からなる。		Nb-p、Ch-pを含む黒褐色土の単層。		
底面	壁際に丸みあり		平坦		被たつ		ほぼ平坦		
壁	外傾と外反		外傾		外傾		緩やかに外傾		
副穴	有	径	12cm						
出土遺物	土器片		土器数片		なし		なし		
時期	縄文		縄文		不明		縄文		

遺 構 名		第201号土坑		第202号土坑		第203号土坑			
図 版	通図 93	通図	93	通図	93	通図	93	通図	
写 真 図 版	通真 77	通真	77	通真	77	通真	77	通真	
位 置	IVF区		IVF区		VF区				
検 出 状 況 重 複 調 査									
形 状	平 面 形	方形		方形		方形			
	断 面 形	皿状		皿状		皿状			
規 模 (cm)	開 口 部 径	172×193		171×182		176×196			
	底 部 径	162×183		154×168		152×168			
	深 さ	40		13		12			
埋 土	黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p、灰白色火山灰を少量 含む。		黒色土主体。 炭化物粒、灰白色火山灰を 少量含む。		黒色土の平層。 炭化物粒、灰白色火山灰を 少量含む。				
底 面	平造		やや傾斜		やや板打つ				
壁	直立		外傾		外傾				
副 穴	有	深さ	13cm	なし		なし			
出 土 遺 物	なし		なし		なし				
時 期	古代		古代		古代				

(高橋・濱田・田中)



L=104.200m 第1号土坑



第1号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土。炭化物粒。Np5%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。炭化物粒。Np5%含む。
3. 10Y R1.7/1黒色土。Np5%含む。
4. 10Y R4/4褐色土。黒色土含む。
5. 10Y R2/2黒褐色土。
6. 7.5Y R2/3褐色土。
7. 7.5Y R2/2黒褐色土。Np1%含む。
8. 7.5Y R2/1黒色土。Np15~20%含む。
9. 10Y R5/6黄褐色土。黒色土を帯状に含む。
10. 10Y R4/6褐色土。
11. 7.5Y R2/2黄褐色土。地山崩落土含む。

第2号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土。Np含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。Np15%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。Np30%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土。褐色土のフロック含むNp10%。
5. 10Y R1.7/1黒色土。Npと黒褐色土を含む。
6. 10Y R1.7/1黒色土。細砂を含む。
7. 10Y R2/1黒色土。Np2%含む。
8. 10Y R2/1黒色土。にがい黄褐色土と細砂を含む。
9. 10Y R1.7/1黒色土。Np10%含む。
10. 10Y R1.7/1黒色土。Np2%含む。
11. 10Y R2/1黒色土。Np2%含む。
12. 10Y R5/6黄褐色土。Npのフロック。

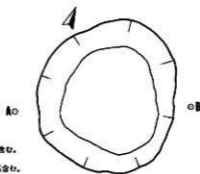
L=104.500m



第2号土坑

第3号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土。Np5%含む。
2. 10Y R3/2黒褐色土。
3. 10Y R3/3暗褐色土。Np40%含む。
4. 10Y R4/6褐色土。Np含む。
5. 10Y R4/4褐色土。地山崩落土。

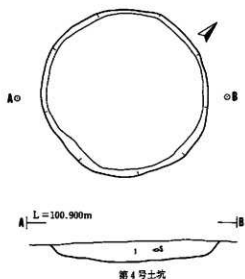


L=103.900m

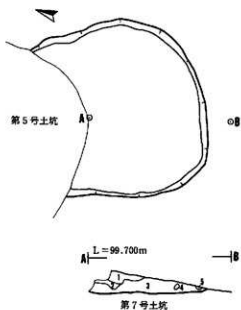


第3号土坑

図55 土坑(1)

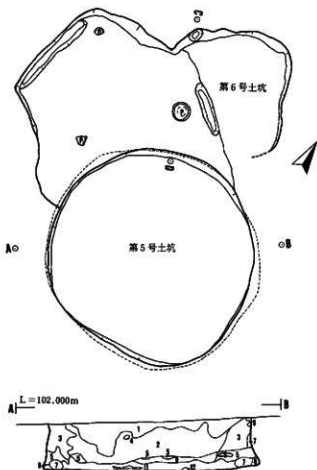


1. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp%含む。



第7号土坑

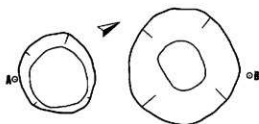
第7号土坑
 1. 7.5Y R2/1黒色土。Nbp%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土。Nbpまばら。
 3. 10Y R3/4暗褐色土。Nbp%含む。
 4. 10Y R4/4褐色土。
 5. 10Y R2/3黒褐色土。



第5号土坑
 1. 10Y R2/1黒色土。Nbp3%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp2%。土層片を含む。
 3. 10Y R2/3黒褐色土。
 4. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。ロームブロック。
 5. 10Y R4/4褐色土。黒色土、暗褐色土の混土。
 6. 10Y R5/6暗褐色土。地山崩落土。
 7. 10Y R6/4にぶい黄褐色土。地山崩落土。
 8. 10Y R3/2黒褐色土。やわらかい。
 9. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp1%含む。
 10. 10Y R2/1黒色土。炭化物粒を散在含む。
 11. 10Y R3/3暗褐色土。明黄褐色土を含む。
 12. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。

第6号土坑
 1. 10Y R3/3暗褐色土。
 2. 10Y R4/4褐色土。Nbpまばら。
 3. 10Y R2/2黒褐色土。
 4. 10Y R2/1黒色土。

図56 土坑(2)



L = 101.900m

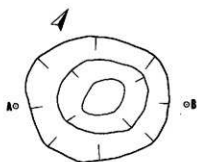


第8号土坑

第9号土坑

第8号・9号土坑

1. 10 Y R2/1黒色土、Nhp2ばら。
2. 10 Y R2/2黒褐色土、砂質土。
3. 10 Y R2/3黒褐色土、地山崩落土。
4. 10 Y R1.7/1黒色土、小礫を含む。



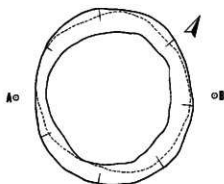
L = 100.100m



第10号土坑

第10号土坑

1. 10 Y R2/3黒褐色土、Nhp60%含む。
2. 10 Y R2/2黒褐色土、Nhp60%含む。
3. 10 Y R2/3黒褐色土、Nhp60%含む。
4. 10 Y R2/4褐色土、暗褐色土を含む。
5. 10 Y R2/3黒褐色土、Nhp10%含む。



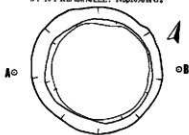
L = 99.300m



第11号土坑

第11号土坑

1. 10 Y R2/1黒色土、Nhp5%含む。
2. 10 Y R2/2黒褐色土、Nhp1%含む。
3. 10 Y R2/1黒色土、Nhp3%含む。
4. 10 Y R5/6黒褐色土、埋没したNhp層。
5. 10 Y R2/2黒褐色土、Nhp60%(埋れ)含む。
6. 10 Y R2/1黒色土、Nhp1%含む。



L = 98.900m

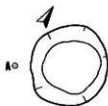


第12号土坑

第12号土坑

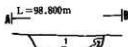
1. 10 Y R2/1黒色土、Nhp1%含む。
2. 10 Y R1.7/1褐色土、黄褐色土を含む。
3. 10 Y R2/2黒褐色土、黄褐色土、黄褐色土と黒色土の混土。
4. 10 Y R2/3黒褐色土、Nhp1%含む。
5. 10 Y R2/1黒色土、Nhp5%含む。
6. 10 Y R4/4褐色土、地山崩落土。
7. 10 Y R1.7/1黒色土、Nhp60%含む。
8. 10 Y R4/4褐色土、Nhp10%、黒色土を含む。
9. 10 Y R5/6黒褐色土、地山崩落土と黒色土を含む。

図57 土坑(3)



第14号土坑

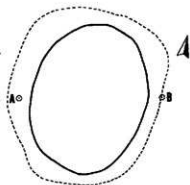
1. 10Y R3/6暗褐色土。シルト、暗褐色土の小ブロック含む。
2. 10Y R2/1黒色土。シルト、Ntp2-3%含む。
3. 10Y R3/2黒褐色土。シルト、Ntp5%含む。
4. 10Y R4/6褐色土。ローム、増山崩落土。
5. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、直径の小さいNtpを小ブロック含む。
6. 10Y R5/9黄褐色土。Ntp。崩落Ntpブロック。
7. 10Y R2/3黒褐色土。シルト、Ntp5%含む。



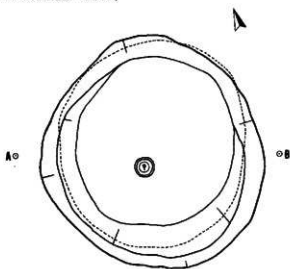
第13号土坑

第13号土坑

1. 10Y R2/1黒色土。Ntp5%含む砂質土。
2. 10Y R2/3暗褐色土。Ntp8%含む。
3. 10Y R2/2暗褐色土。中むらかい。

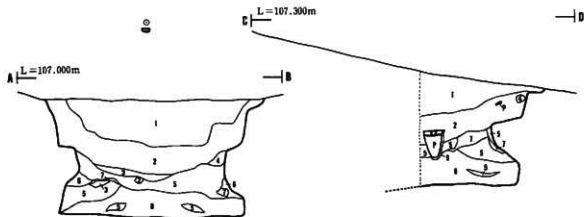


第14号土坑



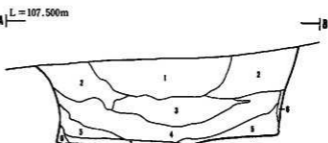
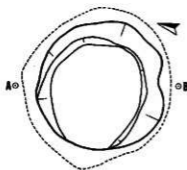
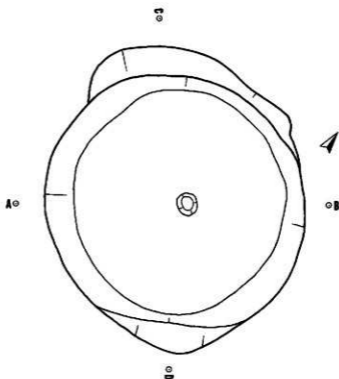
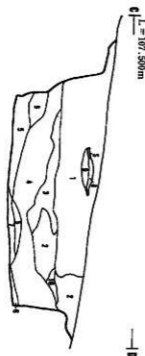
第15号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土。砂質シルト、Ntp18%含む。
2. 10Y R2/3暗褐色土。砂質シルト、Ntp10-30%含む。
3. 10Y R5/6褐色土。Ntpシルト。崩落土との混入。
4. 10Y R4/6褐色土。粘土質シルト、Ntp凝結含むフコホネ。
5. 10Y R4/6褐色土。ローム、Ntp3%。黄色土の小ブロック含む。
6. 2.5Y 6/4によい黄色土。砂、増山崩落土。
7. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。褐色土粒含む。
8. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。褐色土をしま状に含む。Ntp凝結。
9. 10Y R2/3暗褐色土。シルト。土層の傾り方硬土? Ntp含む。



第15号土坑

図58 土坑(4)



第16号土坑

第16号土坑

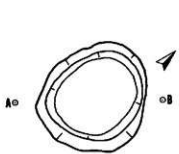
1. 10 Y R 2/3 黒褐色土、砂質シルト、Ntp10%含む、層別に粘土ブロック含む。
2. 10 Y R 2/3 黒褐色土、砂質シルト、Ntp20-30%含む。
3. 10 Y R 2/3 黒褐色土、砂質シルト、Ntp5%、褐色土の小ブロック含む。
4. 10 Y R 1.7/1 黒色土、砂質シルト、Ntp3%、アワズナ感じる褐色土を含む。
5. 10 Y R 4/4 褐色土、ローム、地山崩落土、層の境にNtp混入。
6. 10 Y R 5/6 黄褐色土、砂質ローム、地山崩落土。
7. 10 L R 2/1 黒褐色土、砂質シルト、Ntp微量含む。
8. 10 Y R 6/4 褐色土、砂質シルト、粘土を含む。
9. 7.5 Y R 6/4 暗褐色土、砂質シルト、構成不良の塊土ブロック。
10. 10 Y R 3/3 暗褐色土、砂質シルト、Ntp40%含む。

第17号土坑

1. 10 Y R 2/3 黒褐色土、シルト、Ntp微量。
2. 10 Y R 2/3 黒褐色土、砂質シルト、Ntp10%、アワズナ感じる。
3. 10 Y R 4/4 褐色土、シルト、地山崩落土。
4. 10 Y R 3/2 黒褐色土、砂質粘土、汚れた20-30%、褐色土ブロック含む。
5. 10 Y R 3/3 暗褐色土、砂質シルト、褐色土を含む。
6. 10 Y R 5/6 黄褐色土、ローム、汚れたNtpを黒色土との塊土。
7. 10 Y R 2/3 黒褐色土、砂質粘土、Ntp5%、砂を感じる。
8. 10 Y R 2/3 黒褐色土、砂質シルト、Ntp12微量。

第17号土坑

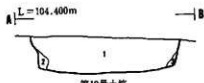
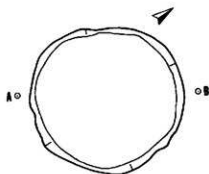
図59 土坑(5)



第18号土坑

第18号土坑

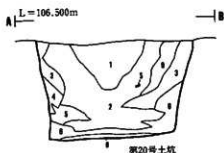
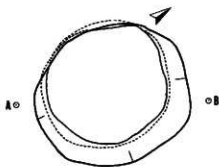
1. 10Y R3/6暗褐色土、シルト、Ntp 3-5%含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、Ntp 5-7%含む。
3. 10Y R4/4棕色土、シルト、Ntp 7%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、地山碎屑。
5. 10Y R3/3暗褐色土、ローム、Ntp微量含む(1%強)



第19号土坑

第19号土坑

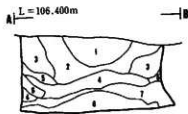
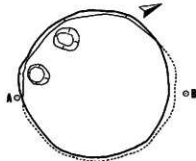
1. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp 2%含む。
2. 10Y R3/6黄褐色土、Ntp、黒色土をまばらに含む。



第20号土坑

第20号 - 21号土坑

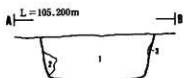
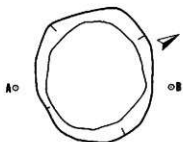
1. 10Y R2/1黒色土、シルト、木の欠き(3-15cm) Ntp 10%含む。
2. 7.5Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntpは微量、砂を感じる。
3. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp含む。
4. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp微量、褐色土をばらに含む。



第21号土坑

5. 10Y R2/2暗褐色土、粘土質シルト、Ntp微量。
6. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、崩壊したNtpで黒色土を含む。
7. 10Y R3/2、暗褐色土、ローム、粘性の強いローム、得れNtpが壊れる部分あり。
8. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp含まず。
9. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp微量含む。

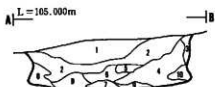
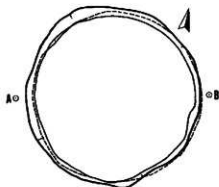
図60 土坑(6)



第22号土坑

第22号土坑

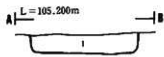
1. 10Y R1.7/1黒色土、砂質シルト、Ntp5%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp30%含む。
3. 10Y R3/6黄褐色土、Ntp、崩落したNtp。



第23号土坑

第23号土坑

1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Ntp5%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp3%含む。
3. 10Y R4/8褐色土、ローム、地山崩落土(Ntp0%含む)
4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp3%、褐色土を含む。
5. 10Y R6/4褐色土、ローム、ロームブロック。
6. 10Y R2/3黄褐色土、ローム、Ntp崩落を含む。
7. 10Y R5/6黄褐色土、ローム、地山崩落土。
8. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、崩落したNtp。
9. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp3%含む。
10. 10Y R4/4褐色土、ローム、Ntp10%小ブロック状を含む。



第24号土坑

第24号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp2%含む。



第25号土坑

第25号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp5~10%含む。
2. 10Y R5/4にぶい黄褐色土、砂質土、Ntpわずかに含む。

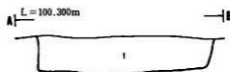
図61 土坑(7)



第26号土坑

第26号土坑

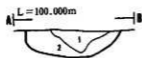
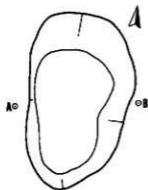
1. 10Y R1.7/1黒色土、砂質シルト、Nhp微量。
2. Y R2/1黒色土、シルト、Nhp20-30%含む。
3. 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Nhp1%含む。
4. 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Nhp20%含む。



第27号土坑

第27号土坑

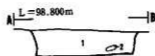
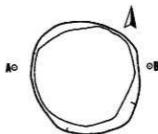
1. 10Y R1.7/1黒色土、砂質シルト、Nhp5%含む。



第28号土坑

第28号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nhp2%、炭化物をわずかに含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nhp3%含む。

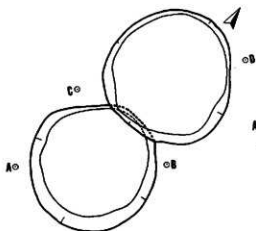


第29号土坑

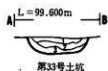
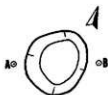
第29号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nhp3%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、本横?

図62 土坑(8)



第30号土坑



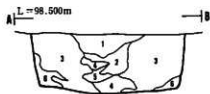
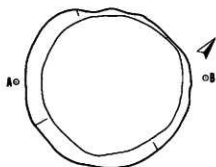
第33号土坑

第30号・31号土坑

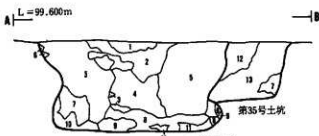
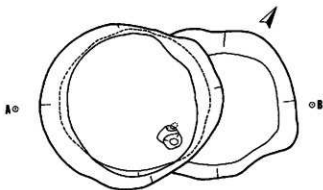
1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp60%以上含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp5~10%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp10~20%含む。
4. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp20~30%含む。
5. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp5%、崩壊したNtpの小ブロック含む。
6. 10Y R1.7/1、黒色土、粘土質シルト、Ntp3%含む。アツツナ感じる。
7. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、木炭燻。
8. 10Y R2/3、黒褐色土、ローム、地山崩落土。
9. 10Y R2/2、黒褐色土、砂質シルト、Ntp10~20%含む。アツツナを全体に感じる。
10. 10Y R6/5明黄褐色土、Ntp、崩壊したNtp、黒褐色土との混土。



第31号土坑



第32号土坑



第34号土坑

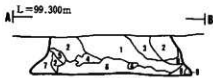
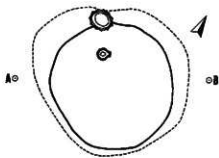
第32号土坑

1. 10Y R2/3暗褐色土、シルト+Ntp、Ntp40~45%、褐色土少ブロック含む。まだら。
2. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntp10%、褐色土少ブロック含む。まだら。
3. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp10%含む。アツツナ感じる。
4. 10Y R4/4褐色土、ローム、黒色土含む。
5. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、Ntpわずかに含む。
6. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒色土の塊、崩壊したNtp。

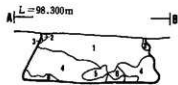
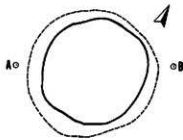
第34号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、褐色土下部に含む。Ntp2%~3%含む。
2. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntp2~3%含む。褐色土の小ブロック含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、腐植土を含む。
4. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntp5%含む。褐色土を含む。
5. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp5~10%含む。
6. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、崩壊したNtp。
7. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、褐色土を含む。Ntp。
8. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntp2%含む。褐色土散らばりに含む。
9. 10Y R5/6黄褐色土、シルトローム、地山崩落土。
10. 10Y R5/6黄褐色土、シルトローム、地山崩落土。
11. 10Y R3/3暗褐色土、砂質シルト、褐色土の小ブロック含む。
12. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp1%含む。
13. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp5~10%含む。

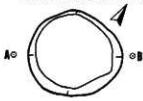
図63 土坑(9)



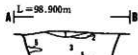
- 第36号土坑
1. 10 Y R 1/2 黒色土、シルト、Nhp 2%。全体にアワズナを含む、微量の炭化植物を含む。
 2. 10 Y R 2/1 黒色土、粘土質シルト、Nhp 10~20%。微量の炭化植物を含む。
 3. 10 Y R 2/3 黒褐色土、シルト、Nhp 5%。
 4. 10 Y R 2/2 黒褐色土、シルト、褐色土塊をわずかに含む。
 5. 10 Y R 3/2 黒褐色土、シルト、Nhp 1%。
 6. 10 Y R 4/4 褐色土、粘土質シルト、Nhp 1%。黒褐色土の小ブロックを含む。
 7. 10 Y R 3/4 褐色土、粘土シルト、褐色土を含む。
 8. 10 Y R 4/3 暗褐色土、粘土シルト、地山崩落土。
 9. 10 Y R 3/3 暗褐色土、シルト、Nhp を含む小ブロック。



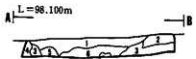
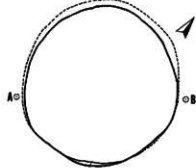
- 第37号土坑
1. 10 Y R 2/1 黒色土、砂質シルト、Nhp 5~10%を含む。
 2. 10 Y R 3/3 暗褐色土、シルト質粘土、Nhp 少量含むブロック。
 3. 10 Y R 5/6 黄褐色土、2層とNhpの混土。
 4. 10 Y R 1.7/1 黒色土、シルト質粘土、Nhp 5~15%。少量のアワズナを含む。
 5. 10 Y R 2/2 黒褐色土、シルト、Nhp (平均) 20%を含む。
 6. 10 Y R 2/2 黒褐色土、シルト、Nhp 少量含む。
 7. 10 Y R 3/3 暗褐色土、シルト、Nhp 少量含む。
 8. 10 Y R 2/3 黒褐色土、シルト、崩落したNhpと4層の混土。



- 第38号土坑
1. 10 Y R 2/2 暗褐色土、シルト、Nhp 10~15% (φ 2~5mm) アワズナを全体に含む。

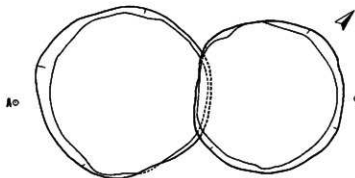


- 第39号土坑
1. 10 Y R 2/1 黒色土、シルト、Nhp 微量。
 2. 10 Y R 2/2 暗褐色土、シルト、Nhp 微量。
 3. 10 Y R 2/1 黒色土、シルト、Nhp 2% (φ 2~7mm) 褐色土の小ブロック含む。
 4. 10 Y R 3/2 暗褐色土、シルト、Nhp 微量。
 5. 10 Y R 3/3 暗褐色土、粘土質シルト、地山崩落土の小ブロック。
 6. 10 Y R 4/4 褐色土、粘土、地山崩落土の小ブロック。



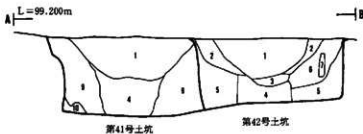
- 第40号土坑
1. 第39号土坑の「1」に同じ。
 2. 10 Y R 5/6 黄褐色土、Nhp、稀れNhp。
 3. 第39号土坑「2」に同じ。
 4. 10 Y R 2/2 黒褐色土、粘土質シルト、Nhp 1%。
 5. 10 Y R 3/3 暗褐色土、粘土質シルト、黒色土を含む。
 6. 第39号土坑「4」に同じ。
 7. 第39号土坑「6」に同じ。

図64 土坑(10)



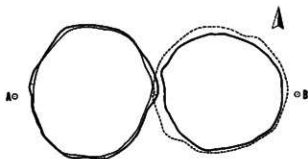
第41号 - 42号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp50%以上含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 5-10%含む。
3. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Ntp10-20%含む。
4. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp5-10%含む。
5. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 5%、崩壊したNtpの小ブロック含む。
6. 10Y R1.7/1褐色土、粘土質シルト、Ntp 3%含む、アワズナ結じる。
7. 10Y R1.7/1褐色土、シルト、木腐炭。
8. 10Y R2/3黄褐色土、ローム、地山崩壊土。
9. 10Y R2/2黄褐色土、砂質シルト、Ntp10-20%含む、アワズナを全体に結じる。
10. 10Y R6/5明黄褐色土、Ntp、崩壊したNtp、黄褐色土との混土。



第41号土坑

第42号土坑



第43号土坑

第44号土坑



第45号土坑

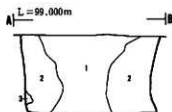
第43号 - 44号土坑

1. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp5%、炭化物含む。
2. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp5-7%。
3. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp15-20%。
4. 7.5Y R5/6明黄褐色土、Ntpシルト、Ntp60%と3層(暗褐色)の混土。
5. 10Y R2/4暗褐色土、シルト、地山(八戸火山灰層)とNtpの混土。
6. 10Y R4/4暗褐色土、シルト、Ntp10%、黄褐色土の小ブロック含む。
7. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp20-30%。
8. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、暗褐色土を含む。
9. 地山崩壊土、黄褐色土、シルト・ローム、地山崩壊土。
10. 10Y R1.7/1 褐色土、シルト、Ntp-20%。
11. 10Y R4/4、褐色土、シルト・ローム、地山崩壊土(八戸火山灰層)、Ntp10-15%。
12. 10Y R3/2黄褐色土、シルト、Ntp60%以上。

第45号土坑

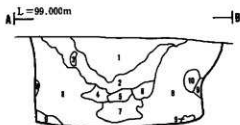
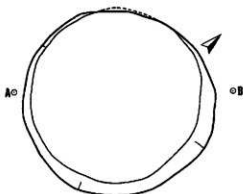
1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp1%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp10%含む。

図65 土坑(11)



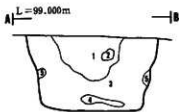
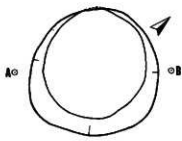
第46号土坑

- 第46号土坑
1. 10Y R2/3黄褐色土、砂質シルト、Nhp 50%含む。
 2. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 7%含む。
 3. 10Y R2/6黄褐色土、Nhp、顕著したNhp。



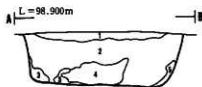
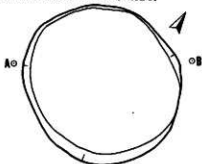
第47号土坑

- 第47号土坑
1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 25%含む。
 2. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 20%含む。
 3. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 5%含む。
 4. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 3%含む。
 5. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 2%含む。
 6. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 7%含む。
 7. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 25%含む。
 8. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 15%含む。
 9. 10Y R2/6黄褐色土、シルト、Nhp 顕著土。
 10. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 20%含む。



第48号土坑

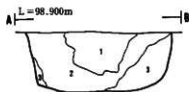
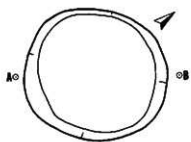
- 第48号土坑
1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 15%含む。
 2. 10Y R4/4褐色土、シルト、Nhp 20%含む。
 3. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 7%含む。
 4. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Nhp 50%含む腐殖土。
 5. 10Y R4/4褐色土、シルト、Nhp 10%含む。



第49号土坑

- 第49号土坑
1. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Nhp 15%含む。
 2. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 20%含む。
 3. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 30%含む。
 4. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp 10%含む。
 5. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、Nhpの腐殖土。

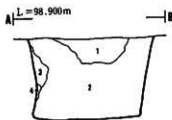
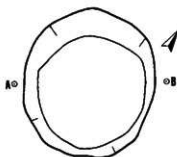
図66 土坑(12)



第50号土坑

第50号土坑

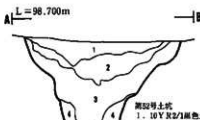
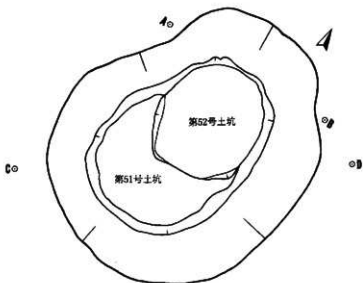
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 25%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 7%、腐、炭化物含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 5%含む。



第53号土坑

第53号土坑

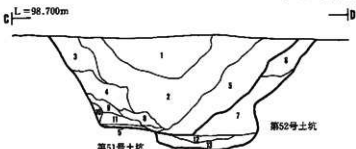
1. 10Y R1.7/1黒色土、3tp 2%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp 20%全体に含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 9%含む。
4. 10Y R5/4黄褐色土、Ntp、崩壊したNtpブロック。



第52号土坑

第52号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 20%含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntpのブロック、褐色土ブロック、褐色土ブロック含む。
3. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp 5%、アズナを含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、Ntp 2%含む、崩壊土。

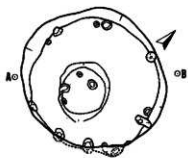


第51号土坑

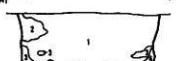
第51号土坑

1. 10Y R1.4/1黒色土、シルト、Ntp 6%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、3tp 5%含む。
3. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 6%含む。
4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 6%含む。
5. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 7%含む。
6. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 6%含む。
7. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 5%含む。
8. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp 1%含む。
9. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 1%含む。
10. 10Y R5/4黄褐色土、シルト、腐葉土。
11. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 6%含む。

図67 土坑(13)



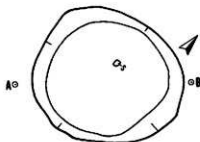
L = 98.600m



第54号土坑

第54号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Ntp 3~5%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Ntp 7~10%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Ntp 腐葉土を含む。モザイク状。
4. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。地山崩壊土との混土。
5. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。黄褐色土粒を含む。



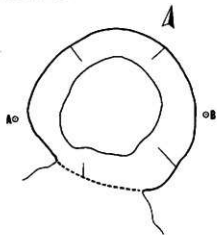
L = 98.400m



第55号土坑

第55号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Ntp 7%含む。炭化物を含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Ntp 15%含む。炭化物を含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Ntp 70%含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Ntp 5%含む。



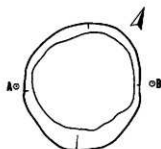
L = 98.600m



第56号土坑

第56号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土。砂質シルト。Ntp 30%含む。フツツナ感じる。



L = 98.500m

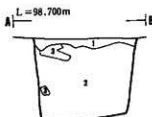
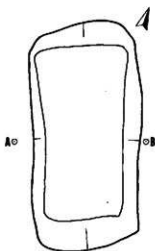


第57号土坑

第57号土坑

1. 10Y R2/1黒色土。シルト。Ntp 20~30%含む。炭化物を含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土。砂質シルト。Ntp 5%含む。1層との混土。

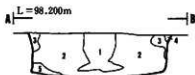
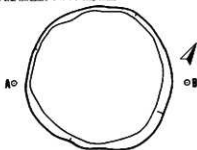
図68 土坑(14)



第58号土坑

1. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Ntp 10%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、褐色土、黒色の 磁小ブロックを全体に含む。
3. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 優量。

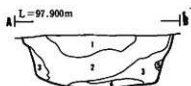
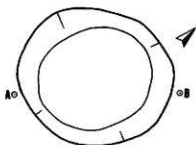
第58号土坑



第60号土坑

第60号土坑

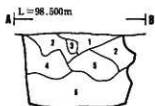
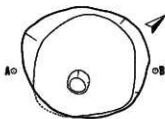
1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 10%。下部に褐色土を含む。
2. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp 3-5%を含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、Ntp 30% (腐落土) 含む。



第59号土坑

第59号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp 20-30%。炭化材、土器片含む。アワズナ感じる。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 20%。アワズナ含む。
3. 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Ntp 20%。
4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 10%。
5. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、黄褐色土粒含む。

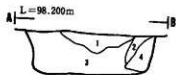
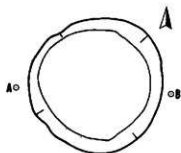


第61号土坑

第61号土坑

1. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ntp 15%含む。
2. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp 20%含む。
3. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ntp 45%含む。ブロック地山崩落土。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 15%含む。
5. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 25%含む。
6. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 10%含む。

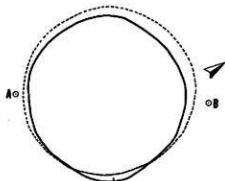
図69 土坑(15)



第62号土坑

第62号土坑

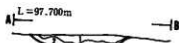
1. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp、アワズナともに集積含む。
2. 10Y R2/2暗褐色土、砂質シルト、Ntpを3%含む。
3. 10Y R2/2暗褐色土、砂質シルト、Ntp20~30%、アワズナ集積含む。
4. 10Y R2/3暗褐色土、シルト質土、Ntp20%、黄褐色土数含む。



第63号土坑

第63号土坑

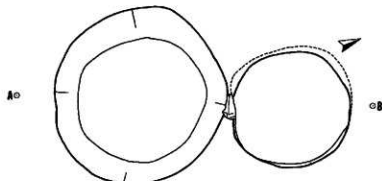
1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntpを3%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntpを1%含む。
3. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntpを3%含む。
4. 10Y R4/6褐色土、シルト。
5. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntpを3%含む。



第64号土坑

第64号土坑

1. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntpを3%含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Ntpを3%含む。



第65号土坑

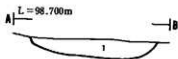
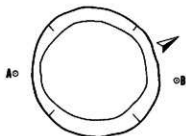
第65号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntpを7%含む。
2. 10Y R4/6褐色土、シルト、Ntpを3%含む。
3. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntpを5%含む。
4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntpを5%含む。
5. 10Y R4/6褐色土、シルト。
6. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Ntpを3%含む。
7. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntpを3%含む。
8. 10Y R4/6褐色土、シルト、Ntpを2%含む。

第66号土坑

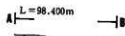
1. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、Ntpを3%含む。
2. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ntpを2%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Ntpを2%含む。
4. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntpを5%含む。

図70 土坑(16)



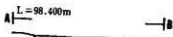
第67号土坑

- 第67号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nsp10~20%含む。



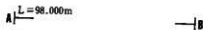
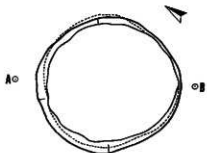
第68号土坑

- 第68号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nsp1%含む。
2. 10Y R2/3泥褐色土。シルト。崩壊したNspとの混土。
3. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。Nsp3%含む。



第69号土坑

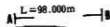
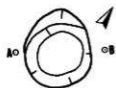
- 第69号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nsp20%含む。
2. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nsp10%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト+Nsp。Nsp50%以上含む。
4. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nsp1%含む。



第70号土坑

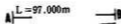
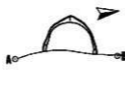
- 第70号土坑
1. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。Nsp1%含む。
2. 10Y R2/3泥褐色土。砂質シルト。Nsp3%含む。
3. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。Nsp4%含む。
4. 10Y R7/9黄褐色土。砂質シルト。泥褐色土を含む(参照)。
5. 10Y R4/6褐色土。砂質シルト。Nsp6%含む。
6. 10Y R2/2黒褐色土。砂質シルト。Nsp15%含む。
7. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。Nsp7%含む。

図71 土坑(17)



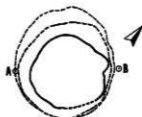
第71号土坑

- 第71号土坑
1. 10 Y R 2/2 黄褐色土、Nhpを5%含む。



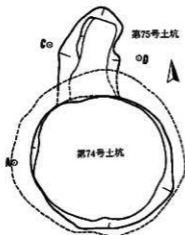
第72号土坑

- 第72号土坑
1. 10 Y R 3/2 黄褐色土、シルト。
2. 10 Y R 3/2 黄褐色土、シルト。



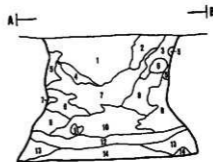
第73号土坑

- 第73号土坑
1. 10 Y R 5/4 シルト、Nhp 1%含む。
2. 10 Y R 7/4 シルト。
3. 10 Y R 3/4 シルト、柱穴？
4. 10 Y R 5/4 シルト、Nhp 1%含む。
5. 10 Y R 7/2 砂質シルト。
6. 10 Y R 6/6 シルト、地山崩落土。
7. 10 Y R 5/5 シルト、Nhp 5%含む。
8. 10 Y R 4/3 シルト。
9. 10 Y R 7/3 砂質シルト。
10. 10 Y R 5/4 シルト。
11. 10 Y R 5/5 シルト。
12. 10 Y R 7/3 砂質シルト。
13. 10 Y R 4/4 シルト。



第74号土坑

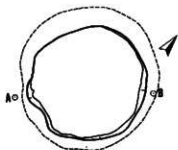
- 第74号土坑
1. 10 Y R 5/4 黄褐色土、ロームシルト、炭化封を含む。
2. 10 Y R 6/6 明黄褐色土、砂質シルト、地山崩落土？
3. 10 Y R 7/4 明黄褐色土、砂質シルト。



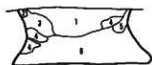
第75号土坑

- 第75号土坑
1. 10 Y R 2/2 黄褐色土、粘土質シルト、Nhp、炭化封をまばらに含む。
2. 10 Y R 3/4 黄褐色土、シルト、Nhp 5%、炭化物をわずかに含む。
3. 10 Y R 4/4 黄褐色土、粘土質シルト、Nhp微量。に黄褐色土と黄褐色土との混土。
4. 10 Y R 4/3 に黄褐色土、シルト、Nhp微量。に黄褐色土を含む。
5. 10 Y R 6/6 明黄褐色土、ローム。
6. 10 Y R 3/3 黄褐色土、粘土質シルト、Nhpと黄褐色土の混土ブロック。
7. 10 Y R 4/3 黄褐色土、粘土質シルト、に黄褐色土(崩落土)の混土、モザイク状。
8. 10 Y R 6/6 明黄褐色土、ローム、地山崩落土、Nhp微量。
9. 10 Y R 7/4 黄褐色土、砂質ローム、地山崩落土で明黄褐色土を含む。
10. 10 Y R 5/3 黄褐色土、砂質シルト、明黄褐色土、に黄褐色土を含む。
11. 10 Y R 6/6 黄褐色土、砂質ローム、セラクラブロック状。
12. 10 Y R 2/1 黄褐色土、砂質シルト、層状の黄褐色土でたたくしまる。
13. 10 Y R 5/2 黄褐色土、砂質シルト、黄褐色土とモザイク状を呈する。
14. 10 Y R 7/3 黄褐色土、砂質ローム、しまりに黄褐色土を含む。

図72 土坑(18)



L = 97.400m



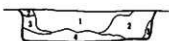
第76号土坑

第76号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 3%含む。
2. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ntp 5%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 5%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp。
5. 10Y R2/1黒褐色土、シルト、Ntp 7%含む。
6. 10Y R1.7/1黒褐色土、シルト、Ntp 2%含む。

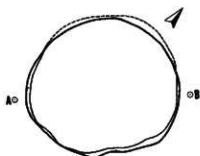


L = 97.500m



第78号土坑

1. 10Y R2/1黒褐色土、シルト、Ntp 3%含む。
2. 10Y R2/1黒褐色土、シルト、Ntp 5%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp(埋山砂源土)。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 3%含む。



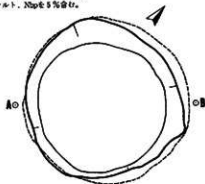
L = 97.500m



第77号土坑

第77号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp 2%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 2%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Ntp 5%含む。
4. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ntp 5%含む。



L = 97.300m

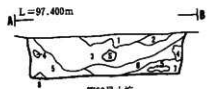


第79号土坑

第79号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 3%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 3%含む。
3. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Ntp 3%含む。
4. 10Y R3/4黄褐色土、Ktp。
5. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Ntp 7%含む。
6. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ntp 10%含む。
7. 10Y R5/4暗褐色土、シルト、Ktp 10%含む。
8. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Ktp 5%含む。
9. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Ntp 3%含む。
10. 10Y R4/4褐色土、シルト、Ktp 3%含む。
11. 10Y R3/3暗褐色土、Ntp 10%含む。
12. 10Y R4/5褐色土、シルト、埋山腐葉土。

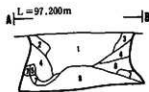
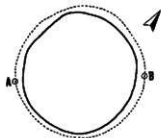
図73 土坑(19)



第80号土坑

第80号土坑

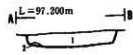
1. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを2%含む。
2. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを5%含む。
3. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nspを3%含む。
4. 10Y R3/4暗褐色土。シルト、Nspを1%含む。
5. 10Y R6/8黄褐色土。シルト、Nsp。
6. 10Y R2/1灰褐色土。シルト、Nspを25%含む。
7. 10Y R2/1灰褐色土。シルト、Nspを5%含む。
8. 10Y R3/4暗褐色土。シルト、Nspを5%含む。



第81号土坑

第81号土坑

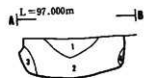
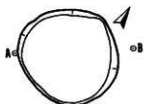
1. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nspを3%含む。
2. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nspを7-10%含む。
3. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nspを3%含む。
4. 10Y R4/6黄褐色土。地山崩落土。
5. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを1%含む。
6. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nspを5%含む。
7. 10Y R3/4暗褐色土。シルト、Nspを3%含む。
8. 10Y R4/4褐色土。シルト。



第82号土坑

第82号土坑

1. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nspを3%含む。
2. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを2%含む。



第83号土坑

第83号土坑

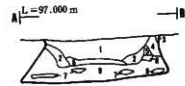
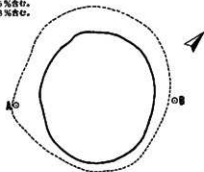
1. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを3%含む。
2. 10Y R2/3暗褐色土。シルト、Nspを5%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを2%含む。
4. 10Y R4/4褐色土。シルト、地山崩落土。



第84号土坑

第84号土坑

1. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nspを8%含む。

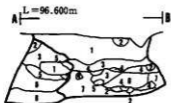
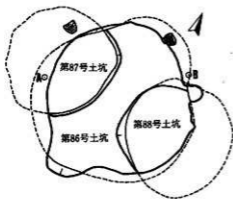


第85号土坑

第85号土坑

1. 10Y R2/3灰褐色土。シルト、Nsp3-5%含む。
2. 10Y R3/3暗褐色土。シルト、Nsp3%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土。シルト、Nsp3-5%含む。
4. 10Y R4/4褐色土。シルト、Nsp3-5%含む。
- 5-9は不明

図74 土坑(20)



第86号・87号・88号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土。シルト、Nhp20%。炭化物含む。
2. 10Y R6/6暗黄褐色土。シルト。地山崩落土。
3. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。木炭含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp2%含む。
5. 10Y R6/6暗黄褐色土。シルト。
6. 10Y R5/4黄褐色土。シルト。
7. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Nhp10%炭化物含む。
8. 10Y R5/4黄褐色土。シルト。Nhp3%含む。



第89号土坑

第90号土坑

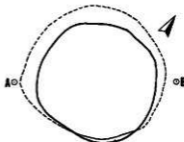
1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp3%含む。ササナラ。
2. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp3~10%含む。
3. 10Y R4/4褐色土。ローム。地山崩落土。
4. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp3~10%含む。
5. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。地山崩落土(Nhp5%含む)。
6. 10Y R5/4黄褐色土。Nhp。黒褐色土との境上。Nhp40%以上。
7. 10Y R5/4黄褐色土。Nhp。Nhp崩落アロッサ。



第89号土坑

第89号土坑

1. 10Y R4/6褐色土。ローム。地山崩落土。
2. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp3%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp3%含む。
4. 10Y R2/1黒褐色土。シルト。Nhp2%含む。
5. 10Y R4/4褐色土。シルト。Nhp7~10%含む。
6. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp7~10%含む。
7. 10Y R6/6暗黄褐色土。Nhp(崩落)。
8. 10Y R4/4褐色土。シルト。Nhp1%含む。
9. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。
10. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp2%含む。

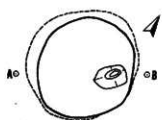


第91号土坑

第91号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhp5%含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。Nhp50%含む。石灰Nhp。
3. 10Y R6/6暗黄褐色土。Nhp。
4. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhpを3%含む。
5. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。Nhpを2%含む。
6. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nhpを1%含む。
7. 10Y R5/4黄褐色土。シルト。Nhpを1%含む。

図75 土坑(21)



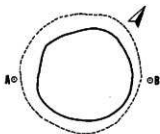
A L=97.100m



第92号土坑

第92号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbpを5%含む。
2. 10Y R6/6明黄褐色土、Nbp。
3. 10Y R5/6黄褐色土、シルト。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbpを3%含む。
5. 10Y R7/8明黄褐色土、シルト。



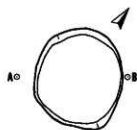
A L=97.100m



第93号土坑

第93号土坑

1. 10Y R3/6黄褐色土、シルト、Nbp2%含む。
2. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Nbp2%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp90%含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp3%含む。
5. 10Y R6/6明黄褐色土、シルト。



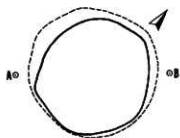
A L=97.000m



第94号土坑

第94号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp5-10%。
2. 10Y R4/6褐色土、シルトローム、地山腐層土。



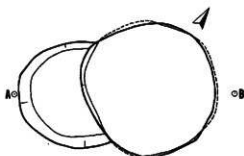
A L=97.400m



第95号土坑

第95号土坑

1. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Nbp(白っぽい3%含む)
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp2%含む。
3. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp2%、崩落したNbpブロック。
4. 10Y R5/8黄褐色土、Nbp崩落ブロック。



A L=97.000m



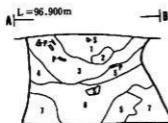
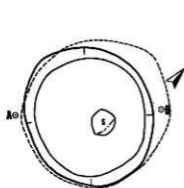
第97号土坑

第96号土坑

第96号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp3%含む、炭化物含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp5-10%含む。
 3. 10Y R5/8黄褐色土、Nbp、黒褐色土との混土、Nbp90%以上
- 第97号土坑
4. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp黒褐色土との混土、Nbp90%以上。

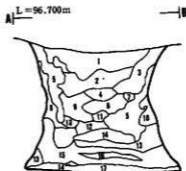
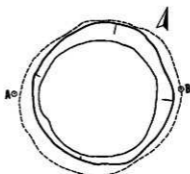
図76 土坑(22)



第98号土坑

第98号土坑

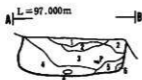
1. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。Nhpわずかに含む。
2. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。炭化物を含む。
3. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。Nhp 2-5% (散在小)。土層片を多く含む。
4. 10 Y R 4/4 褐色土。シルティローーム。地山崩落土。Nhpわずかに含む。
5. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。汚れNhp との混土。Nhp 60% 含む。
6. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。崩落土の4層との混土。Nhp 混在。
7. 10 Y R 5/6 黄褐色土。シルティローーム。地山崩落土。層分に汚れNhp 含む。層下面に黒色土をしま状に含む。



第99号土坑

第99号土坑

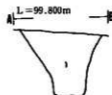
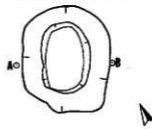
1. 10 Y R 3/2 黒褐色土。Nhp 7% 含む。
2. 10 Y R 3/2 黒褐色土。Nhp 10% 含む。
3. 10 Y R 3/2 黒褐色土。Nhp 15% 含む。
4. 10 Y R 3/2 黒褐色土。Nhp 15% 含む。
5. 10 Y R 6/6 黄褐色土。Nhp 5% 含む。地山崩落土を含む。
6. 10 Y R 6/6 黄褐色土。地山崩落土。
7. 10 Y R 2/1 褐色土。Nhp 5% 含む。炭化物を含む。
8. 10 Y R 2/2 黒褐色土。Nhp 10% 含む。
9. 10 Y R 5/6 黄褐色土。Nhp 5% 含む。
10. 10 Y R 5/6 黄褐色土。Nhp 10% 含む。崩落土。
11. 10 Y R 3/2 黒褐色土。Nhp 5% 含む。
12. 10 Y R 3/4 暗褐色土。Nhp 20% 含む。
13. 10 Y R 5/6 黄褐色土。Nhp 15% 含む。炭化物微量を含む。
14. 10 Y R 6/6 黄褐色土。Nhp 10% 含む。
15. 10 Y R 7/6 黄褐色土。Nhp 20% 含む。
16. 10 Y R 2/2 黒褐色土。Nhp 15% 含む。
17. 10 Y R 6/4 に赤い黄褐色土。暗褐色土のブロックを含む。ササツ。



第100号土坑

第100号土坑

1. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。Nhp 散在。
2. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。Nhp 7% 含む。
3. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。Nhp 10% 含む。土層片まじっている。
4. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。Nhp 48% 含む。
5. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。Nhp 60% 含む。
6. 10 Y R 7/6 黄褐色土。シルト。地山崩落土。



第101号土坑

第101号土坑

1. 10 Y R 1.7/1 褐色土。シルト。3層~5層大の角レンガを含む。

図77 土坑(23)

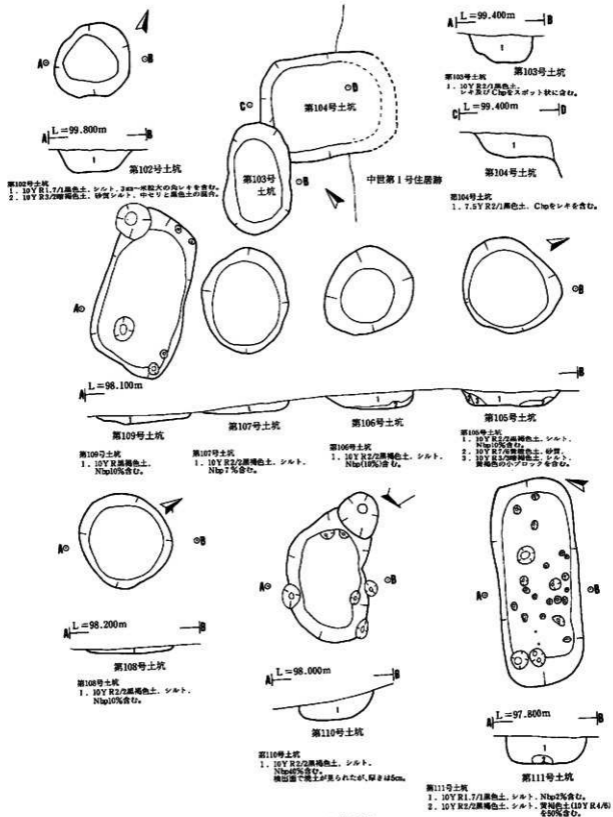


図78 土坑(24)

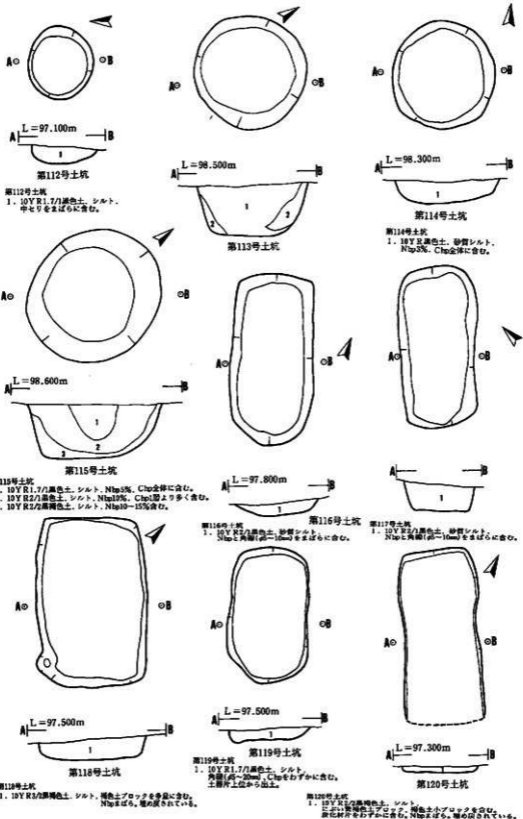
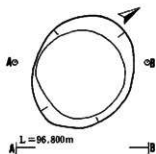
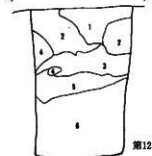


図79 土坑(25)



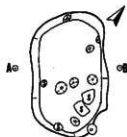
L = 96.800m



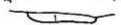
第121号土坑

第121号土坑

1. 10Y R4/6褐色土、シルト、Ntp、HApをわずかに含む。褐色腐植土ブロックをわずかに含む。
2. 10Y R4/6褐色土、粘土質シルト、Ntp、HAp3%炭化物を含む。
3. 10Y R4/6に近い黄褐色土、砂質シルト、Ntp、HAp3%を含む。
4. 10Y R7/6に近い黄褐色土、粘土質シルト、HAp2%を含む。地山腐植土。
5. 10Y R6/4に近い黄褐色土、砂質粘土、砂を含む。地山腐植土を含む。
6. 10Y R6/4に近い黄褐色土、粘土質シルト、砂を含む。



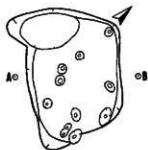
L = 97.300m



第122号土坑

第122号土坑

1. 10Y R2/2高褐色土、シルト、Ntp10%及び褐色土小ブロックを含む。



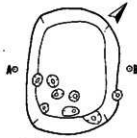
L = 97.400m



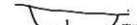
第123号土坑

第123号土坑

1. 10Y R2/2高褐色土、シルト、Ntp10%及び褐色土小ブロックを含む。



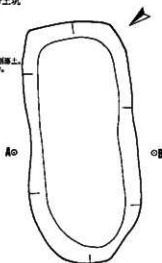
L = 97.400m



第124号土坑

第124号土坑

1. 10Y R2/2高褐色土、シルト、Ntp7%を含む。大きなレンガ入り込んでいる。



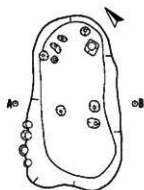
L = 97.100m



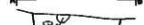
第126号土坑

第126号土坑

1. 10Y R2/2高褐色土、シルト、Ntp10%を含む。



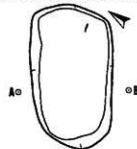
L = 97.200m



第127号土坑

第127号土坑

1. 10Y R2/2高褐色土、シルト、Ntp6%を含む。及び褐色土小ブロック。
2. 10Y R4/6褐色土、シルト、Ntp6%を含む。
3. 10Y R5/4に近い黄褐色土、シルト、褐色土の小ブロック。



L = 97.100m

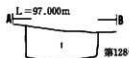
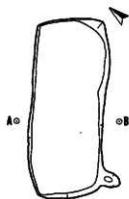


第125号土坑

第125号土坑

1. 10Y R2/2高褐色土、シルト、に多い黄褐色土ブロック、褐色土小ブロックを含む。腐植層片をわずかに含む。Ntp5%ばら、底の覆われている。

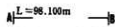
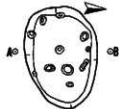
図80 土坑(26)



第127号土坑

第128号土坑

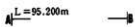
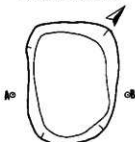
1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、
こがい程度小ブロック、褐色土の小ブロックを含む。
炭化残片をおよそに含む。Ntpまばら、堆積されている。



第128号土坑

第129号土坑

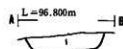
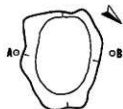
1. 10Y R1.7/1黄褐色土、シルト、
Ntp5~7%、chp全体を含む。



第129号土坑

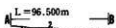
第130号土坑

1. 10Y R2/2黄褐色土、粘土質シルト、
褐色土の極小Ntp、黒色土粒、Ntpをまばらに含む。



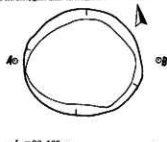
第129号土坑

1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、褐色土の小ブロックが入る。
Ntp5%含む。



第130号土坑

1. 10Y R2/1黄褐色土、粘土質シルト、物質褐色土粒、炭化残片を全体に含む。
2. 10Y R褐色土、シルト質粘土、物質褐色土粒をモザイク状に含む。
3. 10Y R3/2黄褐色土、粘土、物質褐色土粒をまばらに含む。



第131号土坑

第132号土坑

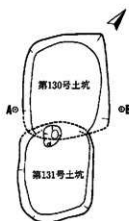
1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト
Ntp18%含む。Chpを全体に含む。
2. 10Y R3/2黄褐色土、粘土質シルト、
Ntp18%含む。Chpのすかに含む。
3. 10Y R4/4黄褐色土、粘土質シルト、
Ntpまばらに含む。

第133号土坑

1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト
黄褐色土の極小ブロック、黒色土粒を含む。
H Ap5%ばらに含む。
2. 10Y R1.7/1黄褐色土、シルト、
粘土質。マラマラ、
ブロック状。
3. 10Y R6/6に多い黄褐色土、シルト、
ブロック状。
4. 10Y R5/4に多い黄褐色土、シルト、
H Ap5%ばらに含む。
5. 10Y R5/6に多い黄褐色土、シルト、
黒色土粒のすかに含む。

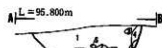
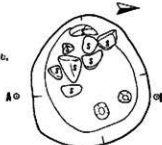
第134号土坑

第135号土坑



第130号土坑

1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、
褐色土入る。



第134号土坑

第135号土坑

1. 10Y R2/2黄褐色土、シルト
黄褐色土の極小ブロック、黒色土粒を含む。
H Ap5%ばらに含む。
2. 10Y R1.7/1黄褐色土、シルト、
粘土質。マラマラ、
ブロック状。
3. 10Y R6/6に多い黄褐色土、シルト、
ブロック状。
4. 10Y R5/4に多い黄褐色土、シルト、
H Ap5%ばらに含む。
5. 10Y R5/6に多い黄褐色土、シルト、
黒色土粒のすかに含む。

第135号土坑

図81 土坑(27)

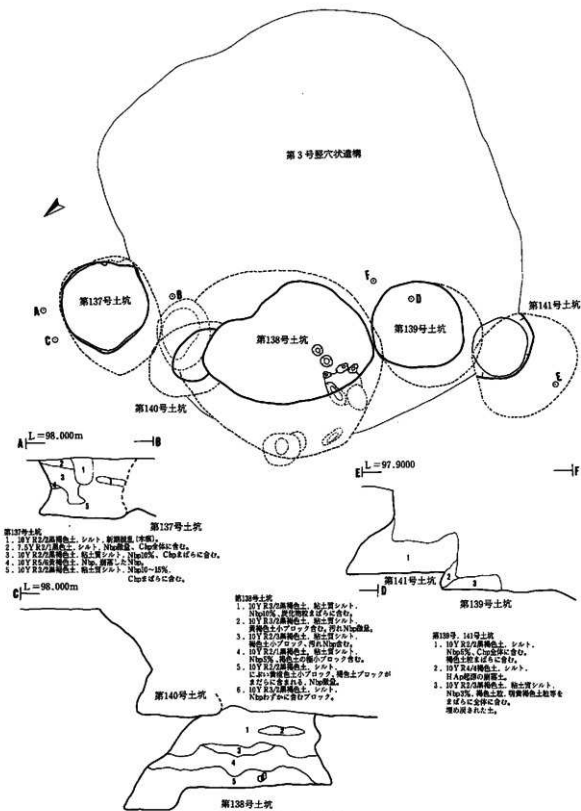
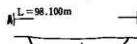
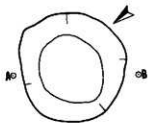
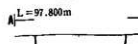
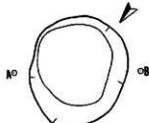


図82 土坑(28)



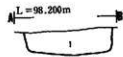
第142号土坑

第142号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp5~10%含む。



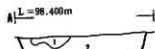
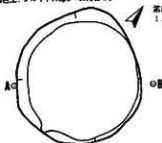
第143号土坑

第143号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp(汚れた部)40~50%含む。



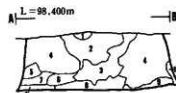
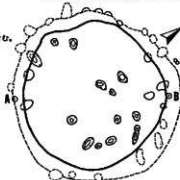
第144号土坑

第144号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp3%、Ctpまばらに含む。



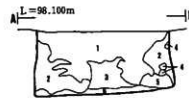
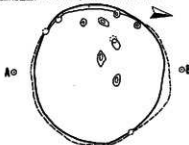
第145号土坑

第145号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp2%、Ctp全体に含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp30%、Ctp全体に含む。



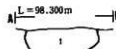
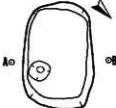
第146号土坑

第146号土坑
1. 10Y R4/4暗褐色土、シルト、Ntp3%含む褐色土ブロック。
2. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Ntp5%炭化物散まばらに含む。
3. 10Y R4/4暗褐色土、ローム、Ntp5~10%、黒色土小ブロック含む。
4. 10Y R2/3黒褐色土、砂質シルト、Ntp20%、Ctp全体に含む。
5. 10Y R6/6明褐色土、Ntp、炭屑Ntpで4層が混入。
6. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、Ntp3%含むロームブロック。
7. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、Ntpわずかに含む。
8. 10Y R2/3暗褐色土、粘土質シルト、Ntp3%含む。
9. 10Y R4/4暗褐色土、ローム、汚れたNtpわずかに含む。
10. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、地山腐葉土(Black Rese断面)。



第147号土坑

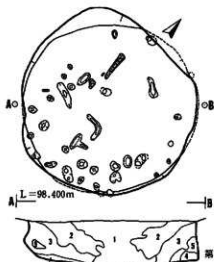
第147号土坑
1. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、汚れたNtp20%、Ctp全体に含む。
2. 10Y R6/6明褐色土、ローム、脱落したNtpまばらに含む。
3. 10Y R4/4暗褐色土、ローム、Ntpわずかに含む。
4. 10Y R4/6暗褐色土、ローム、ローム腐葉土ブロック。
5. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、褐色土ブロック含む。
6. 10Y R4/4暗褐色土、シルト、黒褐色土散含む。



第148号土坑

第148号土坑
1. 10Y R2/3暗褐色土、シルト、汚れたNtp40%、褐色土の小ブロック含む。

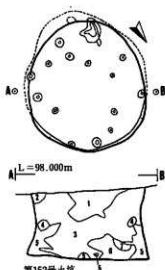
図83 土坑(29)



第149号土坑

第149号土坑

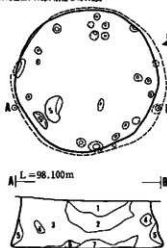
1. 10Y R4/3の黄褐色土、シルト、汚れたNtp10%、炭化材料をわずかに含む。
2. 10Y R2/2の黒褐色土、シルト、Ntp7~10%、Char全体に多く含む。
3. 10Y R2/1の黒褐色土、シルト、Ntp30%含む、Char全体に含む。
4. 10Y R3/3の暗褐色土、シルト、Ntp8%、褐色土ブロックを含む。
5. 10Y R6/3の黄褐色土、Ntp、腐植したNtp。



第152号土坑

第152号土坑

1. 10Y R2/3の黒褐色土、シルト、Ntp7%及び炭化材料を含む、上部に白い黄褐色土がふる。
2. 10Y R3/3の黒褐色土、シルト、Ntpわずかに含む、木葉を含む。
3. 10Y R3/3の黒褐色土、シルト、Ntp=15%含む。
4. 10Y R7/3の黄褐色土、シルト、Ntp=プロック。
5. 10Y R4/3の暗褐色土、シルト、Ntp=15%含む。
6. 10Y R2/3の黒褐色土、シルト、Ntp=5%、褐色土小ブロックをわずかに含む。
7. 10Y R4/3の暗褐色土、シルト、Ntp。



第150号土坑

第150号土坑

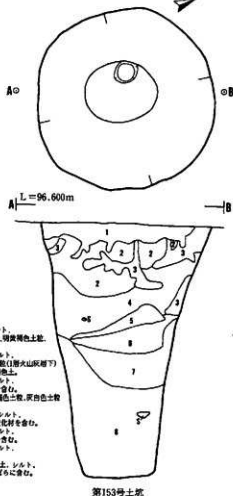
1. 10Y R2/3の黒褐色土、シルト、Ntp5%含む。
2. 10Y R2/3の暗褐色土、シルト、Ntp7%及び炭化材料を含む。
3. 10Y R2/3の黒褐色土、シルト、Ntp10%含む。
4. 10Y R6/4の黄褐色土、砂質、Ntp=プロック。
5. 10Y R5/3の黄褐色土、シルト、Ntp5%含む。
6. 10Y R2/3の暗褐色土、シルト、Ntpわずかに含む。
7. 10Y R2/3の暗褐色土、シルト、Ntpをわずかに含む。



第151号土坑

第151号土坑

1. 10Y R2/2の黒褐色土、シルト、Ntp3%含む(粗土中ビニール片含む)。



第153号土坑

第153号土坑

1. 7.5Y R2/1の黒褐色土、シルト、黄褐色土粒、暗褐色土粒、弱炭褐色土粒、浮石粒を全体に含む。
2. 10Y R5/3の黄褐色土、シルト、土中の塵入物に灰白色土粒(1層火山灰層下)を含む、白粉のある黒褐色土。
3. 10Y R1.7/1の黒褐色土、シルト、灰白色土粒、褐色土粒を含む。
4. 10Y R3/3の黒褐色土粒、褐色土粒、灰白色土粒を少量に含む。
5. 10Y R3/3の灰黄褐色土、シルト、褐色土粒小ブロック、炭化材料を含む。
6. 10Y R3/1の黒褐色土、シルト、灰白色土粒、褐色土粒を含む。
7. 10Y R2.1/1の黒褐色土、シルト、褐色土粒を含む。
8. 10Y R7/4の黄褐色土、シルト、黒褐色土粒を全体にまばらに含む。

図84 土坑(30)

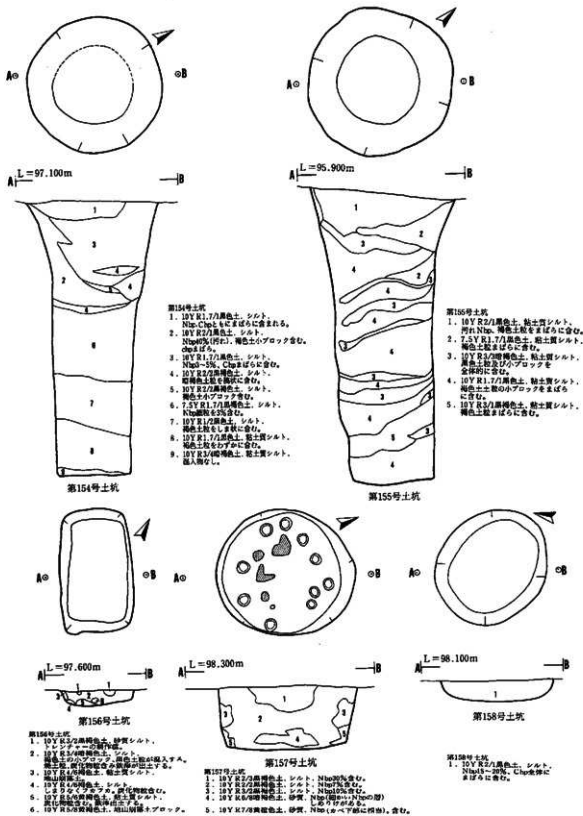
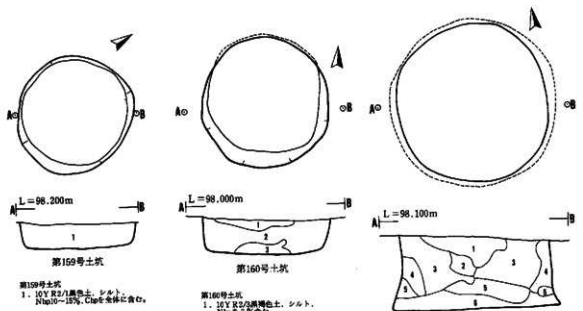


図85 土坑(31)



第159号土坑

第159号土坑

1. 10Y R2/1黒褐色土、シルト、Ntp50~55%、Ctpを全体に含む。

第160号土坑

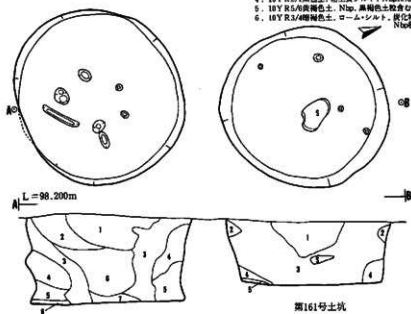
第160号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp5~5%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp5~5%含む。
3. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Ntp5~5%含む。

第163号土坑

第163号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp5~10%、炭化物粒わずかに含む。
2. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp5%含む。
3. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp5%、褐色土粒、Ctp全体に含む。
4. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp5%、cnpわずかに含む。
5. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒褐色土粒含む。地山崩落土。
6. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、シルト、炭化物粒まばらに含む。Ntp濃度含む。



第162号土坑

第162号土坑

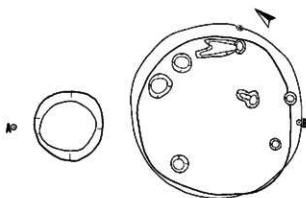
1. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Ntp25~30%、Ctpまばらに含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp5%、Ctpを全体に含む。
3. 7.5Y R3/1黒色土、シルト、Ntp5~10%、Ctpを全体に多く含む。
4. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Ntp30%、Ctpまばらに含む。
5. 10Y R6/9黄褐色土、Ntp、崩落したNtp。
6. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、褐色土ブロック含む。
7. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntpわずかに含む。
8. 10Y R4/6褐色土、シルト、地山崩落土、黒褐色土粒含む。

第161号土坑

第161号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp25~30%、Ctpをまばらに含む。暗褐色土の小ブロック含む。
2. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntpわずかに含む。
3. 10Y R2/1黒褐色土、シルト、Ntp15~20%、Ctpを全体に含む。
4. 10Y R6/9暗褐色土、Ntp、崩落したNtp。
5. 10Y R4/6褐色土、Ntp地山崩落土、Ntpわずかに含む。

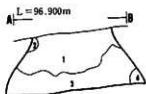
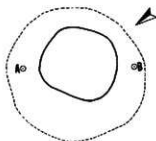
図86 土坑(32)



第164号土坑

第164号土坑

1. 10Y R2/8黒色土、粘土質シルト、Ntp5%、Ctpまばら。
2. 10Y R2/8黒褐色土、粘土質シルト、Ntpまばらに含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、地山崩落土。



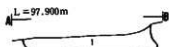
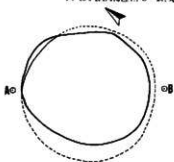
第166号土坑

1. 10Y R2/8黒褐色土、砂質シルト、Ntp5-20%、Ctpを全体に含む。褐色土の崩落土を含む。
2. 10Y R4/4褐色土、ロームシルト、地山崩落土。
3. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Ntp5-20%、Ctpを全体に含む。褐色土状、黄褐色土状をわずかに含む。
4. 10Y R6/4明黄褐色土、シルト、地山崩落土。

第165号土坑

第165号土坑

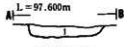
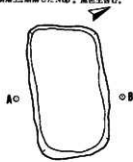
1. 10Y R2/8黒褐色土、シルト、Ntp6-18%、Ctp全体に含む。
2. 10Y R1/7/1黒色土、シルト、Ntp20%、全体にCtp含む。
3. 10Y R2/8黒色土、シルト、Ntp10%、Ctpわずかに含む。
4. 10Y R2/8黒褐色土、粘土質シルト、Ntp5%を含む。
5. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒褐色土を含む。地山崩落土。
6. 7.5Y R2/2黄褐色土、ローム、褐色土小ブロックを含む。Ntp微量。
7. 18Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土、崩落したNtp。黒色土を含む。



第167号

第167号土坑

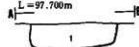
1. 10Y R2/8黒色土、シルト、Ntp1-3%、Ctpを全体に含む。遺物を含む。



第168号土坑

第168号土坑

1. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、Ntp10%含む。黄褐色の小ブロック含む。



第169号土坑

第169号土坑

1. 10Y R2/8黒褐色土、シルト、Ntp20-40%含む。人工的に埋め崩れている。炭化植物をわずかに含む。

図87 土坑(33)

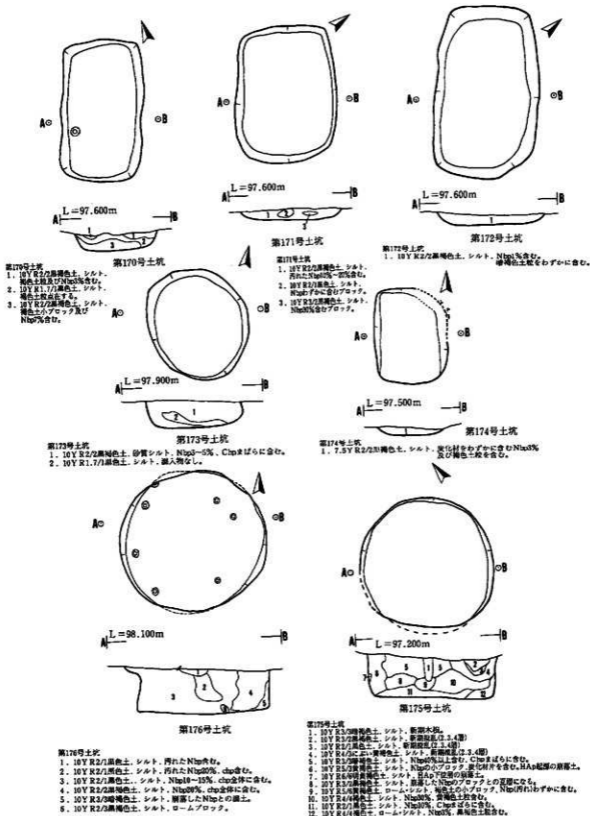
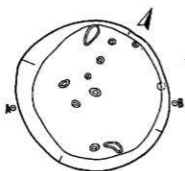
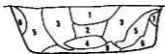


図88 土坑(34)



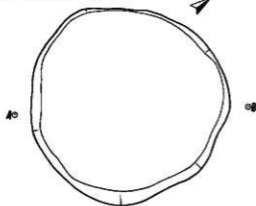
L = 98.100m



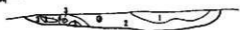
第177号土坑

第177号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp(所れ)20%、Cbp全体を含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10%、Cbp全体を含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10-15%、Cbp全体に多く含む。
4. 7.5Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp(所れ)のプロックを含む。
5. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp15%、Cbp全体を含む。
6. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp20%、Cbpまばらに含む。
7. 10Y R6/6暗黄褐色土、シルト、炭化したNbp。
8. 10Y R2/1黒色土、シルト、黒褐色土の小プロック、Nbp6%を含む。



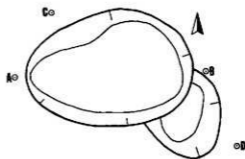
L = 97.500m



第178号土坑

第178号土坑

1. 7.5Y R2/1黒色土、シルト、中炭(Cbp)、腐敗浮石(Nbp)を3%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、中炭(Cbp)、腐敗浮石(Nbp)を7%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、中炭(Cbp)、腐敗浮石(Nbp)を5%含む。
4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Cbp、Nbpを10%含む。



L = 97.200m



第179号土坑

第179号土坑

1. Nbpと砂質シルトの混合。
2. 10Y R黒褐色土、シルト、Nbp10-30%含む。上部にいくほどかたくしまっている。
3. 10Y R3/4暗褐色土、砂質シルト、Nbp20-30%含む。
4. 10Y R2/2黒色土、シルト、Nbp10%。褐色土がしま次に含まれる。
5. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Nbp7%含む。
6. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Nbp7%含む。
7. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp5%含む。
8. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp5%含む。
9. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp5%含む。
10. Nbp、地山崩落土。

第180号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp5-10%、土器片含む。



L = 97.900m

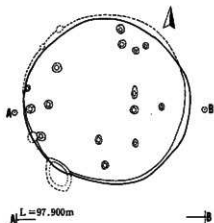


第181号土坑

第181号土坑

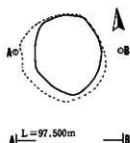
1. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、Nbp10-15%、Cbpを全体に含む。炭化腐敗をまばらに含む。

図89 土坑(35)



第182号土坑

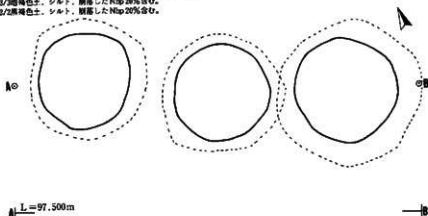
1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Ntp 30—40%。Ctp全体を含む。
2. 10Y R2/1黒色土。シルト。Ntp 10—15%。Ctp全体に多く含む。
3. 10Y R3/2暗褐色土。シルト。顕著したNtp 20%含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。顕著したNtp 20%含む。



第186号土坑

第186号土坑

1. 10Y R3/4暗褐色土。粘性シルト。Ntp 30%。褐色土ブロックを上部に含む。
2. 10Y R5/4暗褐色土。Ntp。暗褐色土を全体に含む。
3. 10Y R3/2暗褐色土。粘性シルト。Ntp をわずかに含む。(固りすぎ?)
4. 10Y R2/2暗褐色土。粘性シルト。Ntp 20%含む。
5. 10Y R5/6暗褐色土。Ntp。10Y R3/4の砂を全体に含む。
6. 10Y R4/6暗褐色土。粘性シルト。Ntp。Ntp をわずかに含む。



第183号土坑

第184号土坑

第185号土坑

第183号土坑

1. 10Y R4/4褐色土。粘性シルト。Ntp 30%含む。
2. 10Y R6/9黄褐色土。Ntp。Ntpに暗褐色砂質シルトを少量に含む。
3. 10Y R4/6褐色土。粘性シルト。Ntp 30%含む。
4. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Ntp 40%含む。

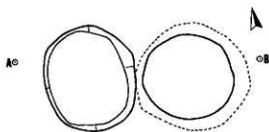
第184号土坑

1. 10Y R4/6褐色土。粘性シルト。Ntp 30%含む。褐色土を上部に含む。
2. 10Y R6/9黄褐色土。Ntp。顕著したNtpに1mm程度の砂を全体に含む。

第185号土坑

1. 10Y R3/4暗褐色土。粘性シルト。Ntp 15%含む。上部に褐色土をブロック状に含む。
2. 10Y R3/3暗褐色土。粘性シルト。Ntp 15%含む。
3. 10Y R4/4褐色土。粘性シルト。Ntp 20%含む。顕著と考えられるNtpのブロックを含む。
4. 10Y R3/2暗褐色土。粘性シルト。Ntp 20%含む。下方ほどNtp量が増える。
5. 10Y R3/4暗褐色土。粘性シルト。Ntp 10—15%含む。
6. 10Y R5/6暗褐色土。Ntp。Ntpに1mm程度の砂をまばらに含む。
7. 10Y R6/8暗褐色土。Ntp。Ntpに1mm程度の砂を全体に含む。
8. 10Y R4/6暗褐色土。シルト。Ntp 5%含む。(地山崩壊土?)
9. 10Y R4/6暗褐色土。粘性シルト。Ntp 7%含む。

図90 土坑(36)

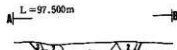
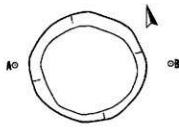


第187号土坑

1. 10Y R3/6暗褐色土、粘性シルト、Ntp30%、褐色土ブロックを含む。
2. 10Y R5/6暗褐色土、Ntp、暗褐色土（シルト）を全体に含む。
3. 10Y R5/6暗褐色土、Ntp、Ntpの脱落土。

第188号土坑

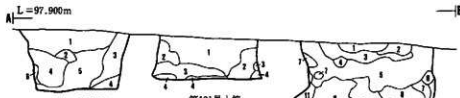
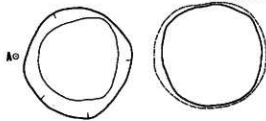
1. 第187号土坑の「1」と同じ。
2. 10Y R4/6褐色土、粘性シルト、Ntp3%を含む（八戸火山灰層）。



第189号土坑

第189号土坑

1. 10Y R3/6暗褐色土、粘性シルト、Ntp15%、褐色土ブロックを含む。
2. 10Y R5/6暗褐色土、Ntp、Ntpに暗褐色土シルトを全体に含む。
3. 10Y R3/2、黒褐色土、シルト、Ntpを5%含む。
4. 10Y R4/6褐色土、粘性シルト、Ntpを5%含む。
5. 10Y R4/6褐色土粘性シルト、Ntp30%含む。



第190号土坑

第190号土坑

1. 10Y R2/2暗褐色土、粘土質シルト、Ntp7%、Ctp4%らを含む。
2. 10Y R4/6褐色土、シルト、Ntp含むブロック。
3. 10Y R3/2暗褐色土、ロームシルト、Ntp5%を含む。
4. 10Y R3/2暗褐色土、Ntp、黒褐色土を含み凝縮したNtp。
5. 10Y R3/2暗褐色土、ロームシルト、Ntp40%以上を含みおたしくしる。

第191号土坑

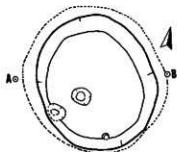
1. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp7~10%、Ctp全体を含む。
2. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Ntp10%、Ctp8%らを含む。
3. 10Y R2/2暗褐色土、砂質シルト、Ntp7%、Ctp全体を含む。
4. 10Y R4/6褐色土、ロームシルト、Ntpおろを含む。

第192号土坑

第192号土坑

1. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、内れたNtp80%以上を含む。
2. 10Y R3/2、黒褐色土、シルト、内れたNtp18%を含む。
3. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp5%、Ctp全体を含む。
4. 10Y R4/6褐色土、シルト、黒褐色土を含む。
5. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、Ntp10%、Ctp全体を含む、褐色土塊まばらを含む。
6. 10Y R3/2暗褐色土、ロームシルト、地山埋戻土。
7. 10Y R4/6褐色土、Ntp、凝縮したNtpブロック、黒褐色土を含む。
8. 10Y R2/2暗褐色土、シルト、凝縮したNtp、Ctp全体を含む、褐色の脱落土を含む。
9. 10Y R3/2暗褐色土、砂質シルト、Ntp10%、Ctpを全体を含む。
10. 10Y R4/6褐色土、シルト、Ntpおろを含む。
11. 10Y R4/6褐色土、ロームシルト、地山埋戻土（山灰起源）。
12. 10Y R3.5/4に赤褐色土-暗褐色土、シルト、凝縮したNtp、黒褐色土を含む。

図91 土坑(37)

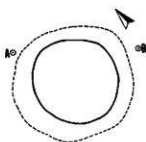


L = 97.600m



第193号土坑

1. 10Y R5/4黄褐色土、シルト、Nhp 15%、赤くはぬ。
2. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 50-60%含む、赤くはぬ。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、崩壊したNhp、黄褐色土全体にまばらに含む。
4. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 50%を占めるがまばらに含む。
5. 10Y R5/4黄褐色土、ロームシルト、NhpアブロックにNhpを含む部分有り。
6. 10Y R2/3黄褐色土、ロームシルト、Black Band起層の崩壊土。



L = 97.800m



第194号土坑

1. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 7%、10Y R2/3(シルト)のブロック含む。
2. 10Y R2/3黄褐色土、粘性シルト、Nhp 25%、黄褐色土をまばらに含む。
3. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 30%含む。
4. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 7%含む。

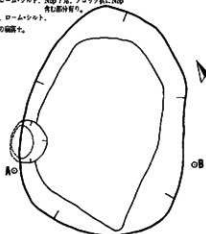


L = 97.400m

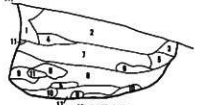


第195号土坑

1. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 3%含む。
2. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 3%含む。
3. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 3%含む。

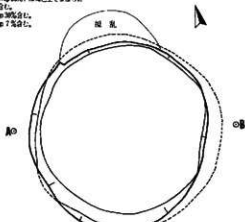


L = 96.700m

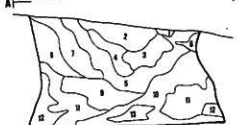


第197号土坑

1. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、崩壊したNhp、黄褐色土を含む。
2. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 7-10%、Ctp全体に含む。
3. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 崩壊。黄褐色土粒まばらに含む。
4. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 15%、Ctpまばらに含む。
5. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp、Ctpまばらに含む。
6. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 60%、Ctpまばらに含む。
7. 10Y R2/3黄褐色土、シルト、Nhp 30%、黄褐色土アブロック、黄褐色土の塊土、Ctpまばらに含む。
8. 10Y R2/1黄褐色土、粘土質シルト、Nhp 3-5%、Ctp全体に含む。黄褐色土粒含む。
9. 10Y R5/6黄褐色土、ロームシルト、赤山崩壊土(HpA起層)
10. 10Y R7/9黄褐色土、シルト、HAp下位の崩壊土。
11. 10Y R2/3黄褐色土、ローム、Black Band起層の崩壊土。



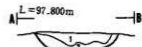
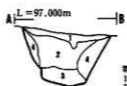
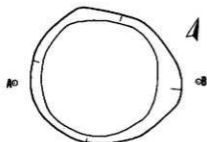
L = 97.100m



第196号土坑

1. 10Y R2/3黄褐色土、ロームシルト、ロームアブロック、得れたNhp含む。
2. 10Y R2/1黄褐色土、シルト、Nhp 5-7%、Ctp全体にまばらに含む。
3. 10Y R2/3黄褐色土、ロームシルト、Nhp 5%、Ctpまばらに含むローム。
4. 10Y R1/8黄褐色土、シルト、Nhp 1%、Ctp全体に含む。
5. 7.5Y R2/1黄褐色土、砂質シルト、Nhp 10%、Ctp全体に含む。
6. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、崩壊土を含む崩壊したNhpアブロック。
7. 7.5Y R2/1黄褐色土、シルト、Nhp 1%、Ctpは全体に多量に含む。
8. 7.5Y R2/1黄褐色土、ロームシルト、Nhp 15-20%、Ctp全体に含む。
9. 7.5Y R2/1黄褐色土、シルト、Nhp 10-15%、Ctpまばらに含む。
10. 10Y R2/1黄褐色土、ロームシルト、Nhp 25%、Ctpまばらに含む。
11. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、崩壊したNhpと黄褐色土の塊土。
12. 7.5Y R2/3黄褐色土、シルト、HAp起層の崩壊土とNhpの塊土。
13. 7.5Y R2/3黄褐色土、ロームシルト、Nhp 30%、Ctpまばらに含む。

図92 土坑(38)



第197号土坑

1. 10Y R2/3暗褐色土。シルト。Nhpを10%含む。(上部に多量に分布する)
2. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nhpを3%含む。
3. 10Y R2/2灰褐色土。シルト。Nhpを10%含む。(下部に多く分布する)
4. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nhpを20%含む。(底部に多く分布する)

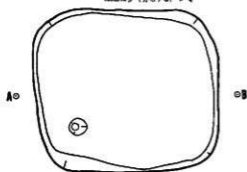
第198号土坑

第199号土坑

1. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nhpを5%含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。Rhpを3%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nhpを10%含む。
4. Nhpの観察? Nhpのブロックが含まれぬか?

第200号土坑

1. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Nhpを1%。Cbpを全体に含む。
2. 10Y R2/3暗褐色土。シルト。Nhpを50%以上含む。



第201号土坑

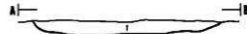
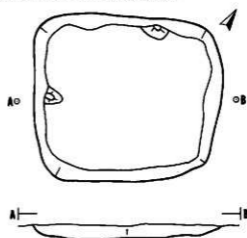
第202号土坑

1. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nhpを1%含む。
2. 10Y R4/4褐色土。シルト。
3. 10Y R2/2。暗褐色土。シルト。
4. 10Y R3/2暗褐色土。シルト。Nhpを2%含む。
5. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nhpを5%含む。
6. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Nhpを5%含む。
7. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nhpを30~50%含む。
8. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。Nhpを10%含む。
9. 10Y R4/4暗褐色土。シルト。堆山崩落土。
10. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Nhpを10%含む。
11. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nhpを1%含む。
12. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Nhpを1%含む。
13. 10Y R4/4褐色土。シルト。



第202号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Nhpを3%含む。炭化物及び白旗山火山灰(?)を少量含む。
2. 10Y R2/3暗褐色土。シルト。Nhpを40~50%含む。



第203号土坑

第203号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Nhpを3%含む。炭化物及び白旗山火山灰(?)を少量含む。

図93 土坑(39)



図94 土坑内出土遺物(1)



図95 土坑内出土遺物(2)

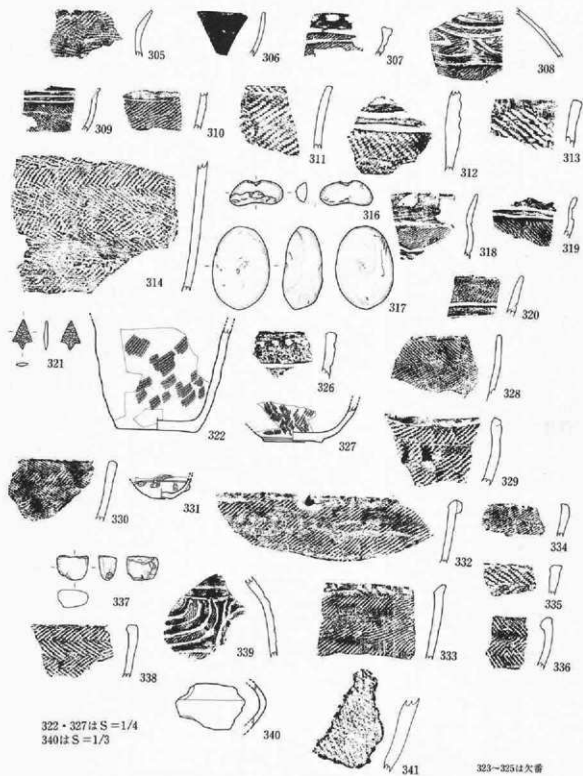


图96 土坑内出土遗物(3)

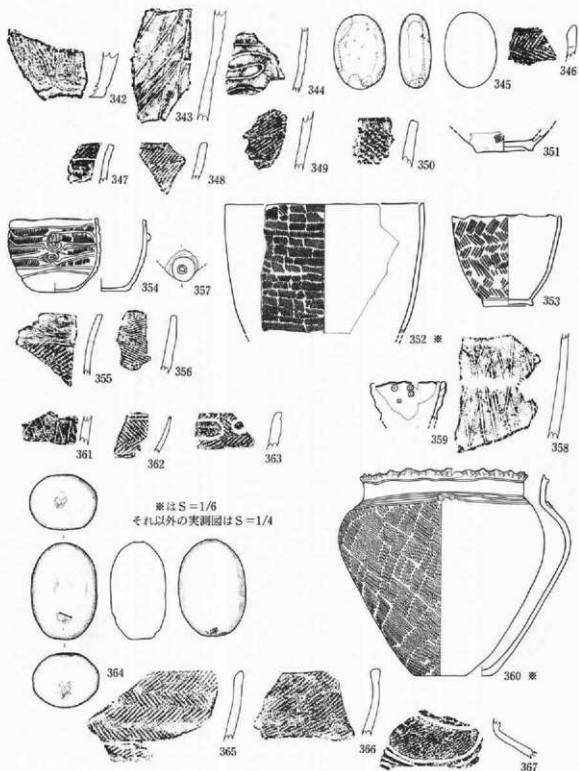


図97 土坑内出土遺物(4)

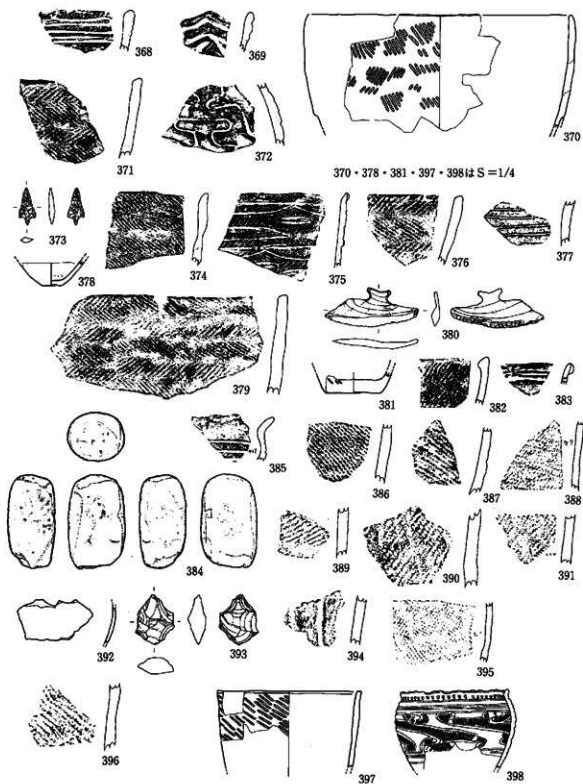


图98 土坑内出土遗物(5)

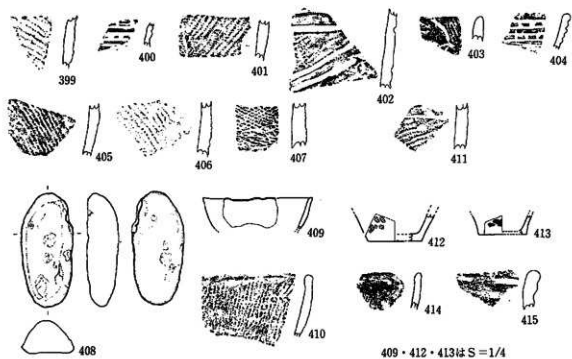


图99 土坑内出土遺物(6)

表6 土坑内出土遺物一覧表

＜石 器＞													
番号	分類	類 名	出土地点	層 位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石 質	図版	写真	備 考	
287	h	半円伏線平石	第15号土坑	Q 2 埋土	14.0	8.5	2.7	560	凝灰岩、北上山地、中生界	95	112		
292	a	石	第15号土坑	Q 4 埋土	5.6	1.3	0.9	4.6	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	95	112		
303	m	礫石製すり子	第36号土坑	埋土	5.7	2.7	1.0	5.2	礫石	96	112		
316	j	石	第34号土坑	埋土下位	3.1	6.4	1.4	25.7	凝灰岩、北上山地、中生界	96	113		
317	h	四石	第35号土坑	埋土下位	9.9	7.0	4.0	410	凝灰岩、北上山地、中生界	96	113		
321	a	石	第56号土坑	埋土上位	2.4	1.6	0.3	0.6	チャート、北上山地、中生界	96	113		
337	g	石	第66号土坑	埋土下位	3.0	3.7	2.2	33.8	蛇紋岩、北上山地、古生界	96	114		
345	h	磨石、礫石	第76号土坑	埋土中位	8.9	6.2	3.8	320	安山岩、北上山地、中生界	97	114		
364	h	磨石、礫石	第95号土坑	埋土	12.8	7.8	6.6	920	安山岩、北上山地、中生界	97	115		
373	a	石	第99号土坑	埋土上位	2.9	1.3	0.4	0.8	チャート質凝灰岩、北上山地、中生界	98	115		
380	b	石	第100号土坑	埋土中～下位	3.0	7.3	0.5	10.8	珪質蛇紋岩、美山山地、中新統	98	115		
384	h	四石、礫石	第120号土坑	埋土中～下位	11.0	6.8	5.1	660	凝灰岩、北上山地、中生界	98	115		
393	f	磨削加工刻片	第161号土坑	埋土中～下位	3.9	2.9	1.4	15.2	チャート、北上山地、中生界	98	116		
408	h	四石	第199号土坑	埋土	13.4	6.3	3.8	420	凝灰質凝灰岩、北上山地、中生界	99	116		

＜土 器＞													
番号	出土地点	層 位	器 名	部位	文 様 様 式			内 径	図版	写真	備 考		
272	第1号土坑	埋土	深鉢	口～体部	二又突起、総紐圧痕文、番筋斜行縄文			ミガキ	94	111			
273	第1号土坑	埋土	深鉢	体～底部	単筋斜行縄文、総紐文、底部ミガキ			ミガキ	94	111			
274	第1号土坑	埋土	深鉢	底部	総紐圧痕隆帯、山形口縁、四単位突起、単筋斜行縄文、総紐文			ミガキ	94	111			
275	第1号土坑	埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯(突起)、総紐圧痕、複筋斜行縄文			ミガキ	94	111			
276	第1号土坑	埋土	深鉢	口～体部	二又突起、総紐圧痕隆帯、総紐圧痕、爪形斜行縄文、単筋斜行縄文			ミガキ	94	111			
277	第1号土坑	埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕、爪形圧痕文			ナデ	94	111			
278	第1号土坑	埋土	深鉢?	体部	単筋斜行縄文、総紐文			ミガキ	94	111			
279	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	口縁部内面肥厚、無文			ナデ	94	111			
280	第5号土坑	埋土	直	体部	羽状縄文			ミガキ	94	111			
281	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕、爪形斜行縄文			ミガキ	94	111			
282	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	弁状突起、総紐圧痕隆帯、総紐圧痕			ナデ	94	111			
283	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕			ナデ	94	111			
284	第5号土坑	埋土	深鉢	体部	羽状縄文(筋位)			ミガキ	94	111			
285	第5号土坑	埋土	深鉢	体部	総紐羽状縄文(片側無筋)			ミガキ	94	111			
286	第6号土坑	埋土	深鉢	体～底部	総紐羽状縄文、瓦部付近ミガキ、小環を多数に含む			ナデ	95	112			
288	第15号土坑	埋土上～中位	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕、爪形斜行縄文、突起、単筋斜行縄文、総紐文			ミガキ	95	112			
289	第15号土坑	埋土中位	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕、ボタ付付文、複筋斜行縄文			ミガキ	95	112			
290	第15号土坑	埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕			ミガキ	95	112			
291	第15号土坑	Q 1 埋土上～中位	深鉢	口縁部	平行波線、単筋斜行縄文			ナデ	95	112			
293	第16号土坑	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯(突起)、総紐圧痕、単筋斜行縄文、総紐文			ミガキ	95	112			
294	第16号土坑	Q 2 埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕隆帯、総紐圧痕			ミガキ	95	112			
295	第16号土坑	Q 2 埋土	深鉢	口縁部	弁状・横状突起(総紐圧痕隆帯)			ミガキ	95	112			
296	第20号土坑	埋土	深鉢	口縁部	総紐圧痕			ミガキ	95	112			
297	第22号土坑	埋土上位	深鉢	体部	木目状筋糸文			ミガキ	95	112			
298	第27号土坑	埋土下位	深鉢	体部	単筋斜行縄文			ミガキ	95	112			
299	第34号土坑	埋土上位	深鉢	口～体部	羽状縄文			ミガキ	95	112			
300	第36号土坑	埋土下位	鉢	口～体部	平行波線区画、総紐斜行縄文、つまみ出しのコブ			ミガキ	95	112			
301	第36号土坑	埋土	鉢	口縁部	無文、あけ筋、ミガキ			ミガキ	95	112			
302	第36号土坑	埋土中～下位	深鉢	口～体部	総紐斜行縄文			ミガキ	95	112			

番号	出土地点	層位	器種	部位	文 様 ほか	内面	図録	写真
304	第49号土坑	埋土上位	鉢	口~体部	口縁部ミダキ、羽状縄文	ミダキ	95	112
305	第49号土坑	埋土上位	深鉢	口縁部	早期縄文	ミダキ	96	113
306	第50号土坑	埋土上~下位	小型鉢	口~体部	ミダキ、縄文	ミダキ	96	113
307	第50号土坑	埋土上~下位	鉢	口縁部	早期斜行縄文、平行沈線、11層部に8形状の凹み	ミダキ	96	113
308	第50号土坑	埋土上~下位	深鉢	体部	早期縄文、雲形文?	ミダキ	96	113
309	第51号土坑	埋土中~下位	鉢	口~体部	平行沈線、早期斜行縄文	ナデ	96	113
310	第51号土坑	埋土中~下位	鉢	体部	平行沈線、早期斜行縄文	ミダキ	96	113
311	第52号土坑	埋土上位	深鉢	口縁部	早期斜行縄文	ミダキ	96	113
312	第52号土坑	埋土上~中位	深鉢	体部	平行沈線、早期斜行縄文	ナデ	96	113
313	第52号土坑	埋土上~中位	深鉢	口縁部	早期斜行縄文	ナデ	96	113
314	第52号土坑	埋土上~中位	深鉢	体部	羽状縄文	ナデ	96	113
315	第52号土坑	埋土上~中位	ミニチュア		縄文	—	—	113
318	第56号土坑	埋土	鉢	口縁部	煎餅、沈線	ナデ	96	113
319	第56号土坑	埋土	鉢	口~体部	山形突起、沈線、早期斜行縄文	ナデ	96	113
320	第56号土坑	埋土	鉢	口縁部	煎餅、沈線	ミダキ	96	113
322	第56号土坑	埋土	深鉢	体~底部	早期斜行縄文	ナデ	96	113
326	第57号土坑	埋土	深鉢	口縁部	竹筴刺突文、沈線	ミダキ	96	113
327	第59号土坑	埋土中~下位	鉢	体~底部	括弧羽状縄文、底部との境に沈線	ミダキ	96	113
328	第59号土坑	埋土中~下位	鉢	口~体部	羽状縄文	ミダキ	96	113
329	第59号土坑	埋土中~下位	深鉢	口縁部	早期斜行縄文	ミダキ	96	113
330	第60号土坑	埋土上位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミダキ	96	113
331	第60号土坑	埋土上位	小型鉢	体~底部	口縁部・体部にコブ全周	ナデ	96	113
332	第63号土坑	埋土	深鉢	口~体部	コブ、早期斜行縄文	ミダキ	96	113
333	第63号土坑	埋土	深鉢	口~体部	早期斜行縄文	ミダキ	96	113
334	第63号土坑	埋土	鉢	口縁部	早期斜行縄文	ミダキ	96	113
335	第63号土坑	埋土	深鉢	口縁部	早期斜行縄文	ミダキ	96	113
336	第65号土坑	埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文、11層部内面肥厚	ナデ	96	113
338	第66号土坑	埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文、口唇部内面肥厚	ミダキ	96	114
339	第66号土坑	埋土	深鉢	底	煎餅縄文、透氣文(コブ付)?	ミダキ	96	114
340	第66号土坑	埋土	浅鉢	体部	ミダキ、縄文	ナデ	96	114
341	第70号土坑	埋土	深鉢	体部	早期斜行縄文、小環、植物繊維痕跡	ナデ	96	114
342	第74号土坑	埋土最下部	深鉢	体部	水目状彫糸文	ナデ	97	114
343	第74号土坑		深鉢	体部	新目状の彫痕さ?	ナデ	97	114
344	第74号土坑		鉢	体部	沈線文	ナデ	97	114
346	第76号土坑		深鉢	口縁部	羽状縄文、11層部内面肥厚	ミダキ	97	114
347	第77号土坑	埋土	鉢	口縁部	早期斜行縄文、沈線文	ミダキ	97	114
348	第78号土坑	埋土	鉢	口縁部	早期斜行縄文	ナデ	97	114
349	第80号土坑	埋土中~下位	深鉢	体部	早期斜行縄文	ナデ	97	114
350	第82号土坑		深鉢	口~体部	早期斜行縄文	ミダキ	97	114
351	第83号土坑	埋土	鉢	底部	早期斜行縄文、高台風	ミダキ	97	114
352	第86号土坑	埋土	深鉢	口~体部	羽状縄文	ミダキ	97	114
353	第86号土坑	裏面	小型鉢	ほぼ完全	小波状口縁、羽状縄文、高台風	ミダキ	97	114
354	第87号土坑	裏面	小型鉢	完全	煎餅縄文、三叉文?、コブ	ナデ	97	114
355	第87号土坑	埋土	深鉢	口~体部	早期斜行縄文	ミダキ	97	114
356	第87号土坑	埋土	深鉢	口~体部	煎餅縄文	ナデ	97	114
357	第87号土坑	埋土	注口土器	注口部	ミダキ、アスファルトで焼修?	—	97	114
358	第89号土坑	埋土	深鉢	体部	新目状彫痕さ?	ナデ	97	114
359	第89号土坑	埋土	小型鉢	口~体部	コブ状の突起、平行沈線、早期斜行縄文、小波状口縁	ナデ	97	114
360	第89号土坑	埋土	深鉢	ほぼ完全	口縁部突起、平行沈線、早期斜行縄文、小波状口縁	ミダキ	97	114

番号	出土地点	層位	形種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
351	第90号土坑	埋土	鉢	体部	明月次郎造き?	ナブ	97	114
352	第92号土坑	埋土	鉢	体部	平行沈線、羽状龍文	ミガキ	97	114
353	第94号土坑	埋土	深鉢	口縁部	沈線文、車窓斜行龍文	ミガキ	97	114
355	第95号土坑	埋土	深鉢	口～体部	羽状龍文	ミガキ	97	115
356	第95号土坑	埋土	深鉢	口～体部	車窓斜行龍文、平行沈線、口唇部内面肥厚	ミガキ	97	115
357	第95号土坑	埋土	蓋	胴部	車窓斜行龍文、平行沈線(半円状)	ナブ	97	115
358	第98号土坑	埋土	深鉢	口縁部	車窓斜行龍文、平行沈線、口唇部内面中肥厚	ナブ	98	115
359	第98号土坑	埋土	鉢	口縁部	山形突起、平行沈線	ミガキ	98	115
370	第98号土坑	埋土上～中位	深鉢	口～体部	羽状龍文?、輪紋みぞ	ナブ	98	115
371	第98号土坑	埋土上～中位	深鉢	口縁部	羽状龍文	ミガキ	98	115
372	第98号土坑	埋土上～中位	蓋	口部	沈線文	ミガキ	98	115
374	第99号土坑	埋土中位	鉢	口～体部	小波状口縁、車窓斜行龍文	ミガキ	98	115
375	第99号土坑	埋土中位	鉢	口～体部	沈線区画、扇形龍文、コブ	ミガキ	98	115
376	第99号土坑	埋土中位	深鉢	口縁部	羽状龍文	ミガキ	98	115
377	第99号土坑	埋土中位	深鉢	体部	平行沈線	ナブ	98	115
378	第99号土坑	埋土中位	鉢	底面	無文	ミガキ	98	115
379	第99号土坑	埋土上～中位	深鉢	口～体部	羽状龍文	ミガキ	98	115
381	第100号土坑	埋土中～下位	深鉢	底面	砂粒含む	ナブ	98	115
382	第100号土坑	埋土中～下位	深鉢	口縁部	羽状龍文、口唇部内面肥厚	ミガキ	98	115
383	第100号土坑	埋土中～下位	鉢	口縁部	平行沈線、コブ	ミガキ	98	115
385	第138号土坑	埋土中～下位	鉢	口縁部	波状口縁、平行沈線	ナブ	98	115
386	第141号土坑	埋土下位	深鉢	体部	無部	ミガキ	98	115
387	第141号土坑	埋土下位	深鉢	体部	無部?	ナブ	98	115
388	第153号土坑	埋土上～中位	深鉢	体部	波状斜行龍文	ミガキ	98	115
389	第157号土坑	埋土	深鉢	体部	扇形	ミガキ	98	115
390	第157号土坑	埋土	深鉢	体部	車窓斜行龍文	ミガキ	98	115
391	第157号土坑	埋土	深鉢	体部	車窓斜行龍文	ミガキ	98	115
392	第159号土坑	埋土上位	鉢	体部	無文	ナブ	98	116
394	第161号土坑	埋土中～下位	深鉢	体部	沈線区画	ナブ	98	116
395	第162号土坑	埋土	鉢	体部	羽状龍文	ミガキ	98	116
396	第165号土坑	埋土	深鉢	体部	車窓斜行龍文	ナブ	98	116
397	第166号土坑	埋土	深鉢	口～体部	車窓斜行龍文、小波を多量に含む	ナブ	98	116
398	第167号土坑	埋土	鉢	口～体部	波状口縁、扇形龍文、平行沈線、列点、突起	ミガキ	98	116
399	第178号土坑	埋土中～下位	深鉢	体部	車窓斜行龍文	ナブ	98	116
400	第178号土坑	埋土	鉢	口縁部	平行沈線、刺突文	ミガキ	98	116
401	第178号土坑	埋土	深鉢	体部	車窓斜行龍文	ナブ	98	116
402	第178号土坑	埋土	深鉢	体部	車窓斜行龍文、沈線文	ミガキ	98	116
403	第178号土坑	埋土	深鉢	体部	車窓斜行龍文、沈線文	ナブ	98	116
404	第178号土坑	埋土	鉢	口縁部	列点、平行沈線、列点	ミガキ	98	116
405	第182号土坑	埋土中～下位	深鉢	体部	車窓斜行龍文、小波を多量に含む	ナブ	98	116
406	第182号土坑	埋土上位	深鉢	体部	車窓斜行龍文、小波を多量に含む	ナブ	98	116
407	第182号土坑	埋土上位	深鉢	体部	沈線文、車窓斜行龍文(交差する)	ナブ	98	116
409	第186号土坑	埋土	鉢	口～体部	龍文	ナブ	98	116
410	第186号土坑	埋土	鉢	口～体部	車窓斜行龍文	ナブ	98	116
411	第187号土坑	埋土	深鉢	体部	沈線区画、車窓斜行龍文、小波含む	ミガキ	98	116
412	第188号土坑	埋土	深鉢	底面	車窓斜行龍文	ナブ	98	116
413	第188号土坑	埋土	深鉢	底面	車窓斜行龍文	ナブ	98	116
414	第188号土坑	埋土	深鉢	口縁部	無文	ナブ	98	116
415	第188号土坑	埋土	深鉢	口縁部	波状口縁?、沈線文	ナブ	98	116

表7 陥し穴状遺構観察表

遺構名	第1号陥し穴状遺構		第2号陥し穴状遺構		第3号陥し穴状遺構		第4号陥し穴状遺構	
図版	100		100		100		101	
写真図版	78		78		78		78	
位置	I F区		III F区		I F区		I F区	
検出状況 重複関係	新期のゴミ穴に一部削平されている。				炭層に截られる。			
形状	平面形	円形	円形		溝状		円形	
	断面形	逆台形状	ビーカー状		Y字形		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	164×178	132×134		114×?		172×182	
	底部径	93×110	94×106		14~17×360		100×124	
	深さ	120	112		120		96	
土	黒色土、黒褐色土主体、崩落したNb-pブロック含む。		黒色土、黒褐色土を主体とし、暗褐色土を含む。		黒色土、黒褐色土を主体とし、崩落したNb-pブロック、堆山崩落土を含む。		黒褐色土、黒色土主体。部分的に褐色土含む。	
底面	平坦		やや凹凸あり		ほぼ平坦		平坦	
壁	外反		外傾		外反、崩落あり		直立して外傾	
逆茂木痕	有(1個) 長さ 32cm		有(3個)		無		無	
出土遺物	なし		なし		なし		なし	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

遺構名	第5号陥し穴状遺構		第6号陥し穴状遺構		第7号陥し穴状遺構		第8号陥し穴状遺構	
図版	101		101		101		102	
写真図版	79		79		79		79	
位置	I F区		I F区		I F区		I F区	
検出状況 重複関係								
形状	平面形	長楕円形	不整形円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状	ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	130×151	153×165		127×140		102×104	
	底部径	72×94	82×90		84×86		78×79	
	深さ	91	138		136		89	
土	黒色土を主体とし、整浄に黄褐色土を含む。		上位は黒色土、下位は黒色土の混入するNb-p主体。		上位は黒色土、黒褐色土、下位は黒色土の混入するNb-p主体。		黒色土、黒褐色土を主体とし、崩落したNb-p、暗褐色土を含む。	
底面	平坦		平坦		平坦		ほぼ平坦	
壁	直立し内傾		直立して外傾		直立して外反		外反	
逆茂木痕	無		無		有(1個) 長さ 10cm程度		有(2個) ともに10cm程度	
出土遺物	なし		なし		なし		なし	
時期	縄文		縄文		縄文		縄文	

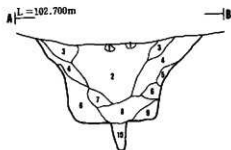
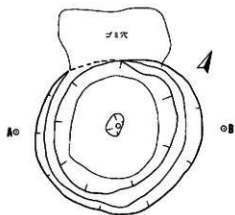
遺 構 名	第9号陥し穴状遺構		第10号陥し穴状遺構		第11号陥し穴状遺構		第12号陥し穴状遺構	
図 版	102	出物	102	出物	102	出物	103	出物
写真図版	80	出物	80	出物	80	出物	80	出物
位 置	I F区		I F区		II F区		II F区	
検出状況 重複関係								
形 状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状
規 模 (cm)	開口部径	114×119	129×130	131×133	138×143			
	底 部 径	75×76	85×96	86×88	69×78			
	深 さ	103	99	112	109			
埋 土	上位は黒色土、下位は黒色土、崩落したNb-pが主体で、壁際に暗褐色土が入る。		上位は黒色土、下位は崩落したNb-pが占める。		黒色土と崩落したNb-pからなる。		上位から中位にかけて黒色土、下位は黒褐色土主体。	
底 面	やや凹凸がある。		平坦	凹凸あり	平坦			
壁	外傾		外反	外傾	外反りみ			
遊茂木底	有(1個) 深さ 8cm		有(1個)	有(1個) 深さ 8cm	無			
出土遺物	土器片		なし	なし	なし			
時 期	縄文		縄文	縄文	縄文			

遺 構 名	第13号陥し穴状遺構		第14号陥し穴状遺構		第15号陥し穴状遺構		第16号陥し穴状遺構	
図 版	103	出物	103	出物	103	出物	104	出物
写真図版	81	出物	81	出物	81	出物	81	出物
位 置	II F区		III D区		III D区		III D区	
検出状況 重複関係								
形 状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形
	断面形	浅ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状	ビーカー状
規 模 (cm)	開口部径	163×170	144×146	128×129	131×140			
	底 部 径	107×120	82×93	73×75	58×64			
	深 さ	84	89	90	95			
埋 土	上位は黒色土、下位は崩落したNb-pと黒色土の互層が主体。		黒色土、黒褐色土主体。褐色の崩落土を含む。		上位は黒色土、中位は黒褐色土、下位は崩落したNb-p主体。		全体に黒色土主体で、下位ではNb-p、暗褐色土との互層になる。	
底 面	平坦		ほぼ平坦	平坦	ほぼ平坦			
壁	外反		外傾	外反りみ	直立して外傾			
遊茂木底	無		有(1個) 深さ 28cm	有(3個) 深さ 7~9cm	有(2本) 深さ 10cm			
出土遺物	なし		なし	なし	なし			
時 期	縄文		縄文	縄文	縄文			

遺 構 名	第17号陥し穴状遺構		第18号陥し穴状遺構		第19号陥し穴状遺構		第20号陥し穴状遺構		
図 版	遺構104	遺物	遺構104	遺物	遺構104	遺物	遺構105	遺物	
写 真 図 版	遺構82	遺物	遺構82	遺物	遺構82	遺物	遺構82	遺物	
位 置	III D区		III E区		III E区		III E区		
検 出 状 況 重 複 関 係									
形 状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状	
規 模 (cm)	開口部径	145×146		132×139		145×153		180×198	
	底部径	82×85		72×77		94×100		72×75	
	深 さ	95		108		126		119	
埋 土	上位は黒色土、黒褐色土、 下位は崩落したNb-p、暗褐色土主体。		上位から中位は黒色土、下位は黄褐色土、崩落したNb-p主体。		黒色土と黒褐色土主体。壁際に地山崩落土含む。		上位から中位は黒色土、中位から下位は崩落したNb-p。		
底 面	ほぼ平坦		ほぼ平坦		若干傾斜する		平坦		
壁	外反		外反		直立して外傾		外反		
逆 茂 木 痕	有(2個)	長さ	4 cmと10cm		有(2個)	長さ	7 cmと8 cm		
出 土 遺 物	なし		なし		なし		なし		
時 期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺 構 名	第21号陥し穴状遺構		第22号陥し穴状遺構						
図 版	遺構105	遺物	遺構105	遺物	遺構	遺物	遺構	遺物	
写 真 図 版	遺構83	遺物	遺構83	遺物	遺構	遺物	遺構	遺物	
位 置	III E区		III F区						
検 出 状 況 重 複 関 係									
形 状	平面形	円形		円形					
	断面形	ビーカー状		ビーカー状					
規 模 (cm)	開口部径	150×161		123×124					
	底部径	73×77		74×80					
	深 さ	122		110					
埋 土	黒色土、黒褐色土を主体とし、 下位は崩落したNb-pを多量に含む。		上位から中位は黒色土、下位は崩落したNb-pで、壁際に崩落土を含む。						
底 面	波打つ		平坦						
壁	直立して外反		直立して外反						
逆 茂 木 痕	有(2個)	長さ	14cmと20cm		有(2個)	長さ	ともに5 cm		
出 土 遺 物	なし		なし						
時 期	縄文		縄文						

(高橋・濱田・田中)



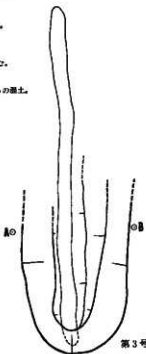
第1号陥し穴状遺構

第1号陥し穴状遺構

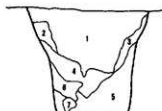
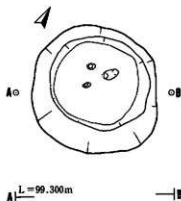
- ブク穴状。
 1. 10Y R2/1黒色土。Ntp 90%含む。
 2. 10Y R1.7/1黒色土。Ntp 90%含む。
 3. 7.5Y R2/2暗褐色土。Ntp 3%含む。
 4. 10Y R2/2暗褐色土。Ntp 10%含む。
 5. 7.5Y R3/4暗褐色土。地山崩落土。
 6. 10Y R5/6黄褐色土。部状に黒褐色土含む。
 7. 10Y R1.7/1黒色土。Ntp 40%含む。
 8. 10Y R2/1黒色土。Ntp 90%含む。
 9. 10Y R3/3暗褐色土。地山崩落土とNtpの混土。
 10. 10Y R4/4褐色土。黄褐色土含む。

第3号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土。シルト。Ntp 2%~3%含む。
 2. 10Y R2/2暗褐色土。シルト。Ntp 5%。黒色土の混土。
 3. 10Y R5/6黄褐色土。Ntp。崩落したNtp。
 4. 10Y R2/3暗褐色土。シルト。汚れたNtp 20%。黒色土。褐色土の混土。
 5. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。水気多い。Ntp 微量含む。
 6. 10Y R4/4褐色土。ローム。地山崩落土。
 7. 10Y R1.7/1褐色土。粘土質シルト。汚れたNtp。微砂含む。砂を凝結する。
 8. 10Y R5/6黄褐色土。砂質粘土。黒色土ブク穴含む。



第3号陥し穴状遺構

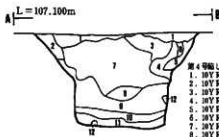
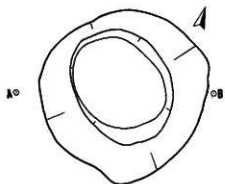


第2号陥し穴状遺構

第2号陥し穴状遺構

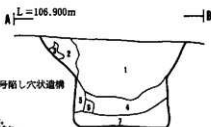
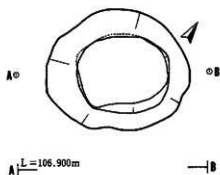
1. 10Y R2/1黒色土。Ntp 5%含む。
 2. 10Y R2/1褐色土。Ntp 10%含む。
 3. 10Y R1.7/1黒色土。Ntp 7%含む。
 4. 10Y R2/2暗褐色土。Ntp 70%(汚れ)含む。
 5. 10Y R3/3暗褐色土。細砂含む。
 6. 10Y R2/2暗褐色土。Ntp 5%含む。
 7. 10Y R3/4暗褐色土。地山崩落土。

図100 陥し穴状遺構(1)



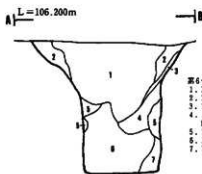
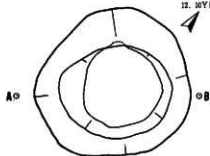
第4号陥し穴状遺構

- 第4号陥し穴状遺構
1. 10Y R3/2黄褐色土、シルト、Ntp 2%含む。
 2. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Ntp 10~20%含む。
 3. 10Y R2/2黄褐色土、粘土質シルト、Ntp 2%含む。
 4. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、暗褐色土ブロック含む。
 5. 10Y R4/4暗褐色土、粘土質シルト、暗褐色土を含む。
 6. 10Y R4/4暗褐色土、ローム、地山崩落上のブロック。
 7. 10Y R1.7/1黒色土、砂質シルト、Ntp 20~30%含む。
 8. 10Y R1.7/2黒色土、粘土質シルト、Ntp 30~40%含む。
 9. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Ntp 50%以上、黒色土との混入。
 10. 10Y R4/4暗褐色土、Ntp、暗褐色土との混入、Ntp 50%以上含む。
 11. 10Y R2/2黄褐色土、粘土質シルト、粒径の小さいNtp 50%以上含む。
 12. 10Y R5/6黄褐色土、ローム、地山崩落のブロック。



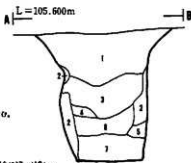
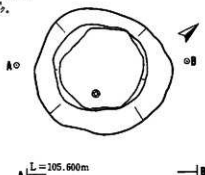
第5号陥し穴状遺構

- 第5号陥し穴状遺構
1. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 30%含む。
 2. 10Y R2/2黄褐色土、粘土質シルト、Ntp 30%含む。
 3. 10Y R4/3にふく黄褐色土、粘土質シルト、Ntp 5%含む、地山崩落土。
 4. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒色土との混入、崩落したNtp。
 5. 10Y R3/6暗褐色土、ローム、Ntp 混入含む。
 6. 10Y R3/2黄褐色土、シルト、暗褐色土の小ブロック含む。
 7. 10Y R1.7/1黒色土シルト、Ntp 10%含む。



第6号陥し穴状遺構

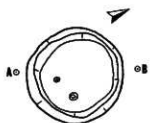
- 第6号陥し穴状遺構
1. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 30%含む。
 2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 30%含む。
 3. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、崩落したNtp。
 4. 10Y R2/1と10Y R5/6黄褐色土の混入で、部分的に崩落土を含む。
 5. 10Y R5/6黄褐色土、ローム、地山崩落土。
 6. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒色土との混入で割合にNtpが多い。
 7. 10Y R5/6にふく黄褐色土、砂質ローム、砂が強く感じる。



第7号陥し穴状遺構

- 第7号陥し穴状遺構
1. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 30%以上含む。
 2. 10Y R5/6黄褐色土、ローム、地山崩落土。
 3. 10Y R2/2黄褐色土と10Y R5/6黄褐色土の互層。
 4. 10Y R3/6暗褐色土、ローム、崩落したNtp (径の小さい)含む崩落土。
 5. 10Y R4/4暗褐色土、砂、崩落のブロック。
 6. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、何れもない崩落Ntp。
 7. 10Y R2/1黄褐色土と10Y R5/6黄褐色土の互層、割合に黒色土が多い。

図101 陥し穴状遺構(2)



L = 104.400m



第8号陥し穴状遺構

第8号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 3%含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、地山崩落土。
3. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Ntp 10-15%含む。
4. 10Y R2/7黒色土、シルト、Ntp 10%含む。
5. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、地山崩落土。
6. 10Y R4/6暗褐色土、シルト。
7. 10Y R2/1黒褐色土。



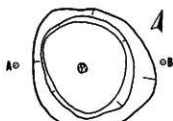
L = 104.100m



第9号陥し穴状遺構

第9号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 10%含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黄褐色土との混土。
3. 10Y R2/7黒色土、粘土質シルト、Ntp 20%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、黒色土わずかに含む。
5. 10Y R3/3暗褐色土、ローム、地山崩落土。
6. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、紅褐色の小さいNtpブロック。
7. 10Y R2/1黒色土、シルト、Ntp 20%含む。
8. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、紅褐色の小さいNtp 50%以上含む。



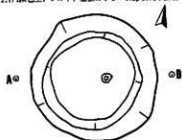
L = 104.300m



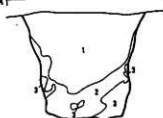
第10号陥し穴状遺構

第10号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 10%含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黄褐色土との混土。
3. 10Y R2/7黒色土、粘土質シルト、Ntp 20%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒色土をわずかに含む。



L = 104.300m

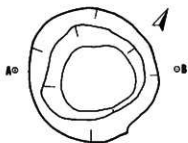


第11号陥し穴状遺構

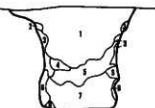
第11号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 30%含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黄褐色土との混土。
3. 10Y R3/3暗褐色土、ローム、地山崩落土。

図102 陥し穴状遺構(3)



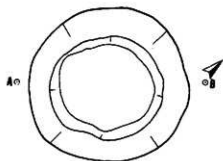
L = 105,000m



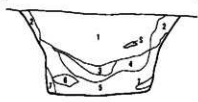
第12号陥し穴状遺構

第12号陥し穴状遺構

- 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp、30~40%含む。褐色土小ブロック部分的に含む。
- 10Y R3/4褐色土、シルト、Ntp含むブロック。
- 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土。
- 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒褐色土との混土。
- 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp 20%含む。
- 10Y R6/8黄褐色土、砂、地山崩落土。
- 10Y R2/3黒褐色土、砂質シルト、黄褐色土しま状のブロック、Ntp 50%含む黄土。
- 10Y R7/3にがい黄褐色土、ローム、地山崩落土。



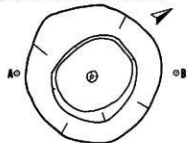
L = 102,100m



第13号陥し穴状遺構

第13号陥し穴状遺構

- 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 50%含む。
- 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、Ntp 30%含む。
- 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒褐色土との混土、汚れNtp。
- 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Ntp 30%含む。
- 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、しま状に黒褐色土を含む、汚れNtp。
- 10Y R3/3褐色土、ローム、ロームブロック。
- 10Y R3/4褐色土、ローム、地山崩落土。



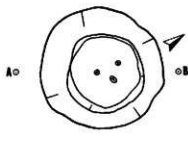
L = 101,800m



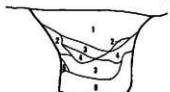
第14号陥し穴状遺構

第14号陥し穴状遺構

- 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Ntp 5%含む。
- 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Ntp 30%以上含む。
- 10Y R2/3黒褐色土、シルト・Ntp、Ntp 50%以上含む。
- 10Y R1/2黒色土、シルト・Ntp、Ntp 30%含む。
- 10Y R3/2黒褐色土、ローム、ロームブロック。
- 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土。



L = 100,700m

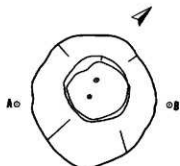


第15号陥し穴状遺構

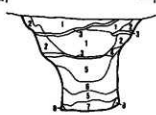
第15号陥し穴状遺構

- 7.5Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Ntp 20%~30%含む。
- 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、剥落したNtp。
- 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Ntp 50%以上含む。
- 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Ntp 20%含む。
- 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土。
- 10Y R5/6黄褐色土、Ntp、黒色土などの混入物少ないNtp、褐色土の崩落土含む。

図103 陥し穴状遺構(4)



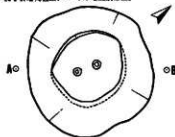
L = 100.800m



第16号陥し穴状遺構

第16号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 1.7/黒色土、粘土質シルト、Ntp3%含む。
2. 10 Y R 2/黒褐色土、Ntp10%含む。
3. 10 Y R 4/土中の砂、砂、トから埋ま上がった砂のすじ。
4. 10 Y R 5/4/赤褐色土、砂 + Ntp、3層のすじとNtpの混土。
5. 10 Y R 2/黒色土、粘土質シルト、Ntp30~40%含む。
6. 10 Y R 5/赤褐色土、Ntp、崩壊したNtp、黒褐色土に混入する。
7. 10 Y R 褐色土、粘土質シルト、Ntp30%含む。
8. 10 Y R 褐色土、ローム、地山崩落土。



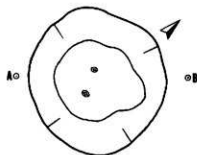
L = 100.700m



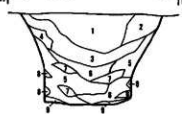
第18号陥し穴状遺構

第18号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 2/黒色土、粘土質シルト、Ntp3~5%含む。
2. 10 Y R 5/赤褐色土、Ntp、地山崩落土。
3. 10 Y R 2/黒色土、シルト、Ntp2~3%含む。
4. 10 Y R 4/褐色土、シルト、地山崩落土。
5. 10 Y R 2/黒色土、シルト、Ntp5~7%含む。
6. 10 Y R 5/赤褐色土、Ntp、砂、Ntp(黒色土15~20%含む)。
7. 10 Y R 5/赤褐色土、砂質シルト。



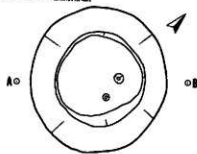
L = 101.100m



第17号陥し穴状遺構

第17号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 2/黒色土、粘土質シルト、Ntp20%含む。
2. 10 Y R 2/黒褐色土、粘土質シルト、Ntp10%含む。
3. 7.5 Y R 3/赤褐色土、粘土質シルト、Ntp20%含む。
4. 10 Y R 4/褐色土、砂質シルト、Ntp、崩壊したNtp。
5. 10 Y R 5/赤褐色土、砂質シルト、Ntp、崩壊したNtp。
6. 10 Y R 3/黒褐色土、粘土質シルト、粒径の大きい(φ10mm)Ntpを含む。
7. 2.5 Y R 2/黒色土、粘土質シルト、ブロック、灰色がかっている。
8. 10 Y R 4/赤褐色土、地山崩落土。
9. 10 Y R 3/褐色土、地山崩落土。



L = 100.700m

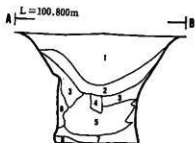
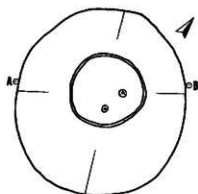


第19号陥し穴状遺構

第19号陥し穴状遺構

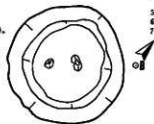
1. 10 Y R 2/黒色土、粘土質シルト、Ntp20%含む、内れ Ntpをブロックで含む。
2. 10 Y R 4/赤褐色土、シルト + Ntp、崩壊したNtpを含む(30%)。
3. 10 Y R 3/4/褐色土、ローム、地山崩落土。
4. 10 Y R 1/赤褐色土、シルト + Ntp、粒径の小さいNtp20%含む。
5. 10 Y R 2/黒褐色土、シルト + Ntp、粒径の小さいNtp20%含む。
6. 10 Y R 5/赤褐色土、Ntp崩壊したNtp。
7. 10 Y R 5/赤褐色土、シルト、Ntp30%含む。
8. 10 Y R 4/褐色土、シルト、黒色土ごまじり状に含む。

図104 陥し穴状遺構(5)

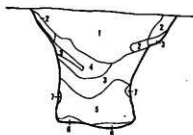


第20号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1褐色土、粘土質シルト、放射線像(によい黄褐色土)含む。Nhp3%含む。
2. 10Y R2/1褐色土、粘土質シルト、Nhp7%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、地山崩落土。
4. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、汚れNhp(黒色土層混じり)。
5. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、汚れNhp(黒色土15-20%含む)。
6. 10Y R5/6黄褐色土、粘土質シルト、地山崩落土。
7. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、汚れNhp(黒色土3-5%含む)。
8. 10Y R5/6黄褐色土、粘土質シルト、地山崩落土。



L=100.500m

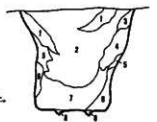


第21号陥し穴状遺構

第21号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/3黒色土、粘土質シルト、Nhp60-70%含む。
2. 10Y R2/1褐色土、粘土質シルト、Nhp20%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、崩落したNhp。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、断面の大きい(400mm²) Nhp20%含む。
5. 10Y R3/2暗褐色土、シルト→Nhp、Nhp6%以上含む黄土。
6. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、しりなくNhp混じり。
7. 10Y R3/2暗褐色土、ローム、地山崩落土(ロームブロック)。

L=101.900m



第22号陥し穴状遺構

1. 10Y R3/2黄褐色土、粘土質シルト、Nhp1%、φ5-10mmの小礫含む。
2. 10Y R2/1褐色土、粘土質シルト、Nhp8%、φ5-15mm次の小礫含む。
3. 10Y R2/2黄褐色土、シルト、Nhp1%含む。
4. 10Y R4/4褐色土、シルト、Nhp30%、黒褐色土ブロック含む地山崩落土。
5. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、崩落したNhp。
6. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、地山崩落土。
7. 10Y R5/6黄褐色土、Nhp、黄褐色土を全年に含む、崩落したNhp層。
8. 10Y R2/1褐色土、シルト。

第22号陥し穴状遺構

図105 陥し穴状遺構(6)

8. 炉跡と出土遺物

炉跡は6基検出された。いずれも数個の礫を伴う石囲炉であるが、焼成が不良で焼土の形成がみられないものもある。時期はすべて縄文時代である。

第1号炉跡

遺構（図106、写真図版84）

（位置）V E区の平坦面（検出面）V層上面で数個の礫と焼土を確認。

（形状）円形の石囲炉と思われるが、一部の構成礫ははずれてまわりに散在している。

（規模）現存値で42×60cmを測る。焼土は18×28cmで不整形で、厚さは10cmほどである。

（遺物）なし（その他）周辺に柱穴等は見られない。

第2号炉跡

遺構（図106、写真図版84）

（位置）V E区の平坦面にあり、第1号炉跡とは南に37mほどの距離がある。

（検出面）IV層～V層上面で礫と焼土を確認。

（形状）石囲炉で一部礫が抜き取られている。

（規模）直径76cm位と思われ、焼土は20cmの正方形を呈する。焼土の厚さは20cmで、焼成は良好である。

（遺物）周囲から土器片一片が出ている。（その他）構成礫の抜き取り痕が見られる。

第3号炉跡

遺構（図106、写真図版85）

（位置）V E区東側の削平の著しい部分にあり、一部破壊されている。

（検出面）八戸火山灰層で古代第6号住居跡とともに検出された。

（形状）石囲炉であるが、検出作業の際に礫を動かしてしまっている。

（規模）43cmほどの径を持つものと思われ、焼土は一辺18cmの正方形を呈する。最大厚は3cmと薄い。焼成は良くない。（その他）古代の住居跡に載られる。

遺物（図106、写真図版85）

416は炉の構成礫であるが、2面に擦面をもつ台石である。器面は非常に滑らかで、砥石の可能性もある。

第4号炉跡

遺構（図106、写真図版85）

（位置）V E区の第4号住居跡の埋土中位で、第5号炉跡とともに確認された。住居跡の精査の段階で検出されたが、その時点で炉跡に伴う柱穴等の確認をしなかったため、炉跡として処理するが、住居跡があった可能性が高い。

(検出面) 第4号住居跡埋土3~4層(形状)石囲炉で一部構成礫を失っている。

(規模) 現存する部分から70cmほどの規模と考えられる。焼土は27cm×37cmの不整形で、厚さは最大6cmを測る。(その他) なし。

遺物(図107、写真図版110)

417は使用痕のみられる剃片、418は凹石で炉の構成礫として出土した。土器では、鉢の体部が出土している。

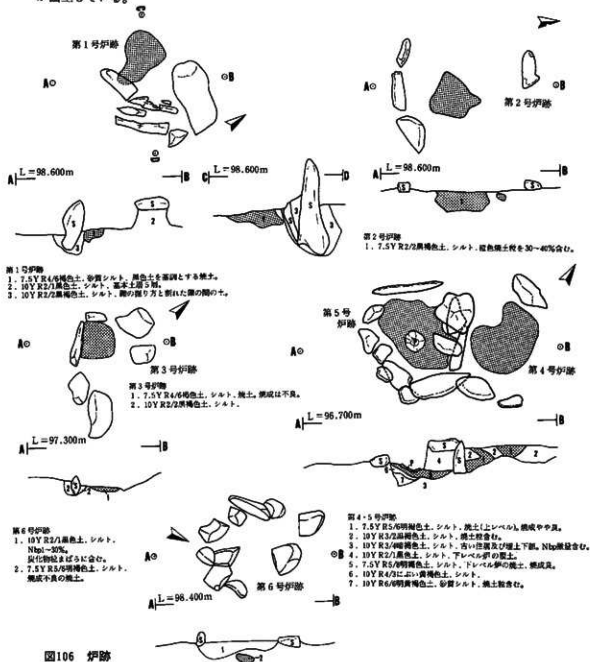


図106 伊跡

第5号炉跡

遺構 (図106、写真図版85)

(位置) 第4号炉跡と同じ。 (検出面) 第4号炉跡より数cmレベルが下がる。

(規模) 直径62cmの円形を呈する。焼成の良好な焼土は、32cm×42cmの不整形で、厚さは4cmである。(その他) なし。

遺物 (図107、写真図版110)

鉢の体部と口縁部破片が出土している。

第6号炉跡

遺構 (図106、写真図版85)

(位置) V E 区の平坦面 (検出面) V層上面で構成礫と炉に伴う台石を確認。

(規模) 直径55cmほどの石囲炉と思われるが、焼土は焼成の良くないものがわずかに見られる程度である。(遺物) なし

(その他) 周辺に柱穴等は確認されなかった。

(濱田)

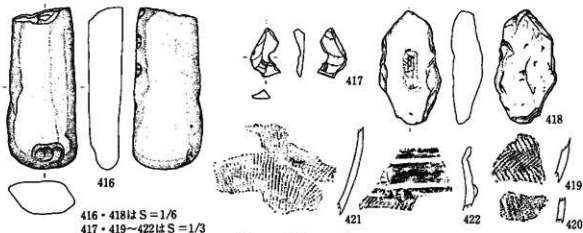


図107 炉跡出土遺物

表8 炉跡出土遺物一覧表

＜石 類＞												
番号	分類	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
416	1	台石	第3号炉跡	伊の焼成石	26.1	10.5	5.2	2590	凝灰岩、北上山地、中生界	107	110	
417		使用面のある副鉢	第4号炉跡	焼土内	3.9	2.1	0.9	4.3	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	107	110	
418	3	凹石	第4号炉跡	伊の焼成石	13.6	7.4	3.5	380	凝灰岩、北上山地、中生界	107	110	

＜土 類＞									
番号	出土地点	層位	器種	部位	文様	ほか	内面	図版	写真
419	第4号炉跡	焼土内	鉢	鉢底	羽状横文		ナゲ	107	110
420	第4号炉跡		鉢	鉢底	早期斜行横文		ナゲ	107	110
421	第5号炉跡		鉢	鉢底	早期斜行横文		ナゲ	107	110
422	第5号炉跡		鉢	口縁部	沈線、コブ、早期斜行横文		ミダキ	107	110

9. 焼土遺構

焼土遺構は10基検出された。そのうち縄文時代に属するものは4基、中世以降のものは3基、時期不明のものは3基である。詳細は表9で示したとおりである。(高橋)

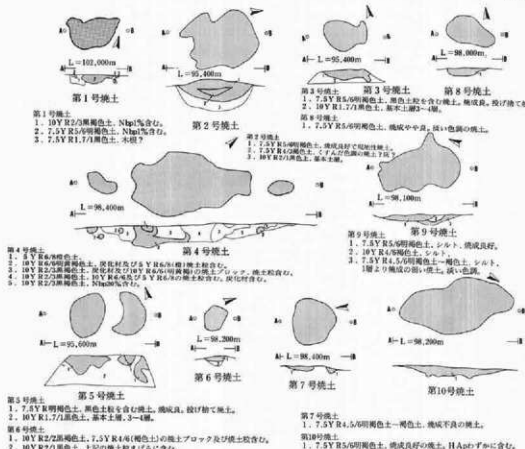


図108 焼土遺構

表9 焼土遺構観察表

遺構名	第1号焼土遺構	第2号焼土遺構	第3号焼土遺構	第4号焼土遺構	第5号焼土遺構
位置	調査区西南部の1F区	調査区北東部のVC区	調査区北東部のVC区	調査区北東部のVD区	調査区北東部のVD区
検出面	第V層	第II層	第II層	第V層	第II層
形状・規模	不整形・53cm×86cm 厚さ 最大16cm	不整形・62cm×64cm 厚さ 最大20cm	不整形・29cm×39cm 厚さ 最大19cm	不整形・56cm×186cm 厚さ 最大20cm	不整形・30cm×42cm 厚さ 最大17cm
状況	樹による覆瓦がみられるが、焼成の良好な現地性焼土である。	焼土内に灰(?)が含まれる。焼成の良好な現地性焼土である。	黒色土を含む。焼成の良好な異地性焼土である。鉄屑が出土した。	炭化物粒を含む。焼成不良の炭素された異地性焼土である。	黒色土を含む。焼成の良好な異地性焼土である。
時期	不明	中世以降	中世以降	不明	中世以降
遺構名	第6号焼土遺構	第7号焼土遺構	第8号焼土遺構	第9号焼土遺構	第10号焼土遺構
位置	調査区中部よりやや南のVE区	調査区南部のVF区	調査区南部のVF区	調査区南部のVF区	調査区南部のVF区
検出面	第V層	第VIII層	第VIII層	第VIII層	第VIII層
形状・規模	不整形円形・20cm×25cm 厚さ 最大9cm	不整形円形・38cm×42cm 厚さ 最大4cm	不整形・24cm×45cm 厚さ 最大6cm	不整形・36cm×74cm 厚さ 最大16cm	不整形・50cm×104cm 厚さ 最大16cm
状況	焼成不良の異地性焼土である。	焼成不良の現地性焼土である。	焼成のややよい現地性焼土である。	炭化物粒を含む。焼成不良の異地性焼土である。	八戸浮石をわずかに含む焼成の良好な現地性焼土である。
時期	不明	縄文時代早期	縄文時代早期	縄文時代早期	縄文時代早期

V 遺構外の出土遺物

1. 石器類 (図109~127、写真図版117~133)

遺物外の石器・石製品の総数は、1000以上に及ぶ。石器は500点余り、石製品は60点余りを登録し、最終的にはあわせて182点を掲載した。

器種別にまとめたが、各器種内での分類についてはそれぞれの項目で示している。

a. 石鏃 (17点)

第I群 無茎鏃…茎がないもの

1類 平基……基部が平らなもの (423、424、425、426)

2類 凹基……基部に抉入を有しそれが深いもの (428、430)

〃 浅いもの (427、429、431)

3類 円基……基部が円みを帯びるもの (432、433)

第II群 有茎鏃…茎があるもの

1類 身部が長いもの (434、435)

2類 身部が短いもの (436、437、438、439)

*すべて凸基有茎鏃のため
身部の長さで分類した。

b. 石匙 (4点)

第I群 横長石匙…刃部が横となるもの (440)

第II群 縦長石匙…刃部が縦となるもの (441、442、443)

c. 石筥 (5点) <石器自体の形状により細分>

第I群 刃部に向けて側縁が開くもの

1類 直線的に開くもの (444、445)

2類 全体に丸みを持って開くもの (446、447)

第II群 槽円形に近い形状のもの (448)

d. 掘器・削器 (12点) <刃部の形状により細分>

第I群 刃部が凹状のもの (449、450、451、452、453)

第II群 刃部が凸状のもの (454、455、456、457、458)

第III群 刃部が直状のもの (459、460)

e. 楔形石器 (2点) ……両極剝離痕が認められる四角形の石器 (461、462)

f. 細部加工剥片 (2点) …剥片の一部にわずかな調整加工を有するもの (463、464)

g. 石斧 (13点)

第I群 打製石斧 (465、466、467)

第II群 磨製石斧 (468、469、470、471、472、473、474、475、476、477)

h. 磨石・凹石・敲石・半円状偏平石器 (49点) …これらすべてを一括して扱い、複数の使用痕を有するものはそれぞれの組み合わせで細分した

第I群 磨石…摩擦痕を有する礫石器 (478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496)

第II群 凹石…擦り凹められた痕跡を持つ礫石器 (497、498、499、500、501、502、503、504、505、506)

第III群 敲石…敲打に使用された痕跡を持つ礫石器 (507、508、509、510)

第IV群 磨石+敲石 (511、512、513)

第V群 凹石+敲石 (514、515)

第VI群 半円状偏平石器…半円状から楕円形状の自然礫の側辺部に摩擦痕、敲打痕を有する石器で、整形のために剝離調整を加えているものも見られる。

1類 敲打の痕跡を持つ (516、517)

2類 摩擦の痕跡を持つ (518、519、520、521、522、523、524)

3類 2類の特徴+敲石 (525)

4類 半円の面に使用痕を持つ (526)

i. 石皿・台石 (2点) …自然石の中央部が凹んでいる皿状の礫石器 (527、528)

j. 石錘 (8点) ……二個一対の抉入を有する礫石器

第I群 小型のもの (529、530、531、532、533)

第II群 大型のもの (534、535)

第III群 その他 (536)

k. 砥石 (4点)

第I群 手持ちの砥石 (537、538)

第II群 置き砥石 (539)

第III群 有溝砥石 (540)

l. 円盤状石製品 (63点) <直径により細分> (VI まとめ4、参照)

第I群 直径が3.0cm以下 (541、542)

第II群 3.1~4.0cm (543~563)

第III群 4.1~5.0cm (564~594)

第IV群 5.1~6.0cm (595~599)

第V群 6.1~7.0cm (600~602)

第VI群 7.1cm以上 (603)

m. その他の石製品 (604) …小型磨製石斧の欠損品か?

(濱田)

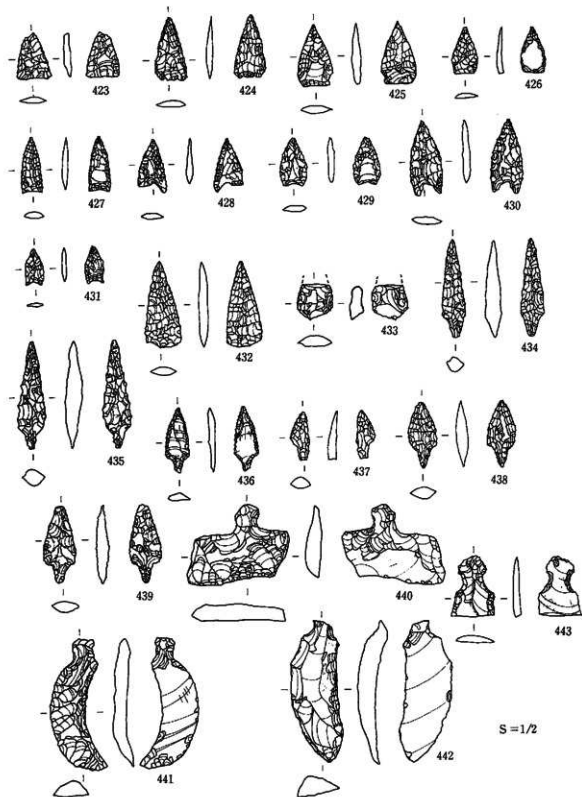


圖109 遼構外出土石器類(1)

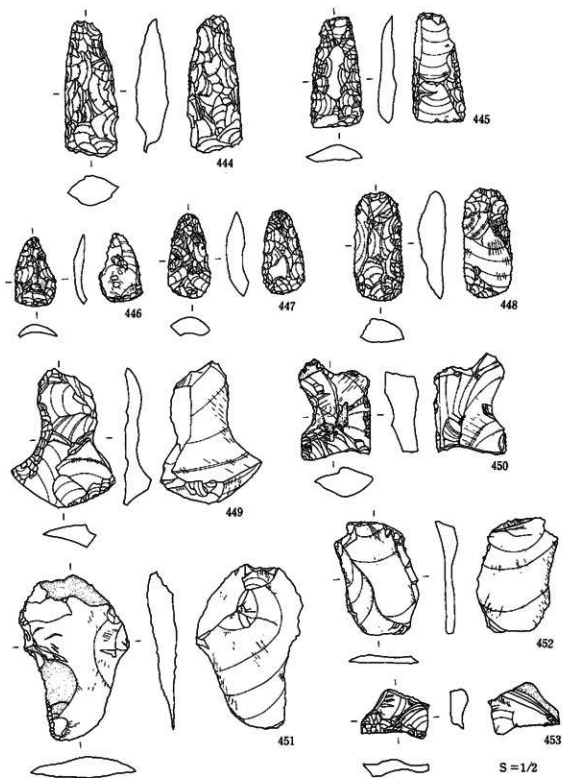


图110 遺構外出土石器類(2)

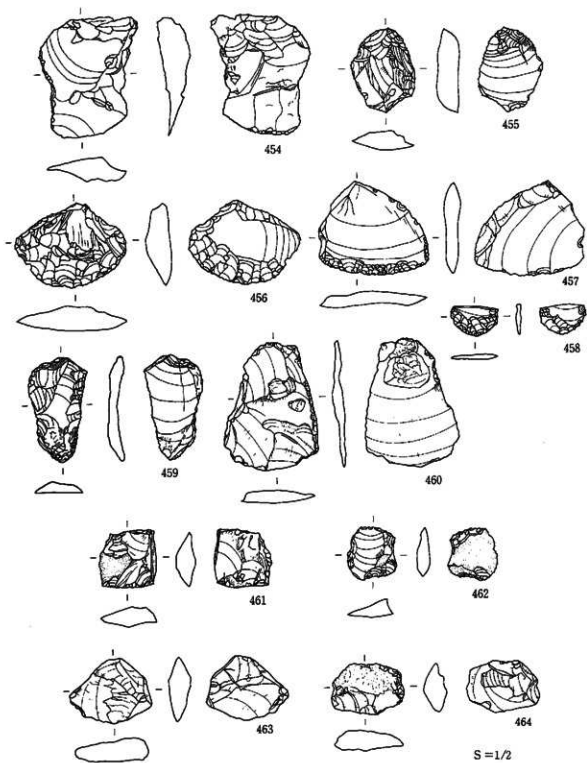


图111 漳浦外出土石器類(3)

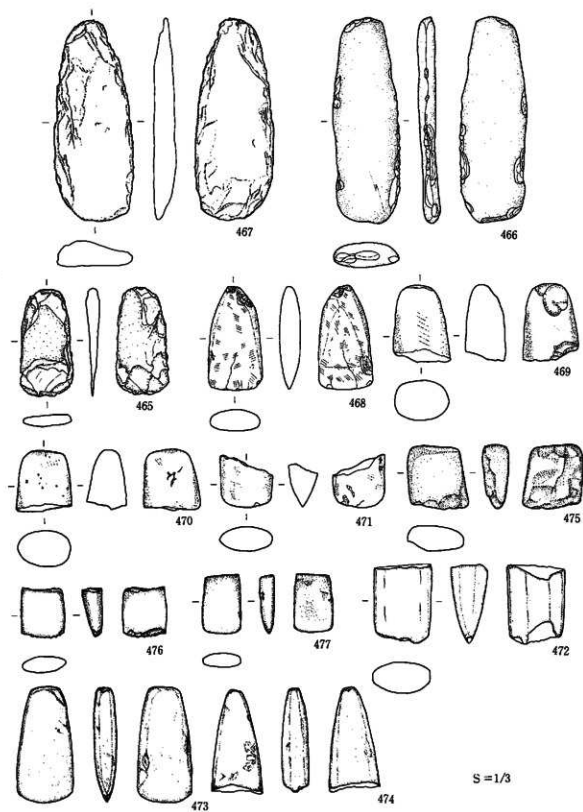


图112 遗物外出土石器類(4)

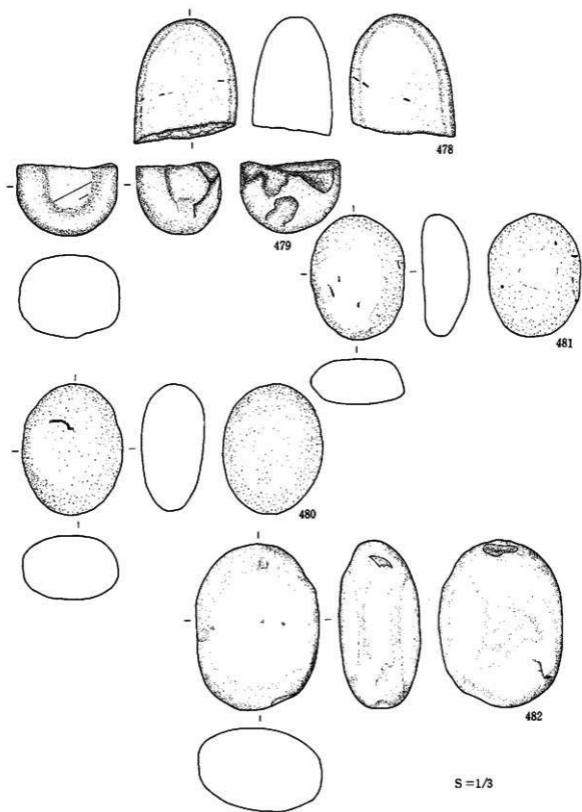


图113 遺構外出土石器類(5)

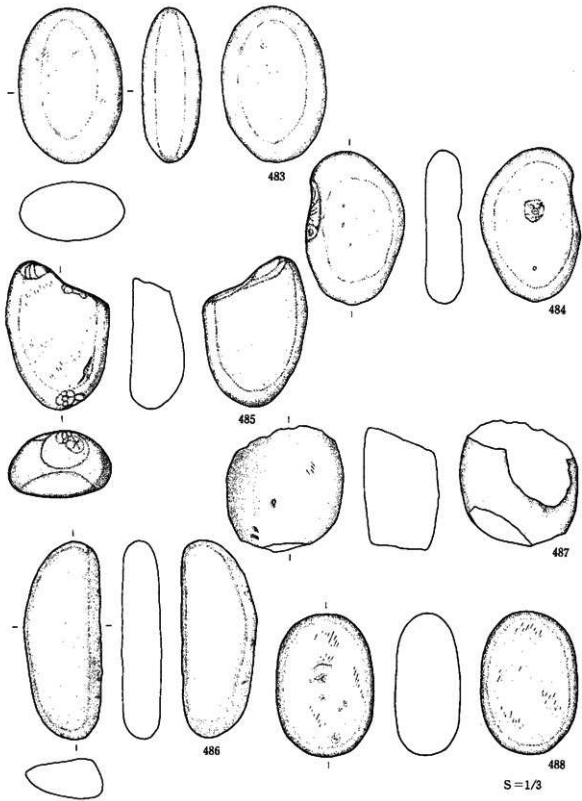


图114 遺構外出土石器類(6)

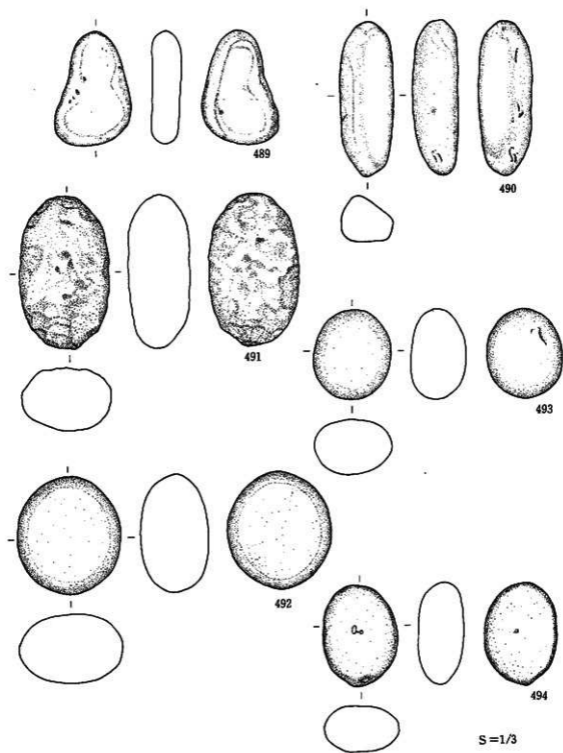


图115 遼東外出土石器類(7)

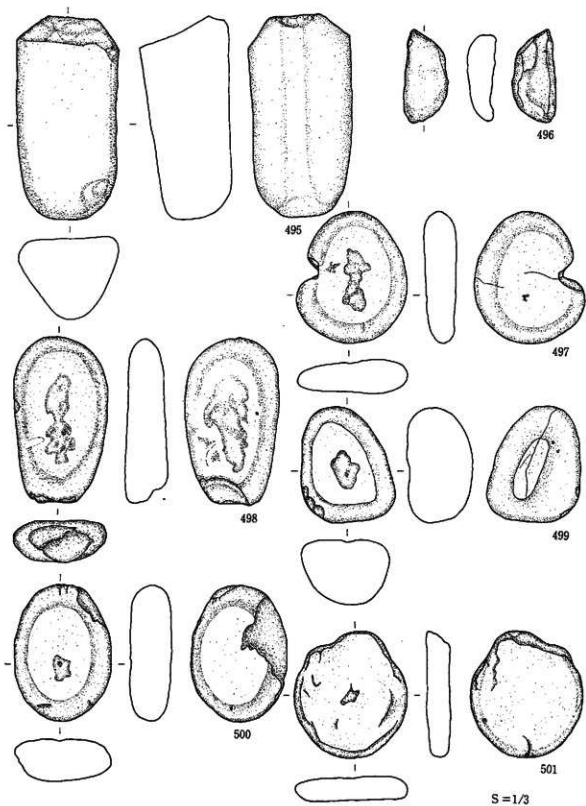


图116 遼寧外出土石器類(8)

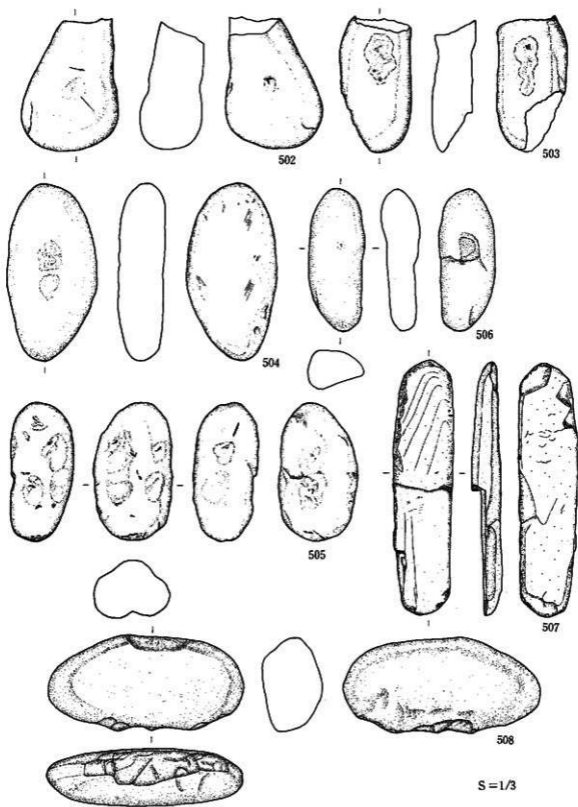


图117 遼東外出土石器類(9)

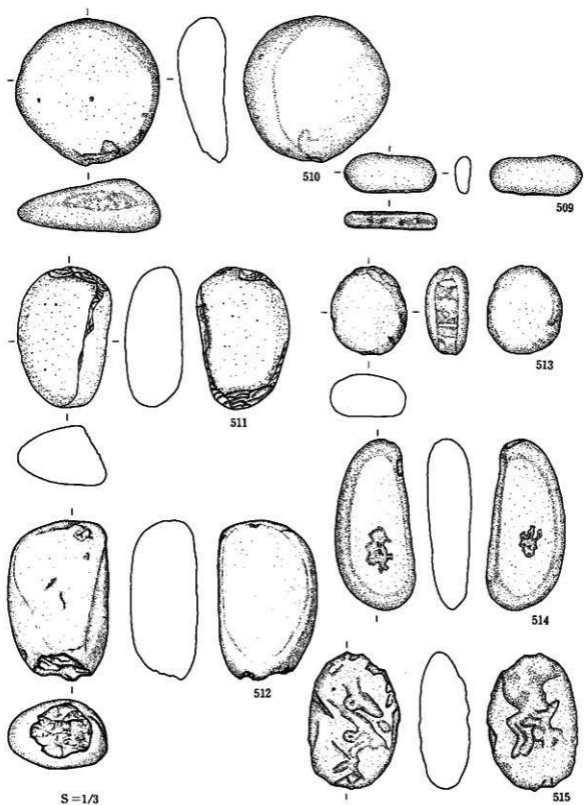


图118 遗物出土石器类(10)

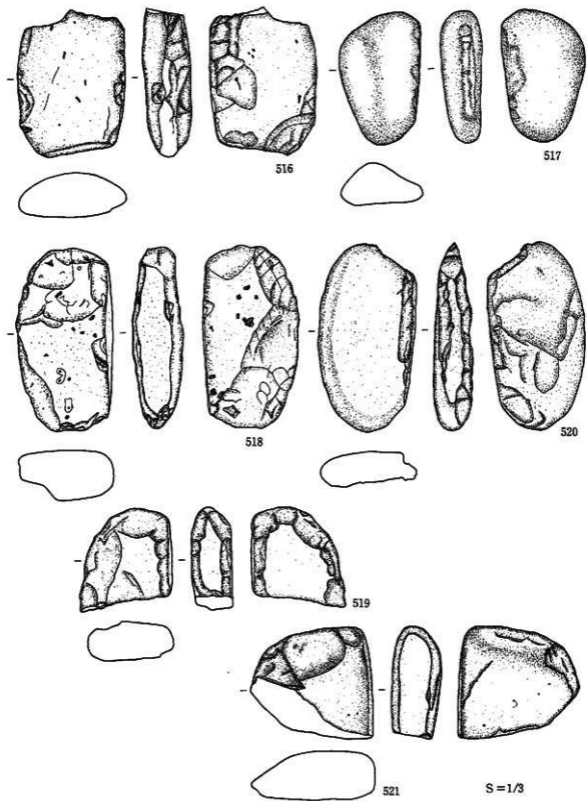


图119 遼東外出土石器類(11)

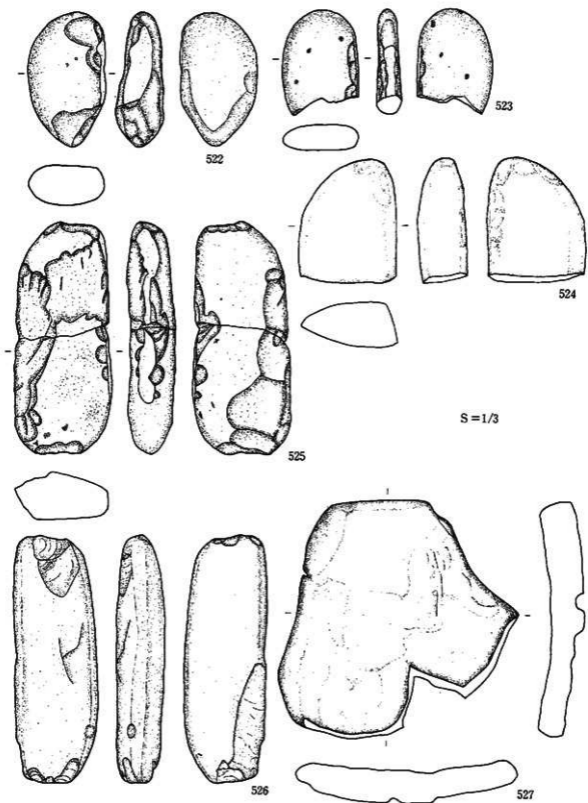


图120 遺構外出土石器類(12)

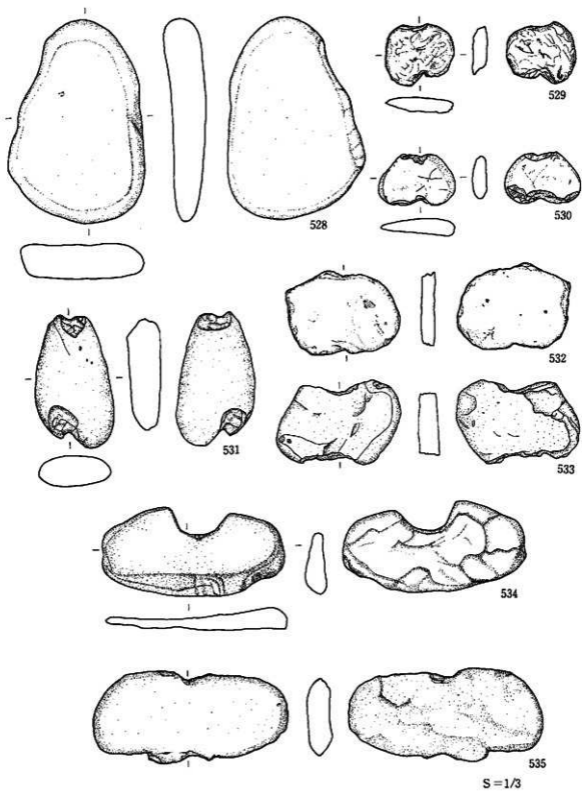


圖121 遼東外出土石器類(13)

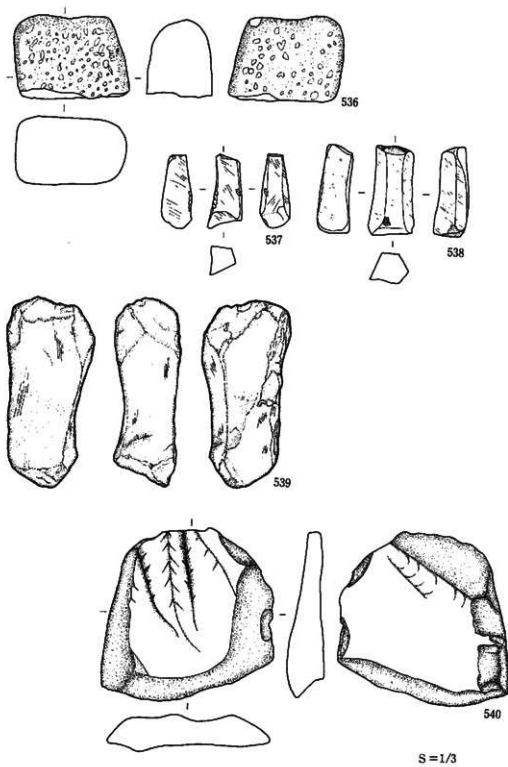


图122 遼東外出土石器類(14)

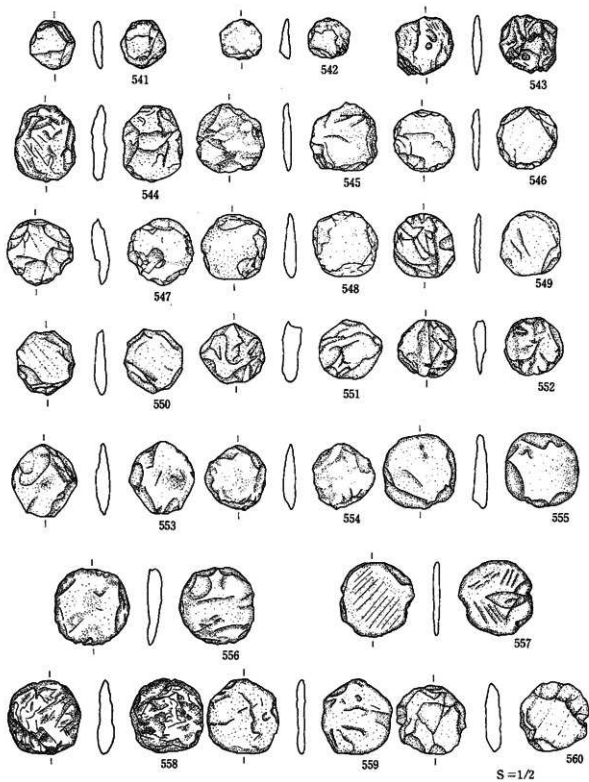


圖123 遼寧外出土石器類(15)

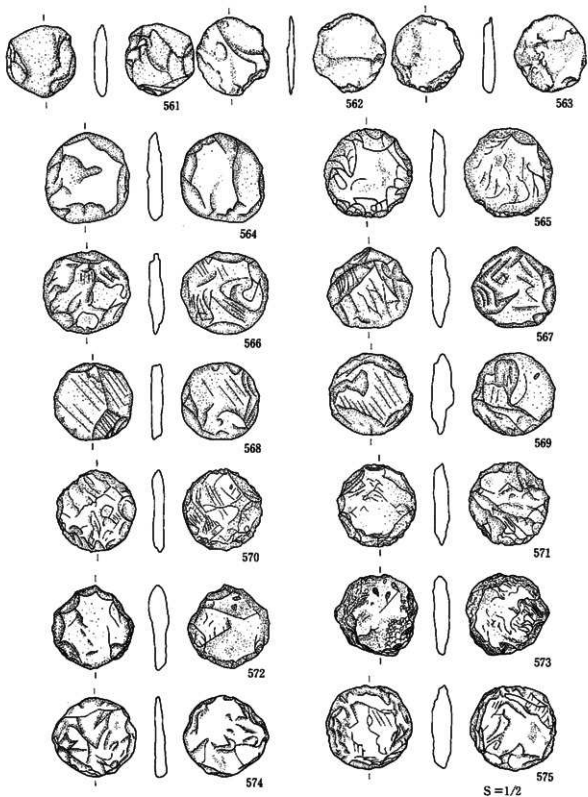


圖124 遺構外出土石器類(16)

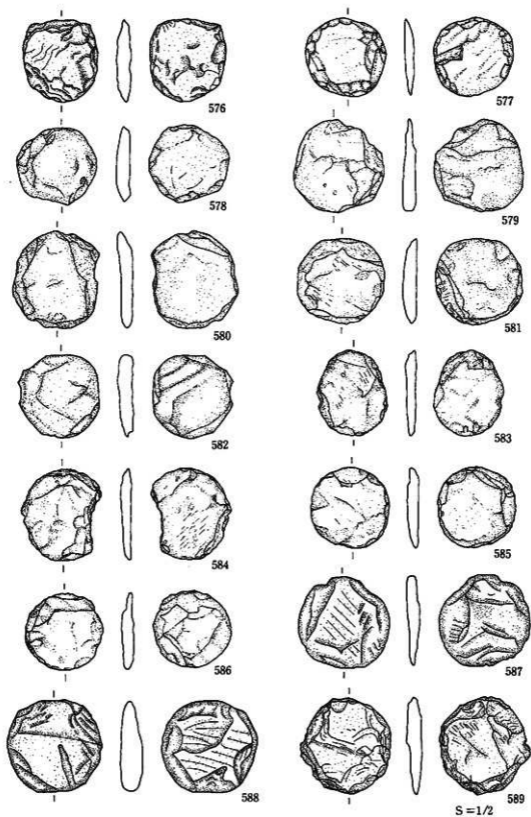


圖125 遺構外出土石器類(17)

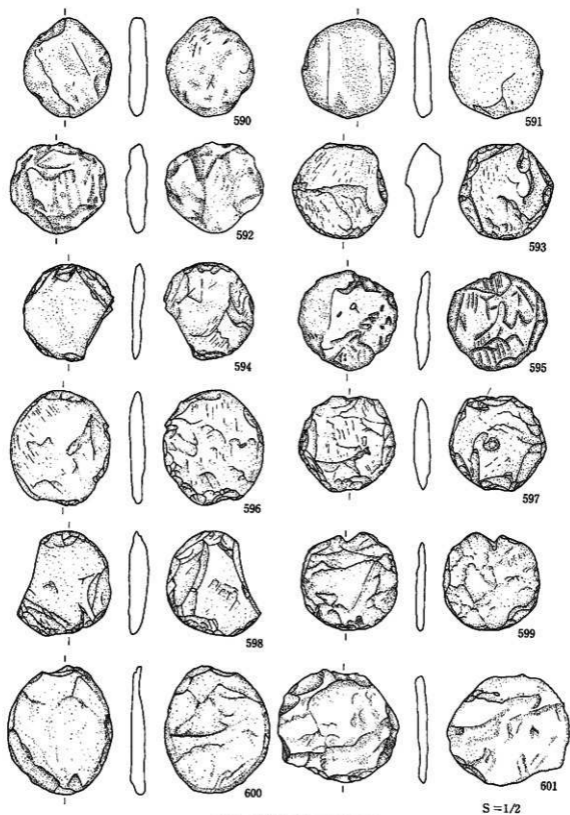


图126 遼構外出土石器類(18)

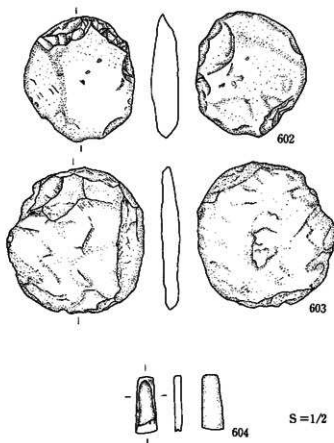


圖127 遺構外出土石器類(19)

表10 遺構外出土石器類一覽表

番号	記号	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石質	図版	写真	備考
423	a I 1	石鏃	田子区		2.4	1.8	0.3	1.17	黒曜岩質燧石、奥羽山地、新第三系中新統	109	117	
424	a I 1	石鏃	田子区		3.2	1.7	0.3	1.73	砂岩質燧石、奥羽山地、中新統	109	117	
425	a I 1	石鏃	V C区		3.3	1.8	0.5	2.18	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
426	a I 1	石鏃	V D区基込	田層	2.5	1.4	0.3	1.10	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
427	a I 2	石鏃	田子区		2.9	1.1	0.3	0.86	粘板岩、北上山地、中生界	109	117	
428	a I 2	石鏃	田子区		2.3	2.8	0.2	1.81	チャート、北上山地、中生界	109	117	
429	a I 2	石鏃	田子区		2.4	1.4	0.3	1.12	凝灰質粘板岩、奥羽山地、中新統	109	117	
430	a I 2	石鏃	田子区		3.6	1.7	0.4	2.49	粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
431	a I 2	石鏃	V D区基込	IV層	2.0	0.9	0.2	0.46	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
432	a I 3	石鏃	田子区		4.5	1.8	0.6	3.49	粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
433	a I 3	石鏃	V E区		1.85	1.85	0.7	2.25	砂岩質燧石、奥羽山地、中新統	109	117	
434	a II 1	石鏃	I F区		5.2	1.2	0.8	3.98	陸奥地層、華石西部、新第三系中新統	109	117	
435	a II 1	石鏃	II F区		5.7	1.5	0.9	3.95	黒曜岩質燧石、奥羽山地、中新統	109	117	
436	a II 2	石鏃	I F区		3.4	1.3	0.4	1.30	赤色凝灰岩	109	117	
437	a II 2	石鏃	II F区		2.6	1.0	1.1	0.95	チャート、北上山地、古生界	109	117	
438	a II 2	石鏃	田子区		3.5	1.5	0.6	2.61	粘板岩、北上山地、中生界	109	117	
439	a II 2	石鏃	V D区基込	IV層	4.1	1.7	0.7	4.46	陸奥地層、北上山地、古生界	109	117	
440	b I	石鏃	V C区		4.2	5.4	0.9	14.76	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
441	b II	石鏃	I F区		6.9	2.5	0.8	13.41	陸奥地層、華石西部、新第三系中新統	109	117	

番号	記号	産種	出土地点	品位	採長 (cm)	採幅 (cm)	採高 (cm)	採重 (g)	石質	図取	写真	備考
442	b II	石膏	V D区高込	IV層	7.5	2.8	0.9	20.2	チャート質粘板岩, 北上山地, 古生界	109	117	
443	b II	石膏	V D区高込	IV層	3.2	2.3	0.4	2.97	粘板岩, 北上山地, 古生界	110	118	
444	c 1 I	石膏	V E区		7.0	2.8	1.6	25.37	硬質粘岩, 奥羽山地, 中新統	110	118	
445	c 1 I	石膏	V E区	IV~V層	5.7	2.6	0.9	17.24	硬質粘板岩, 北上山地, 古生界	110	118	
446	c 1 I 2	石膏	V E区		3.7	2.2	0.4	4.16	赤色凝灰岩	110	118	
447	c 1 I 2	石膏	V E区	I層	4.4	2.2	1.0	10.40	チャート, 北上山地, 古生界	110	118	
448	d I	石膏	V E区		5.7	2.6	1.2	20.20	硬質粘岩, 宇石西部, 新第三系中新統	110	118	
449	d I	石膏・石膏	II F区		7.4	5.4	1.5	36.09	硬質粘岩, 宇石西部, 新第三系中新統	110	118	
450	d I	石膏・石膏	II F区		5.4	3.7	2.7	30.18	チャート質粘板岩	110	118	
451	d I	石膏・石膏	V E区		8.7	3.7	1.4	52.09	硬質粘板岩	110	118	
452	d I	石膏・石膏	V E区		5.9	3.8	0.8	19.11	硬質粘岩, 奥羽山地, 中新統	110	118	
453	d I	石膏・石膏	IV E区		2.7	3.7	0.9	6.93	硬質粘岩, 奥羽山地, 中新統	110	118	
454	d II	石膏・石膏	V E区		6.35	3.2	1.5	40.81	硬質粘岩, 奥羽山地, 中新統	111	119	
455	d II	石膏・石膏	IV E区		4.5	3.4	1.2	17.53	硬質粘岩, 奥羽山地, 中新統	111	119	
456	d II	石膏・石膏	V E区		4.5	3.9	1.3	33.97	チャート質粘板岩, 北上山地, 古生界	111	119	
457	d II	石膏・石膏	V E区	I層	4.9	5.8	0.8	23.68	硬質粘板岩, 北上山地, 古生界	111	119	
458	d II	石膏・石膏	V D区	III~IV層	1.5	2.5	0.2	1.38	粘板岩, 北上山地, 古生界	111	119	
459	d III	石膏・石膏	IV E区		5.5	3.0	0.6	11.27	硬質粘岩, 奥羽山地, 中新統	111	119	
460	d III	石膏・石膏	V E区	IV層	6.7	4.9	0.5	18.26	チャート質粘板岩, 北上山地, 古生界	111	119	
461	e	輝石 (輝石)	I F区		3.9	3.4	1.1	11.16	赤色凝灰岩	111	119	
462	e	輝石 (輝石)	I F区		2.7	2.6	0.7	6.55	赤色凝灰岩, 北上山地, 古生界	111	119	
463	f	輝石加工 (輝石)	VID区	I層	3.4	4.3	1.2	16.86	暗赤色凝灰岩, 北上山地, 古生界	111	119	
464	f	輝石加工 (輝石)	V D区	III~IV層	2.7	3.7	1.2	13.72	暗赤色凝灰岩, 北上山地, 古生界	111	119	
465	g I	石膏(打製)	I F区		8.5	4.3	1.0	43.43	粘板岩, 北上山地, 古生界	112	120	
466	g I	石膏(打製)	V E区		16.1	5.3	1.2	180	凝灰岩, 北上山地, 中生界	112	120	
467	g I	石膏(打製)	IV E区		15.8	6.4	2.0	240	粘板岩, 北上山地, 中生界	112	120	
468	g II	石膏(磨製)	III F区		8.2	4.3	1.6	100	緑色凝灰岩	112	120	
469	g II	石膏(磨製)	I F区		6.0	4.5	3.1	140	輝石安山岩, 北上山地, 中生界	112	120	
470	g II	石膏(磨製)	I F区		4.9	4.5	2.8	110	輝石安山岩, 北上山地, 中生界	112	120	
471	g II	石膏(磨製)	V E区		4.1	4.2	1.9	47.35	輝石安山岩, 北上山地, 中生界	112	120	
472	g II	石膏(磨製)	V E区		6.1	4.5	2.8	130	緑色凝灰岩, 奥羽山地, 中新統	112	120	
473	g II	石膏(磨製)	F区		9.2	4.5	2.1	130	緑色凝灰岩, 奥羽山地, 中新統	112	120	
474	g II	石膏(磨製)	IV E区		8.0	4.0	2.1	113	緑色凝灰岩, 奥羽山地, 中新統	112	120	
475	g II	石膏(磨製)	V E区	III~IV層	5.9	4.9	2.0	84.36	暗赤色凝灰岩, 北上山地, 古生界	112	120	
476	g II	石膏(磨製)	区		3.9	3.5	1.2	35.20	淡緑色砂質凝灰岩, 北上山地, 古生界	112	120	
477	g II	石膏(磨製)	V D区高込	I層	4.6	3.1	1.1	33.41	淡緑色砂質凝灰岩, 北上山地, 古生界	112	120	
478	h I	磨石	I F区		9.3	8.1	6.2	680	凝灰質粘板岩, 北上山地, 古生界	113	121	
479	h I	磨石	II F区		5.0	7.9	6.4	430	凝灰岩, 北上山地, 古生界	113	121	
480	h I	磨石	II F区		10.3	8.0	4.9	566	凝灰岩, 北上山地, 古生界	113	121	
481	h I	磨石	I F区		9.7	7.3	3.6	380	凝灰岩, 北上山地, 古生界	113	121	
482	h I	磨石	IV E区		13.0	9.7	6.1	1180	石英質粘岩, 北上山地, 古生界	113	121	
483	h I	磨石	V E区		12.0	8.2	4.7	670	凝灰質粘板岩, 北上山地	114	121	
484	h I	磨石	IV F区		12.0	8.0	3.0	450	石英凝灰岩, 北上山地, 中生界	114	121	
485	h I	磨石	V E区		11.6	8.2	4.3	540	凝灰岩, 北上山地, 中生界	114	121	
486	h I	磨石	V E区		15.5	6.2	3.1	470	凝灰質粘板岩, 北上山地, 中生界	114	121	
487	h I	磨石	V E区		9.8	9.3	4.9	720	安山岩, 北上山地, 中生界	114	121	
488	h I	磨石	IV E区		11.2	17.8	5.2	740	花崗閃緑岩, 北上山地, 中生界	114	121	
489	h I	磨石	IV D区		8.8	5.4	2.3	200	安山岩, 北上山地, 中生界	115	122	
490	h I	磨石	V E区		12.1	4.2	3.4	250	凝灰岩, 北上山地, 中生界	115	122	
491	h I	磨石	V D区高込	I層	11.9	7.1	4.9	640	花崗閃緑岩, 二戸, 中生界	115	122	
492	h I	磨石	V D区高込	I層	9.2	8.2	5.4	600	輝石安山岩, 北上山地, 中生界	115	122	
493	h I	磨石	V C区高込		7.1	6.0	4.4	270	輝石安山岩, 北上山地, 中生界	115	122	
494	h I	磨石	V E区		8.0	5.7	3.7	270	輝石安山岩, 北上山地, 中生界	115	122	
495	h I	磨石	II F区		16.0	8.0	7.2	1310	凝灰質粘板岩, 北上山地, 中生界	116	122	
496	h I	磨石	V E区	IV層	6.7	3.4	2.1	90	花崗閃緑岩, 二戸, 中生界	116	122	

序号	代号	岩 性	出土地点	层位	长 (cm)	宽 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石 质	图版	写真	备 考
497	h II	凹石	I F 区		10.3	8.7	2.6	330	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	116	122	
498	h II	凹石	I F 区		13.3	7.3	3.3	500	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	116	122	
499	h II	凹石	I F 区		9.2	7.4	5.1	490	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	116	122	
500	h II	凹石	I F 区		10.8	7.5	3.3	400	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	116	122	
501	h II	凹石	II F 区		10.5	8.8	1.9	260	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	116	122	
502	h II	凹石	V 区		10.0	7.7	4.7	500	凝灰岩, 北上山地, 中生界	117	123	
503	h II	凹石	V E 区		13.8	5.7	3.4	300	凝灰岩, 北上山地, 中生界	117	123	
504	h II	凹石	IV E 区		10.9	7.1	3.8	510	凝灰岩, 北上山地, 中生界	117	123	
505	h II	凹石	IV E 区		10.7	5.2	4.0	420	凝灰岩, 北上山地, 中生界	117	123	
506	h II	凹石	IV E 区	I 层	11.2	4.4	3.0	210	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 中生界	117	123	
507	h III	凝石	I F 区		27.0	6.2	2.6	610	粉板岩, 北上山地, 古生界	117	123	
508	h III	凝石	II F 区		7.2	15.4	4.7	750	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	117	123	
509	h III	凝石	VI E 区	IV 层	3.1	7.2	1.2	51.0	粉板岩, 北上山地, 中生界	118	123	
510	h III	凝石	VI E 区	V 层	11.5	10.4	3.8	630	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 中生界	118	123	
511	h IV	磨石、凝石	I F 区		11.0	7.4	4.6	510	硬砂岩, 北上山地, 古生界	118	124	
512	h IV	磨石、凝石	V E 区		12.4	7.9	5.3	740	凝灰岩, 北上山地, 中生界	118	124	
513	h IV	磨石、凝石	V D 区	IV 层	6.9	5.9	3.3	200	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	118	124	
514	h V	凹石、凝石	I F 区		13.4	6.2	3.4	410	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	118	124	
515	h V	凹石、凝石	I F 区		11.0	7.0	3.8	420	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	118	124	
516	h VI	半凹状扁平石砾	II F 区		11.7	8.5	3.4	500	卵石层, 北上山地, 中生界	119	124	
517	h VI 1	半凹状扁平石砾	V D 区	IV 层	10.4	6.4	3.2	300	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 中生界	119	124	
518	h VI 2	半凹状扁平石砾	I F 区		14.2	7.7	4.0	680	卵石层, 北上山地, 中生界	119	124	
519	h VI 2	半凹状扁平石砾	I F 区		8.1	7.2	3.1	270	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	119	124	
520	h VI 2	半凹状扁平石砾	I F 区		14.6	7.7	3.0	440	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	119	125	
521	h VI 2	半凹状扁平石砾	II F 区		9.9	9.6	3.8	460	硬砂岩, 北上山地, 古生界	119	125	
522	h VI 2	半凹状扁平石砾	I F 区		10.5	6.2	3.2	320	粉板岩, 北上山地, 古生界	120	125	
523	h VI 2	半凹状扁平石砾	I F 区		8.0	5.8	1.9	180	绿色凝灰岩	120	125	
524	h VI 2	半凹状扁平石砾	IV E 区		9.7	7.8	3.5	470	閃綠岩, 北上山地, 中生界	120	125	
525	h VI 3	半凹状扁平石砾	I F 区		18.1	7.5	3.7	880	硬砂岩, 北上山地, 古生界	120	125	
526	h VI 4	半凹状扁平石砾	I F 区		19.5	5.5	3.9	770	凝灰岩, 北上山地, 古生界	120	126	
527	I	石皿、台石	IV E 区		25.2	25.0	4.8	3240	石英岩, 北上山地, 中生界	120	126	
528	I	石皿、台石	IV E 区		21.4	14.5	4.4	1810	凝灰岩, 北上山地, 中生界	121	126	
529	J 1	石髓	II F 区		4.9	5.4	1.1	46.26	粉板岩, 北上山地, 古生界	121	126	
530	J 1	石髓	II F 区		4.1	6.1	1.3	42.49	硬岩壳岩, 北上山地, 中生界	121	126	
531	J 1	石髓	II F 区		10.5	6.2	2.4	240	硬砂岩, 北上山地, 古生界	121	126	
532	J 1	石髓	IV D 区		6.7	9.0	1.2	125	粉板岩, 北上山地, 中生界	121	126	
533	J 1	石髓	VE 区		4.5	6.5	1.0	48	粉板岩, 北上山地, 中生界	121	126	
534	J 2	石髓	VD 区		14.5	7.2	1.7	210	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 中生界	121	126	
535	J 2	石髓	VD 区	I 层	7.4	15.4	1.9	350	石英火山岩, 北上山地, 中生界	121	126	
536	J 3	石髓	I F 区		6.6	9.2	5.3	640	花岗岩, 北上山地, 中生界	122	127	
537	k 1	砾石	V 区	表解	5.7	2.4	2.2	33.18	流纹岩, 北上山地, 中生界	122	127	
538	k 1	砾石	VD 区	I 层	5.9	3.7	2.4	91.82	麻岩片岩, 北上山地, 古生界	122	127	
539	k II	砾石	V E 区		19.8	9.5	7.1	1470	流纹岩, 北上山地, 中生界	122	127	
540	k III	有菌砾石	IV F 区		13.6	13.7	2.9	720	凝灰质硬砂岩, 北上山地, 古生界	122	127	

序号	代号	岩 性	出土地点	层位	长 (cm)	宽 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石 质	图版	写真	备 考
541	E 1	凹壳状石砾品	VC 区	V 层	2.5	0.5	3.2		粉板岩, 北上山地, 古生界	123	128	
542	E 1	凹壳状石砾品	VD 区	I 层	2.1	0.6	2.1		粉板岩, 北上山地, 中生界	123	128	
543	E 2	凹壳状石砾品	I F 区		3.3	0.4	5.1		粉板岩, 北上山地, 古生界	123	128	
544	E 2	凹壳状石砾品	表解区		3.7	0.8	10.9		粉板岩, 北上山地, 中生界	123	128	
545	E 2	凹壳状石砾品	IV E 区		3.6	0.4	9.1		粉板岩, 北上山地, 中生界	123	128	
546	E 2	凹壳状石砾品	I F 区		3.3	0.4	6.2		粉板岩, 北上山地, 中生界	123	128	
547	E 2	凹壳状石砾品	I F 区		3.5	0.9	11.3		凝灰质粉板岩	123	128	
548	E 2	凹壳状石砾品	? 区		3.4	0.6	10.4		粉板岩, 北上山地, 古生界	123	128	
549	E 2	凹壳状石砾品	VC 区		3.4	0.3	5.3		粉板岩, 北上山地, 古生界	123	128	

番号	記号	岩種	出土地点	層位	直径 (cm)	厚さ (cm)	高さ (m)	石質	図版	写真	備考	
550	Ⅱ	円盤状石製品	V E区	V層	3.3	0.6	7.7	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
551	Ⅱ	円盤状石製品	V B区	I層	3.3	0.7	8.4	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
552	Ⅱ	円盤状石製品	V D区	II層	3.1	0.6	6.9	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
553	Ⅱ	円盤状石製品	V E区	I層	3.8	0.7	11.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
554	Ⅱ	円盤状石製品	V B区	I層	3.5	0.6	7.4	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
555	Ⅱ	円盤状石製品	II F区		3.9	0.8	13.1	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
556	Ⅱ	円盤状石製品	I F区		4.0	0.8	14.2	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
557	Ⅱ	円盤状石製品	III F区		3.9	0.4	6.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
558	Ⅱ	円盤状石製品	IV F区		3.7	0.8	14.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
559	Ⅱ	円盤状石製品	V E区		4.0	0.5	11.3	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
560	Ⅱ	円盤状石製品	V E区	I層	3.8	0.7	6.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	129		
561	Ⅱ	円盤状石製品	V D区	IV層	3.8	0.6	11.7	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
562	Ⅱ	円盤状石製品	V E区	V層	4.0	0.4	6.8	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
563	Ⅱ	円盤状石製品	V D区	II層	4.0	0.6	13.9	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
564	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		4.6	0.8	23.3	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
565	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		4.6	0.9	24.7	赤色凝灰岩	124	129		
566	Ⅲ	円盤状石製品	II F区		4.3	0.9	21.3	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
567	Ⅲ	円盤状石製品	III F区		4.4	0.9	21.7	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
568	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		4.1	0.7	15.6	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
569	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		4.3	0.7	25.8	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
570	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		4.3	0.5	17.2	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
571	Ⅲ	円盤状石製品	II F区		4.3	0.7	18.9	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
572	Ⅲ	円盤状石製品	II F区		4.4	1.1	24.0	硬砂岩、北上山地、古生界	124	130		
573	Ⅲ	円盤状石製品	II D区		4.4	0.8	21.8	粘板岩、北上山地、古生界	124	130		
574	Ⅲ	円盤状石製品	表層		4.3	0.7	19.9	粘板岩、北上山地、中生界	124	130		
575	Ⅲ	円盤状石製品	V F区		4.4	1.0	25.3	粘板岩、北上山地、中生界	124	130		
576	Ⅲ	円盤状石製品	V F区		4.3	0.8	20.1	粘板岩、北上山地、中生界	125	130		
577	Ⅲ	円盤状石製品	II F区		4.2	0.5	12.1	粘板岩、北上山地、中生界	125	130		
578	Ⅲ	円盤状石製品	V E区		4.1	0.7	16.9	粘板岩、北上山地、中生界	125	130		
579	Ⅲ	円盤状石製品	V D区	I層	4.9	0.6	20.1	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
580	Ⅲ	円盤状石製品	V D区	I層	5.0	0.7	23.1	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
581	Ⅲ	円盤状石製品	V C区露		4.6	0.7	20.4	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
582	Ⅲ	円盤状石製品	?区	典輝	4.4	0.6	14.8	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
583	Ⅲ	円盤状石製品	V D区	II層	4.5	0.5	12.5	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
584	Ⅲ	円盤状石製品	?区		4.8	0.6	12.7	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
585	Ⅲ	円盤状石製品	V D区露	III層	4.2	0.6	15.1	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
586	Ⅲ	円盤状石製品	V D区	V層	4.1	0.6	12.7	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
587	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		4.8	0.7	18.6	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
588	Ⅲ	円盤状石製品	II F区		4.9	1.2	43.3	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
589	Ⅲ	円盤状石製品	I F区		5.0	0.8	25.3	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
590	Ⅲ	円盤状石製品	III F区		4.9	0.9	30.1	粘板岩、北上山地、古生界	126	131		
591	Ⅲ	円盤状石製品	II F区		4.9	0.9	29.7	粘板岩、北上山地、古生界	126	131		
592	Ⅲ	円盤状石製品	III F区		4.9	1.1	30.7	粘板岩、北上山地、中生界	126	131		
593	Ⅲ	円盤状石製品	V D区露	I層	5.0	1.9	44.7	粘板岩、北上山地、古生界	126	131		
594	Ⅲ	円盤状石製品	V E区	I層	4.9	0.6	20.2	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
595	Ⅳ	円盤状石製品	I F区		5.2	0.8	25.5	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
596	Ⅳ	円盤状石製品	V D区露	I層	5.8	0.8	42.1	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
597	Ⅳ	円盤状石製品	V C区		5.1	0.9	28.2	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
598	Ⅳ	円盤状石製品	V D区	I層	5.7	1.0	35.2	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
599	Ⅳ	円盤状石製品	V D区	IV~V層	5.1	0.4	15.8	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
600	Ⅴ	円盤状石製品	IV E区		6.2	0.8	39.6	粘板岩、北上山地、中生界	126	132		
601	Ⅴ	円盤状石製品	V F区		6.2	0.5	49.0	粘板岩、北上山地、中生界	126	132		
602	Ⅴ	円盤状石製品	V F区		6.2	1.4	67.4	粘板岩、北上山地、中生界	127	132		
603	Ⅵ	円盤状石製品	V D区	II層	7.6	0.9	66.8	粘板岩、北上山地、古生界	127	132		
604	m	石片の痕跡品?	II F区		2.9	1.1	0.3	2.3	粘板岩、北上山地、中生界	127	133	

2. 縄文・弥生時代の土器類 (図128～136、写真図版134～139)

(1) 土器

遺構外から出土した土器・土製品類は、大コンテナ (41×31×30cm) で10箱ほどである。数回にわたる選別により、小破片や欠損の著しいものを割愛し、全部で146点掲載することにした。遺物は、縄文時代は早期から晩期にわたり、その他には縄文時代晩期末葉から弥生時代初頭のもものが1点ある。

分類・記述にあたり、縄文時代早期の土器を第I群として、以下前期-第II群、中期-第III群、後期-第IV群、晩期-第V群の分類区分を設けた。さらに分類の困難な後・晩期の粗製土器はVI群、晩期末から弥生時代の土器はVII群とした。また、各群の中で細分類しているが、第I群と第VI群以外は従来の土器編年に当てはめる形をとった。

図版の縮尺は、拓本はすべて $\frac{1}{6}$ 、実測図は個々に示している。

第I群土器 (早期)

1類-押型文型土器群

- a. 押型文のみ施文されているもの (605～608)
- b. 数条の沈線と縄文が施文されているもの (609～612)
- c. 縄文のみが施文されているもの (613～616)

2類-貝殻・沈線文系土器群

- a. 貝殻復縁文が施文されているもの (617～619)
- b. 貝殻条痕文が施文されているもの (620～627)
- c. 貝殻条痕文と縄文が施文されているもの (628、629)

第II群土器 (前期)

- 1類-早稲田5類に相当するもの (630)
- 2類-円筒下層a式に相当するもの (631)
- 3類-円筒下層b₁式に相当するもの (632～635)
- 4類-円筒下層b₂式に相当するもの (636、637)
- 5類-円筒下層d₁式に相当するもの (638～647)
- 6類-円筒下層d₂式に相当するもの (648～651)

第III群土器 (中期)

- 1類-円筒上層a₁式に相当するもの (652～663)

2類-円筒上層a₂式に相当するもの (664~675)

3類-円筒上層b式に相当するもの (676~685)

第IV群土器 (後期)

1類-十腰内I式に相当するもの (686~694)

2類-十腰内II及びIII式に相当するもの (695)

3類-十腰内IV式に相当するもの (696)

4類-十腰内V式に相当するもの (697~700)

5類-所属不明のもの (701)

第V群土器 (晩期)

1類-大洞B式に相当するもの (702、703)

2類-大洞C₁式に相当するもの (704)

3類-大洞C₂式に相当するもの (705~708)

4類-大洞A式に相当するもの (709~712)

第VI群土器 (後期もしくは晩期に属すると思われる粗製土器)

1類-後期の可能性が高いもの

a. 折り返し口縁をもつもの (713、714)

b. 口縁部に化粧土が見られるもの (715)

c. 体部に網目状撫糸文が施文されているもの (716、717)

d. 口縁部が縄文と沈線からなるもの (718~720)

e. 体部に無節斜行縄文が施文されているもの (721~724)

2類-晩期の可能性が高いもの (725~728)

3類-後期と晩期のどちらに属するか不明のもの

a. 羽状縄文が施文されているもの (729~735)

b. 単節の縄文が施文され、口唇部が外側に張り出すもの (736~741)

c. 単節の縄文が施文され、口唇部が外側に張り出していないもの (742、743)

第VII群土器 (晩期末から弥生時代初頭)

大洞A'式から砂沢式に相当するもの (744)

(2) 土製品

土製品では745、746、747のミニチュア土器、751の土偶が出土している。

746のミニチュアについては、その焼成の状態などから古代の遺物の可能性もある。これは、2個1対の焼成前の小孔がみられる。751は縄文時代中期の板状土偶で、頭部を欠く。

3. 古代の土器 (図136、写真図版139)

遺構外から出土した土師器は、坏2点・甕1点と極端に少ない。748、749の坏は、いずれも体部中央からやや下方に軽い段を持ち、内外面ともよくヘラミガキされている。内面は黒色処理が施されている。750は甕の底部破片で、底部外面に粉痕と思われるものが付着している。

4. その他 (図なし、写真図版140)

先述以外の遺構外出土遺物としては、大コンテナ3箱におよぶ鉄滓、キセル3点、古銭12枚がある。

鉄滓のなかには椀型のもも見られるが、前述のとおり鍛冶関係の遺構は検出されなかった。

古銭では、寛永通寶(初鑄1636年)7枚のほか、永楽通寶(明銭一初鑄1408年)3枚、元祐通寶(北宗銭一初鑄1086~1093年)2枚が出土した。

(濱田)

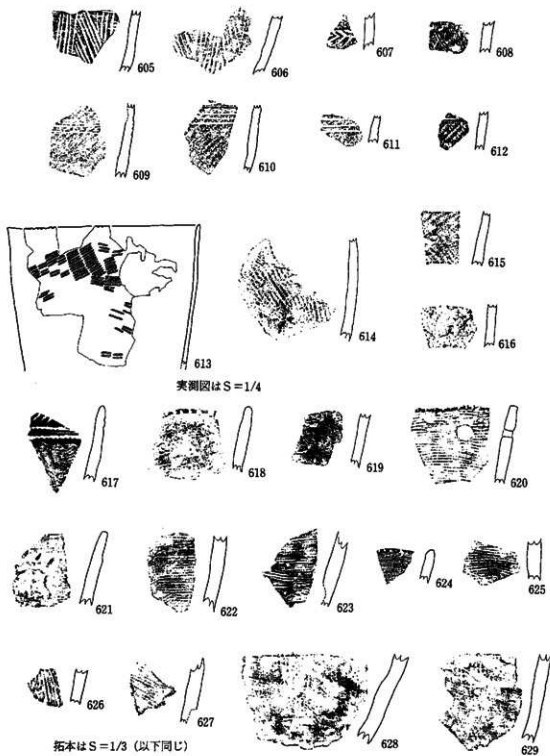


図128 遺構外出土土器類(1) [I群]

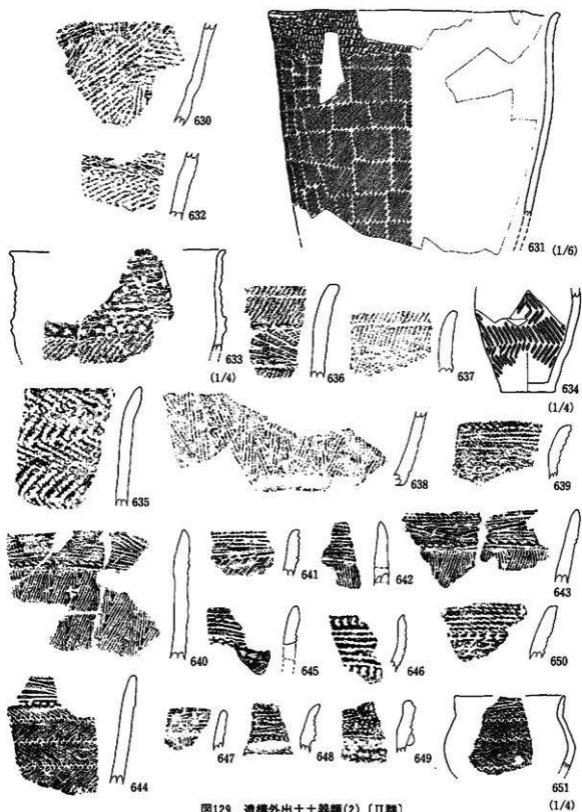


图129 遺構外出土土器類(2)〔II群〕

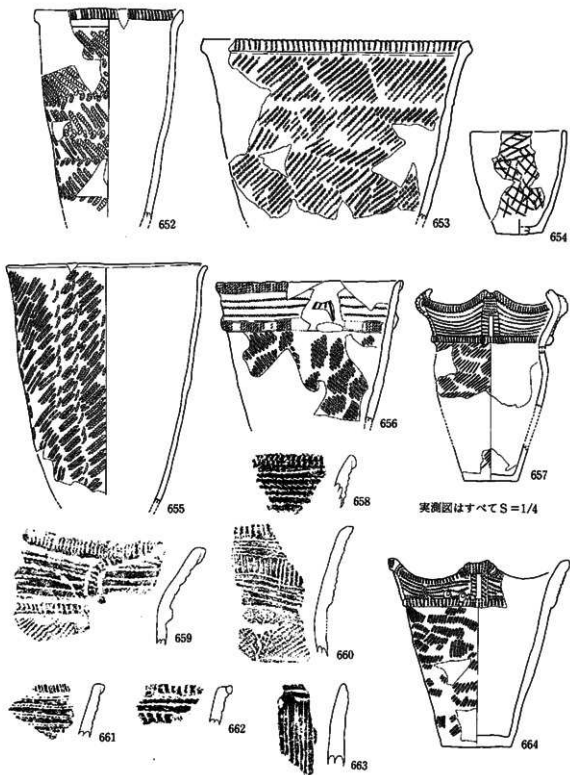


図130 遺構外出土土器類(3) [Ⅲ群①]

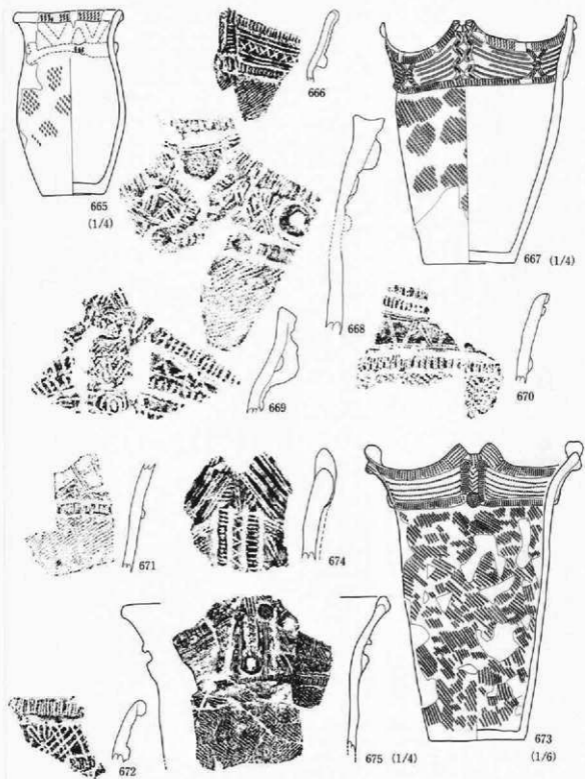


圖131 遠東外出土土器類(4)〔III群②〕

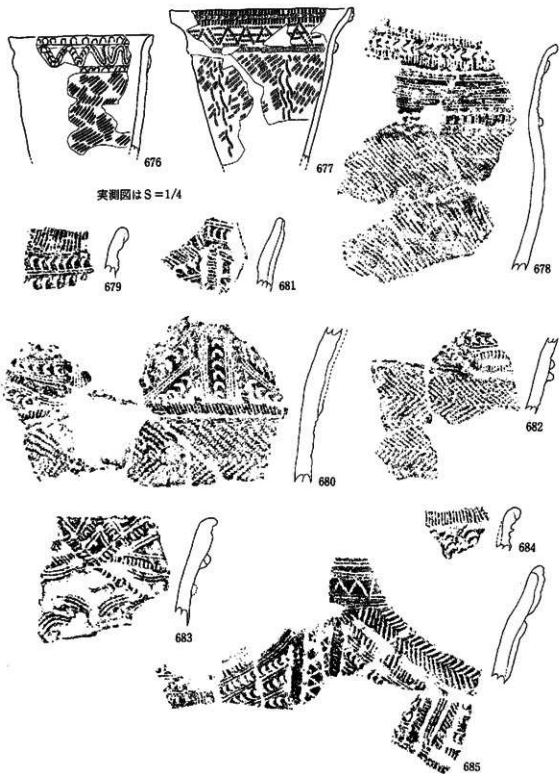
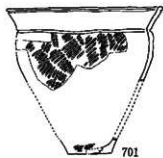
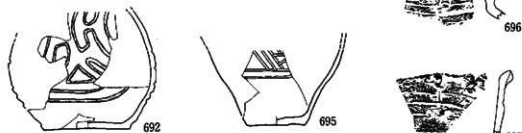
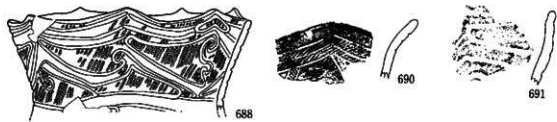
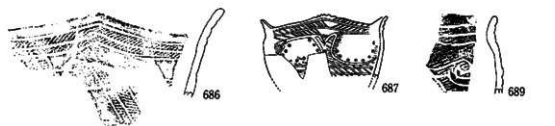


図132 遺構外出土土器類(5)〔Ⅲ群③〕



実測図はすべてS=1/4

图133 遺構外出土土器類(6)〔IV群〕

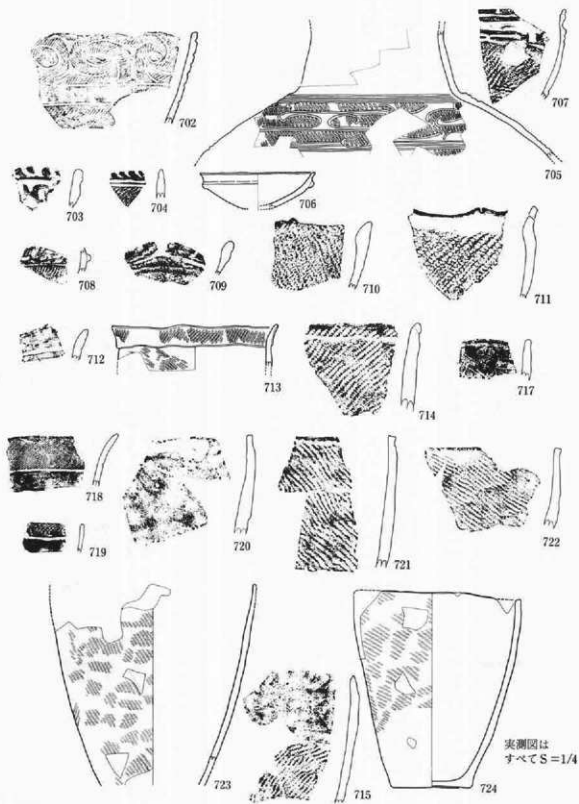
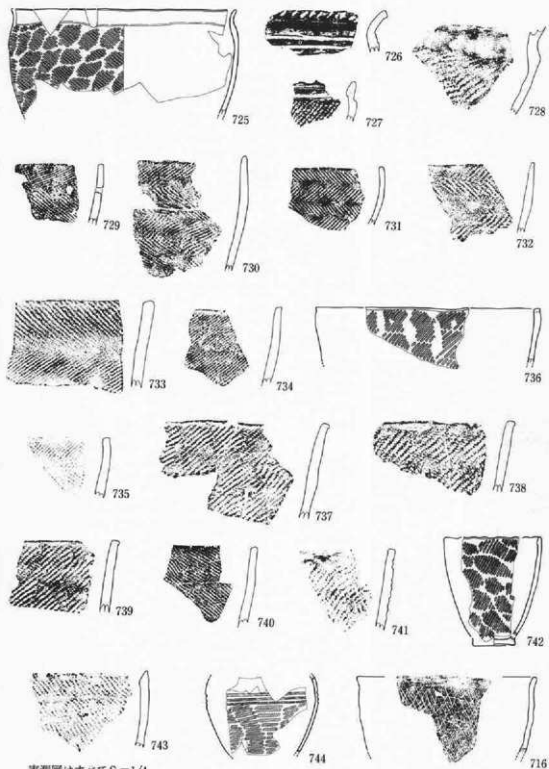
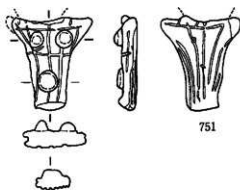
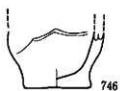
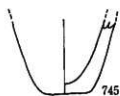


図134 遺構外出土器類(7)〔V群・VI群①〕

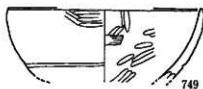


実測図はすべてS=1/4

図135 遺構外出土器類(8)〔VI群②・VII群〕



745~747・751はS=1/2



748・749はS=1/3

図136 遺構外出土土器類(9) [ミニチュア土器・土偶・土師器]

表11 遺構外出土土器類一覧表

番号	出土地点	分類	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
605	V E 区	I 1 a	深鉢	体部	押屋文(重層山形状)、砂粒を含む	ミガキ	128	134
606	V E 区	I 1 a	深鉢	体部	押屋文(重層山形状)、織織混入	ナゲ	128	134
607	V E 区	I 1 a	深鉢	体部	押屋文(X字状)	ナゲ	128	134
608	V D 区	I 1 a	深鉢	体部	押屋文(重層山形状)	ナゲ	128	134
609	V D 区	I 1 b	深鉢	体部	数本の沈線、単脚斜行縄文	ナゲ	128	134
610	V E 区	I 1 b	深鉢	体部	3本の沈線、単脚斜行縄文	ナゲ	128	134
611	V D 区	I 1 b	深鉢	体部	単脚斜行縄文を縄文後に3本の沈線	ナゲ	128	134
612	V E 区	I 1 b	深鉢	体部	単脚斜行縄文、沈線	ナゲ	128	134
613	V D 区	I 1 c	深鉢	口~体部	口唇部刻目、単脚斜行縄文、小帯含む	ナゲ	128	134
614	V E 区	I 1 c	深鉢	体部	単脚斜行条文	ナゲ	128	134
615	V E 区	I 1 c	深鉢	体部	羽状縄文?	ナゲ	128	134
616	V E 区	I 1 c	深鉢	体部	羽状縄文?	ナゲ	128	134
617	V F 区	I 2 a	深鉢	口~体部	貝殻線文、貝殻条文、小帯を含む	ナゲ	128	134
618	V D 区	I 2 a	深鉢	口~体部	口唇部に上部から頂目、貝殻線文、粘土磨き	ナゲ	128	134
619	V D 区	I 2 a	深鉢	体部	貝殻線文、焼成良好、粘土磨き	ナゲ	128	134
620	V D 区	I 2 b	深鉢	口~体部	口唇部刻目、貝殻条文、特許孔	ナゲ	128	134
621	V D 区	I 2 b	深鉢	口~体部	貝殻条文、爪形文、一部斜行縄文、焼成良好	ミガキ	128	134
622	V D 区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条文	ナゲ	128	134
623	V D 区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条文、焼成良好	ナゲ	128	134
624	V E 区	I 2 b	深鉢	口唇部	口唇部に上部から刻目(爪形か?)、貝殻条文	ミガキ	128	134
625	V D 区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条文、織織混入	ナゲ	128	134
626	V D 区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条文	ナゲ	128	134
627	V D 区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条文	ナゲ	128	134
628	V D 区	I 2 c	深鉢	体部	貝殻条文?、一部単脚斜行縄文	ナゲ	128	134
629	V D 区	I 2 c	深鉢	体部	貝殻条文?、一部単脚斜行縄文	ナゲ	128	134
630	V E 区	II 1	深鉢	体部	加飾縄文、植物繊維多量を含む	ナゲ	129	134
631	I V E 区	II 2	大塚深鉢	口~体部	口唇部線状織織、単脚斜行縄文(口唇部上まで縄文)	ミガキ	129	134
632	II F 区	II 3	深鉢	体部	横位線状文、総脚羽状縄文	ミガキ	129	134
633	? 区	II 3	深鉢	口~体部	総脚匠文、竹管刺突の付く隆帯、単脚斜行縄文、織織含む	ナゲ	129	134
634	V E 区	II 3	深鉢	体~底部	総脚羽状縄文	ナゲ	129	134
635	V E 区	II 3	深鉢	口~体部	羽状縄文	ミガキ	129	135
636	I V E 区	II 4	深鉢	口唇部	単脚斜行縄文、総脚匠文	ミガキ	129	135
637	V E 区	II 4	深鉢	口~体部	単脚斜行縄文、総脚匠文、横位線状文	ミガキ	129	135
638	II F 区	II 5	深鉢	体部下半	木目状条文、線状文	ナゲ	129	135
639	II F 区	II 5	深鉢	口唇部	口唇部列点、総脚匠文、線状文	ミガキ	129	135
640	I V E 区	II 5	深鉢	口~体部	総脚匠文、列点状刺突、木目状条文	ミガキ	129	135
641	I V D 区	II 5	深鉢	口唇部	総脚匠文、刺突文、異状斜行縄文?	ミガキ	129	135
642	I V F 区	II 5	深鉢	口唇部	総脚匠文、木目状条文、焼成前の穿孔	ミガキ	129	135
643	I V E 区	II 5	深鉢	口唇部	総脚匠文、列点状刺突、木目状条文	ミガキ	129	135
644	I V E 区	II 5	深鉢	口~体部	総脚匠文、列点状刺突、総脚羽状縄文	ミガキ?	129	135
645	I V E 区	II 5	深鉢	口唇部	総脚匠文、列点状刺突、焼成前の穿孔	ミガキ	129	135
646	I V E 区	II 5	鉢	口~体部	爪形刺突文、総脚匠文	ミガキ	129	135
647	V D 区	II 5	深鉢	口唇部	総脚匠文、列点状刺突	ミガキ	129	135
648	I F 区	II 6	深鉢	口唇部	口唇部と隆帯に爪形刺突、列点文、総脚匠文	ミガキ	129	135
649	II F 区	II 6	深鉢	口唇部	口唇部爪形刺突、列点文、総脚匠文、隆帯	ミガキ	129	135
650	II F 区	II 6	深鉢	口唇部	総脚匠文、竹管(?)刺突、線状文	ミガキ	129	135
651	I V E 区	II 6	鉢	口~体部	総脚匠文、刺突文、羽状縄文、横位線状文	ミガキ	129	135
652	I F 区	III 1	深鉢	口~体部	筋条匠文隆帯、総脚羽状縄文	ミガキ	130	135
653	I F 区	III 1	深鉢	口~体部	総脚匠文隆帯、総脚斜行縄文	ミガキ	130	135

番号	出土地点	分類	種別	部位	文 様 注 記	内 面	版数	写真
654	I F 区	Ⅲ 1	小形薄鉢	口～底部	網目状器糸文	ミガキ	130	135
655	V E 区	Ⅲ 1	深鉢	口～底部	単線斜行縄文、波状縄文	ナゲ	130	135
656	I F 区	Ⅲ 1	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	135
657	I F 区	Ⅲ 1	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	130	135
658	I F 区	Ⅲ 1	深鉢	口縁部	折り返し口縁、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	135
659	Ⅱ F 区	Ⅲ 1	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	135
660	Ⅱ F 区	Ⅲ 1	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	135
661	Ⅱ F 区	Ⅲ 1	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	135
662	I F 区	Ⅲ 1	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	135
663	I F 区	Ⅲ 1	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	130	135
664	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	130	136
665	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	131	136
666	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
667	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
668	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
669	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
670	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
671	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
672	Ⅱ F 区	Ⅲ 2	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
673	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
674	I F 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
675	V D 区	Ⅲ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	131	136
676	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	132	136
677	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
678	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
679	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
680	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
681	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
682	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
683	Ⅱ F 区	Ⅲ 3	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
684	Ⅱ F 区	Ⅲ 3	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
685	I F 区	Ⅲ 3	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	132	136
686	I F 区	Ⅳ 1	浅鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	133	137
687	Ⅳ F 区	Ⅳ 1	鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
688	V F 区	Ⅳ 1	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
689	Ⅳ F 区	Ⅳ 1	鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
690	I F 区	Ⅳ 1	鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
691	V E 区	Ⅳ 1	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	133	137
692	Ⅳ F 区	Ⅳ 1	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
693	Ⅳ E 区	Ⅳ 1	浅鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	133	137
694	Ⅳ F 区	Ⅳ 1	深鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
695	Ⅳ F 区	Ⅳ 2	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	133	137
696	V E 区	Ⅳ 3	浅鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ナゲ	133	137
697	V F 区	Ⅳ 4	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
698	V E 区	Ⅳ 4	浅鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
699	V F 区	Ⅳ 4	鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
700	V E 区	Ⅳ 4	鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
701	I F 区	Ⅳ 5	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	133	137
702	V E 区	V 1	深鉢	口～底部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	134	137
703	V F 区	V 1	鉢	口縁部	波状口縁部、波状口縁部、波状口縁部	ミガキ	134	137

番号	出土地点	分類	器種	部位	文 様 様 式	内 面	図 取	写真	
704	V F 区	V 2	鉢	口縁部	刻目、平行沈線、単線斜行縄文、口唇部内面に沈線	ミガキ	134	137	
705	IV E 区	V 3	壺	胴部	平行沈線、扇形縄文、雲形文	ナゲ	134	137	
706	IV E 区	V 3	浅鉢	底面欠損	扇文、突起あり、砂粒を含む	ナゲ	134	137	
707	V F 区	V 3	鉢	口～体部	平行沈線、突起、単線斜行縄文	ミガキ	134	137	
708	V F 区	V 3	浅鉢	体部	突起、沈線、単線斜行縄文	ミガキ	134	137	
709	V F 区	V 4	鉢	口縁部	波状口縁、「又」突起、沈線文、砂粒多量	ナゲ	134	137	
710	V F 区	V 4	深鉢	口～体部	波状口縁、刻目突起、単線斜行縄文、口唇部内面に沈線、輪状痕	ミガキ	134	137	
711	V E 区	V 4	鉢	口～体部	波状口縁、刻目突起、単線斜行縄文	ナゲ/ミガキ	134	137	
712	V D 区	V 4	深鉢	口縁部	波状口縁、刻目突起、沈線	ナゲ	134	137	
713	IV E 区	VI 1 a	深鉢	口～体部	折り返し口縁、単線斜行縄文	ナゲ	134	138	
714	I F 区	VI 1 a	深鉢	口～体部	折り返し口縁、単線斜行縄文	ナゲ	134	138	
715	V D 区	VI 1 b	深鉢	体部	単線斜行縄文、化粧土	ミガキ	134	138	
716	V E 区	VI 1 c	鉢	口～体部	網目状沈線文	ミガキ	135	138	
717	VI E 区	VI 1 c	深鉢	口縁部	網目状沈線文	ミガキ	134	138	
718	VI E 区	VI 1 d	鉢	口縁部	単線斜行縄文、沈線	ミガキ	134	138	
719	V E 区	VI 1 d	小型鉢	口縁部	斜行縄文、網目	ミガキ	134	138	
720	V E 区	VI 1 d	深鉢	口～体部	扇文	ミガキ	134	138	
721	IV E 区	VI 1 e	深鉢	口～体部	扇形斜行縄文	ミガキ	134	138	
722	V E 区	VI 1 e	深鉢	口～体部	扇形斜行縄文	ミガキ	134	138	
723	V E 区	VI 1 e	深鉢	口～体部	扇形斜行縄文	ナゲ	134	138	
724	V E 区	VI 1 e	深鉢	口～底面	扇形斜行縄文	ナゲ	134	138	
725	IV E 区	VI 2	浅鉢	口～体部	単線斜行縄文	ミガキ	135	138	
726	IV E 区	VI 2	鉢	口縁部	口唇部刻目、平行沈線	ナゲ	135	138	
727	V E 区	VI 2	浅鉢	口縁部	口唇部に指形跡あり、単線斜行縄文	ナゲ	135	138	
728	VI E 区	VI 2	鉢	口～体部	斜行縄文、口唇部内面に凹	ナゲ	135	138	
729	IV E 区	VI 3 a	鉢	口～体部	羽状縄文、輪状孔	ナゲ	135	138	
730	IV E 区	VI 3 a	鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138	
731	IV E 区	VI 3 a	小型鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138	
732	V F 区	VI 3 a	鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138	
733	V E 区	VI 3 a	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138	
734	V E 区	VI 3 a	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138	
735	V D 区	VI 3 a	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138	
736	IV E 区	VI 3 b	深鉢	口縁部	単線斜行縄文	ミガキ	135	138	
737	IV E 区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単線斜行縄文	ミガキ	135	138	
738	IV E 区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単線斜行縄文	ナゲ	135	138	
739	IV E 区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単線斜行縄文	ミガキ	135	138	
740	V E 区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単線斜行縄文	ミガキ	135	138	
741	V E 区	VI 3 b	深鉢	口～体部	扇形斜行縄文	ミガキ	135	138	
742	IV E 区	VI 3 c	鉢	口～底面	単線斜行縄文、底面ミガキ	ミガキ	135	138	
743	V F 区	VI 3 c	深鉢	口～体部	単線斜行縄文、口唇部内面に段状の沈線	ミガキ	135	138	
744	V D 区	Ⅷ	鉢	口～体部	平行沈線、単線斜行縄文	ナゲ	135	138	
745	IV F 区			ミニナツ	係部	紐文	ナゲ	136	139
746	IV E 区			ミニナツ	係～底面	斜行縄文?	?	136	139
747	II F 区			土製品?	底面欠損	2 層 1 層の焼成前の小孔(古代?)	ナゲ	136	139
748	V F 区	土師器	杯	口～底面	内外面ヘラミガキ調整、外面に段状の沈線	内黒	136	139	
749	VI D 区	土師器	杯	口～体部	内外面ヘラミガキ調整、体部下手に段	内黒	136	139	
750	IV E 区	土師器	壺	底面	内外面ヘラミガキ調整、底面に凹痕?	---	---	139	
751	IV E 区	土師	横状	係部	底面欠損、長さ4.2 幅3.5 厚さ0.8cm	---	---	136	139

VI ま と め

1. 竪穴住居跡

(1) 縄文時代

縄文時代の竪穴住居跡は8棟検出された。各住居跡の規模等については、表12にまとめているので参照していただきたい。

時期毎の内訳は、早期前半1棟、中期初頭2棟、中期末葉1棟、晩期初頭～中葉4棟と考えられる。早期の1棟を除き、いずれも段丘の先端部に位置しており、現在の地形から考えて、河川による段丘面の侵食がなければ本来はもっと数多くの住居跡が存在していたと思われる。

調査の結果、前期・後期を除く各期の住居群が検出され、縄文時代の全体を通じて、この水吉地区が人々の生活の場となっていたことが確認された。また、同時期に青森県埋蔵文化財調査センターによって調査が行われた青森県南郷村畑内遺跡では、本遺跡では見られなかった前期および晩期末葉の住居跡が検出されており、時期によって人々は何らかの理由で、川の対岸に移動して集落を形成していたと考えられる。

8棟のうち特徴のあるものは、晩期の大形住居である第4号住居跡、?記号状の石囲炉をもつ第5号住居跡、大木10式期に属する第3号住居跡、早期の貝殻文系土器を出土した第8号住居跡などが挙げられよう。

(2) 古代

古代の住居跡は7棟検出され、いずれも奈良時代8世紀中葉～後半に属する。これらも表12に一覧表としてまとめている。

住居跡の平面形は、隅丸の方形か長方形を呈し、第7号住居跡以外は規模もほぼ同程度である。カマドの位置はすべて北西壁にあり、また削平の著しい第6号住居跡を除く6棟が、カマドの袖部・天井部に板状の粘板岩を用いているなど、類似している点が多い。各住居跡間の距離もほぼ一定しており、出土した土器器の内容からも6棟が同時存在していた可能性が高い。残る第6号住居跡については、上記の6棟と明らかに違う点として、カマド脇の貯蔵穴が挙げられる。その中からは榎文系といわれる壺の破片、土製紡錘車、海水産の貝殻が出土した。このことを簡単に時期差とすることは問題であるが、出土遺物などから、もしあったとしてもごくわずかなものと考えたい。

また第2号住居跡では、作業場と思われる長方形の掘り込みが認められた。最大の壁高は126cmを測り、南側壁際の中央に柱穴が1個検出された。掘り込みとその柱穴は、何らかの関係があるものと思われるが詳細は不明である。掘り込みの床面からは、焼成を受けた台石と刀子の一部が出土しており、鍛冶に関する作業場の可能性があろう。(濱田)

表12 竪穴住居跡一覧表

住居跡名	平面形	規模(m)	壁高(cm)	柱穴(個)	炉(基)	施設	時期	備考		
縄文1号住	隅丸長方形	4.0×4.8	8~58	19	地床炉2	周溝1	縄文時代中期初頭	建て替え拡張・炭化材片		
2号	隅丸長方形	3.7×4.5	10~44	25	地床炉2	土坑1 (土器埋設)	縄文時代中期初頭	炭化材片		
3号	ほぼ円形	4.6×4.8	30~38	4	複式炉1	小土坑1	縄文時代中期末葉	炭化材片		
4号	楕円形	6.0×7.0(?)	90~100	10	石囲炉1	無	縄文時代晩期	建て替え縮小か?		
5号	円形	3.12×3.18	10~20	9	特殊石囲炉1	出入口の 柱穴2	縄文時代晩期	?記号状の石囲炉		
6号	隅丸長方形(?)	3.26×(?)	18~22	3	土器埋設炉1	無	縄文時代晩期?	炭化材片		
7号	楕円形状	3.2×3.0(?)	13~15	0	石囲炉1	無	縄文時代晩期			
8号	長楕円形	3.7×2.8	42~56	51(壁柱)	地床炉1	無	縄文時代早期前半	炭化果実類(クルミ)		
住居跡名	平面形	規模(m)	壁高(cm)	柱穴(個)	カマドの位置	火山灰	主な遺物	焼失	時期	付属施設
古代1号住	隅丸長方形	3.3×3.6	50~68	無	北西壁中央	十和田 ^a 白頭山	甕・甕(無底式)	○	8世紀 中~後半	無
2号	隅丸長方形	3.14×3.2	48~126	有(1)	北西壁やや北寄り	十和田 ^a 白頭山	坏・甕・釘	(?)	8世紀 中~後半	作業場(?)
3号	隅丸長方形	2.6×3.12	47~51	有(2)	北西壁やや北寄り	十和田 ^a 白頭山	坏・甕・土玉・ 磁石・土鏝	○	8世紀 中~後半	無
4号	隅丸長方形	3.8×4.08	19~31	無	北西壁中央	十和田 ^a 白頭山	坏・甕・刀子・ 土玉	○	8世紀 中~後半	無
5号	隅丸長方形	2.88×3.5	25~32	有(4)	北西壁やや北寄り	十和田 ^a 白頭山	甕・土玉	(?)	8世紀 中~後半	無
6号	隅丸長方形(?)	2.4×(?)	削平されほ とんどない	無	北西壁やや北寄り	削平のため 不明	北海道系甕・土 製紡錘車・貝類	(?)	8世紀 中~後半	貯蔵穴1
7号	隅丸長方形	4.26×4.42	34~38	住居に伴 うか不明	北西壁中央	十和田 ^a 白頭山	坏・甕・土偶	○	8世紀 中~後半	無

(3) 中世

本遺跡において4棟の中世竪穴住居跡が検出されたが、方形を基調とするタイプと不整形を呈するタイプのものに分けられる。

〈方形タイプ〉

平面形が長方形及び方形を呈する住居跡は3棟検出された。そのうち2棟は調査区北西の緩斜面に、1棟は調査区中央埋没谷東側の落ち際に位置する。いずれの住居跡も壁際に周溝が検出されたが、出入口と考えられる張り出しを持つものは3棟である。

規模は短軸3.20m～3.84m、長軸3.30m～4.72mの範囲にあり、そのうち最小の規模である第2号住居跡は張り出しをもたない。

検出された柱穴は少ないもので6個、多いもので10個を数える。ほとんどが四隅と壁際に配されるが、第3号住居跡には床面中央部に2個の柱穴が検出された。深さは、ばらつきが多いが40cm以上のものが多い。

炉は検出されなかったが、第1号住居跡の床面に焼土が形成されていた。

遺物は少量であるが、2棟から鉄滓・角釘が出土している。そのうち鉄滓3点は床面からの出土である。

〈不整形タイプ〉

平面形が東西に長い不整形の住居跡が1棟検出された。周溝は検出されなかったが、張り出しを有し、床面とは段をもって検出面まで立ち上がっている。

規模は4.00m×4.92mであり検出された中世の竪穴住居跡の中で最大である。柱穴は18個を数えるが、深さはほとんどが40cm以下で他の住居跡より浅い。遺物は陶器片が1片埋土から出土している。

本遺跡の竪穴住居跡は、張り出しを有し、炉を持たないことから、中世以降の住居跡と推定される。そのうち2棟から鉄滓が出土し、付近に鍛冶に関する遺構が存在するものと思われたが検出されなかった。不整形の住居跡は、形状、規模とも他の住居跡とは異なり、唯一陶器片が出土していることから、構築時期が近世まで下る可能性もある。(高橋)

2. 土坑

本遺跡から検出された土坑の総数は203基で、調査区の雪谷川に張り出した段丘の縁及び北側の緩斜面に集中する。土坑の多くが耕作地造成にともない、上部を削平されており単純に平面形、開口部径や深さを比較することはできない。そこで、形状については底部平面及び断面形から、規模については底部径から分類した。

各タイプ毎に規模(底部径、長辺)をみると次の表13ようになる。

表13 土坑分類表

群	形状	規模					合計
		～50	51～100	101～150	151～200	201～	
I	円形 ビーカー状	0	5	22	12	0	39
	円形 フラスコ状	0	4	19	25	6	54
	円形 皿状	3	17	23	5	3	51
II	方形	0	0	0	3	0	3
III	長方形	0	14	13	8	1	36
IV	井戸状土坑	0	3	0	0	0	3
V	その他の土坑	2	12	3	0	0	17
合 計		5	55	80	53	10	203

※ 規模の単位はcm

I群の土坑は平面形が円形の土坑であり、出土遺物と埋土から縄文時代の貯蔵穴に類する土坑であろう。これらは検出された総土坑数のうち144基を数え、およそ71%を占める。I群土坑をさらに断面形で分類すると、ビーカー状、フラスコ状、皿状に分けられる。ビーカー状皿状土坑の規模は、底部形101cm～150cmが最も多く、フラスコ状土坑は151cm～200cmのものが多い。皿状の土坑は、開口部がかなり削平され浅くなっている。したがって、フラスコ状にあるいはビーカー状土坑となる可能性が含まれる。

II群の土坑は平面形が方形の土坑であり、底部の短辺、長辺が160cm～180cmとほぼ同じ規模である。遺物は出土していないが、これらの土坑と付近の古代住居跡の埋土に白頭山火山灰が混入していることから同時期の遺構と考えられ、奈良時代の土坑と推定される。

III群の土坑は平面形が長方形の土坑である。埋土はほとんどが黒色土、黒褐色土を主体とし南部浮石粒、褐色ブロックを含む単層である。共存する遺物もなく時期を特定できないが、墓塚の可能性がある。形状が類似するものとして、久慈市源道遺跡の12基の土坑が挙げられる。

IV群の土坑は平面形が円形で深いことから井戸状土坑とした。これらの土坑は、いずれも底部径80cm前後、深さ3m前後と規模はほぼ同じである。3基とも埋没谷の最深部をねらって掘り込まれている。埋土から鉄鏝、鞠の羽口が出土しており、古代以降に構築されたものと考えられるが、これらが有力な時期特定の資料とならないため中世以降の可能性もある。

V群の土坑は出土遺物もなく、時期を特定する資料もないことから、その他の土坑とし時期は不明とした。

土坑群の配置をみると、雪谷川に張り出した段丘の縁にI群土坑及びII群土坑が集中し、住居跡に近接して構築されている。また、調査区北側の緩斜面にはIII群土坑が配置され、墓域であった可能性がある。(高橋)

3. 陥し穴状遺構

検出された陥し穴遺構は、22基である。平面形で円形タイプの陥し穴状遺構21基、溝状タイプの陥し穴状遺構1基の2形態で分類される。

(1) 円形タイプ

①形状

平面形は開口部に崩落があるものの、ほぼ円形で底部もほぼ円形を呈する。断面形は細長いピーカーを基調とする。

②規模

開口部長径の平均値は約147cmである。最も小さいもので104cm、最も大きいもので198cmあり、その規模にばらつきがみられる。これは開口部の崩落によるものと考えられる。

底部径は最小64cm、最大124cmでその平均値は約89cmになる。

検出面からの深さは最も深いもので138cm、それに次ぐものが136cmであり、その平均値は107cmである。

③埋土

埋土は、黒色土～黒褐色土を主体とし、下部に崩落したと考えられる南部浮石粒が入る。上位はレンズ状に堆積し、自然堆積の様相を呈する。

④出土遺物

1基から縄文時代の深鉢体部と思われる土器片が出土した。

⑤副穴

21基中16基に副穴を確認している。副穴を底部のほぼ中央に1つつものが4基、底部中央より壁際に1つつものが2基、2つの副穴をもつもの8基、3つの副穴をもつもの2基に分類される。副穴を複数もつもの及び壁際に1つつものは副穴が中央に傾く。

⑥占地・配列

調査区西南区の山際に位置している。弧状を呈し、標高105mと102mの2本の等高線に概ね沿う形に配列されている。

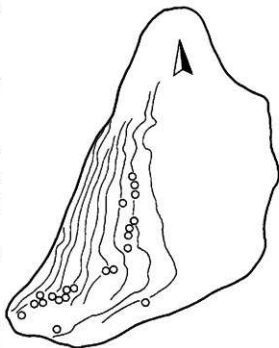


図137 円形陥し穴状遺構配列図

⑦時期

遺物が出土したのは1基のみである。埋土から縄文時代のものと思われる土器片が出土したが、時期を決定する資料とはならない。しかし、埋土の状況から縄文時代のいずれかの時期になるものと考えられる。

(2) 溝状タイプ

平面形は削平されているが、開口部、底部ともに溝状を基調とし、断面形はY字形を呈する。削平のため開口部は不明であるが、底部径は14~17cm×360cm、深さ120cmである。埋土は、円形タイプと同様の堆積状況となっている。出土遺物、副穴はない。調査区西南端に位置しているが、地形的にみて調査区外に同タイプの遺構が続くとは考えにくい。出土遺物はないが、埋土の状況から縄文時代に構築されたものと思われる。(高橋)

4. 出土遺物

(1) 縄文時代の土器・石器

土器は、早期前半から晩期末葉にかけての各期のものが出土している。中でも出土量の多いものは、Ⅲ群1類・2類の円筒上層a・b式、Ⅳ群1類の十腰内1式、Ⅴ群の大洞式が挙げられる。その他少量ではあるが、Ⅰ群(早期)の押型文・貝殻文、Ⅱ群の円筒下層式、Ⅳ群2類の瘤付土器などがみられる。

石器は遺構外からの出土が多いが、住居跡内からは磨石や石匙、石皿などが出ているものもある。器種別では、石鏃、石匙、石筥、掻器・削器類、磨石・敲石類、石錐などが比較的多く、その他にわずかに砥石類がある。調査面積から言えば、石器は全体に少ないようである。

(2) 縄文時代の土製品・石製品

土製品は板状土偶1点が遺構外から、古代の第7号住居跡から出土した後期の土器頭部と脚部が各1点ずつあるだけである。

石製品は、石刀類の一部、穿孔のある軽石製浮子、石斧の模造品(ミニチュア)などのほかに、総数で63点出土した円盤状石製品がある。この円盤状石製品は、県内でも出土例が少なく、用途不明の石製品とされている。田老町の小堀内Ⅰ遺跡や陸前高田市の寺前Ⅰ・Ⅱ遺跡などで出土しているようである。

本遺跡から出土したものは、石質はそのほとんどが粘板岩であるが、大きさ(直径)に

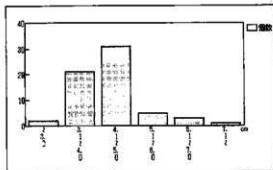


図138 円盤状石製品規模別柱状図

ばらつきがみられたため、63点を最大径によって分類してみたのが図138である。直径の平均値は4.35cm、最大で6.2cm、最小で3.1cmとなっている。直径3.0cmから5.0cmのものが平均的な大きさであり、それより小さいものも大きいものもごくわずかである。このことから用途について触れることは不可能であるが、ほとんどが遺跡外から出ていることや調査区のほぼ全域にみられることから、屋外での使用が考えられる。

(3) 古代の遺物

土師器は、遺構内を中心に坏・甕・甔が出土しているが、中でも坏は総数で4点と極端に少ない。出土した土師器のすべてがロクロ不使用のものであり、これまでの二戸地方の編年〔関(1981)・高橋(1982)・相原(1983)]を参考にすれば、8世紀中ごろから後半に相当しよう。

また、第7号住居跡から出土した北海道系の甕は、北との交流を示すものとして重要と思われる。数条の段をもつ幅の広い口縁部は、外反ぎみに立ち上がり頸部は強く窄む。これと似た器形の甕は、青森県鯉ヶ沢町や尾上町李平下安原遺跡などで出土している。北の影響を受けている遺物であることは確かであるが、津軽平野を含む本州日本海側との関連も考えられる。

土師器以外の遺物には、土製品では紡錘車1点・土玉3点・土錘1点、鉄製品では刀子1点・角釘1点、石製品では砥石1点がいずれも住居内から出土している。また、縄文時代後期のものと思われる土偶が第7号住居跡の床面から出土した。運び込まれたものであろう。

(4) 中世以降の遺物

中世の遺物としては、住居跡から角釘などの鉄製品、遺跡外から多量の鉄滓が出土し、その時代の鍛冶に関係する施設が存在が考えられたが、本調査では確認できなかった。その他には、埋没谷から北宋銭の元祐通宝、遺構外から近世の寛永通宝など古銭類が出土した。

なお、本遺跡から20基ほどの近世墓が検出され、しっかりした人骨とともに髻・紅皿・キセル・壺などが出土したが、すべて地主に引き取っていただいた。

5. 水吉VI遺跡の集落の変遷

本遺跡から検出された各時代の遺構の状況を大まかに図139に示した。同じ段丘面にありながら、その時代・時期毎に利用される場所が変化している様子が観察される。その理由の1つとして、調査区のほぼ中央にある埋没谷が挙げられる。この埋没谷は、南部浮石層を底面とするもので、その埋土の状況から、谷が埋まりきるまではかなりの期間(少なくとも近世まで)を要したことがわかった。おそらく縄文時代には深い谷であったろうし、10世紀ごろまでにはその深さの半分ほど堆積が進むが、緩やかな窪地になっていたと考えられる。このことから、縄文時代から古代までの集落は、谷によって土地が分断されていたため、これより東側にはこれらの時代の遺構がみられないものと考えられる。

引用・参考文献

- 宇都則保：(1989)「青森県における7・8世紀の土師器
—馬淵川下流域を中心として—」北海道考古学第25号
- 江坂輝弥：(1970)「石神遺跡」ニュー・サイエンス社
- 遠藤勝博ほか：(1982)「田代遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第41集
- 大原一則：(1983)「小淵内1遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第52集
- 小田野智恵ほか：(1992)「本郷遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第164集
- 金子昭彦：(1994)「新山権現社遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第188集
- 工藤利幸ほか：(1986)「馬場野II遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第99集
- 熊谷・小田野・高橋：(1982)「岩手の土器」岩手県立博物館
- 近藤宗光：(1985)「駒坂遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第98集
- 斎藤邦雄：(1991)「間館I遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第156集
- 酒井宗孝：(1986)「忍久保遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書109集
- 佐々木嘉直：(1983)「叭屋敷III遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第48集
- 鈴木克彦ほか：(1975)「中の平遺跡発掘調査報告書」青森県教育委員会
- 鈴木克彦：(1982)「円筒土器に後続する土器の編年」考古風土記第7号
- 鈴木隆英：(1985)「曲田I遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第87集
- 高橋与右エ門：(1985)「水神遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第96集
- 高橋与右エ門：(1983)「上里遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第55集
- 田鎮寿夫：(1985)「大日向II遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第100集
- 種市 進：(1983)「遺地III遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第64集
- 浜田 宏ほか：(1992)「鼻館跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第171集
- 平井 進：(1989)「寺前I・II遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第139集
- 藤沼邦彦：(1989)「亀ヶ岡式土器様式」『縄文土器大観4』講談社
- 藤村敏男：(1993)「丸木橋遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第189集
- 三浦謙一：(1987)「飛鳥台地I遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第120集
- 三浦謙一：(1988)「平沢I遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第125集
- 三浦圭介ほか：(1985)「亮場遺跡発掘調査報告書」青森県縄文文化財調査報告書第93集
- 光井文行：(1990)「若手県にみられる古代の北海道系土器について
—頸部に段をもつ変形土器を中心に—」岩埋文紀要X
- 三宅敬也：(1989)「円筒土器下・上層様式」『縄文土器大観1』講談社
- 三宅敬也：(1988)「李平下安原遺跡発掘調査報告書」青森県縄文文化財調査報告書第111集
- 宮塚義人：(1983)「小平町高砂遺跡の調査」月刊考古学ジャーナル№213
- 村上達夫：(1983)「叭屋敷II遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第47集
- 村越 源：(1974)「円筒土器文化」雄山閣
- 村越 源ほか：(1968)「岩木山—岩木山麓古代遺跡発掘調査報告書—」岩木山刊行会
- 渡辺洋一：(1984)「平船川遺跡発掘調査報告書」岩埋文報告書第76集

はじめに

本報告は、岩手県下の各遺跡において行った自然科学調査成果について記したものである。水吉VI遺跡、泉屋遺跡、志羅山遺跡、上米内遺跡、松屋敷遺跡、大渡Ⅱ遺跡については種実同定を行なっている。大渡Ⅱ遺跡については、土壌試料を水洗選別することによって種実遺体を検出し同定を行ったが、他の遺跡では発掘時に検出されたものを対象とした。また、柏山館跡については花粉分析を、江川鉄山跡については放射性炭素年代測定をそれぞれ行う。以下に各遺跡ごとにそれぞれの成果について記す。なお、放射性炭素年代測定結果は、後日報告する予定である。

I. 水吉VI遺跡

1. 目的

水吉VI遺跡は、八戸自動車道軽米インターチェンジの北北東約5.5km付近に位置し、雷谷川左岸の河岸段丘上に立地している。遺跡の標高は、98～103mで、ほぼ南北方向に緩やかに傾斜している。河岸段丘と比高差は約15mで、現況は山林と畑である。

今回対象とするのは、縄文時代晩期初頭のものと思われる竪穴状遺構ならびに縄文時代早期とされる竪穴住居からそれぞれ検出された種実遺体である。これらの種類を知り、当時の植物利用について検討する。

2. 試料

試料は、縄文第3号竪穴状遺構ならびに縄文第8号竪穴住居跡から検出された種実遺体2点である。

3. 分析方法

双眼実体顕微鏡下でその形態的特徴から種類を同定した。

4. 結果・考察

結果を表1に示す。以下に形態的特徴について記す。

表1 種実遺体同定結果

試料名	同定結果
MY VI-93 0727縄文3号竪Q3埋土	モモ (破片が10個)
MY VI-93 0701縄文8号住Q4埋土	オニグルミ (破片多数)、ミズキ (1)

・オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana* (Maxim) Kitamura

クルミ科クルミ属

核の破片が検出された。黒色で大きさは1cm程度。内果皮は厚く堅い。表面は荒いしわ状となり、裏面には子葉が入るくぼみがある。

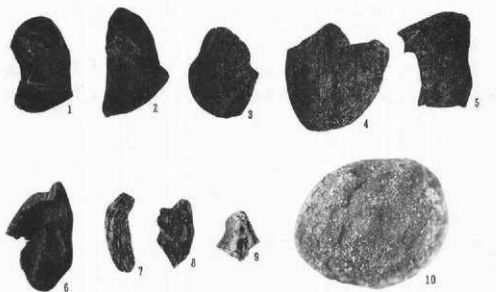
・モモ *Prunus persica* Batsch バラ科サクラ属

核(内果皮)の破片が検出された。褐灰色で大きさは1cm程度。縫合線付近の部位が残存している。

今回検出された種実はいずれも古くから食用にされてきた種類である。

オニグルミは生食可能なことから古くから食用として利用されていたとみられ、各地で多くの検出例が知られている。オニグルミは、本州の山野では沢泊いなどにごく普通に見られる種類であることから、平易に入手しやすく、利用しやすかったものと推測される。

モモは渡来した植物といわれ、古くは縄文時代前期に検出例が知られているが(長崎県伊木力遺跡; 粉川, 1988)、検出例・個体数が増加するのは弥生時代以降である。モモは古くから人々に利用され、花の觀賞や果実や種子を食用にすることから、今回検出されたモモも当時食用などに利用されていたと考えられる。



1-6. オニグルミ (試料番号: MY VI-930701 縄文8号住Q4埋土)

7-9. モモ (試料番号: MY VI-930727 縄文3号埋土)

10. ミズキ (試料番号: MY VI-930701 縄文8号住Q4埋土)



図版1 水吉VI遺跡 種実遺体

写 真 图 版



写真図版 1 遺跡全景



遺跡遠景

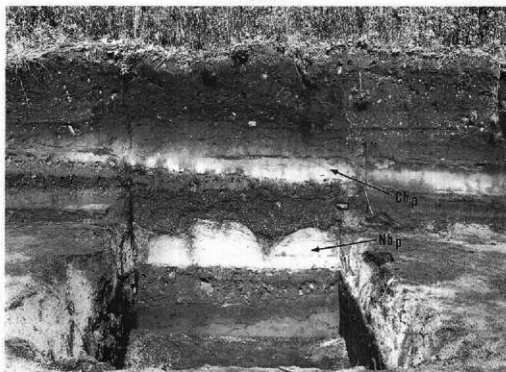


遺跡の立地

写真図版2 遺跡遠景・立地状況

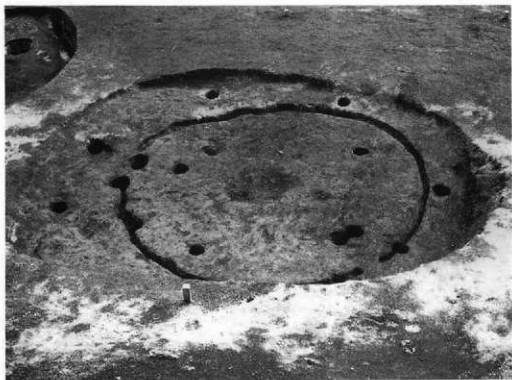


IV D区基本层序



IV B区基本层序

写真图版 3 基本土层



全景



埋土



地床炉 1 断面

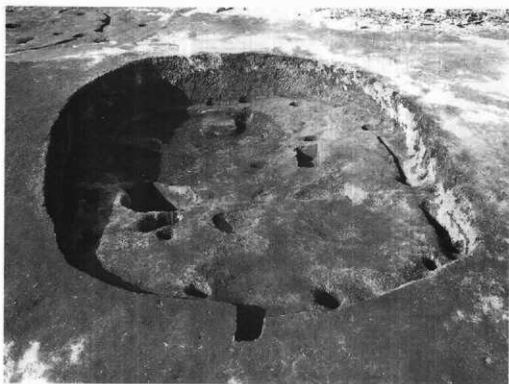


地床炉 2 断面



遺物・炭化材出土状況

写真図版 4 縄文第 1 号住居跡



全景



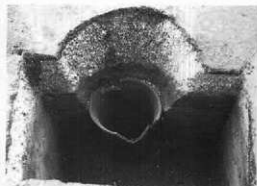
埋土



地床炉断面



遺物出土状況



P 1 内の埋設土器

写真図版 5 縄文第 2 号住居跡



全景



埋土



複式炉断面



柱穴埋土



遺物出土状況

写真図版 6 縄文第 3 号住居跡



全景



埋土

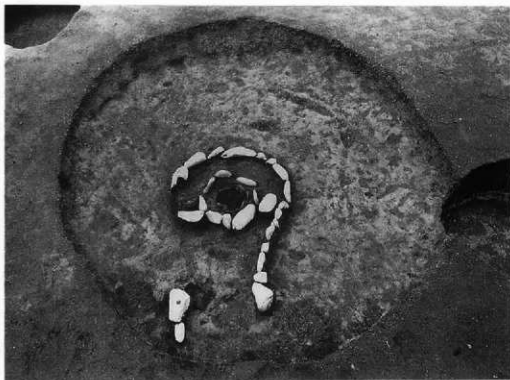


石圆炉断面



遺物出土状況

写真図版7 縄文第4号住居跡



全景



埋土



石圍土器埋設炉



出土遺物 1



出土遺物 2

写真図版 8 縄文第 5 号住居跡



全景



埋土



土器埋設炉



土器埋設炉断面

写真図版 9 縄文第 6 号住居跡



全景



埋土

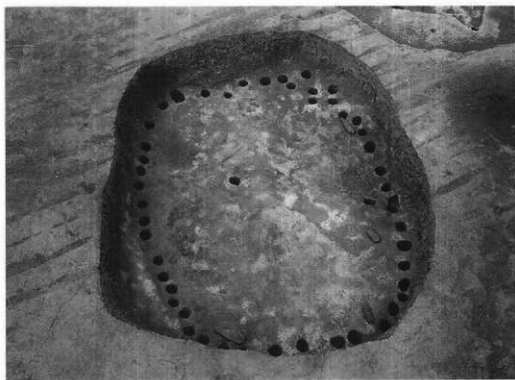


石圈炉断面



遺物出土状況

写真図版10 縄文第7号住居跡



全景



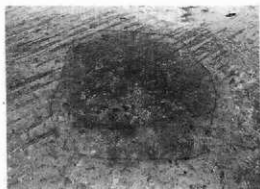
埋土



地床炉断面



遺物出土状況



検出状況

写真図版11 縄文第8号住居跡



全景



埋土

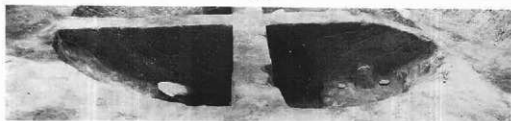


埋土

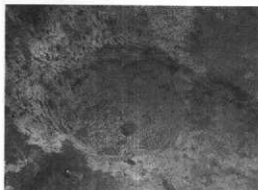
写真図版12 縄文第1号堅穴状遺構



全景



埋土



P1 全景



P1 埋土

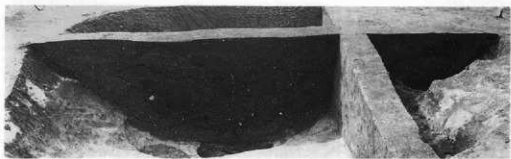


出土遺物

写真図版13 縄文第2号竪穴状遺構



全景



埋土

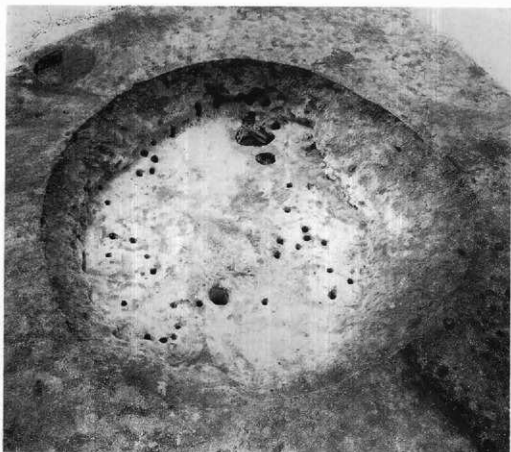


遺物出土状況



P3全景

写真図版14 縄文第3号竪穴状遺構



全景

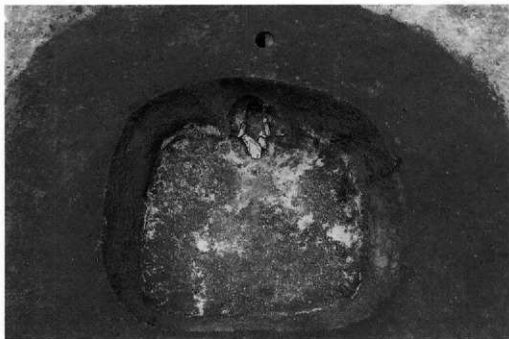


埋土



埋土

写真図版15 縄文第4号竪穴状遺構



全景



埋土



埋土部断面



遺物出土状況

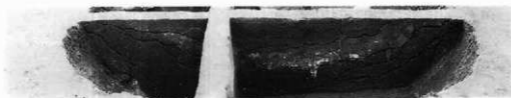


カマド全景

写真図版16 古代第1号住居跡



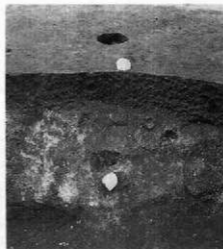
全景



埋土



煙道部断面



カマド全景



遺物出土状況

写真図版17 古代第2号住居跡



全景



埋土



煙道部断面

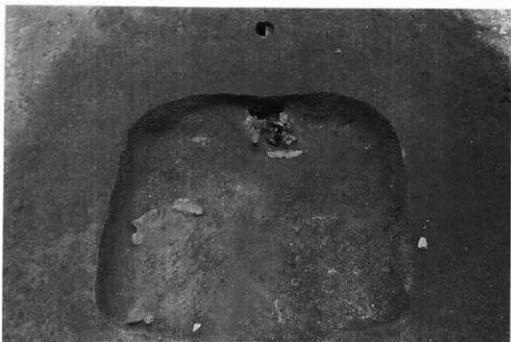


カマド断面



カマド全景

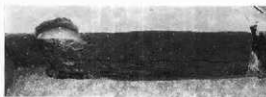
写真図版18 古代第3号住居跡



全景



埋土



煙道部断面



カマド断面



カマド全景

写真図版19 古代第4号住居跡



全景



埋土



煙道部断面



カマド断面

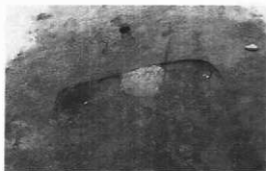


カマド全景

写真図版20 古代第5号住居跡



全景



検出状況



P1断面



カマド載ち割り



P1全景

写真図版21 古代第6号住居跡



全景



埋土



煙道部断面



カマド載ち割り



カマド本体部

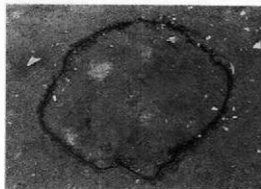
写真図版22 古代第7号住居跡



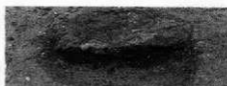
全景



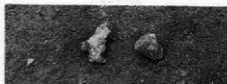
埋土



焼土検出状況

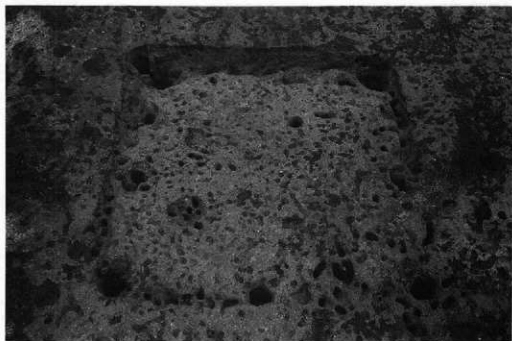


焼土断面

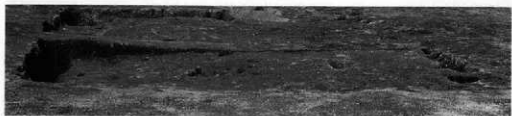


遺物出土状況

写真図版23 中世第1号住居跡



全景



埋土



作業風景

写真図版24 中世第2号住居跡



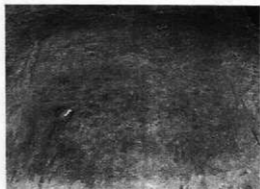
全景



埋土

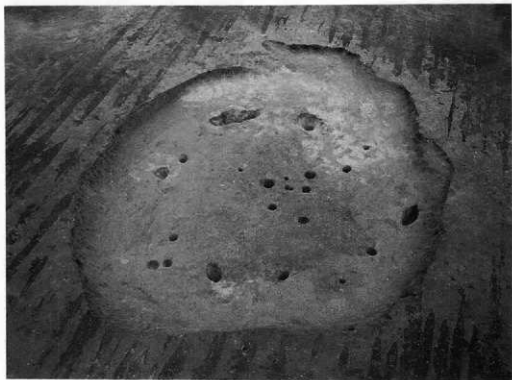


柱穴断面



横出状況

写真図版25 中世第3号住居跡



全景



埋土



検出状況



作業風景

写真図版26 中世第4号住居跡



第1号土坑



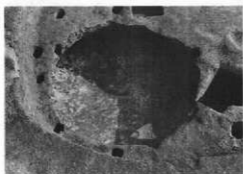
第1号土坑精查状况



断面



出土遗物



第2号土坑



第3号土坑

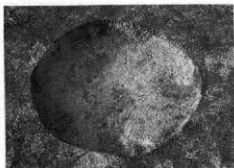


断面



断面

写真图版27 土坑(1)



第4号土坑



第5号土坑



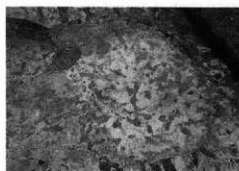
断面



断面



第6号土坑



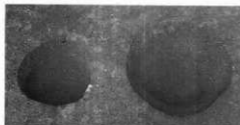
第7号土坑



断面



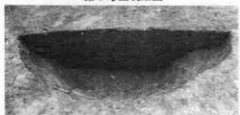
断面



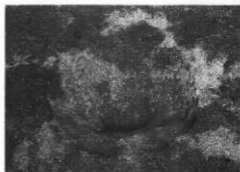
第8・9号土坑



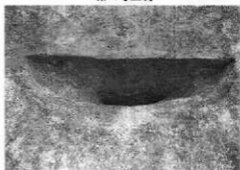
第8号土坑断面



第9号土坑断面



第10号土坑



断面



第11号土坑



第2号陥し穴状遺構と第11号土坑の検出状況

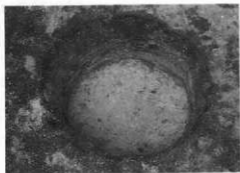


断面



同上平面

写真図版29 土坑(3)



第12号土坑



第13号土坑



断面



断面



土坑群と住居跡群

写真図版30 土坑(4)



第14号土坑



第15号土坑



断面



断面



第16号土坑



第17号土坑

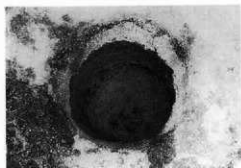


断面



断面

写真图版31 土坑(5)



第18号土坑



第19号土坑



断面



断面



第20号土坑



第21号土坑



断面

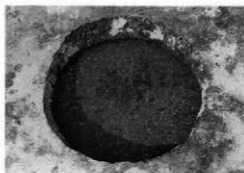


断面

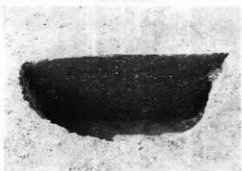
写真图版32 土坑(6)



第22号土坑



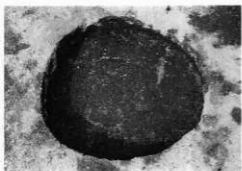
第23号土坑



断面



断面



第24号土坑



第25号土坑

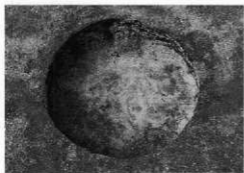


断面

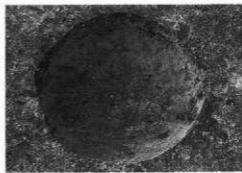


断面

写真图版33 土坑(7)



第26号土坑



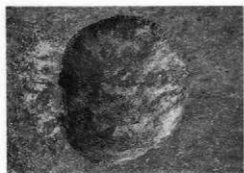
第27号土坑



断面



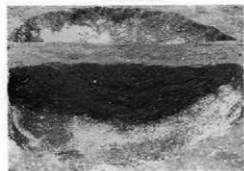
断面



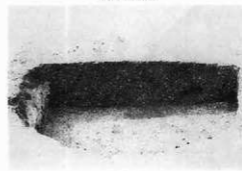
第28号土坑



第29号土坑



断面



断面

写真图版34 土坑(8)



第30号土坑



第31号土坑



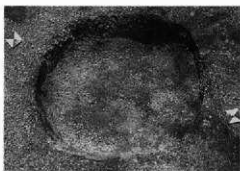
断面



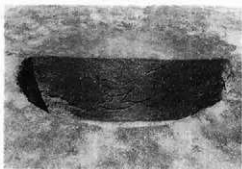
断面



第32号土坑



第33号土坑



断面



断面

写真图版35 土坑(9)



第34・35号土坑



第34号土坑



断面



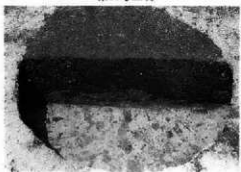
第35号土坑



第36号土坑



第36号土坑出土遺物



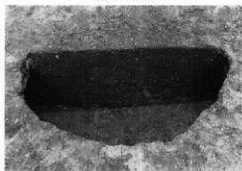
断面



第37号土坑



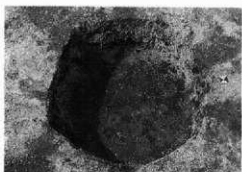
第38号土坑



断面



断面



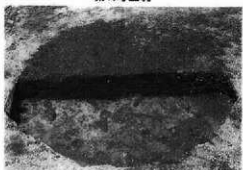
第39号土坑



第40号土坑



断面



断面

写真图版37 土坑00



第41号土坑



第42号土坑



断面



断面



第43号土坑



第44号土坑



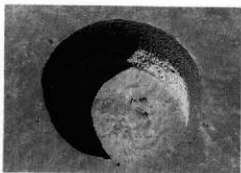
断面



断面



第45号土坑



第46号土坑



断面



断面



第47号土坑



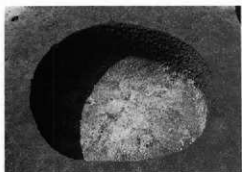
第48号土坑



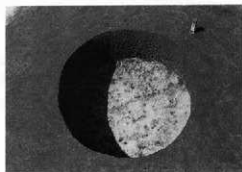
断面



断面



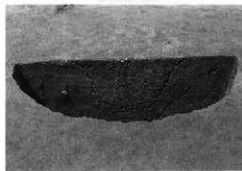
第49号土坑



第50号土坑



断面



断面



第51・52号土坑



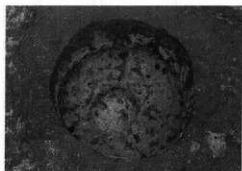
第51号土坑断面



第52号土坑断面



第53号土坑



第54号土坑



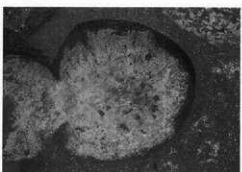
断面



断面



第55号土坑



第56号土坑

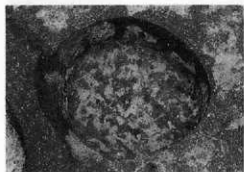


断面



断面

写真图版41 土坑09



第57号土坑



第58号土坑



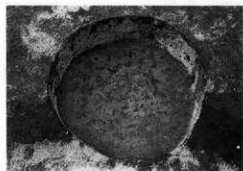
断面



断面



第59号土坑



第60号土坑



断面

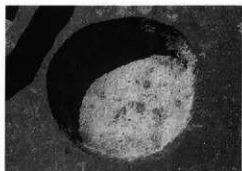


断面

写真图版42 土坑(10)



第61号土坑



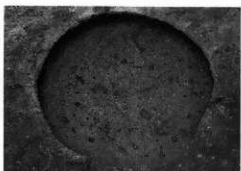
第62号土坑



断面



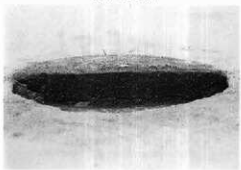
断面



第63号土坑



第64号土坑



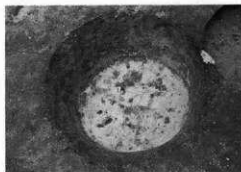
断面



断面



第65号土坑



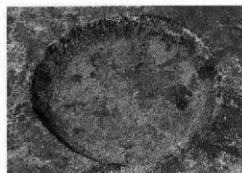
第66号土坑



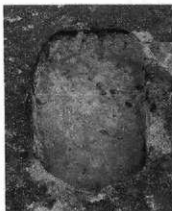
断面



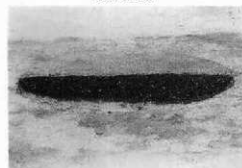
断面



第67号土坑



第68号土坑



断面



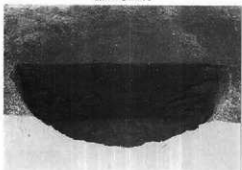
断面



第69号土坑



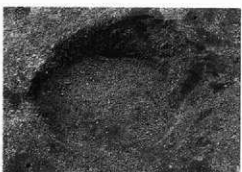
第70号土坑



断面



断面



第71号土坑



第72号土坑



断面



断面



第73号土坑



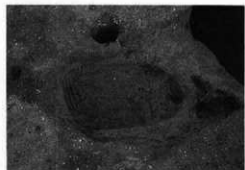
第74号土坑



断面



断面



第75号土坑



第76号土坑

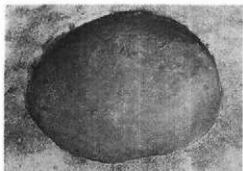


断面

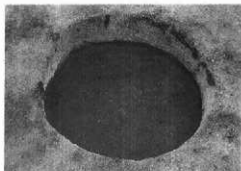


断面

写真图版46 土坑20



第77号土坑



第78号土坑



断面



断面



第79号土坑



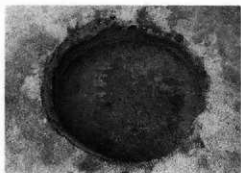
第80号土坑



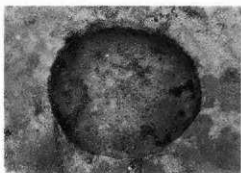
断面



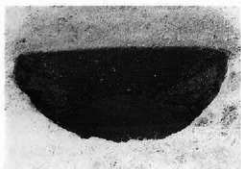
断面



第81号土坑



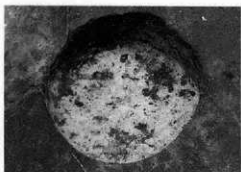
第82号土坑



断面



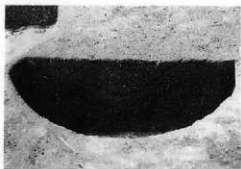
断面



第83号土坑



第84号土坑



断面



断面



第85号土坑



第89号土坑



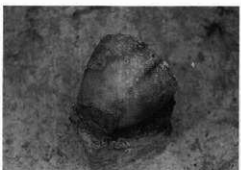
断面



断面



第86·87·88号土坑



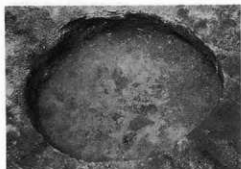
第86号土坑出土遗物



第86号土坑断面



第87号土坑出土遗物



第90号土坑



第91号土坑



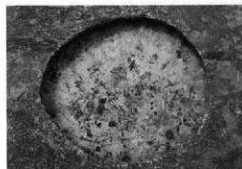
断面



断面



第92号土坑



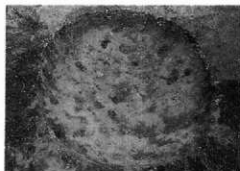
第93号土坑



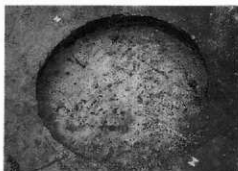
断面



断面



第94号土坑



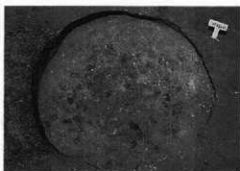
第95号土坑



断面



断面



第96号土坑



第97号土坑



断面



断面



第98号土坑



第99号土坑



断面



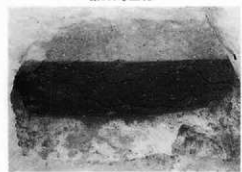
断面



第100号土坑



第101号土坑



断面



断面

写真图版52 土坑29



第102号土坑



第103号土坑



断面



断面



第104号土坑



第105号土坑



断面



断面



第106号土坑



第107号土坑



断面



断面



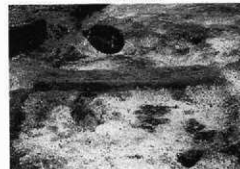
第108号土坑



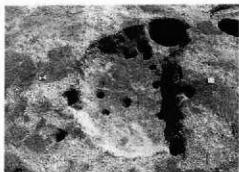
第109号土坑



断面



断面



第110号土坑



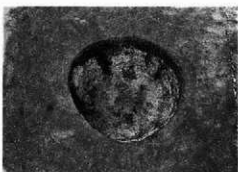
断面



第111号土坑断面



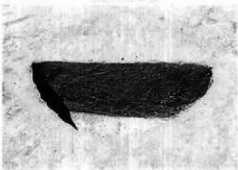
第112号土坑



第113号土坑

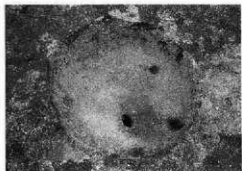


断面



断面

写真图版55 土坑四



第114号土坑



第115号土坑



断面



断面



第116号土坑



第117号土坑



断面



断面



第118号土坑



第119号土坑



断面



断面



第120号土坑



第121号土坑



断面

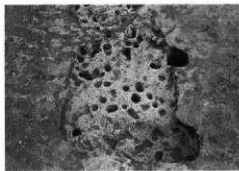


断面

写真图版57 土坑30



第122号土坑



第123号土坑



断面



断面



第124号土坑



第125号土坑



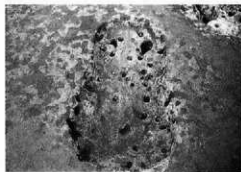
断面



断面



第126号土坑



第127号土坑



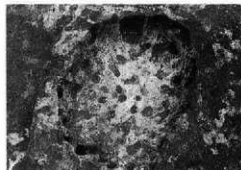
断面



断面



第128号土坑



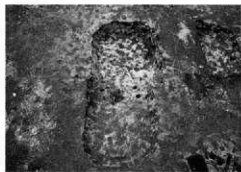
第129号土坑



断面



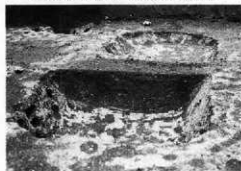
断面



第130号土坑(上) 第131号土坑(下)



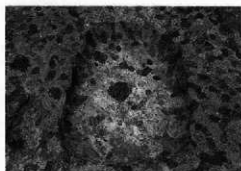
第132号土坑



断面



断面



第133号土坑



第134号土坑



断面



断面

写真图版60 土坑34



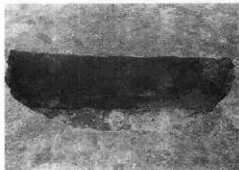
第135号土坑



第136号土坑



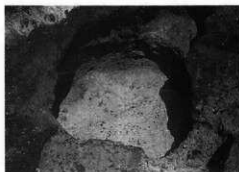
断面



断面



第137号土坑



第138号土坑



断面



断面

写真图版61 土坑⑤



第139号土坑断面



第141号土坑



第140号土坑



断面



第142号土坑



第143号土坑



断面



断面

写真图版62 土坑36



第144号土坑



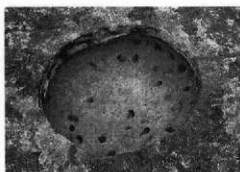
第145号土坑



断面



断面



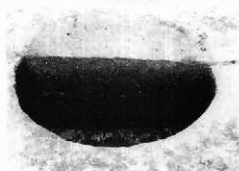
第146号土坑



第147号土坑



断面

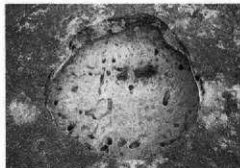


断面

写真图版63 土坑(3)



第148号土坑



第149号土坑



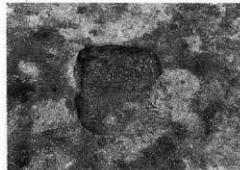
断面



断面



第150号土坑



第151号土坑



断面



断面

写真图版64 土坑③



第152号土坑



第153号土坑



断面



断面



第155号土坑



第154号土坑断面



断面

写真图版65 土坑③



第156号土坑



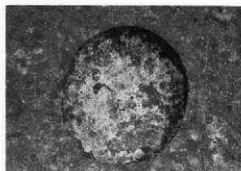
第157号土坑



断面



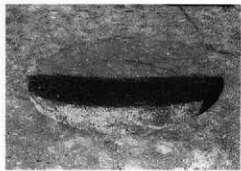
断面



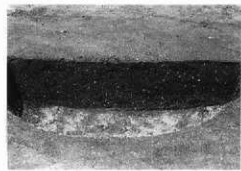
第158号土坑



第159号土坑



断面

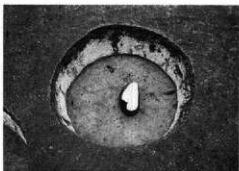


断面

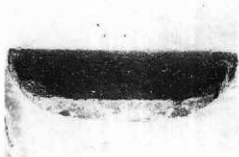
写真图版66 土坑(40)



第160号土坑



第161号土坑



断面



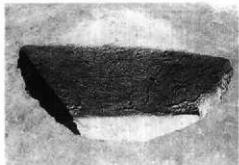
断面



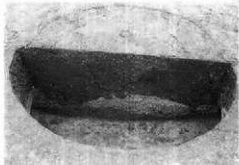
第162号土坑



第163号土坑

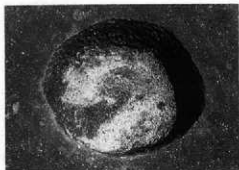


断面



断面

写真图版67 土坑(4)



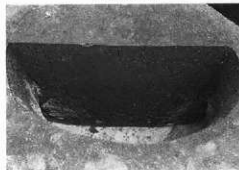
第164号土坑



第165号土坑



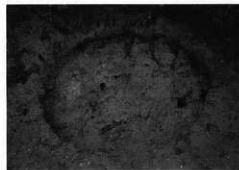
断面



断面



第166号土坑



第167号土坑



断面



断面

写真图版68 土坑(4)



第168号土坑



第169号土坑



断面



断面



第170号土坑



第171号土坑



断面

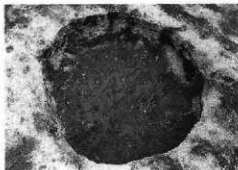


断面

写真图版69 土坑(9)



第172号土坑



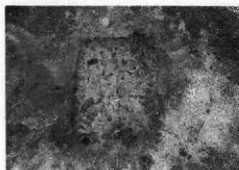
第173号土坑



断面



断面



第174号土坑



第175号土坑

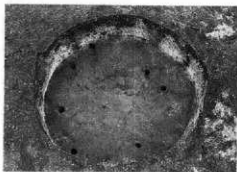


断面



断面

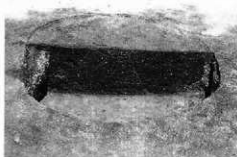
写真图版70 土坑/40



第176号土坑



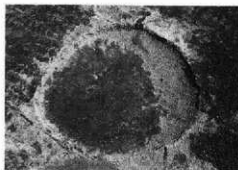
第177号土坑



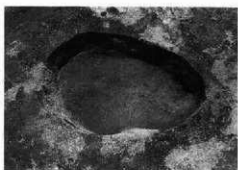
断面



断面



第178号土坑



第179号土坑



断面



断面

写真图版71 土坑(4)



第180号土坑



第181号土坑



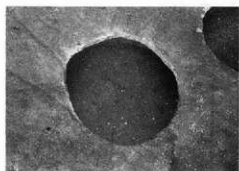
断面



断面



第182号土坑



第183号土坑

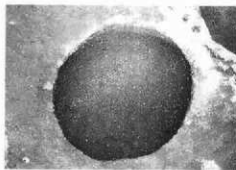


断面

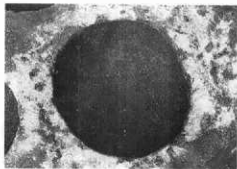


断面

写真图版72 土坑(46)



第184号土坑



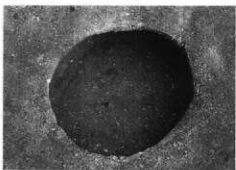
第185号土坑



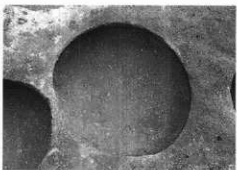
断面



断面



第186号土坑



第187号土坑

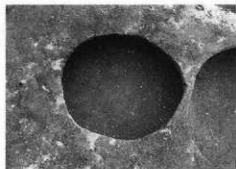


断面



断面

写真图版73 土坑(47)



第188号土坑



第189号土坑



断面



断面



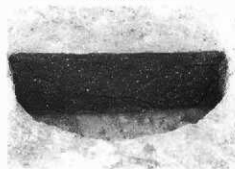
第190号土坑



第191号土坑

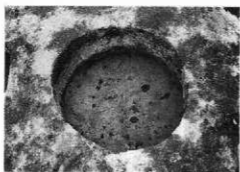


断面



断面

写真图版74 土坑48



第192号土坑



第193号土坑



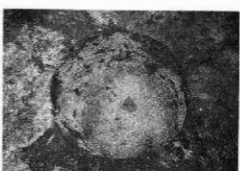
断面



断面



第194号土坑



第195号土坑



断面



断面

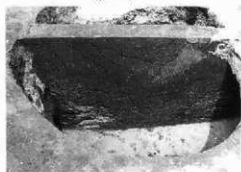
写真图版75 土坑(49)



第196号土坑



第197号土坑



断面



断面



第198号土坑



第199号土坑



断面



断面

写真图版76 土坑50



第200号土坑



第201号土坑



断面



断面



第202号土坑



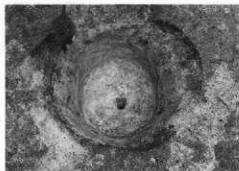
第203号土坑



断面



断面



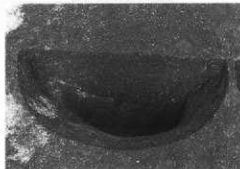
第1号陥し穴状遺構



第2号陥し穴状遺構



断面



断面



第3号陥し穴状遺構



第4号陥し穴状遺構



断面

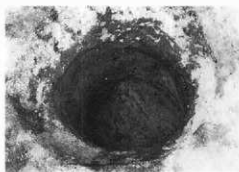


断面

写真図版78 陥し穴状遺構(1)



第5号陥L穴状遺構



第6号陥L穴状遺構



断面



断面



第7号陥L穴状遺構



第8号陥L穴状遺構



断面

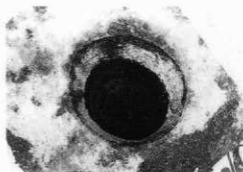


断面

写真図版79 陥L穴状遺構(2)



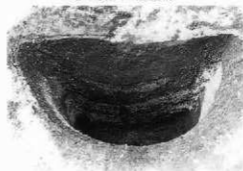
第9号陥し穴状遺構



第10号陥し穴状遺構



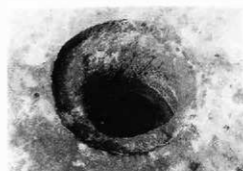
断面



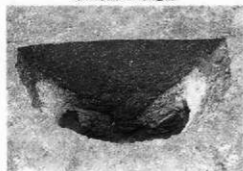
断面



第11号陥し穴状遺構



第12号陥し穴状遺構



断面

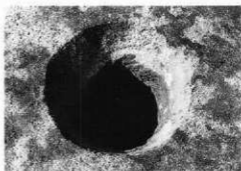


断面

写真図版80 陥し穴状遺構(3)



第13号陥し穴状遺構



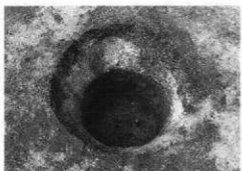
第14号陥し穴状遺構



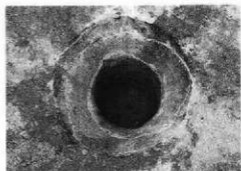
断面



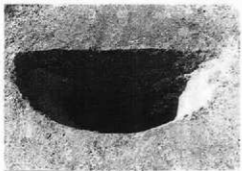
断面



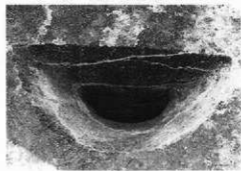
第15号陥し穴状遺構



第16号陥し穴状遺構



断面

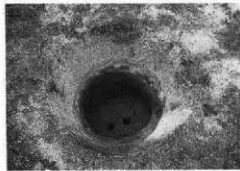


断面

写真図版81 陥し穴状遺構(4)



第17号陥L状遺構



第18号陥L状遺構



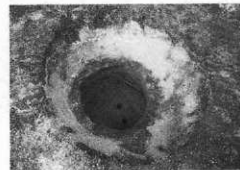
断面



断面



第19号陥L状遺構



第20号陥L状遺構

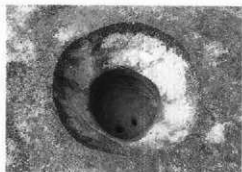


断面



断面

写真図版82 陥し穴状遺構(5)



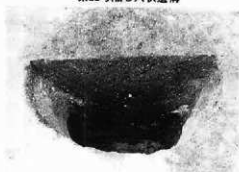
第21号陥穴状遺構



第22号陥し穴状遺構



断面



断面



平成5年度 調査区(東から)

写真図版83 陥し穴状遺構(6)・調査区遠景



第1号~4号掘立柱建物跡



第1号炉跡



第2号炉跡



断面

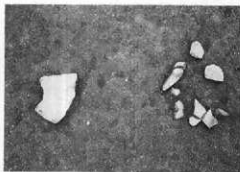


断面

写真図版84 掘立柱建物跡・炉跡(1)



第3号炉跡



第6号炉跡



断面



断面



第4号炉跡



第5号炉跡

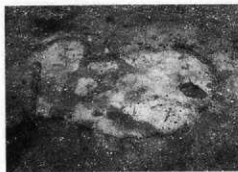


断面

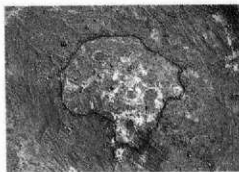


断面

写真図版85 炉跡(2)



第1号烧土遗構



第2号烧土遗構



断面



断面



第3号烧土遗構



第4号烧土遗構

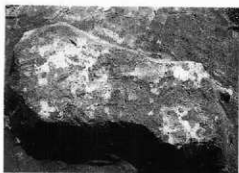


断面



断面

写真図版86 烧土遺構(1)



第5号烧土遗構



第6号烧土遗構



断面



断面



第7号烧土遗構



第8号烧土遗構

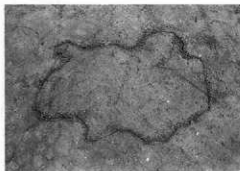


断面

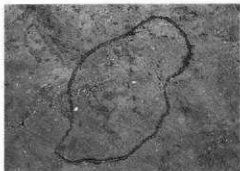


断面

写真图版87 烧土遗構(2)



第9号烧土遺構



第10号烧土遺構



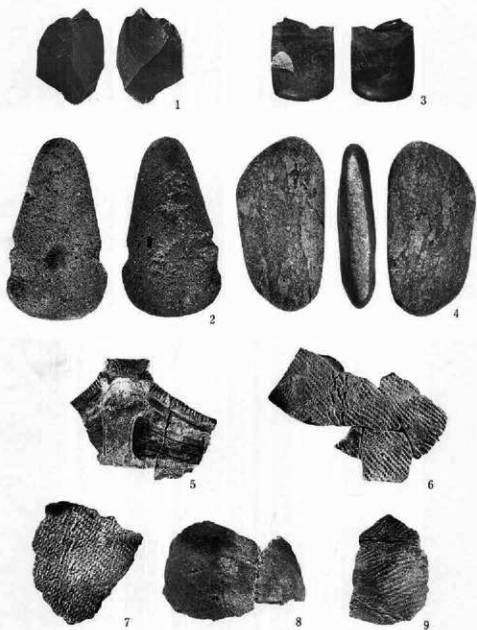
断面



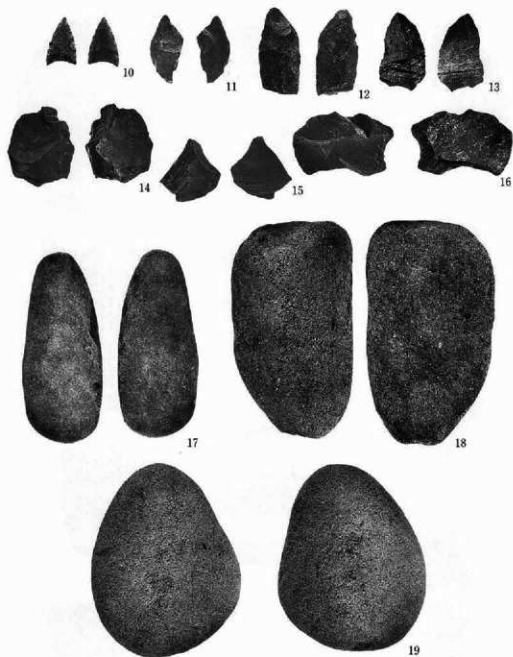
断面



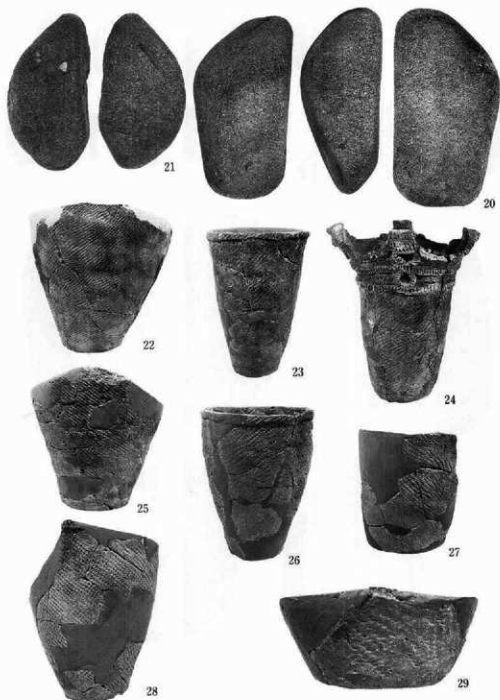
写真図版88 焼土遺構(3)・遺跡通景



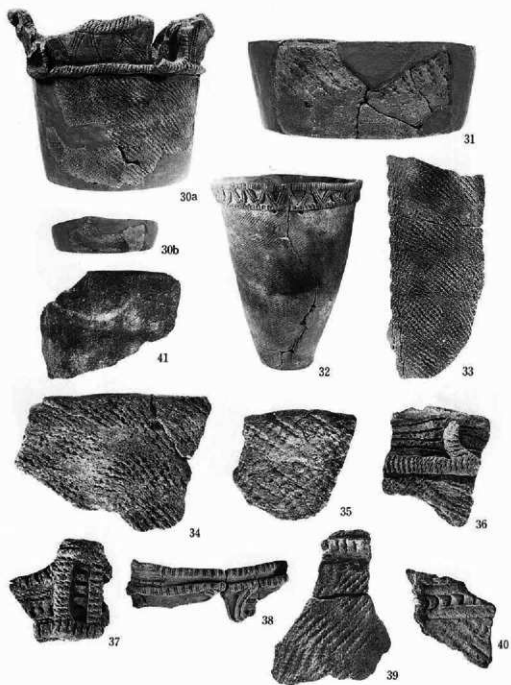
写真図版89 縄文第1号住居跡出土遺物



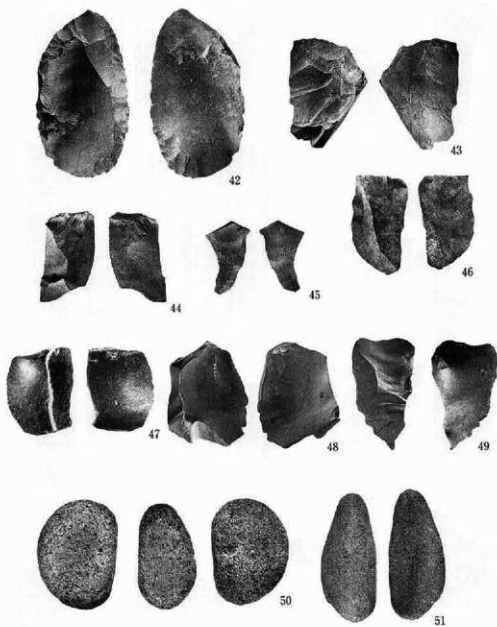
写真図版90 縄文第2号住居跡出土遺物(1)



写真図版91 縄文第2号住居跡出土遺物(2)



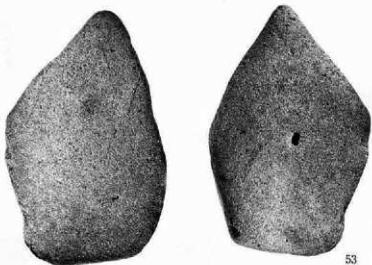
写真図版92 縄文第2号住居跡出土遺物(3)



写真図版93 縄文第3号住居跡出土遺物(1)



52



53

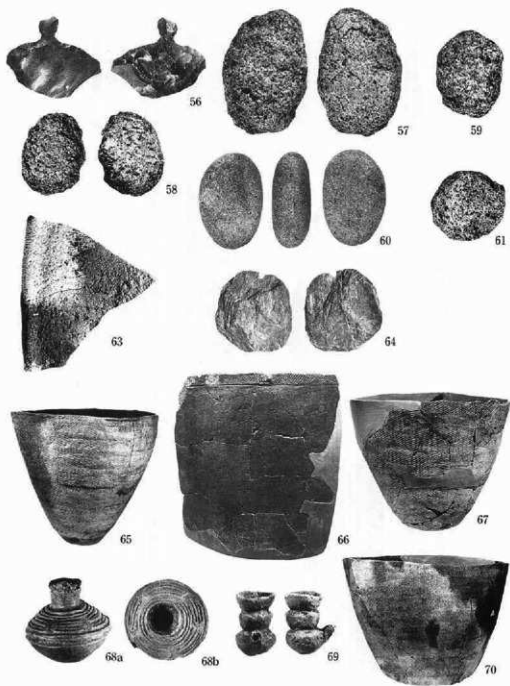


54

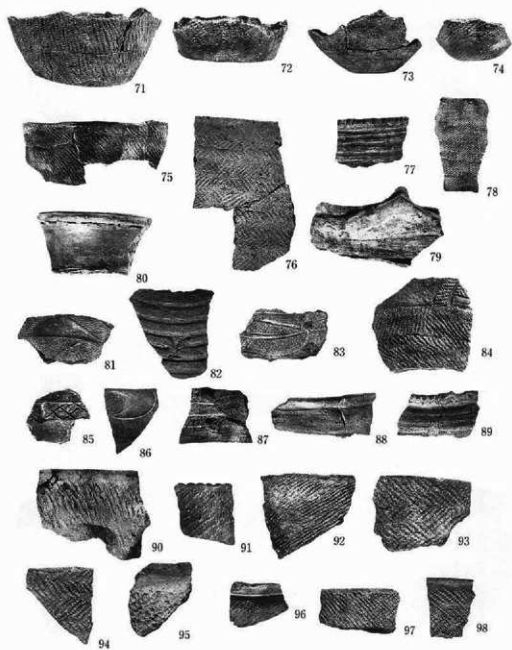


55

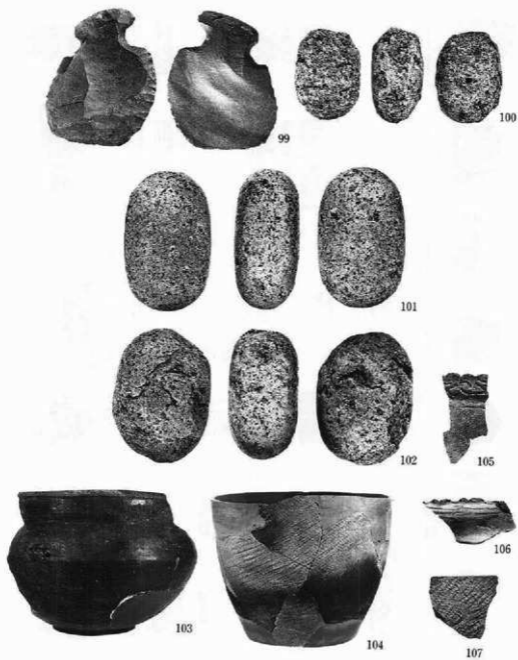
写真図版94 縄文第3号住居跡出土遺物(2)



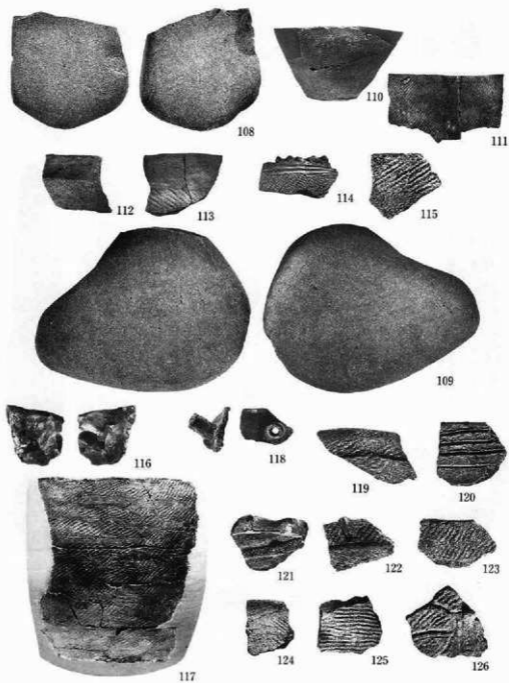
写真図版95 縄文第4号住居跡出土遺物(1)



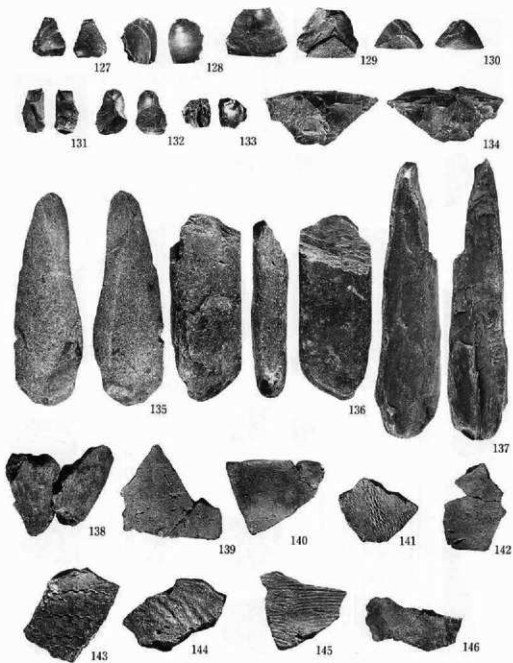
写真図版96 縄文第4号住居跡出土遺物(2)



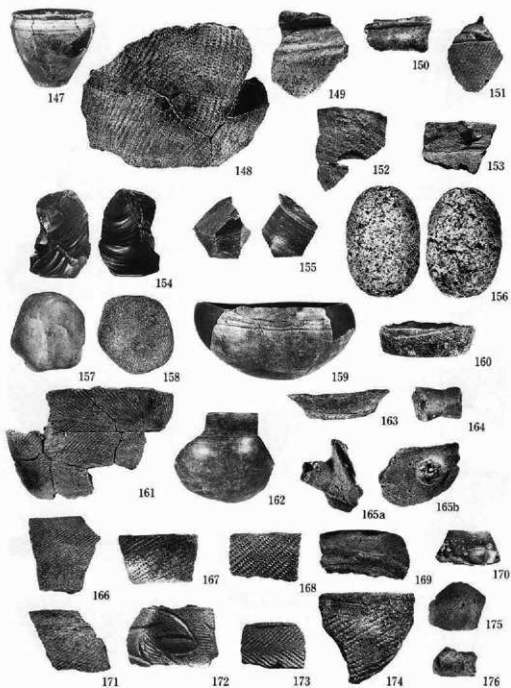
写真図版97 縄文第5号住居跡出土遺物



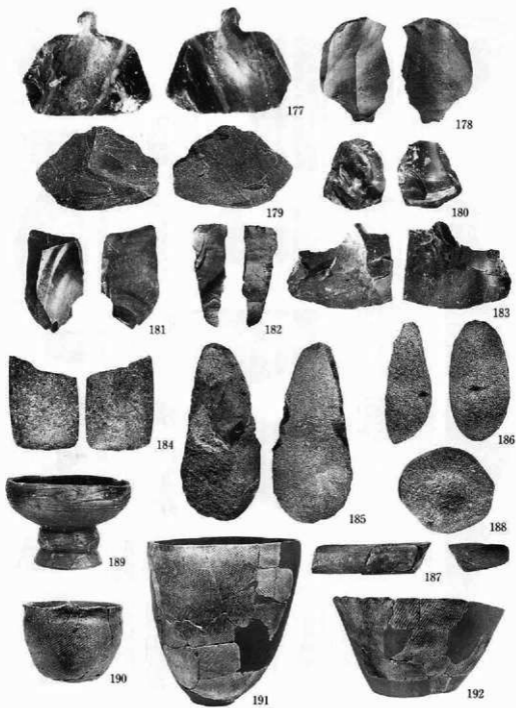
写真図版98 縄文第6号・7号住居跡出土遺物



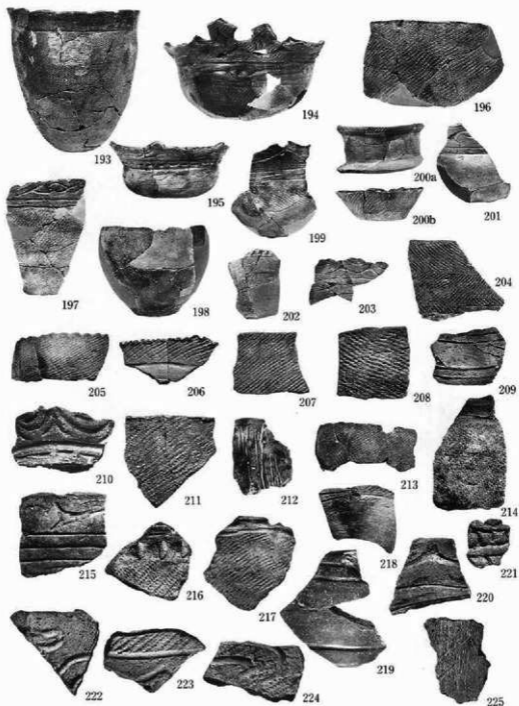
写真図版99 縄文第8号住居跡出土遺物



写真図版100 縄文第1号・2号竪穴状遺構出土遺物



写真図版101 縄文第3号竪穴状遺構出土遺物(1)



写真図版102 縄文第3号(2)・4号竪穴状遺構出土遺物



226



227 a



228 a



227 b



228 b



229

写真图版103 古代第1号住居跡出土遺物



230



231



232



233



234



235

写真图版104 古代第2号住居跡出土遺物



241



242



236



237



238



239



240

写真図版105 古代第3号住居跡出土遺物



243



244 a



244 b



245



246



247



248



249

写真図版106 古代第4号・5号住居跡出土遺物



250 a



251



250 b



252



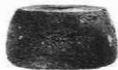
253



255



254



海水産貝殻

写真図版107 古代第6号住居跡出土遺物



256



257



258



259



260

写真図版108 古代第7号住居跡出土遺物1)



261



262

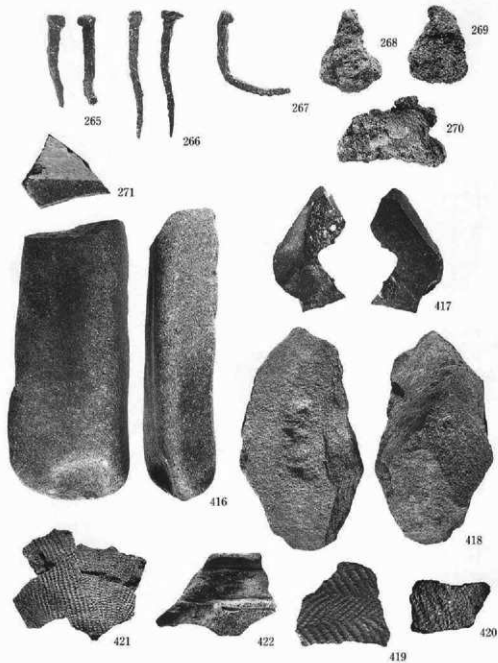


263

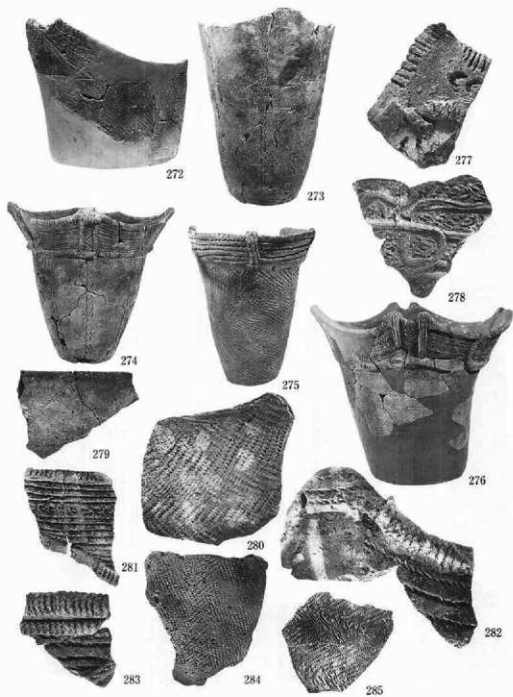


264

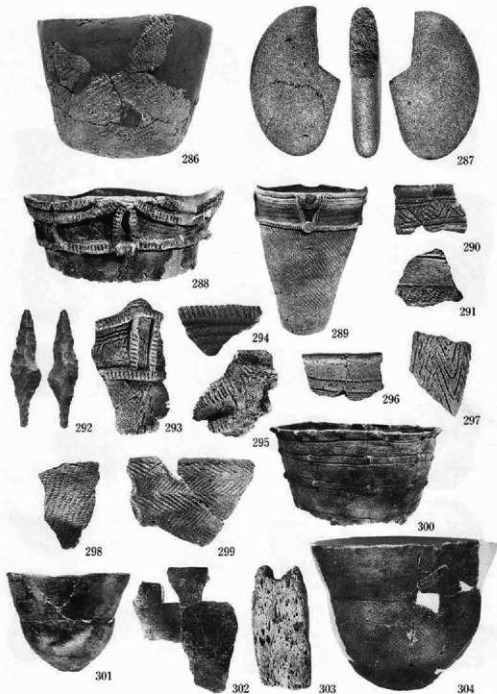
写真図版109 古代第7号住居跡出土遺物(2)



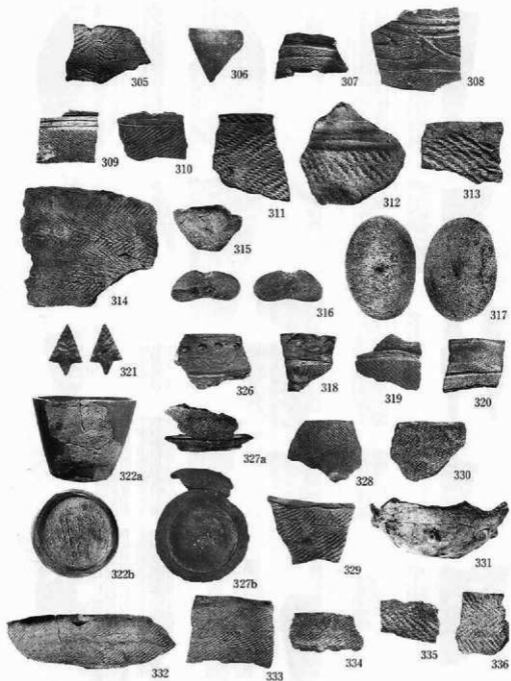
写真図版110 中世住居跡・縄文時代炉跡出土遺物



写真図版111 土坑内出土遺物(1)

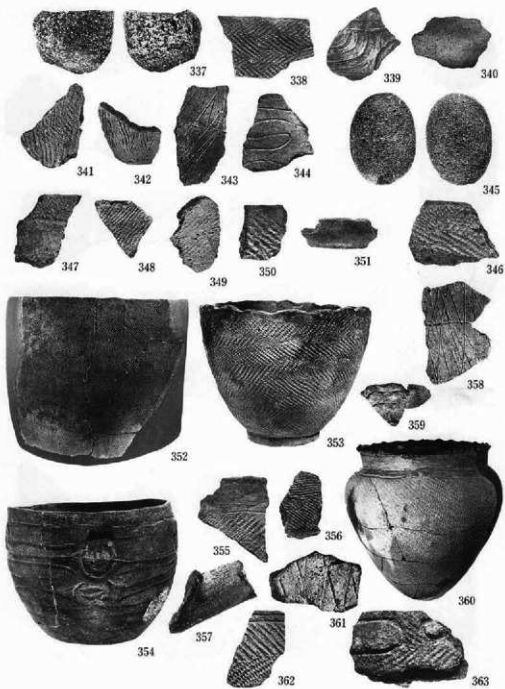


写真図版112 土坑内出土遺物(2)

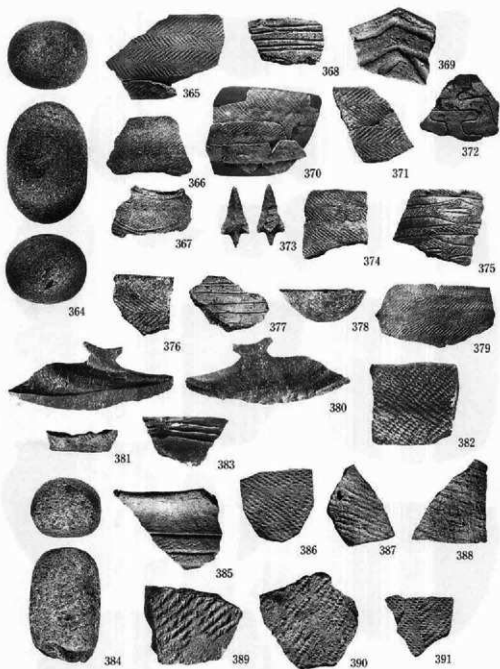


323-325は欠番

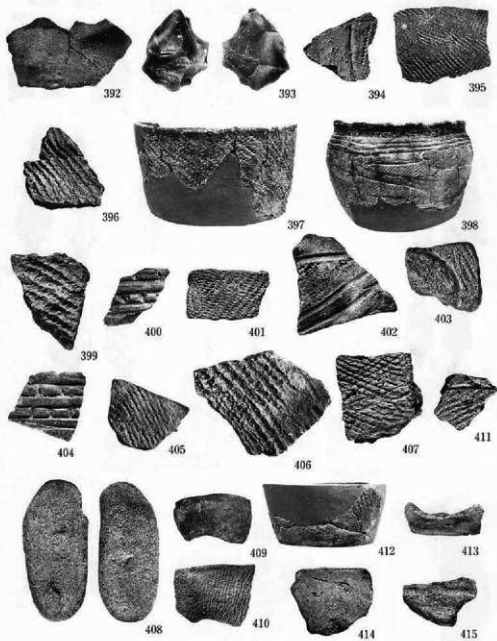
写真図版113 土坑内出土遺物(3)



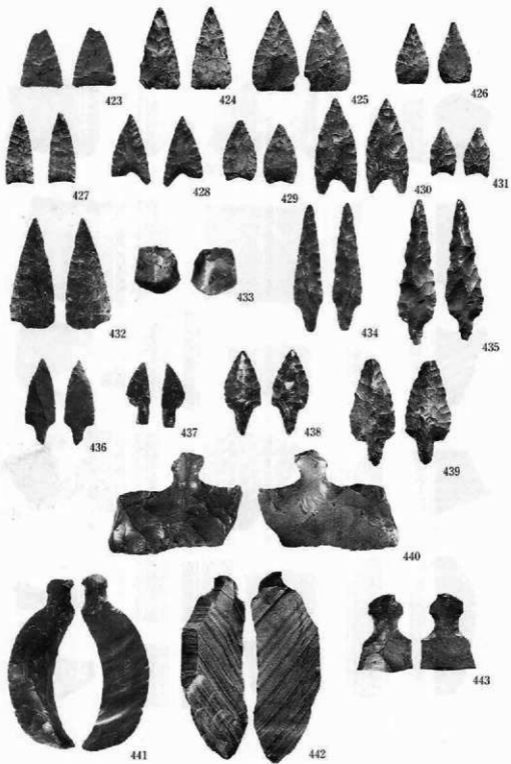
写真図版114 土坑内出土遺物(4)



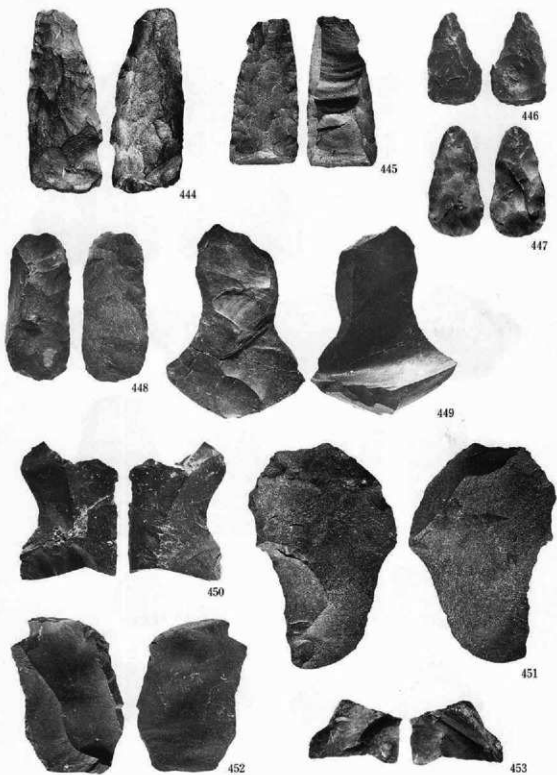
写真図版115 土坑内出土遺物(5)



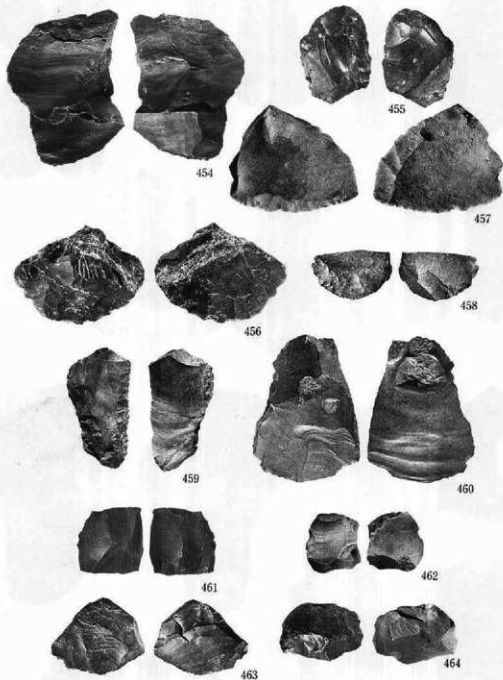
写真図版116 土坑内出土遺物(6)



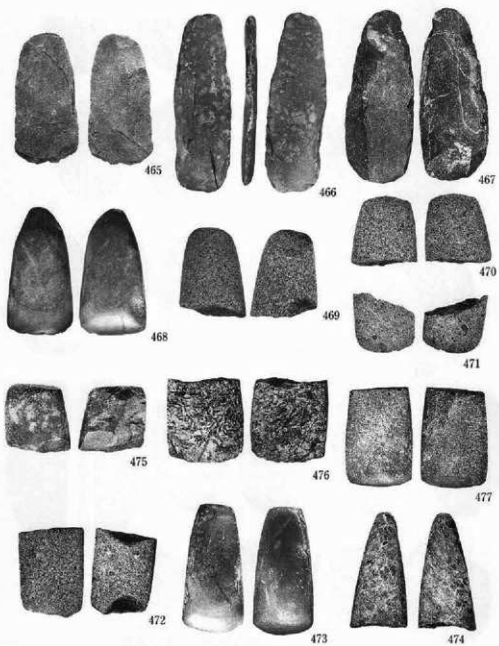
写真図版117 遺構外出土石器類(1)



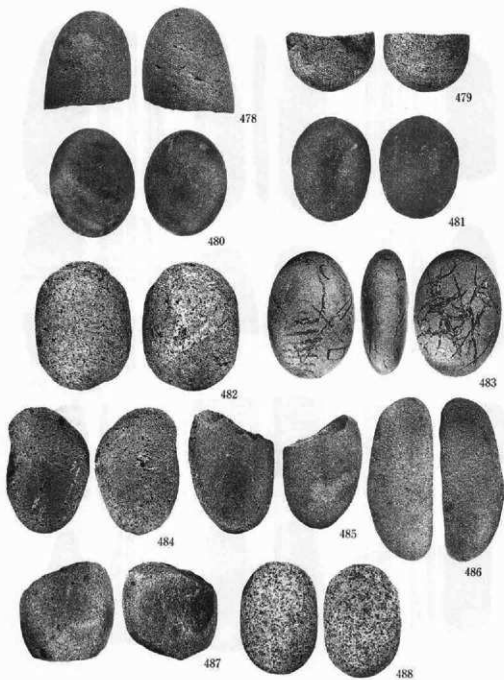
写真図版118 遺構外出土石器類(2)



写真図版119 遺構外出土石器類(3)



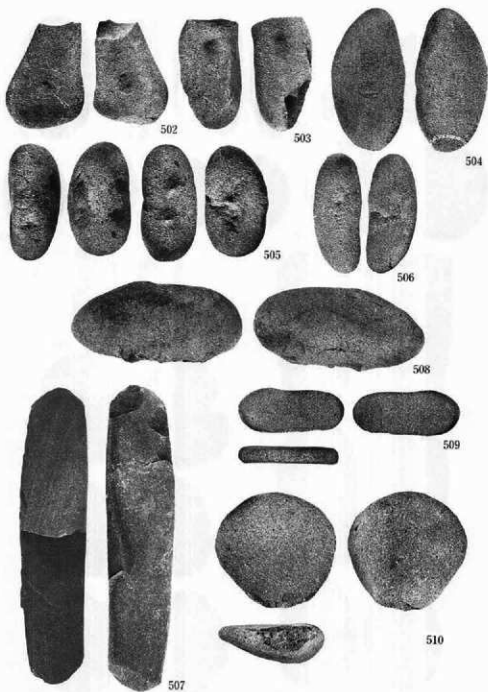
写真図版120 遺構外出土石器類(4)



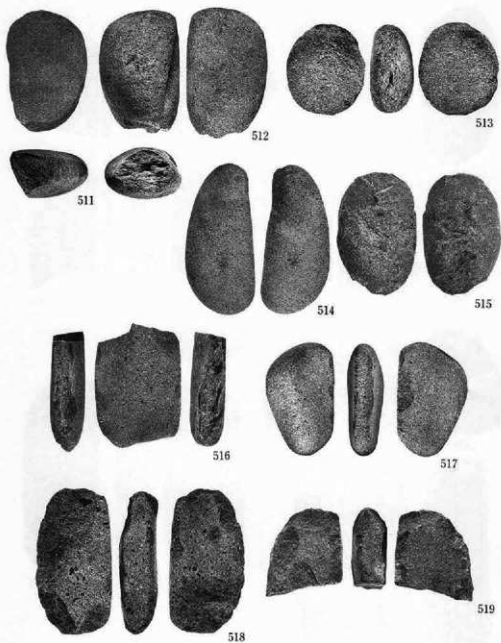
写真図版121 遺構外出土石器類5)



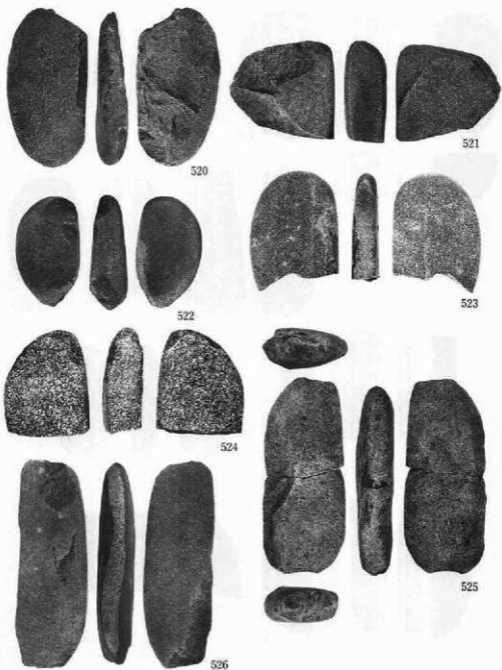
写真図版122 遺構外出土石器類(6)



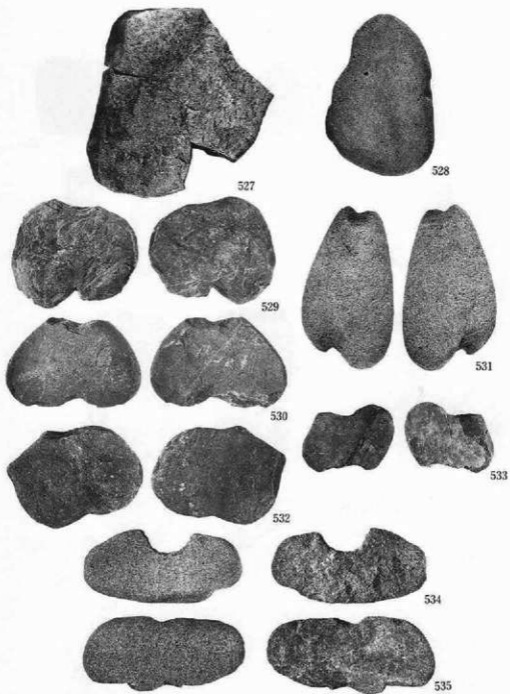
写真図版123 遺構外出土石器類(7)



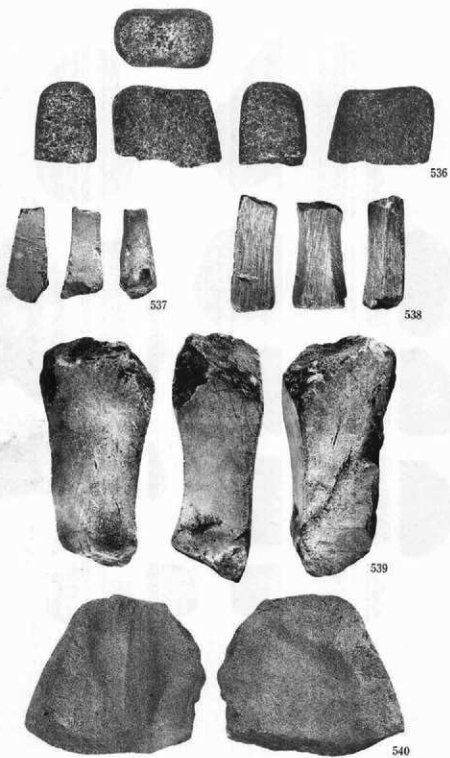
写真図版124 遺構外出土石器類(8)



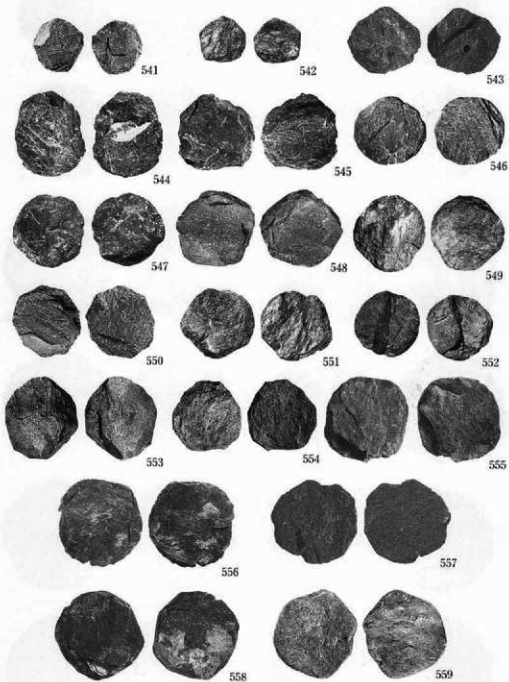
写真図版125 遺構外出土石器類(9)



写真図版126 遺構外出土石器類(10)



写真図版127 遺構外出土石器類(1)



写真図版128 遺構外出土石器類①



560



561



562



563



564



565



566



567



568



569

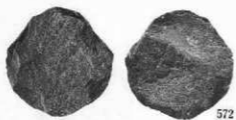


570

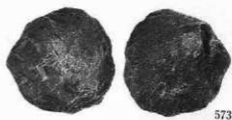


571

写真图版129 遺構外出土石器類(1)



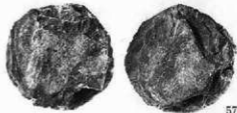
572



573



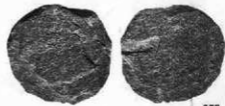
574



575



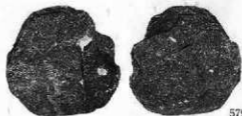
576



577



578



579



580



581

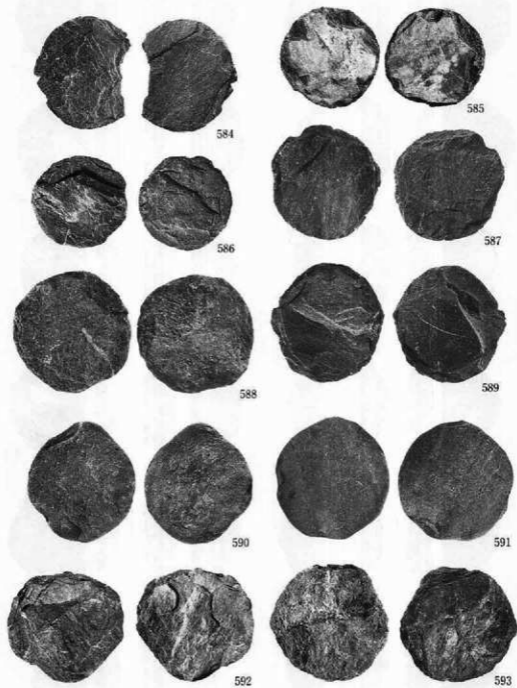


582

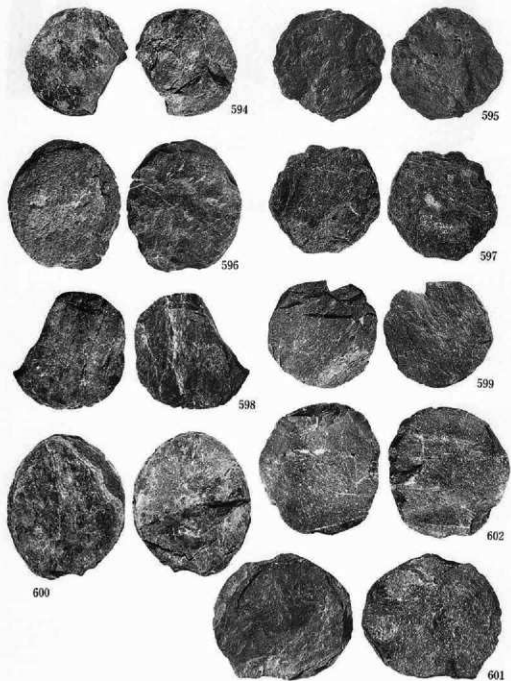


583

写真図版130 遺構外出土石器類(4)



写真図版131 遺構外出土石器類(9)



写真図版132 遺構外出土石器類⑩

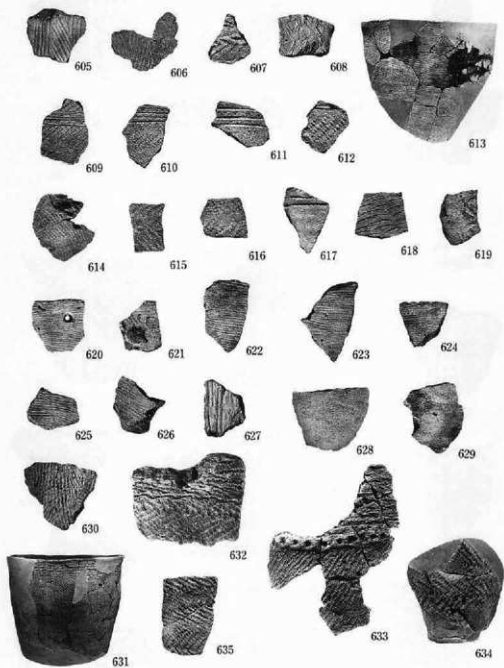


603

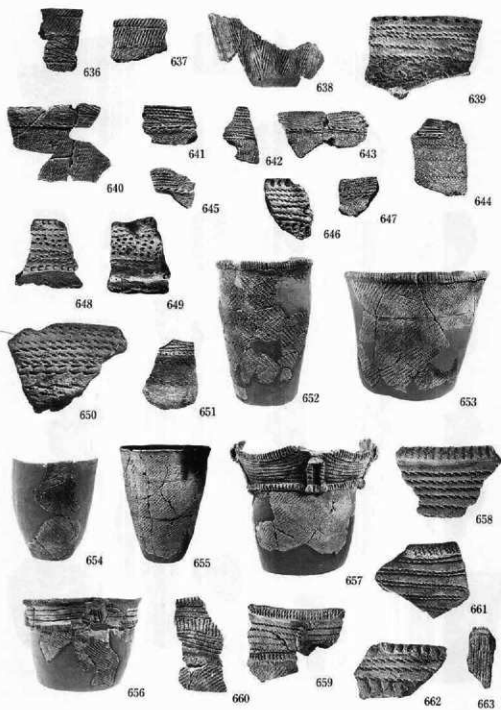


604

写真図版133 遺構外出土石器類(7)



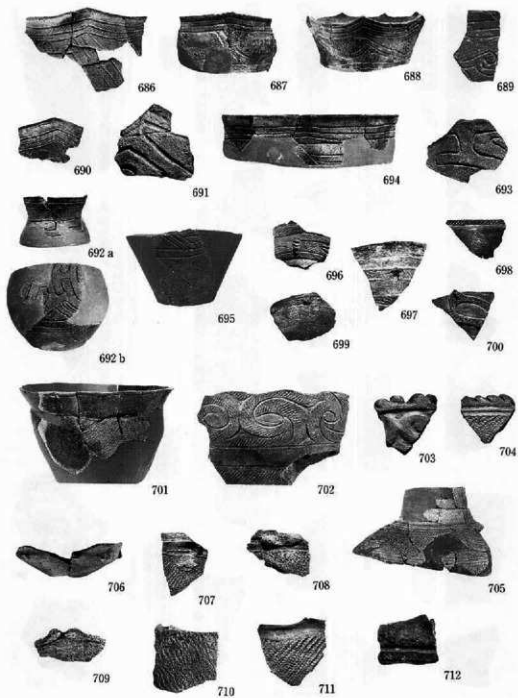
写真图版134 遺構外出土土器類(1)



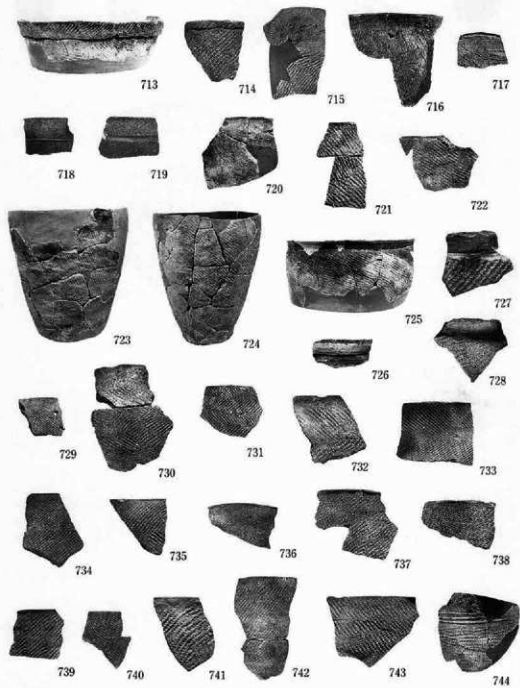
写真図版135 遺構外出土土器類(2)



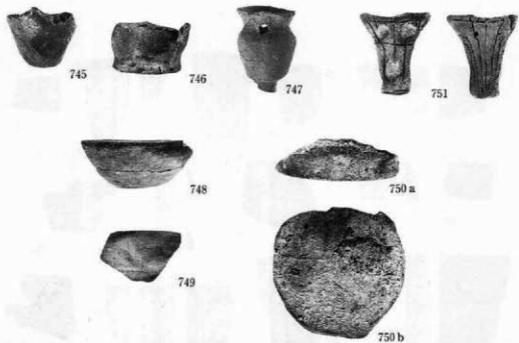
写真图版136 遺構外出土器類(3)



写真図版137 遺構外出土土器類(4)



写真图版138 遺構外出土土器類(5)



写真図版139 遺構外出土土器類(6)



〈元豐通寶〉



〈元祐通寶〉



〈永樂通寶〉



〈古寬永〉

〈新寬永〉



〈文寬永〉

〈四文錢〉

写真図版140 遺構外出土古銭

報告書抄録

ふりがな	みずびしあいのせせむつくつちまゝのせせこくしよ							
書名	水吉VI遺跡発掘調査報告書							
副書名	世増ダム関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第219集							
編著者名	濱田 宏・高橋一浩・田中元明							
編集機関	財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL 0196-38-9001							
発行年月日	西暦 1995年 3月 31日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ° °	° ° °	m ²		
みずびしあいのせせ 水吉VI遺跡	いわてけんくわんせつ 岩手県九戸郡 釜米町	03501	IF63-0361	40°22'13"	141°28'57"	1991. 7.16~11.21 1992. 4.14~10.28 1993. 4.12~10.29	5,000m ² 16,900m ² 26,660m ² 計 48,560m ²	世増ダム建設に伴う発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
みずびしあいのせせ 水吉VI遺跡	集落	縄文時代 (早・前・中・後・晩期) 奈良時代 (8世紀) 中世 近世	竪穴住居跡 (縄文時代 8棟) (奈良時代 7棟) 中世 4棟) 土坑 203基 陥し穴状遺構 22基 炉跡 4基 焼土 10基 掘立柱建物跡 5棟	縄文土器 (早・前・中・後・晩期) 石器 土・石製品 土師器(坏・甕・甔) 鉄製品 鉄滓 古銭類 炭化堅果類	縄文時代から近世までの複合遺跡。 北海道系(縄文系)土師器が出土。			

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長	高 橋 重 實			
副 所 長	千 葉 政 男			
〔管理課〕				
管理課長	澤 田 寛	嘱 託	吉 田 十 次	
主 事	佐 藤 理	〃	野 崎 他 夫	
〃	久保田 幸 恵			
〔調査課〕				
調査課長	鈴 木 恣 治	文 化 財 専 門 調 査 員	金 子 昭 彦	
課長補佐	三 浦 謙 一	〃	木 戸 口 俊 子	
〃	高 橋 與 右 衛 門	〃	大 道 篤 史	
主任文化財 専門調査員	菊 池 強 一	〃	阿 部 勝 則	
〃	渡 辺 洋 一	〃	星 雅 之	
〃	工 藤 利 幸	〃	羽 柴 直 人	
〃	中 川 重 紀	〃	高 木 昇	
〃	佐々木 清 文	〃	村 上 拓	
〃	高 橋 義 介	〃	高 橋 佐 知 子	
〃	中 村 英 俊	〃	杉 沢 昭 太 郎	
文 化 財 専 門 調 査 員	酒 井 宗 孝	〃	瀧 浩 二 郎	
〃	千 葉 孝 雄	期 専 門 職 員	高 橋 英 樹	
〃	菊 池 人 見	〃	佐 藤 修 一	
〃	伊 東 格	〃	稲 垣 雅 宏	
〃	吉 田 充	〃	元 吉 弘 明	
〃	斎 藤 邦 雄	〃	熊 谷 和 明	
〃	高 橋 一 浩	〃	佐々木 裕 司	
〃	鎌 田 勉	〃	千 葉 貴 子	
〃	小 山 内 透	〃	沼 田 和 宏	
〃	松 本 建 速	〃	後 藤 円	
〃	笹 平 克 子			
〃	花 坂 政 博			
〃	佐々木 務			
〔資料課〕				
資料課長	駒 嶺 高 幸			
主任文化財 専門調査員	高 橋 正 之			

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第219集

水吉VI遺跡発掘調査報告書

世増ダム関連遺跡発掘調査

印刷 平成7年3月25日

発行 平成7年3月31日

発行 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020 岩手県盛岡市下飯岡11-185

TEL (0196) 38-9001

印刷 株式会社 杜陵印刷

〒020-01 盛岡市みたけ二丁目22-50

TEL (0196) 41-8000代

© 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1994